臨床実習カリキュラム

医学部医学科

第44期生

2022年1月～2023年8月

国立大学法人
滋賀医科大学
SHIGA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE

目　　次

Ⅰ　はじめに…… 1
Ⅱ　臨床実習の概要と留意点…… 3
Ⅲ　2022年度（第44期生）臨床実習ローテーション表…… 22
Ⅳ　臨床実習グループ別表…… 23
Ⅴ　第44期生　臨床実習Ⅰ部　オリエンテーション…… 24
Ⅵ　臨床実習Ⅱ部　附属病院等の各科実習要綱
循環器内科、呼吸器内科…… 25
消化器内科、血液内科…… 31
糖尿病内分泌内科、腎臓内科…… 38
脳神経内科…… 46
小児科…… 52
精神科…… 58
皮膚科…… 62
消化器・乳腺・小児・一般外科…… 66
心臓血管外科、呼吸器外科…… 81
整形外科…… 86
脳神経外科…… 91
耳鼻咽喉科・頭頸部外科…… 96
母子診療科、女性診療科…… 101
泌尿器科…… 106
眼科…… 111
麻酔科、ペインクリニック科…… 116
放射線科…… 121
歯科口腔外科…… 123
形成外科…… 125
検査部、病理部・病理診断科、輸血部…… 127
救急・集中治療部／総合診療部…… 130
家庭医療演習…… 136
診療所実習…… 137
腫瘍内科・腫瘍センター…… 139
薬剤部…… 143
栄養治療部…… 145
血液浄化部…… 146
医療安全管理部…… 148
リハビリテーション科・部…… 150
医師臨床教育センター…… 151
地域医療教育研究拠点での臨床実習について…… 153
国立病院機構 東近江総合医療センター…… 156
地域医療機能推進機構（JCHO）滋賀病院…… 169
地方独立行政法人 公立甲賀病院…… 174
滋賀医科大学医学部附属病院案内図…… 184
臨床実習Ⅱ部　附属病院等の各科実習要綱（見学実習の場合）…… 186
Ⅶ　臨床実習Ⅲ部　学外臨床実習／臨床実習後OSCE
学外臨床実習…… 233
滋賀医科大学学外臨床実習要綱…… 234
滋賀医科大学学外臨床実習協定書（見本）…… 236
学外臨床実習における臨床実習協力病院（施設）一覧…… 238
海外臨床実習へのチェックリスト…… 239
臨床実習後OSCE（Post-CC OSCE）…… 240
Ⅷ　事故発生時の連絡
災害・事件・事故等の危機管理体制（学生用）…… 241
血液・体液に曝露した際の処置（附属病院内用）…… 242
インシデント・アクシデントリポート（学生用）…… 243

Ⅰ　はじめに

滋賀医科大学の理念

滋賀医科大学は、地域に支えられ、地域に貢献し、世界に羽ばたく大学として、医学・看護学の発展と人類の健康増進に寄与することを理念とする。

滋賀医科大学の使命

本学の使命は、次の各号に掲げるものとする。

（1）　豊かな教養、確かな倫理観、高い専門的知識を有する信頼される医療人を育成すること。

（2）　研究倫理と独創性を有する研究者を養成し、特色ある研究を世界に発信すること。

（3）　信頼と満足を追求するすぐれた全人的医療を地域に提供し、社会に貢献すること。

滋賀医科大学の教育目標

近年、生命科学の分野は著しく進歩し、医学に関する知識量は膨大となり、また新たな学問分野も生まれつつある。一方、医学・医療に対する社会のニーズは多様化し、医療・医学のみならず、生命科学、福祉、国際医療など様々な分野において、有能な人材が求められている。本学においては医学教育の質を高め、国際化に対応できる水準を確保する必要性から、学習内容や方法の改善に努めている。

本学においては、履修すべき必須の内容は「医学教育モデル・コア・カリキュラム」を基本とし、最新の生命科学の進歩を取り入れ、その上に幅広い教養と倫理観を身につけることを目標に構成されている。講義は系別統合講義として、基礎医学と臨床医学を組み合せ理解しやすくするとともに、少人数能動学習により自らが課題を探求し、問題を解決していく能力と、さらに討論を通じてコミュニケーション能力を育てる。臨床実習においては、見学型から診療参加型のクリニカルクラークシップを実施する。

（1）　グローバル・スタンダードの臨床能力を養う

①医療人としての倫理観を身につける

②疾病についての基本的な知識と理解力を持つ

③基本的な診療技術とコミュニケーション技術を身につける

④健康と疾病予防に関する知識と理解する能力を持つ

（2）　医学・医療の進歩に対応し、さらに貢献できる能力を養う

①自主的能動学習により問題解決型能力を身につける

②コミュニケーション、情報収集の技術を身につける

滋賀医科大学のアウトカム（学修成果）

滋賀医科大学は、本学の理念や使命に基づき、卒業時のアウトカム（学修成果）を設定している。臨床実習期間中においてもその到達度についての評価を受ける。

臨床実習の位置づけ

（1）　診療に必要な知識と基本的技術の修得

医療の場においては、医学的な基礎知識を十分に習得した上で、これらの知識を活用し、実際に患者さんに対して適切な処置を行う技術が必要となる。

本学では、平成24年度からスチューデントドクター制度を導入し、定められた系別統合講義の試験に合格し、かつ共用試験（CBT、OSCE）に合格した者に称号を与え、医師を目指す医学生

としての自覚、心構え、医療に携わる人間としての責任感や使命感を再認識したうえで臨床実習に臨む体制が整えられている。また、臨床実習期間終了後にPost-CC OSCEを実施し、学生が診療参加型臨床実習を通じて医学部卒業を許容できる十分な臨床能力を修得できていることを評価している。

（2） クリニカルクラークシップ

臨床実習は、学生の医行為の度合いから「見学型」、「模擬診療型」、「診療参加型」臨床実習に分けられる。従来からの臨床実習の多くは、「見学型」であったが、近年、医療行為の高度化などの社会の要請と、患者さんに対するインフォームド・コンセントなど権利の主張もあり、これらに対応するための医学教育全般の大幅な見直しがなされ、CBT、OSCEにより学生の知識と技能の保証を行うようになった。

従って学生は、実際の医療を行うチームの一員として参加し、一定の範囲の医行為の実践を通じて、医師となるための知識、技能、態度を身につける「診療参加型実習」であるクリニカルクラークシップに積極的に参加し、臨床実習における医療水準レベル向上のため人体模型（シミュレーター）などを設置したスキルズ・ラボを有効活用することが望ましい。

なお、学生は、各施設への通学中の交通事故や医療事故等の可能性を考慮して、「学研災付帯学生生活総合保険（Aタイプ）」（東京海上日動火災保険株式会社）に全員が加入しなければならない。

授業評価

本学では、医学・看護学教育の一層の充実をはかるため、カリキュラムの企画および実施状況や教員の授業内容について、学生自身による評価や学生自身の授業に対する意欲、そして教員においても自身の授業に対する意識、さらに第三者による授業法の評価など、多面的にアンケート調査を実施している。これらの結果を、教育内容や教育技法の改善に役立てている。評価は、全ての科目や実習において実施されるものであり、学生自身の授業や実習に対する真摯な取り組みと協力が必須であることはいうまでもない。

Ⅱ　臨床実習の概要と留意点

1．臨床実習のねらい・学修目標

A．ねらい

実際に患者さんに接しつつ、これまでに知識として修得してきた医学を実践し、医療について学び、現場での経験を積むことによって、医学知識を問題解決志向型に総合するとともに、医療の基本的技術を修得する。更に、患者さんに対する医師としての態度、生命の尊厳に対する謙虚な態度を身につける。

また、様々な診療科での臨床経験を経て、当該診療科領域で必要とされる診療能力や、各診療科における医師の役割等のイメージを獲得する。

B．学修目標（各科共通）

ⅰ）次の13の役割について、<u>各診療科の指導医から信頼を受け任せられるようになることを目指す</u>。

1．病歴を聴取して身体診察を行う。
2．鑑別診断を想定する。
3．基本的な検査の結果を解釈する。
4．処方を計画する。
5．診療録（カルテ）を記載する。
6．患者の状況について口頭でプレゼンテーションする。
7．臨床上の問題を明確にしてエビデンスを収集する。
8．患者さんの申し送りを行う・受け取る。
9．多職種のチームで協働する。
10．緊急性の高い患者さんの初期対応を行う。
11．インフォームド・コンセントを得る。
12．基本的臨床手技を実施する。
13．組織上の問題の同定と改善を通して医療安全に貢献する。

（補足）上記は「医学教育モデル・コア・カリキュラム（平成28年度改訂版）」に準拠している。
達成度の評価にあたっては、それぞれの項目を本学で定めたアウトカムに振り替えて行う。

ⅱ）モデル・コア・カリキュラム（G2 臨床推論）に定める経験すべき37症候について実際に経験する中で、鑑別診断を想起しながら診断に必要な病歴聴取・身体診察を行い、基本的な検査の実施に参加すること。また、臨床推論プロセスの学修により、各論で十分に学んでいない疾患についても、鑑別診断として想起できるようになること。（37症候は、診療科によって経験可能性が異なっているため、p.4の一覧表を確認し、当該診療科で経験できる症候については自分から患者の受持ちを申し出るなど、能動的に学ぶこと）

ⅲ）モデル・コア・カリキュラム（G3 基本的臨床手技）に定める「一般手技」、「検査手技」、「外科手技」及び「救命処置」（p.5参照）について、指導医の指導・監督の下で自ら実施できる、又は指導医の実施を見学し、介助できること。

ⅳ）診療科ごとに個別に示す学修目標を十分に達成すること。

モデル・コア・カリキュラム（G2 臨床推論）に定める経験すべき37症候

	経験すべき症候＼診療科等	循内	呼内	消内	血内	糖内	腎内	脳内	小児	精神	皮膚	消外	心外	呼外	整形	脳外	耳鼻	母女	泌尿	眼科	麻・ペ	放射	歯科	形成	検査病理	救急総診	腫瘍	薬剤部	医療安全	リハビリ	血液浄化	栄養治療
1	発熱	△	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	△	×	△	○	△	△	×	△	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×
2	全身倦怠感	○	○	○	○	○	○	△	○	△	△	△	×	△	×	△	×	△	×	×	×	×	×	×	×	△	○	×	×	×	○	×
3	食思（欲）不振	○	○	○	○	○	○	△	△	△	×	○	△	△	×	△	×	△	×	×	×	×	×	×	×	△	○	×	×	×	○	×
4	体重減少・体重増加	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	○	○	×	△	×	△	△	×	×	×	×	×	×	△	○	×	×	×	○	×
5	ショック	○	△	○	△	△	△	△	△	×	×	△	○	×	×	×	×	△	△	×	○	×	×	×	△	○	△	×	×	×	×	×
6	心停止	○	△	△	×	×	×	×	△	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
7	意識障害・失神	○	△	△	×	△	△	○	○	△	×	×	○	×	×	○	×	△	×	×	△	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
8	けいれん	○	△	×	×	×	×	○	○	△	×	×	△	×	×	○	×	△	×	×	△	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
9	めまい	○	△	×	△	△	△	○	△	×	×	×	△	×	×	○	○	△	×	×	△	×	×	×	×	○	△	×	×	×	×	×
10	脱水	○	○	△	△	○	○	△	○	△	×	△	○	△	×	△	×	△	×	×	△	×	×	×	×	○	○	×	×	×	△	×
11	浮腫	○	△	△	○	△	○	△	○	×	△	△	○	△	×	×	×	△	△	×	△	×	×	○	△	△	○	×	×	×	○	×
12	発疹	△	△	△	△	△	△	△	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	△	△	×	×	×	×	×
13	咳・痰	○	○	×	△	△	△	×	○	×	×	×	○	○	×	×	△	×	×	×	△	×	×	×	×	△	△	×	×	×	×	×
14	血痰・喀血	○	△	×	×	×	△	×	△	×	×	×	△	△	×	×	△	×	×	×	×	×	×	×	×	△	△	×	×	×	×	×
15	呼吸困難	○	○	△	△	△	○	△	○	×	×	×	○	△	×	×	△	×	×	×	○	×	×	×	×	△	△	×	×	○	△	×
16	胸痛	○	△	△	△	△	△	△	△	△	×	×	○	△	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	○	△	×	×	×	×	×
17	動悸	○	△	×	△	△	△	△	△	△	×	×	○	△	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	△	○	△	×	×	×	△	×
18	胸水	○	○	×	△	△	○	×	△	×	×	△	○	○	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	△	△	△	×	×	×	○	×
19	嚥下困難・障害	×	△	△	×	×	×	○	○	×	×	△	△	×	×	△	○	×	×	×	×	×	×	×	×	△	△	×	×	○	×	×
20	腹痛	×	△	○	△	△	△	△	○	△	△	○	○	×	×	×	×	○	△	×	△	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×
21	悪心・嘔吐	△	△	○	○	△	△	△	○	×	△	○	○	△	×	△	○	△	△	×	△	×	×	×	×	○	○	×	×	×	△	×
22	吐血・下血	×	×	○	△	×	×	×	△	×	×	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	△	△	×	×	×	×	×
23	便秘・下痢	△	△	○	○	○	○	△	○	×	△	○	○	△	×	×	△	△	△	×	△	×	×	×	△	○	○	×	×	×	△	○
24	黄疸	△	△	○	△	△	×	△	○	×	×	△	△	×	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	△	△	△	×	×	×	×	×
25	腹部膨隆（腹水含む）・腫瘤	△	×	○	○	△	△	×	△	×	×	△	△	×	×	×	×	○	△	×	△	×	×	×	△	△	△	×	×	×	△	×
26	貧血	○	△	○	○	△	○	△	○	×	△	△	○	△	△	×	×	○	△	×	△	×	×	×	△	△	○	×	×	×	○	×
27	リンパ節腫脹	×	△	△	○	×	△	△	○	×	○	△	×	△	×	×	○	△	○	×	△	×	×	×	△	×	△	×	×	×	×	×
28	尿量・排尿の異常	○	△	×	△	△	○	○	○	×	×	×	○	△	×	×	×	△	○	×	△	×	×	×	×	△	△	×	×	×	○	×
29	血尿・タンパク尿	△	△	×	△	○	○	×	○	×	×	×	△	×	×	×	×	△	○	×	△	×	×	×	×	△	○	×	×	×	△	×
30	月経異常	×	×	×	△	△	×	×	△	×	×	×	×	×	×	△	×	○	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	×	×	×
31	不安・抑うつ	○	△	×	△	△	×	△	△	○	△	×	△	×	△	△	×	△	×	×	△	×	×	×	×	△	△	×	×	×	×	×
32	もの忘れ	○	△	×	△	△	△	○	×	○	×	×	○	×	×	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	○	×	×
33	頭痛	○	△	×	△	×	×	○	△	△	△	×	△	×	×	○	△	△	×	×	△	×	×	×	×	○	○	×	×	×	△	×
34	運動麻痺・筋力低下	○	△	×	×	△	×	○	○	△	×	×	△	×	○	○	△	×	△	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○	△	×
35	腰背部痛	○	×	×	△	△	△	△	△	×	×	△	○	×	○	△	×	△	○	×	△	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×	×
36	関節痛・関節腫脹	×	△	×	×	△	△	△	△	×	△	×	△	×	○	×	×	△	×	×	○	×	×	×	×	△	×	×	×	○	×	×
37	外傷・熱傷	×	×	×	×	×	×	×	△	×	○	×	×	×	△	△	△	×	△	△	△	×	×	○	×	○	×	×	×	△	×	×

○経験できる
△経験する可能性がある
×経験できない

注１）「検査部、病理診断科」において△の項目は「希望すれば～の疾患の病理組織像を経験することが出来る」意味であり、「～の患者の臨床症候を経験できる」という意味ではない。
注２）「リハビリテーション科」においては、「主治医として」ではなく「リハビリテーション診療に携わる中で」経験する可能性がある症候を意味する。

モデル・コア・カリキュラム（G3 基本的臨床手技）一覧

【一般手技】

①体位交換、移送ができる。
②皮膚消毒ができる。
③外用薬の貼付・塗布ができる。
④気道内吸引、ネブライザーを実施できる。
⑤静脈採血を実施できる。
⑥末梢静脈の血管確保を実施できる。
⑦中心静脈カテーテル挿入を見学し、介助する。＊
⑧動脈血採血・動脈ラインの確保を見学し、介助する。＊
⑨腰椎穿刺を見学し、介助する。＊
⑩胃管の挿入と抜去ができる。
⑪尿道カテーテルの挿入と抜去を実施できる。
⑫ドレーンの挿入と抜去を見学し、介助する。＊
⑬注射（皮内、皮下、筋肉、静脈内）を実施できる。
⑭全身麻酔、局所麻酔、輸血を見学し、介助する。＊
⑮眼球に直接触れる治療を見学し、介助する。＊
⑯診療録（カルテ）を作成する。
⑰各種診断書・検案書・証明書の作成を見学し、介助する。＊

【検査手技】

①尿検査（尿沈渣を含む）を実施できる。
②末梢血塗抹標本を作成し、観察できる。
③微生物学検査（Gram染色を含む）を実施できる。
④妊娠反応検査を実施できる。
⑤血液型判定を実施できる。
⑥視力、視野、聴力、平衡機能検査を実施できる。
⑦12誘導心電図を記録できる。
⑧脳波検査の記録ができる。
⑨眼球に直接触れる検査を見学し、介助する。＊
⑩心臓、腹部の超音波検査を実施できる。
⑪経皮的酸素飽和度を測定できる。
⑫エックス線撮影、コンピュータ断層撮影〈CT〉、磁気共鳴画像法〈MRI〉、核医学検査、内視鏡検査を見学し、介助する。＊

【外科手技】

①無菌操作を実施できる。
②手術や手技のための手洗いができる。
③手術室におけるガウンテクニックができる。
④基本的な縫合と抜糸ができる。
⑤創の消毒やガーゼ交換ができる。
⑥手術、術前・術中・術後管理を見学し、介助する。＊

【救命処置】

①身体徴候、バイタルサインから緊急性の高い状況であることを判断できる。
②一次救命処置を実施できる。
③二次救命処置を含む緊急性の高い患者の初期対応に可能な範囲で参加する。＊

＊を付した項目については、p14の「医行為水準Ⅱ」に該当するため、当該手技等の介助を希望する場合は、必ず指導医に相談のうえ、患者さんからの個別同意を得たうえで実施すること。

2．臨床実習の期間・構成

①臨床実習 第Ⅰ部：オリエンテーション

期　間　2022年１月17日～2022年１月21日

構　成　スチューデントドクター認定式、臨床実習オリエンテーション等

②臨床実習 第Ⅱ部：学内臨床実習

A．臨床実習（ローテーション）

期　間　2022年１月31日～2023年１月27日

構　成　医学部附属病院において、48週間（本学地域医療教育研究拠点における４週間の実習を含む）の臨床実習を行う。なお、実習期間中、キャリア教育・就職支援を目的として医師臨床教育センターによる「キャリアセミナー」を全３回開催するため必ず出席すること。

B．臨床実習（アドバンス）

期　間　2023年２月13日～2023年３月24日

構　成　希望する学内診療科等において、６週間（前期３週間・後期３週間）の臨床実習を行う。

なお、臨床実習（ローテーション・アドバンス）の開始時間及び終了時間は「各科実習要綱」のとおりであるが、臨床実習はその特性上、予定どおりに厳密に行えるとは限らないため、随時、各科の教員あるいは指導医の指示に従うこと。

③臨床実習 第Ⅲ部：学外臨床実習

期　間　2023年５月８日～2023年６月30日

構　成　学内臨床実習終了後、滋賀県下の37施設（2019年度参考データ）の医療機関において、前期および後期のそれぞれ４週間ずつ、計８週間の学外臨床実習を行う。原則、Ⅰ 内科系、Ⅱ 外科系、Ⅲ その他の系の３つの系から２つの系を選択する。

なお、外国施設での臨床実習を希望し、大学以外の教育実習施設等における学修申請により認められた場合は、学外臨床実習の単位として認められる場合がある。

④共用試験臨床実習後OSCE

A．Post-CC OSCE 対策実習

期　間　2023年７月10日～2023年７月21日

構　成　Post-CC OSCEの概要説明等のオリエンテーション等を実施。詳細は追って通知する。

B．Post-CC OSCE（臨床実習後 OSCE）

期　間	本　　試　　験	2023年７月29日(土)、30日(日)（予定）
	再　　試　　験	2023年８月５日(土)、６日(日)（予定）
	追試験／延期・やり直し試験	2023年８月26日(土)、27日(日)（予定）

構　成　実技試験（医療面接、身体診察、診療、手技、処置等）を行う。

※上記の試験日程は、令和５年度中に医療系大学間共用試験実施評価機構によって決定されるため、今後変更になる可能性があることに注意すること。

3．臨床実習参加の資格と準備

臨床実習に参加できる者は、定められた系別統合講義の試験に合格し、かつ共用試験（CBT、臨床実習前OSCE）に合格し、「スチューデントドクター」の称号を得た者のうち「臨床実習に関する学生の確認書（別紙１）」を提出した者に限る。

臨床実習に参加する際は、患者さんとの信頼関係が大変重要であり、他人に不快感を与えない清潔さと、不信感をもたらさない身だしなみが必要である。診療用の白衣（ただし私物スクラブの着用は禁ずる）と上履などを用い、ネームプレートを着用する。なお、実習によっては白衣以外の服装が適切な場合があるので、指導教員からの指示に従うこと（手術室や救急室など）。病院内での言動については、そ

れぞれ、定められた規則に従うのみならず、常識ある臨床実習医学生としての態度を常に保持していなければならない。

患者さん及びその家族に対する接触は、常に教員あるいは指導医の指示に従い、許可の範囲内にとどめなければならない。

4．臨床実習医学生の医行為

医学生が診療参加型臨床実習において医行為を行うためには患者さんから同意を取得する必要があり、同意が取得できていない患者さんに対して医学生が医行為を行うことはできない。

従来、本学では指導医による口頭での同意取得のみであったが、国や全国医学部長病院長会議が患者さんからの自筆署名による文書での同意を取得することを推奨しているため、平成30年度より原則、自筆署名による文書での同意を取得（緊急時などは口頭で同意を取得することも可能。ただし、後日に文書で取得する）する運用を開始した。

本学では、原則として、別示した水準に従って行われる（「医行為水準レベルⅠに該当する診療行為」（別紙２）と「医行為水準レベルⅡに該当する診療行為」（別紙３）参照）。また、医行為は、指導医が実施するに値する能力があると判断した学生で、かつ、患者さんからの同意（「包括同意」・「個別同意」）が得られた場合のみ実施することが可能である。いずれの医行為も指導医の指示・指導なしに行ってはならない。

A．包括同意

「包括同意」を取得している場合は、p.13の「医行為水準レベルⅠに該当する診療行為」を指導医の十分な指導・監督のもとで行うことができる。ただし、実施できるのは、指導医が実施するに値する能力があると認めた学生のみである。

《同意取得状況（電子カルテ上）の確認について》

① 受付患者一覧、救急患者一覧

② 病棟マップ（患者氏名をマウスオーバーする）

③ 患者カルテ画面（患者氏名の右側のアイコン一覧）の画面から患者さんの同意取得状況（「不同意」と「見学拒否」を含む）を確認できる。

B．個別同意

p.14の「医行為水準レベルⅡに該当する診療行為」においては、患者さんから「個別同意」を取得することで「介助」を行うことができる。これに関しても、指導医の十分な指導・監督のもと、指導医が実施するに値する能力があると認めた学生のみが行うことができる。

なお、原則、個別同意は「医行為水準レベルⅡに該当する診療行為」の介助を行う際にその都度同意を取得する必要がある。

《同意取得状況（電子カルテ上）の確認について》

「医行為水準レベルⅡに該当する診療行為」に対する個別同意取得状況は、患者カルテ画面のナビゲータから確認ができる。また、「不同意」に関しても取得状況の確認が可能。

5．臨床実習の評価

臨床実習の学修目標の到達度を確認するため、臨床実習評価システムによる評価が行われる（別紙４参照）。

臨床実習（ローテーション）においては、各診療科・部等ごとに、実習中の態度及び各診療科で掲げるねらい・学修目標に対してどこまで到達しているか等を総合的に評価する概略評価（総括的評価）と、本学で定めるアウトカム達成レベルに係るルーブリック（別紙５）によるアウトカム評価（形成的評価）

をそれぞれ実施する。

48週間に及ぶ実習終了後、各診療科から提出のあった概略評価がすべて合格であった者は、臨床実習（アドバンス）の履修が認められる。臨床実習（ローテーション）が不合格の場合は、臨床実習（アドバンス）の履修を認めず、第６学年への進級を認めない。なお、不合格者は、次期臨床実習（ローテーション）（第Ⅰ部を除く）を再履修しなければならない。

各診療科・部等において、概略評価が「不可」または「評価不能」の場合は随時もしくは補講期間内に補講が実施される。補講終了後の最終評価が「不可」または「評価不能」の場合は、臨床実習（ローテーション）がすべて終了した時点ですべての診療科･部等の評価を加味して､クリニカルクラークシップWGの議を経て学部教育部門会議で最終判定を行う。なお、臨床実習において著しい問題行動等があり､「学生の態度に関する指導報告システム」によって報告された場合は、補講を実施することなく最終評価が「不可」または「評価不能」となる場合がある。

なお、第５学年における臨床実習（アドバンス）並びに第６学年で開講される学外臨床実習及び臨床実習後OSCE（Post-CC OSCE）（Post-CC OSCE対策実習を含む）にすべて合格し、「保健医療と社会」を修了しなければ卒業試験を受験することができない。

６．臨床実習の欠席について

原則として欠席は認められない。突発的な事情等により、やむを得ず欠席する場合は、以下に示す所定の手続きをとること。時期によっては、欠席した理由により進級できず留年となる場合があるので注意すること。また、所定の期間内に定められた手続きを経ずに欠席をした場合や著しい問題行動があった場合は、進級できず留年となる可能性がある。

①臨床実習 第Ⅰ部：オリエンテーション

●突発的な事情等により、やむを得ず欠席する場合（病気・忌引き）

ⅰ）学生課（077-548-2068）に電話連絡。
※インフルエンザ・麻疹・風疹等の感染症発症時は必ずその旨伝える。

ⅱ）欠席した日から１週間以内に「臨床／臨地実習欠席届（別紙６）」により医学･看護学教育センター教員に報告し、承認を得た上、欠席理由を証明できる書類（病気の場合は受診したことが確認できる書類、忌引きの場合は会葬御礼のはがき等）を添付し学生課学部教育支援係へ提出。

●病気・忌引き以外の理由での欠席を希望する場合

ⅰ）事前に医学・看護学教育センター教員に相談すること。ただし、必ず承認が得られるとは限らない。なお、その理由が病院見学や採用説明会等への参加である場合は、欠席を認めない。

ⅱ）医学・看護学教育センター教員の承認が得られれば、「臨床／臨地実習欠席届（別紙６）」に欠席理由を証明できる書類を添付し学生課学部教育支援係へ提出。

②臨床実習 第Ⅱ部：学内臨床実習

●突発的な事情等により、やむを得ず欠席する場合（病気・忌引き）

ⅰ）実習開始時刻までに該当する実習先へ電話連絡

ⅱ）学生課（hqgaku@belle.shiga-med.ac.jp）にメール連絡。
※インフルエンザ・麻疹・風疹等の感染症発症時は必ずその旨伝える。

ⅲ）欠席した日から１週間以内に「臨床／臨地実習欠席届（別紙６）」により責任者等に報告し、承認を得た上、必要に応じて欠席理由を証明できる書類（病気の場合は受診したことが確認できる書類、忌引きの場合は会葬御礼のはがき等）を添付し学生課に提出する。
※１日だけの欠席の場合：「臨床／臨地実習欠席届（別紙６）」のみ提出。
２日以上連続で欠席の場合：「臨床／臨地実習欠席届（別紙６）」＋欠席理由を証明できる

書類を提出。

●病気・忌引き以外の理由（病院見学等）で欠席する場合

ⅰ）事前に該当する実習先の責任者等の承認が必須。

なお、病院見学及び採用説明会は長期休暇を活用するなどして、なるべく実習期間を避けるように努めること。また、「西医体」への出場を理由にした欠席は原則、認められない。

ⅱ）実習先責任者からの承認が得られれば、「臨床／臨地実習欠席届（別紙６）」に欠席理由を証明できる書類を添付し学生課学部教育支援係へ提出。

③臨床実習 第Ⅲ部：学外臨床実習

●突発的な事情等により、やむを得ず欠席する場合（病気・忌引き）

ⅰ）実習開始時刻までに該当する実習先の責任者等に電話連絡。

ⅱ）学生課（hqgaku@belle.shiga-med.ac.jp）にメール連絡。

※インフルエンザ・麻疹・風疹等の感染症発症時は必ずその旨伝える。

ⅲ）後日、「臨床／臨地実習欠席届（別紙６）」により該当する実習先の責任者等に報告し、必ず承認を得た上、欠席理由を証明できる書類（病気の場合は受診したことが確認できる書類、忌引きの場合は会葬御礼のはがき等）を添付して学外臨床実習反省会の日までに学生課学部教育支援係へ提出。

●病気・忌引き以外の理由（採用試験等）での欠席を希望する場合

ⅰ）事前に該当する実習先の責任者等の承認を得たうえで、学生課にメールで相談をすること。なお、理由によっては欠席を大学として認められない場合がある。

※卒後の初期臨床研修のための、いわゆる「マッチング」に係る欠席については、その理由が採用試験の受験であって、かつ根拠となる書類を添えて書面で届け出たうえ、真にやむを得ないと認められた場合に限って認める。「マッチング」に係る欠席であっても、その理由が病院見学や採用説明会等への参加である場合は、欠席を認めない。このルールを破った場合は進級できず、留年となる。

ⅱ）承認が得られれば、「臨床／臨地実習欠席届（別紙６）」に欠席理由を証明できる書類を添付して学外臨床実習反省会の日までに学生課学部教育支援係へ提出。

④共用試験臨床実習後OSCE

A．Post-CC OSCE 対策実習

●突発的な事情等により、やむを得ず欠席する場合（病気・忌引き）

別途通知します。

●病気・忌引き以外の理由（採用試験等）での欠席を希望する場合

別途通知します。

B．Post-CC OSCE（臨床実習後 OSCE）

全員受験必須とし、合格することを卒業試験の受験資格とする。なお、追試験は以下の理由で欠席した学生のみ受験可能。また、本試験で不合格となった学生には再試験を課すが、追試験の再試験は実施しない。

やむを得ず欠席する場合は、別途配付する「Post-CC OSCE大学独自実施マニュアル」を参照して必要な手続きを取ること。

●追試験対象となる理由

1．学校感染症

2．病気

3．忌引き

4．その他機構と協議の上、正当な理由と認められたもの

臨床実習における欠席の取扱い

理由 時期	病気 忌引き	病院見学 採用説明会	採用試験	西医体	その他
Ⅰ部 オリエンテーション	●	×	—	—	△
Ⅱ部 学内臨床実習	○	△（※）	—	×	△
Ⅲ部 学外臨床実習	●	×	●	—	△
共用試験 Post-CC OSCE	□	×	□	—	△

【凡例】
「●」：１日でも欠席する場合は欠席理由に応じた添付書類が必須。
「○」：２日以上連続で欠席する場合は欠席理由に応じた添付書類の提出が必須。
「□」：欠席する場合は欠席理由に応じた添付書類の提出が必須。
「△」：該当する実習先に応じた責任者等からの承認が必須。
「×」：認められない。ルールを破った場合は進級できず、留年となる。
【備考】
・いずれの場合においても、臨床実習を１日でも欠席する場合は欠席届の提出は必須。
・学生課への欠席連絡は第Ⅰ部のみ電話連絡、それ以外はメール連絡。
・Post-CC OSCE対策実習に係る欠席の取扱いは別途通知する。
・（※）長期休暇を活用するなどして、なるべく実習期間を避けるように努めること。

診療科・部等　連絡先一覧

診療科・部等	電話番号	診療科・部等	電話番号
循環器内科	077-548-2213	眼科	077-548-2276
呼吸器内科	077-548-2212	麻酔科・ペインクリニック科	077-548-2281
消化器・血液内科	077-548-2217	放射線科	077-548-2288
糖尿病内分泌・腎臓内科	077-548-2222	歯科口腔外科	077-548-2354
脳神経内科（基本はメールで）	077-548-2160	形成外科	077-548-2425
小児科	077-548-2228	検査部、病理部・病理診断科、輸血部	077-548-2600
精神科	077-548-2291	救急・集中治療部、家庭医療演習	077-548-2929
皮膚科	077-548-2233	腫瘍内科・腫瘍センター	077-548-2962
消化器・乳腺・小児・一般外科	077-548-2238	薬剤部	077-548-2681
心臓血管・呼吸器外科	077-548-2244	医療安全管理部	077-548-2350
整形外科	077-548-2252	リハビリテーション科・部	077-548-2670
脳神経外科	077-548-2257	血液浄化部	077-548-2223
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	077-548-2261	栄養治療部	077-548-2518
母子診療科・女性診療科	077-548-2267	医師臨床教育センター	077-548-2482
泌尿器科	077-548-2273	学生課学部教育支援係	077-548-2068

＊地域医療教育研究拠点の３病院及び診療所実習については当該施設へ連絡のこと。

7．台風等（非常時）における臨床実習の取扱い

台風等、非常時の場合の原則を次のように定める。

1）特別警報又は暴風警報が発せられた場合

滋賀県南部に特別警報又は暴風警報（以下警報という）が発令された場合は、臨床実習を休止する。ただし、午前６時までに警報が解除された場合は、当日の午前から平常どおり臨床実習を実施する。また、午前10時までに警報が解除された場合は、当日の午後から臨床実習を実施する。午前10時を過ぎても警報が解除されない場合は、当日の臨床実習をすべて休止する。

2）交通機関が運休した場合

JR西日本・琵琶湖線が災害等により全面運休した場合及び同線が運行している場合においても京都以西の全ての交通機関が運休した場合は、臨床実習を休止する。

ただし、午前６時までに交通機関が運行された場合は、当日の午前から平常通り臨床実習を実施する。また、午前10時までに交通機関が運行された場合は、当日の午後から臨床実習を実施する。午前10時を過ぎても交通機関が運行されない場合は、当日の臨床実習をすべて休止する。

3）臨床実習中の学外施設訪問時の取扱い

台風等（非常時）の災害時の実習への対応、および訪問途上における事故、災害等については、実習（訪問）先の指導医と相談のうえ、帰学、一時待機、宿泊等を決定し、「災害・事件・事故等の危機管理体制（学生用）」（p.241参照）により大学に連絡すること。

4）その他

上記の他、緊急時等のやむを得ない場合は、学長の判断により措置する。なお、休止となった臨床実習の取扱いについては、別途通知する。

8．病院での行動について

1）接遇とは

接遇とは、社会や会社、病院、学校などで守らなければならないマナーやルールです。挨拶の方法、電話の受取り方、話し方から廊下の歩き方、身なり（服装）まで、ありとあらゆるマナーがあります。

2）PHS／タブレット端末使用時の注意点

・会議中はマナーモードにすること。
・病院内でタブレット端末やスマートフォン等を使用する場合は、医療機器等への影響を考慮して機内モード等に設定し、通信は控えること。また、歩きながら電話やタブレット操作はしないこと。
・患者さんの前での利用は控えること。
・学外臨床実習等の附属病院外での実習においては、タブレット端末等の使用について、必ず各実習先の指導医に確認すること。

3）病院内通行ルールについて

・病院内の通行は原則左側通行です。
・職員の病院内通行は患者さん優先を基本とし、患者さんの歩行に注意しつつ左側を通行してください。
・また、病院のエレベータは患者さん優先であり、低層階への移動は可能な限り階段を使用してください。

（別紙１）

診療参加型臨床実習に関する

学生の確認書

滋賀医科大学長　殿

私は、医学部医学科第４学年、第５学年及び第６学年配当の「臨床実習」の履修に際して、あらかじめ以下の内容を十分に理解のうえ同意いたしましたので、ここに署名いたします。

記

（※確認後は✓を付すこと。）

確認チェック欄

1．私は、診療参加型臨床実習（以下、実習）について、事前のオリエンテーションにおいて十分な説明を受けました。 □

2．私は、自己の健康管理に十分留意し、常時、心身の調子を整え、実習を行う能力が損なわれることのないよう努力する責任があることを知っています。 □

3．私は、医行為は臨床実習医学生（スチューデント・ドクター）として単独の自己判断で行わず、必ず指導医の指導と監督のもとに実習を行うことを知っています。 □

4．私は、静脈採血の実習等において、検者のみならず被検者にもなりうることを知っています。 □

5．私は、患者、被検者および被解剖屍等の保有する病原体が、患者、被検者および被解剖屍等の血液、排泄物および分泌物等を介して、実習参加者へ感染する危険性およびその予防法等を知っています。 □

6．私は、実習の過程において、病棟の管理規則ならびに指導医または病棟職員等による指導に従い、関係者の感染防止を含めた医療安全の確保や事故の防止のために常に注意を払い、予防と防止のための行動をとる必要性を知っています。 □

7．私は、患者・入所者・利用者等の個人情報の保護に関する規則等を遵守し、実習中のみならず実習終了後も、実習に際して知り得た患者・入所者・利用者等の個人情報を他に漏らすことのないよう、取り扱い及び管理に、常に十分な注意を払います。また、自らの実習内容に関係のない情報を閲覧することも決していたしません。 □

8．私は、実習の実施に伴う危険性と留意すべき事項について理解し、納得したうえで実習に参加します。 □

9．私は、署名に先立って、この確認書の内容を十分理解し、同意しました。 □

（西暦）　　年　　月　　日

滋賀医科大学医学部医学科

学籍番号　　氏名（署名）

（2020.3版）

（別紙２）

医行為水準レベルⅠに該当する診療行為

診療の基本	• 御病気のお話を伺う医療面接 • 身体診察（侵襲性の高いものは含みません） • 診療チームの一員として、患者さんの経過などを診療チーム内で報告し、診断や治療計画の立案の会議へ参加する • 体位の交換、ベッド移動や検査/手術室などへの移送の補助 • 診療録（カルテ）の作成
検査手技	• 採取した血液や尿を用いた検査（妊娠反応検査や血液型判定検査を含む） • 微生物学的（皆様から採取した血液、尿、痰、便などに細菌やウイルス、寄生虫がいないかを調べる）検査 • 脳波検査 • 心臓及び腹部の超音波検査 • 視力や視野の検査 • 聴力や平衡検査 • 12誘導心電図検査や、経皮的酸素飽和度モニターの装着
診療の必要に応じて行われる手技	• 皮膚の消毒・ガーゼ交換、 • 外用薬の貼付、塗布 • 静脈採血および点滴（小児を除く） • 注射（皮下注射、皮内注射、筋肉注射、静脈内注射）（小児を除く） • 気道内の痰などの吸引、ネブライザーの使用 • 胃管の挿入、尿道カテーテルの挿入および抜去 • 術前の手洗い、清潔な手術用ガウンの着用等、然るべき準備の後の手術における清潔操作と補助 • 縫合、抜糸 • 基本的な産婦人科診療 • 耳鏡、鼻鏡、眼底鏡 • 一次救命処置（呼吸が止まり、心臓も動いていないと見られる人が眼前にいた場合に行う特殊な器具や医薬品を使わない救命処置） • 基本的な麻酔科診療（侵襲性の高いものは含みません）

（別紙３）

医行為水準レベルⅡに該当する診療行為一覧

※医行為水準レベルⅡに該当する診療行為は、指導に値する能力があると指導医が判断した学生で、かつ、患者さんからの同意が得られた場合のみ介助をすることが可能である。また、下記表に掲載のない診療科･部においては、基本的に医行為水準レベルⅡに該当する診療行為の介助を行うことはできない。

	実施可能な診療科 ＼ 介助・見学が可能な医行為	循環器内科	呼吸器内科	消化器内科	血液内科	糖尿病・内分泌内科	腎臓内科・血液浄化部	脳神経内科	小児科	精神科	皮膚科	消化器・乳腺・小児・一般外科	心臓血管外科	呼吸器外科	脳神経外科	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	母子診療科・女性診療科	泌尿器科	麻酔科・ペインクリニック	放射線科	歯科口腔外部	形成外科	救急・集中治療部・総合診療部	腫瘍内科・腫瘍センター
一般手技	中心静脈カテ挿入	○	○	○					○				○						○				○	
	動脈採血・ライン確保	○	○						○			○	○						○				○	○
	腰椎穿刺								○						○				○				○	
	膀胱洗浄	○																○					○	
	ドレーン挿入・抜去（※１）		○								○	○	○	○	○	○	○					○	○	
	全身麻酔								○										○		○			
	局所麻酔	○	○	○	○	○	○		○		○		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
	輸血	○	○	○	○	○	○		○		○		○				○		○				○	○
	静脈採血（小児）								○														○	
	静脈路確保（小児）								○														○	
	注射（皮下注射、皮内注射、筋肉注射、静脈内注射）（小児）								○															
	新生児・乳児に対するミルク授乳								○								○							
	各種診断書・検案書・証明書の作成								○				○							○			○	
外科手技	手術、術前・術中・術後管理（※２）										○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
検査手技	脳波検査(判読)							○	○	○														
	脳血管造影検査（介助）														○									
	超音波検査（判読）	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○			○		○	○	○		○	○	○
	単純X線撮影（介助）		○			○	○	○	○		○		○	○			○		○	○			○	
	RI（介助）		○			○	○	○	○								○			○			○	
	MRI（介助）		○			○	○	○	○								○			○			○	
	核医学		○			○	○		○											○				
	嚢胞穿刺（体表）																						○	
	膿瘍穿刺（体表）										○						○					○	○	
	腎生検の介助						○		○															
	内視鏡手技の介助		○	○																				
	ホルモン・薬物負荷試験の介助					○			○															
救急	人工呼吸など救命治療(二次救命処置等)（※３）												○						○				○	
	救急病態の初期治療								○				○				○		○			○	○	
	外傷処置										○						○				○	○	○	

（※１）「消化器外科」は、抜去のみ。
（※２）「消化器外科」は、電気メスによる組織切離・剥離、皮膚切開、自動縫合器を用いたfiring操作、縫合・結紮。
「母子・女性診療科」は、産科・婦人科手術の補助または、産婦人科手術の補助。
（※３）高度な気道確保器具を用いたもの。

（別紙４）

臨床実習評価システムに関して

1 ログイン

1．まるっと滋賀医大 → 教育 → 教育Webツール →「5 臨床実習評価システム」
URL　https://m.pocket9.net/sgi/?m=pc

2．下記のログイン画面が表示されたら、ユーザー名（学籍番号）・パスワード（別途通知）を入力してログインして下さい。

なお、以下の診療科・部等は紙の臨床実習評価表での運用になりますので注意して下さい。

・地域医療教育研究拠点（東近江総合医療センター・JCHO滋賀病院・公立甲賀病院）
・家庭医療演習

※紙の臨床実習評価表は、事前にWebClassの臨床実習用コースからダウンロードし、自己評価を記入のうえ、該当実習先の担当者に渡して下さい。

2 パスワード変更

1．トップページが表示されます。
2．画面左上の「パスワード変更」ボタンを押下して下さい。
3．パスワード変更画面へ移動します。
4．パスワードを入力後、「再発行」ボタンを押下して下さい。

なお、新しいパスワードは以下の条件を満たす必要があります。

・入力最小長：８文字
・入力最大長：30文字
・必須文字：英数文字
・入力許可文字：英文字、数字、記号
・ログインIDと同じものは使用不可

3 自己評価入力

1．自己評価する診療科・部等の「グループ番号」をクリックして下さい。
2．「評価」ボタンを押下すると評価入力画面へ移動します。
3．欠席（あれば）と自己評価（学生評価）を入力して下さい。
　アウトカム評価の項目数は診療科・部によって異なります。
4．入力した後は、必ず「一時保存」か「確定」ボタンを押下して下さい。
　・「一時保存」を押下した場合は、臨床実習評価表画面より、再度評価入力の画面を表示することができます。
　・「確定」を押下した場合は、臨床実習評価表画面から、再度評価入力の画面へ進むことはできません。「閲覧」ボタンより入力内容の確認のみ可能となります。

※実習終了後、３日以内に入力してください。（診療科・部等から指示がある場合は、その指示に従ってください。）なお、学生の自己評価入力が完了しないと指導教員は評価入力ができません。）

4 最終評価確認

・指導教員による評価入力完了後、最終評価の「閲覧」と「Excel出力」が可能になります。
・補講の有無を必ず確認して下さい。

5 ログアウト

操作終了後は、画面右上の「ログアウト」ボタンをクリックして下さい。

■問合せ先：学生課学部教育支援係

2021.10

臨床実習評価表

実習先：　　実習期間：　　年　　月　　日 ～　　年　　月　　日

指導教員：　　責任者：

学籍番号・学生氏名：　　グループ番号：

1：出欠・補講状況

欠席日数	補講日数

2：概略評価（総括的）

	秀	優	良	可	不可	評価不能
概略評価	5	4	3	2	1	0

※5（秀）～2（可）は該当診療科等の臨床実習を合格したとし、1（不可）および0（全欠席）は補講後に再度評価します。
※概略評価は進級判定に用います。

【コメント欄】※概略評価が「不可」の場合は必ず記入をお願いします。

3：アウトカム評価（形成的）

	アウトカム評価	自己評価 ＼ 教員評価 S	A	B	C	D	N/A
1	患者に対して深い敬意と思いやりを示し、患者背景に配慮した全人的医療を実践できる。（A-8）	□／□	□／□	□／□	□／□	□／□	□／□
2	患者の病歴聴取を正確に実施できる。（C-1）	□／□	□／□	□／□	□／□	□／□	□／□
3	患者の身体診察を適切に実施できる。（C-2）	□／□	□／□	□／□	□／□	□／□	□／□
4	基本的臨床手技や救急処置を適切かつ安全に実施できる。（C-3）	□／□	□／□	□／□	□／□	□／□	□／□
5	診断計画を立案し実施することができる。（C-4）	□／□	□／□	□／□	□／□	□／□	□／□
6	適切な治療計画を立案し、治療に参加できる。（C-5）	□／□	□／□	□／□	□／□	□／□	□／□
7	インフォームドコンセントや患者教育に参加できる。（A-6）	□／□	□／□	□／□	□／□	□／□	□／□
8	自らが担当する患者の医療文書や診療録を作成できる。（C-6）	□／□	□／□	□／□	□／□	□／□	□／□
9	自らが担当する患者についてプレゼンテーションができる。（D-4）	□／□	□／□	□／□	□／□	□／□	□／□
10	医療安全を適切に管理できる。（E-1）	□／□	□／□	□／□	□／□	□／□	□／□
11	感染対策を適切に実施できる。（E-2）	□／□	□／□	□／□	□／□	□／□	□／□
12	関連情報を分析し、EBMを実践することができる。（C-7）	□／□	□／□	□／□	□／□	□／□	□／□

※アウトカム評価は、進級判定に用いない。
※S＝専門医レベル、A＝後期研修医レベル、B＝初期研修医レベル、C＝臨床実習終了時レベル、D＝臨床実習前レベル

提出先：学生課学部教育支援係（2068・2069・2065）
提出期限：実習終了後1週間以内

（別紙５）

アウトカム達成レベル

			S （専門医レベル）	A （後期研修医レベル）	B （初期研修医レベル）	C （臨床実習終了時レベル）	D （臨床実習前レベル）	備　考
1	A-8	患者に対して深い敬意と思いやりを示し、患者背景に配慮した全人的医療を実践できる。	健康問題を多面的に検討し、必要とされるチーム医療・地域医療においてリーダーシップを発揮できる。	健康問題を多面的に検討し、個々の患者に合った総合的な医療を立案かつ実践できる。	健康問題を生物学・心理・社会・倫理的な諸側面から多面的に検討し、その解決策を提案できる。	挨拶・自己紹介を含め、適切な姿勢および共感的態度で患者に接することができる。	患者に対する敬意や思いやりに欠け、自己本位の態度でしか患者に接することができない。	
2	C-1	患者の病歴聴取を正確に実施できる。	探索的な病歴聴取から仮説を立て、その検証に必要な健康情報を追加収集できる。さらに、情報収集の困難な症例からも十分な病歴聴取ができる。	正確な健康情報[1]を収集するために、探索的な病歴聴取を円滑かつ漏れなく実施[2]できる。	正確な健康情報[1]を収集するために、経過の要約や確認を交えながら探索的な病歴聴取を円滑に実施できる。	正確な健康情報[1]を収集するために、経過の要約や確認を交えながら探索的な病歴聴取を実施できる。	十分な病歴聴取を実施できず、正確な健康情報[1]を収集できない。	[1]症状の必須７項目（部位、性状、程度、経過、状況、増悪寛解因子、随伴症状） [2]例えば、Systems review等を活用する。
3	C-2	患者の身体診察を適切に実施できる。	習熟した手技で、診断に必要な全ての身体診察の所見を精度高く収集することができる。	診断に必要な全ての身体診察の所見を円滑に収集することができる。	基本的な身体診察の所見をもとに、必要な身体診察を追加することができる。	基本的な身体診察を実施し、正確な所見を述べることができる。	基本的な身体診察において正確な所見を述べることができない。	病歴聴取で収集した情報から妥当と考えられる身体診察が求められる。
4	C-3	基本的臨床手技や救急処置を適切かつ安全に実施できる。	常に正確かつ効果的な手技や処置を安全かつ円滑に実施できる。	サポートなしでも、正確かつ効果的な手技や処置を一通り安全に実施できる。	少しのサポートにより、正確かつ効果的な手技や処置を安全に実施できる。	十分なサポートを要するが、基本的な手技や処置を安全に実施できる。	サポートによっても基本的な手技や処置が安全に実施できない。	
5	C-4	診断計画を立案し実施することができる。	鑑別診断に必要な診断計画をエビデンスに基づき効率的に立案でき、結果を速やかに正確に解釈できる。	的確な臨床推論に基づいた鑑別診断に対して必要な診断計画をエビデンスに基づき立案でき、結果を正確に解釈できる。	的確な臨床推論に基づいた鑑別診断に対して必要な診断計画を漏れなく立案でき、結果を概ね解釈できる。	的確な臨床推論に基づいた鑑別診断に対して必要な診断計画を概ね立案でき、結果から問題点を指摘することができる。	的確な臨床推論に基づいた鑑別診断に対して必要な診断計画を立案できず、検査結果から問題点を抽出できない。	
6	C-5	適切な治療計画を立案し、治療に参加できる。	エビデンスに基づいた治療計画を立案できるとともに、治療を実践できる。また治療に伴う合併症に対する予防策ならびに適切な対応を講ずることができる。	エビデンスに基づいた治療計画を立案できるとともに、治療を実践できる。また治療に伴う合併症を予測することができる。	プロブレムごとの治療法を列挙し、治療計画を漏れなく立案できる。また治療に参加できる。	プロブレムごとに治療法を列挙し、治療計画を概ね立案できる。また治療に参加できる。	プロブレムごとの治療法の列挙や治療計画の立案ができない。	
7	A-6	インフォームドコンセントや患者教育に参加できる。	自己決定に基づいた同意の取得や、健康問題に対する行動変容をもたらすような、わかりやすく正確な説明ができる。	同意取得ならびに患者教育に際し、患者に容易に理解してもらえるような、わかりやすく正確な説明ができる。	同意取得ならびに患者教育に際し、提示すべき情報を、概ね正確に説明ができる。	同意取得ならびに患者教育の場に参加する姿勢を持ち、実際に参加できる。	同意取得ならびに患者教育の場に参加する姿勢を持たず、実際に参加できない。	
8	C-6	自らが担当する患者の医療文書や診療録を作成できる。	生涯学習を念頭に、振り返りに堪えうる構造化された診療録[3]や医療文書を正確な用語・表現を用いて簡潔に記載できる。	第三者が直ちに理解可能な構造化された診療録[3]や医療文書を正確な用語・表現を用いて簡潔に記載できる。	構造化された診療録[3]や医療文書を、必要な情報を漏れなく正確な用語・表現を用いて記載できる。	概ね構造化された診療録[3]や医療文書を、正確な用語・表現を用いて記載できる。	診療録や医療文書を診療後速やかに記載できない。	[3]POMRなど
9	D-4	自らが担当する患者についてプレゼンテーションができる。	十分な病態把握と評価のもと、エビデンスを交えた簡潔なプレゼンテーションならびに様々な質問に対する的確な回答ができる。	十分な病態把握と評価のもと、簡潔なプレゼンテーションならびに質問に対する的確な回答ができる。	最低限の病態把握と評価のもと、プレゼンテーションならびに質問に対する回答ができる。	病態把握と評価が十分とはいえず、初歩的であるものの、一通りのプレゼンテーションならびに基本的な質問に対する回答ができる。	病態理解が乏しく、必要最低限のプレゼンテーションならびに基本的な質問への回答ができない。	
10	E-1	医療安全を適切に管理できる。	医療安全に高い認識を持ち、周囲のスタッフに指導することができる。	医療安全マニュアル等を遵守した行動が自立して確実に実践できる。	医療安全マニュアル等を遵守した行動が概ね一人で実践できる。	医療安全マニュアル等を遵守した行動が指導のもとに実践できる。	医療安全マニュアル等に基づいた行動が実践できない。	
11	E-2	感染対策を適切に実施できる。	感染対策に高い認識を持ち、周囲のスタッフに指導することができる。	感染予防対策マニュアル等を遵守した行動が自立して確実に実践できる。	感染予防対策マニュアル等を遵守した行動が概ね一人で実践できる。	感染予防対策マニュアル等を遵守した行動が指導のもとに実践できる。	感染予防対策マニュアル等に基づいた行動が実践できない。	
12	C-7	関連情報を分析し、EBMを実施することができる。	批判的吟味したエビデンスレベルの高い医学情報を患者診療に活用することができ、さらに結果の評価を行うことができる。	エビデンスレベルの高い医学情報を抽出し批判的吟味のもと、患者診療に活用することができる。	エビデンスレベルの高い医学情報を抽出し、患者診療に活用することができる。	適切な成書やガイドラインなどを用いて、患者診療に活用することができる。	適切な成書やガイドラインなどを、患者診療に活用していない。	

（別紙６）

年　　月　　日

滋賀医科大学長　　殿

滋賀医科大学医学部

医学科・看護学科　　第　　学年

学　籍　番　号

氏　　名

実習中の診療科
施設・科目等

臨床／臨地実習欠席届

臨床／臨地実習を、下記のとおり欠席させていただきたく、お届けします。

記

欠　席　日　：　　年　　月　　日（　　）から

　　年　　月　　日（　　）まで

欠席の事由　：

添付書類　：

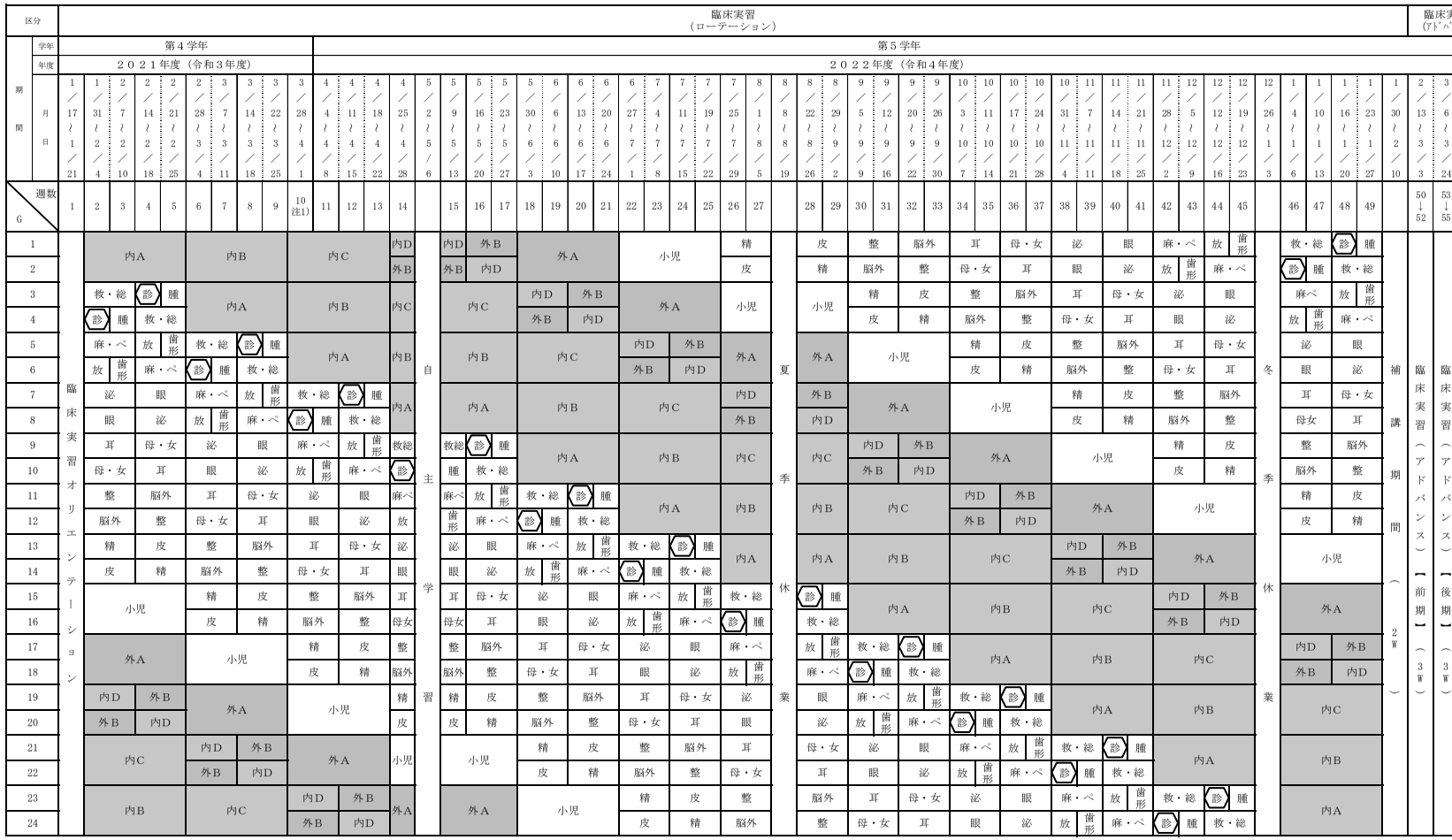
※添付書類の例：傷　病 … 受診したことが確認できる書類（診断書、領収書等）
忌引き … 会葬御礼のはがき等

※学生課記入欄
受取： 書類：

責任者等承認
㊞又は サイン

（2018.10改定）

Ⅲ　2022年度（第44期生）臨床実習ローテーション表



注　1）2022年4月1日（金）は健康診断（予定）のため、臨床実習は休みとする。
　　2）「内A」は、循環器内科、呼吸器内科、薬剤部を示す。
　　3）「内B」は、消化器内科、血液内科、栄養治療部を示す。
　　4）「内C」は、糖尿病内分泌内科、腎臓内科、血液浄化部を示す。
　　5）「内D」は、脳神経内科を示す。
　　6）「外A」は、消化器外科、乳腺・小児・一般外科、検査部、医療安全管理部を示す。
　　7）「外B」は、心臓血管外科、呼吸器外科を示す。
　　8）（診）は、診療所実習を示す。
　　9）「救・総」は、家庭医療演習を含む。
　　10）「小児科」は、医師臨床教育センターを含む。
　　11）「整形外科」は、リハビリテーション科・部を含む。
　　12）「国民の祝日に関する法律に規定する休日」は休みとする。ただし、学内行事のための休校日は臨床実習を行う。
　　13）2023年1月30日～2月10日及び2023年3月27日～3月29日の間に、休講等があった場合の補講を実施することがある。
　　14）2023年4月3日・4日の平日いずれか１日で、第６学年定期健康診断を実施する（予定）。
　　15）2023年7月3日に、学外臨床実習の反省会を実施する。
　　16）Post-CC OSCE予備日（延期・やり直し試験）は本試験が悪天候や不正行為等の理由により延期・中止された場合に実施する。
　　17）2023年度以降のスケジュールは、変更される場合があるので注意すること。

キャリアセミナー（必修）
（※第２回及び第３回の日程は、変更することがある。）

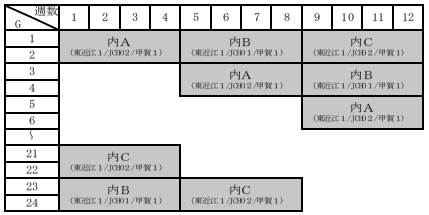
担当：医師臨床教育センター
【第１回】2022年 1月 17日（月）
【第２回】2023年 1月 27日（金）
【第３回】2023年 7月　3日（月）

※詳細は、別途通知する。
※第２回は、各科・部等での臨床実習を15：00まで（予定）に終了し、実施する。

《内科A,B,C詳細》　※「１グループ＝５人」と仮定

● 内A、内B、内Cをローテーションする各10～11名のうち、3～4名は地域医療教育研究拠点（東近江総合医療センター、JCHO滋賀病院、公立甲賀病院）において実習を実施する。
なお、１人１回はいずれかの拠点において必ず実習を行うこと。

● 地域医療教育研究拠点において実習を実施する学生の選抜については、学生の諸事情（興味関心、家庭環境等）を鑑み、該当する２グループごとに学生間で実習先を調整のうえ別途指定する期日までに学生課学部教育支援係に報告することとする。なお、学生間での調整が難しい場合は、該当グループ全員の合意の下に大学において抽選を実施することができる。



Ⅳ　臨床実習グループ別表

V　第44期生　臨床実習Ⅰ部　オリエンテーション

日　程	時　間	講義室	内　容（表　題　・　講　師）	対象学生
令和４年 １月17日 （月）	10：00～10：30	臨床 講義室３	スチューデント・ドクター認定式 （認定証授与、学長・医学科長・病院長の挨拶、 代表学生決意表明等）	医学部医学科 第４学年学生 （第44期生）
	10：40～10：50		①学年担当教員からの挨拶等 【臨床研究開発センター　教授　久津見 弘】 【外科学講座（心臓血管外科）　教授　鈴木 友彰】	
	10：50～11：50		②臨床実習開始にあたっての諸注意・連絡事項等 【医学･看護学教育センター　教授　伊藤 俊之／学生課】	
	13：00～13：30		③キャリアセミナー（第１回「臨床実習と卒後臨床研修制度」） 【医師臨床教育センター　センター長　川崎 拓】	
	13：30～15：00		④一般人からみた医療現場における接遇のあり方 【YFA office　岩田 雅子】	
１月18日 （火）	10：00～10：30	臨床 講義室３	⑤病院長講義 【理事（医療等担当）・病院長　田中 俊宏】	〃
	10：30～11：00		⑥診療所実習参加に係る注意事項・事務手続きについて 【医学・看護学教育センター　教授　伊藤 俊之／ 学生課学部教育支援係】	
	11：00～11：30		⑦医学文献の探し方（PubMed・医中誌Web） 【情報課利用支援係　図書系職員】	
	11：30～12：00		⑧地域医療機能推進機構（JCHO）滋賀病院での実習について 【JCHO滋賀病院　総合診療科部長　中島 滋美】	
１月19日 （水）	10：00～11：50	臨床 講義室３	⑨臨床実習における感染対策 【感染制御部　副部長・病院講師　大澤 真】	〃
	13：00～13：50		⑩医療安全管理 【医療安全管理部　部長・教授　清水 智治】	
	14：00～14：30		⑪国立病院機構（NHO）東近江総合医療センターでの実習について 【NHO東近江総合医療センター　総合内科部長 （本学総合内科学講座　教授）　杉本 俊郎】	
１月20日 （木）	10：00～10：30	臨床 講義室３	⑫公立甲賀病院での実習について 【公立甲賀病院　院長　辻川 知之】	〃
	10：30～11：20		⑬手術部からの注意事項 【手術部　副部長・助教　福島 豊】	
	11：20～11：50		⑭セキュリティと患者情報保護 【医療情報部　部長　芦原 貴司】	
	11：50～12：10		⑮おわりに（「臨床実習に関する学生の確認書」への署名提出等） 【医学・看護学教育センター　教授　伊藤 俊之／ 学生課学部教育支援係】	
１月21日 （金）	９：00～15：00	臨床 講義室３	臨床研究と研究倫理 【臨床研究開発センター　教授　久津見 弘】	〃
	15：00～15：30		事務連絡 【学生課学部教育支援係・学生支援係】	
１月31日 （月）	臨床実習開始			
【予定】 ４月１日 （金）	午前・午後	保健管理 センター	定期健康診断	〃

※都合により、上記スケジュールが変更になる場合があります。

Ⅵ　臨床実習Ⅱ部
附属病院等の各科実習要綱

循環器内科、呼吸器内科

1. 担当教員

教　授　中川　義久
教　授　中野　恭幸
准教授　山口　将史
講　師　小澤　友哉
助　教　大澤　真（感染制御部）
助　教　酒井　　宏
助　教　塩山　　渉
助　教　黄瀬　大輔
助　教　林　　篤志
助　教　加藤　浩一
助　教　福山　　恵
助　教　仲川　宏昭
助　教　八木　典章
助　教　藤居　祐介
助　教　内田　泰樹
医　員　山﨑　晶夫
医　員　澤山　裕一
医　員　肥後　洋祐
医　員　角田　陽子
医　員　成宮　慶子
医　員　黒田　　凌
医　員　入山　朋子

2. ねらいと学修目標

ねらい	学修目標
【循環器】 ・実際の症例を通して循環器疾患の病態と、各種検査法や治療についての知識とそれを結びつけるプロセスを理解、習得する。 【呼吸器】 ・個々の呼吸器疾患を系統立てて整理し、病理学的変化・生理学的変化・生化学的変化やそれらの関連性を総合的に学び、呼吸器システムの種々の病態の全体像を理解することで呼吸器の臨床所見や種々の検査法で得られる情報のもつ意味を有機的に結びつけて診断するプロセスを学ぶ。	【循環器】 1 個々の症例の診断のために、どのような方法を選択すべきか基礎知識を習得する。 2 循環器診療法を習得する。 3 心電図、心エコー図検査、心音聴診法について基礎的技能を習得する。 4 心臓カテーテル検査を見学し、その適応・手技などにつき理解する。 5 心臓CT、MRI、心臓核医学検査について理解する。 6 冠動脈疾患、不整脈、心不全の病態生理について理解する。 【呼吸器】 1 呼吸器診療法を習得し、カルテ記載の練習を行う。 2 胸部X線写真読影の基礎を習得する。 3 CTなど、その他の画像診断法を理解する。 4 肺癌、COPD、間質性肺炎の病態を理解する。 5 気管支鏡検査を見学、体験しその適応・手技につき理解する。

3. 評価基準

各グループに毎日１～２人の指導教員が交代でつき、実習への参加態度、発表内容をもとに（１）総合評価を行う。さらに２週間を通して呼吸器・循環器疾患の患者を各ひとりずつ担当し、循環器の患者について病態等をまとめ、最終日に（２）レポートの提出をすること。呼吸器の患者については最終日に症例プレゼンテーションを行ってもらい、そこでのパフォーマンスを以ってレポート提出と見なす。一番重視されるのは（３）出席率及びパフォーマンス。

4．臨床実習のユニット内容

1・2週目は循環器内科（3D病棟）、3・4週目は呼吸器内科（3C病棟）にて実習を行う。月曜日、あるいはその他の曜日が祝日の場合、弾力的に時間割は変更され、極力同一カリキュラムをこなすことになる。

第1週目　循環器内科

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	8:00～9:00	3D病棟カンファレンス室	循環器 Morning Report	朝カンファ（入院カンファ）	教官・研修医に紹介・スケジュール説明	入院患者 臨床実習時間割表	10	総合	担当教員
	9:00～10:00	3D病棟カンファレンス室	循環器 講義	レクチャー	講義	入院患者	1	同上	中川教授
	10:00～11:30	カテ室	循環器 カテ室見学	カテ室見学	手技見学	入院患者	1	同上	肥後・澤山
	11:30～12:00	3D病棟カンファレンス室	循環器 病棟実習	担当患者紹介	実習	入院患者	1	同上	担当教員
	13:00～14:00	3D病棟カンファレンス室	循環器 病棟実習	実習オリエンテーション	症例呈示・検討	資料	1	同上	加藤
	14:00～	3D病棟カンファレンス室	循環器 講義	心臓エコーについて	講義	パワーポイント他	1	同上	林
火	8:00～8:30	3D病棟カンファレンス室	循環器 Morning Report	朝レクチャー	症例呈示・検討	入院患者	1	同上	小澤
	8:30～10:00	3D病棟カンファレンス室	循環器 回診実習	朝カンファ カルテ回診（多職種参加）	症例呈示・検討	入院患者	10	同上	病棟医長 他
	10:00～11:00	3D病棟カンファレンス室	循環器 講義	レクチャー	講義	パワーポイント他	1	同上	中川教授
	11:00～12:00	3D病棟カンファレンス室	循環器 病棟実習	担当患者紹介	実習	入院患者	1	同上	八木
	13:00～14:00	3D病棟カンファレンス室	循環器 講義	COVID19について	講義	パワーポイント他	1	同上	酒井
	14:00～	3D病棟カンファレンス室	循環器 病棟実習	プレゼン準備	能動実習	カルテ	1	同上	担当教員
水	8:00～9:00	3D病棟カンファレンス室	循環器 Morning Report	朝カンファ（入院カンファ）	症例呈示・検討	入院患者	10	同上	病棟医長 他
	9:00～10:00	3D病棟カンファレンス室	循環器 講義	レクチャー	講義	パワーポイント他	1	同上	中川教授
	10:00～11:30	カテ室	循環器 カテ・TAVI見学	心カテ見学 TAVI見学	手技見学	入院患者	1 1	同上 同上	加藤 酒井
	11:30～12:00	3D病棟カンファレンス室	循環器 病棟実習	担当患者紹介	実習	入院患者	1	同上	担当教員
	13:00～14:00	3D病棟カンファレンス室	循環器 講義	心カテ全般	講義	資料	1	同上	福山
	14:00～	3D病棟カンファレンス室	循環器 病棟実習	プレゼン準備	能動実習	カルテ	1	同上	担当教員
木	8:00～9:00	3D病棟カンファレンス室	循環器 Morning Report	朝カンファ（入院カンファ）	症例呈示・検討	入院患者	10	同上	病棟医長 他
	9:00～10:00	3D病棟カンファレンス室	循環器 病棟実習	心電図の記録法	実習	心電図計	1	同上	藤居
	11:00～12:00	3D病棟カンファレンス室	循環器 講義	冠動脈治療	講義	入院患者	1	同上	浅田
	13:00～14:00	3D病棟カンファレンス室	循環器 講義	レクチャー	講義	入院患者	1	同上	肥後

	14:00～	3D病棟カンファレンス室	循環器 病棟実習	レポート作成 プレゼン準備	能動実習	カルテ	1	同上	各担当医
金	8:00～ 9:00	3D病棟カンファレンス室	循環器 Morning Report	朝カンファ 入院カンファ	症例呈示・検討	入院患者	10	同上	病棟医長 他
	9:00～ 10:00	3D病棟カンファレンス室	循環器 講義	レクチャー	講義	入院患者	1	同上	中川教授
	10:00～ 11:00	3D病棟カンファレンス室	循環器 講義	レクチャー	講義	入院患者	1	同上	塩山
	13:00～ 14:00	3D病棟カンファレンス室	循環器 講義	心臓の解剖	講義	CT画像	1	同上	加藤

第２週目　循環器内科

曜日	時間	室名	ユニット	目的	方法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	8:00～ 9:00	3D病棟カンファレンス室	循環器 Morning Report	朝カンファ （入院カンファ）	教官・研修医に紹介・スケジュール説明	入院患者 臨床実習時間割表	10	総合	担当教員
	9:00～ 10:00	3D病棟カンファレンス室	循環器 講義	レクチャー	講義	入院患者	1	同上	中川教授
	10:00～ 11:30	カテ室	循環器 カテ室見学	カテ室見学	手技見学	入院患者	1	同上	肥後・澤山
	11:30～ 12:00	3D病棟カンファレンス室	循環器 病棟実習	担当患者紹介	実習	入院患者	1	同上	担当教員
	13:00～ 14:00	3D病棟カンファレンス室	循環器 病棟実習	実習オリエンテーション	症例呈示・検討	資料	1	同上	加藤
	14:00～	3D病棟カンファレンス室	循環器 講義	心臓エコーについて	講義	パワーポイント他	1	同上	林
火	8:00～ 8:30	3D病棟カンファレンス室	循環器 Morning Report	朝レクチャー	症例呈示・検討	入院患者	1	同上	小澤
	8:30～ 10:00	3D病棟カンファレンス室	循環器 回診実習	朝カンファ カルテ回診 （多職種参加）	症例呈示・検討	入院患者	10	同上	病棟医長 他
	10:00～ 11:00	3D病棟カンファレンス室	循環器 講義	レクチャー	講義	パワーポイント他	1	同上	中川教授
	11:00～ 12:00	3D病棟カンファレンス室	循環器 病棟実習	担当患者紹介	症例呈示・検討	入院患者	1	同上	八木
	13:00～ 14:00	3D病棟カンファレンス室	循環器 講義	COVID19について	講義	パワーポイント他	1	同上	酒井
	14:00～	3D病棟カンファレンス室	循環器 病棟実習	プレゼン準備	能動実習	カルテ	1	同上	担当教員
水	8:00～ 9:00	3D病棟カンファレンス室	循環器 Morning Report	朝カンファ （入院カンファ）	症例呈示・検討	入院患者	10	同上	病棟医長 他
	9:00～ 10:00	3D病棟カンファレンス室	循環器 講義	レクチャー	講義	パワーポイント他	1	同上	中川教授
	10:00～ 11:30	カテ室	循環器 カテ・TAVI見学	心カテ見学 TAVI見学	手技見学	入院患者	1 1	同上 同上	加藤 酒井
	11:30～ 12:00	3D病棟カンファレンス室	循環器 病棟実習	担当患者紹介	実習	入院患者	1	同上	担当教員
	13:00～ 14:00	3D病棟カンファレンス室	循環器 講義	心カテ全般	講義	資料	1	同上	福山
	14:00～	3D病棟カンファレンス室	循環器 病棟実習	プレゼン準備	能動実習	カルテ	1	同上	担当教員
木	8:00～ 9:00	3D病棟カンファレンス室	循環器 Morning Report	朝カンファ （入院カンファ）	症例呈示・検討	入院患者	10	同上	病棟医長 他
	9:00～ 10:00	3D病棟カンファレンス室	循環器 病棟実習	心臓デバイス	実習	パワーポイント他	1	同上	藤居

	11:00～12:00	3D病棟カンファレンス室	循環器講義	冠動脈治療	講義	入院患者	1	同上	浅田
	13:00～14:00	3D病棟カンファレンス室	循環器講義	レクチャー	講義	入院患者	1	同上	肥後
	14:00～	3D病棟カンファレンス室	循環器病棟実習	レポート作成 プレゼン準備	能動実習	カルテ	1	同上	各担当医
金	8:00～9:00	3D病棟カンファレンス室	循環器Morning Report	朝カンファ 入院カンファ	症例呈示・検討	入院患者	10	同上	病棟医長 他
	9:00～10:00	3D病棟カンファレンス室	循環器講義	レクチャー	講義	入院患者	1	同上	中川教授
	10:00～11:00	3D病棟カンファレンス室	循環器講義	レクチャー	講義	入院患者	1	同上	塩山
	13:00～14:00	3D病棟カンファレンス室	循環器講義	CRTDとICD	講義	パワーポイント他	1	同上	加藤

第３週目　呼吸器内科

曜日	時間	室名	ユニット	目的	方法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	8:30～9:00	3C病棟カンファレンス室	呼吸器Morning Report	新患カンファレンス	症例呈示・検討	入院患者	4	総合	教員全員
	9:00～9:15	3C病棟カンファレンス室	呼吸器	オリエンテーション	症例呈示・検討	入院患者	1	同上	山口
	9:15～10:45	3C病棟カンファレンス室	呼吸器演習	胸部X線演習	症例呈示・検討	入院患者	1	同上	山口
	10:45～12:00	3C病棟カンファレンス室・3C病棟	呼吸器 呼吸器全体カンファレンス	カンファレンスに参加し、呼吸器内科的アプローチに触れる	症例呈示・検討	入院患者	4	同上	中野 病棟医長 他
	13:00～14:00	内視鏡検査室	呼吸器検査実習	気管支鏡を実際に操作し、気管支分岐について理解する	見学・実習	外来患者・入院患者	1	同上	山口
	14:00～	3C病棟カンファレンス室	呼吸器病棟実習	病棟診察・課題準備	見学・実習	入院患者	1	同上	担当教員
火	8:30～9:00	3C病棟カンファレンス室	呼吸器Morning Report	新患カンファレンス	症例呈示・検討	入院患者	4	同上	教員全員
	9:00～10:00	3C病棟カンファレンス室	呼吸器講義	肺癌	講義	パワーポイント資料	1	同上	黒田
	10:00～11:00	3C病棟カンファレンス室	呼吸器講義	COVID-19	講義	パワーポイント資料	1	同上	内田
	11:00～	3C病棟カンファレンス室	呼吸器病棟実習	病棟診察・課題準備	見学・実習	入院患者	1	同上	担当教員
水	8:30～9:00	3C病棟カンファレンス室	呼吸器Morning Report	新患カンファレンス	症例呈示・検討	入院患者	4	同上	教員全員
	9:00～10:00	3C病棟カンファレンス室	呼吸器講義	COPD	講義	パワーポイント資料	1	同上	黄瀬
	10:00～11:00	3C病棟カンファレンス室	呼吸器講義	抗酸菌感染症	講義	パワーポイント資料	1	同上	入山
	11:00～	3C病棟カンファレンス室	呼吸器病棟実習	病棟診察・課題準備	見学・実習	入院患者	1	同上	担当教員
木	8:30～9:00	3C病棟カンファレンス室	呼吸器Morning Report	新患カンファレンス	症例呈示・検討	入院患者	5	同上	教員全員
	9:00～10:00	3C病棟カンファレンス室	呼吸器講義	肺炎	講義	パワーポイント資料	1	同上	山口
	10:00～11:00	3C病棟カンファレンス室	呼吸器講義	呼吸器内科総論	講義	パワーポイント資料	1	同上	中野
	11:00～	3C病棟カンファレンス室	呼吸器病棟実習	病棟診察・課題準備	見学・実習	入院患者	1	同上	担当教員

金	8:30～9:00	3C病棟カンファレンス室	呼吸器 Morning Report	新患カンファレンス	症例呈示・検討	入院患者	5	同上	教員全員
	9:00～10:00	3C病棟カンファレンス室	呼吸器 講義	間質性肺炎・抗原病	講義	パワーポイント資料	1	同上	仲川
	10:00～	3C病棟カンファレンス室	呼吸器 病棟実習	病棟診察・課題準備	見学・実習	入院患者	1	同上	担当教員

第４週目　呼吸器内科

曜日	時間	室名	ユニット	目的	方法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	薬剤部実習（P.143参照）								
火									
水	8:30～9:00	3C病棟カンファレンス室	呼吸器 Morning Report	新患カンファレンス	症例呈示・検討	入院患者	4	同上	教員全員
	9:00～10:30	3C病棟カンファレンス室	呼吸器 演習	感染・細菌学	症例呈示・検討	外来患者・入院患者	1	同上	大澤
	10:45～11:45	内視鏡検査室	呼吸器 検査実習	気管支鏡を実際に操作し、気管支分岐について理解する	見学・実習	外来患者・入院患者	1	同上	黄瀬
	11:45～	3C病棟カンファレンス室	呼吸器 病棟実習	病棟診察・課題準備	見学・実習	入院患者	1	同上	担当教員
木	8:30～9:00	3C病棟カンファレンス室	呼吸器 Morning Report	新患カンファレンス	症例呈示・検討	入院患者	5	同上	教員全員
	9:00～10:00	3C病棟カンファレンス室	呼吸器 講義	喘息	講義	パワーポイント資料		同上	角田
	10:00～13:30	3C病棟カンファレンス室	呼吸器 病棟実習	病棟診察・課題準備	見学・実習	入院患者	1	同上	担当教員
	13:30～15:00	3C病棟カンファレンス室	呼吸器 発表	症例プレゼン	発表	パワーポイント資料	1	同上	山口
金	8:30～9:00	3C病棟カンファレンス室	呼吸器 Morning Report	新患カンファレンス	症例呈示・検討	入院患者	5	同上	教員全員
	9:00～10:00	3C病棟カンファレンス室	呼吸器 講義	酸素デバイス	講義	パワーポイント資料	1	同上	山﨑
	10:00～11:00	3C病棟カンファレンス室	呼吸器 講義	呼吸不全	講義	パワーポイント資料	1	同上	成宮
	11:00～	3C病棟カンファレンス室	呼吸器 病棟実習	病棟診察・課題準備	講義	パワーポイント資料	1	同上	担当教員

5 .集合場所・時間

【循環器内科】

午前７時50分に大学２階西側エレベーターホール前に集合。（COVID-19規制解除になるまで）

【呼吸器内科】

午前８時30分に３C病棟カンファレンス室に集合し、呼吸器内科モーニングカンファレンスから参加すること。

30分以上の遅刻は欠席とみなす。病気等で欠席の場合は、必ず欠席届をできるだけ速やかに呼吸器内科、循環器内科それぞれ医局まで提出すること。提出が無い場合は補習を認めないことがある。

呼吸循環器領域を網羅したレクチャーは予定されているが、担当教官あるいは医長まで申し出があれば、教員または教員以外による30分程度のミニレクチャー追加も可能である。

6 .学生へのメッセージ・注意事項等

循環器･呼吸器疾患の発症には遺伝因子とともに環境因子の関与が大きく、生理学、分子生物学、遺伝学、病理学および疫学等の方法論が駆使されて解明が進んでいる。診断法と治療法の進歩も著しく、診断がより正確に行われ適切な治療法により予後が改善しているが、未だに診断・治療に苦慮する症例も多く、解決すべき課題は残されている。医学生としても循環器・呼吸器領域の知識収得が必須である。各疾患を整理し、活きた知識を身につけ、患者さんのデータを見たときそれらを有機的に活用して病態に迫れるような能力を身につけて欲しい。循環器疾患・呼吸器疾患では病態が急変することがまれでなく、その際の緊急対処法が生死を分けることになる。現カリキュラムでは授業内容の重複を避けて習得効率を上げるため系別（臓器別）系統講義形式となっており、諸君はこの授業に出席し、この分野の知識を十分に習得したものとして、病棟実習にあたってもらう。この分野の知識は、将来どの方面に進んでも医師として重要であるため、系統講義および少人数能動学習において習得した基礎をもとに臨床実習で実際の症例にあたって学習内容をより有効なものとして、さらに基本的技能を習得し、循環器・呼吸器系の知識が将来にわたり消えることのないようにして欲しい。

7 .臨床実習（アドバンス）概要

基本的には上記4.臨床実習ユニットに沿うが、さらに受け持ち患者数は増える。担当教官とともに基本的な臨床手技を習得する。また、希望により、外来実習時間を増やす。積極的な参加を切望する。

【循環器内科】

原則として、学生１～２名に対して教官が１名つき、一緒に患者を受け持つ。希望者にはやや高度な心電図の判読法や、心臓カテーテル検査、心エコー検査など先進的手技について等より専門的な指導を行う。また必要に応じて国試対策として国家試験過去問を含む問題演習を通して、循環器疾患の病態と治療の理解を万全にする。

【呼吸器内科】

上級医と共に患者を受け持ち、診察、検査、カルテ記載などを通して単に呼吸器疾患にとどまらず、患者を診察するということを深く理解できる機会を提供する。

それ以外には選択方式の実習対応を行う。具体的には、外来見学、病棟患者担当、気管支鏡の介助と麻酔、その他処置の介助、アドバンスドレクチャー、ICT見学、座談会、その他各種希望に応じる。

消化器内科、血液内科

1．担当教員

教　　授　安藤　朗
准 教 授　木藤　克之
准 教 授　稲富　理
講　　師　河原　真大
助　　教　高橋憲一郎
助　　教　藤本　剛英
助　　教　松本　寛史
助　　教　大塚　武人
助　　教　岩佐磨佐紀
特任助教　木村　英憲
特任助教　藤城　綾
特任助教　今井　隆行
特任助教　新谷　修平
教　　授　佐々木雅也（基礎看護学講座）
講　　師　馬場　重樹（光学医療診療部）
講　　師　南口　仁志（輸血部）
特任助教　西村　理恵（輸血部）

2．ねらいと学修目標

ねらい	学修目標
1．消化器疾患患者の病態を理解し､基本的診察法を修得する。診断に必要な検査の理論、ならびに治療法を学習する。 2．血液疾患患者の病態を理解し、基本的診察法を修得する。血液疾患の病態を理解し、診療に必要な検査の理論、ならびに治療法を修得する。	・外来診察を通して、病歴の聴取、基本的診察が適切に行えるようになる。 ・外来診察を通して、病態の初期評価に基づいた診断計画が行えるようになる。 ・消化器疾患に関連した臨床検査値の異常を指摘し、適切な臨床判断ができるようになる。 ・超音波検査、内視鏡検査の結果を適切に診断できるようになる。 ・消化器疾患の治療に用いる薬剤の投与法の実際を主治医とともに経験する。 ・末梢血液像、骨髄像の結果を適切に診断できるようになり、血液疾患に関連した臨床検査値の異常を指摘し臨床判断ができるようになる。 ・血液疾患に対する化学療法・造血細胞移植療法の実際を主治医とともに経験する。

3．評価基準

デイリーリポートをもとに日々の学生の目標の達成状況を把握し、評価の基準とします。また、１週目の担当患者に関しては金曜日にレポートの提出を求め、２週目の月曜日の全体カンファレンス後に発表していただきます。２週目の担当患者に関しては、金曜日に発表していただきレポートを提出していただきます。評価項目は、①病歴・診察がきちんと行えているか（担当患者さんからもご意見をいただきます)、②検査データの把握･解釈が適切に行えているか、③論理的に診断に到達できているか、④疾患の概念や治療法などの知識が整理・習得されているか、⑤診断や患者状態に照らした適切な治療方針の立案ができているか、⑥疾患に関する先端的な研究結果も踏まえて充分な考察ができているか、等です。

４.臨床実習のユニット内容

一日の基本的な流れ

9：00

午前のガイダンス、レクチャー（１時間程度）

代表的な消化器内科疾患、血液内科疾患のまとめ、実際の診断・治療の手順を学ぶ

担当患者の診察・採血結果確認。
診療計画の確認。
指導医・担当医と相談、診療計画を立てる

10：00

外来

外来新患患者さんの問診
外来診察の見学

処置・検査見学

内視鏡や骨髄検査、骨髄採取など見学

担当患者診察

自ら診察し、カルテを記載する。担当医とのディスカッションや、文献検索・通読を通して知識を深める

12：00

休息＆昼食

13：00

（月曜日）
全体カンファレンス
教授回診

入院中の全ての患者さんについて、どのように診断・治療方針が立てられていくのかを学ぶ。

２週目は、１週目で担当した患者のプレゼンテーションを行う。
病歴、診察、データの解釈等から的確な診断を導くことができているか、適切な治療の立案ができているか、疾患に対する知識の整理・習得ができているか、などが評価される。

（火～金）
午後のレクチャー
（消化器内科１時間程度）

内視鏡シュミレーター等、実技中心のレクチャーを受ける

処置、検査の見学
担当患者の診察、
カルテ記載

（火～金）
午後のレクチャー
処置・検査見学
（血液内科1時間30分程度）

骨髄検査・髄液注射・中心静脈カテーテル挿入などの実際を見学。
HIV/AIDS診療の実際等のレクチャー

（火～金）
担当患者のポイント整理

実際の骨髄像、病理像を顕微鏡で観察。画像読影など。疾患概念を整理し、診断基準に沿って的確な診断に至る方法を学ぶ。
また、国際標準に基づく予後予測や治療方針（移植適応）の立案などを担当指導医の指導を受けて行う。

17：30

チェック

担当指導医によるカルテチェック、与えられた課題のチェックを受け帰宅

第１週（消化器内科）

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	9:00～9:30	４C病棟	オリエンテーション	入院患者のプロブレムを正確に把握し、POSの形式に従ってそれらを解決する計画をたてることができる。	スケジュールの概略を説明	1）患者 2）カルテ 3）プレゼンテーション用資料	1	デイリーレポート	藤　本
	9:30～12:00	４C病棟	POSによるBSL	1）必要かつ十分なデータベースを収集することができる 2）データベースを解釈することができる 3）解決すべきプロブレムに気づき、統合整理することができる 4）的確なプロブレムを作成できる 5）効率的かつ十分な初期計画をたてることができる	学生1人に対象患者を割り当て、実習を開始する。				藤　本
	13:30～16:00	４C病棟	病棟回診	４C病棟入院患者について病状を述べることができる	総回診	1）患者 2）患者資料	4		安　藤 藤　本 松　本 高　橋
	16:00～16:40	４C病棟	POSによるBSL		スモールグループディスカッション		15	デイリーレポート	教官全員
火	9:00～10:30	４C病棟	POSによるBSL	消化器症状に対する診断のプロセスを述べることができる。また実際の症例を診断する。	レクチャー、スモールグループディスカッション	プレゼンテーション用資料	1	デイリーレポート	木　村
	10:30～12:00	外来	外来実習	一定時間に必要な病歴やデータを適切に収集することができる。プロブレムの立案、治療計画の計画立案ができる。	外来患者の問診、診察、病歴作成。その後診察医と討論し、実際の検査を行う。	1）外来患者 2）患者資料・データ	1		高　橋
		４C病棟	病棟実習	受診患者について、初期計画に基づいて情報収集することができる。Subjective：患者の言うこと、Objective:診療所見、入院チャートよりデータ抽出、放射線画像の読影。情報を解釈し、計画を監査することができる　(Assessment)。計画を修正、発展させることができる。	入院患者の問診、診察、病歴作成。その後診察医と討論し、実際の検査を行う。	入院患者	4～6		担 当 医
		内視鏡室	内視鏡実習	内視鏡診療への参加を通して、内視鏡検査手技の手順を学び、内視鏡検査の方法・診断学を理解する。また内視鏡スタッフの一人として参加することにより、医療人としての感性や自覚を養う。	指導医の下での内視鏡診療介助	1）入院患者 2）患者資料	1		木　村
	13:30～16:40	４C病棟	病棟実習	担当症例の診察、検査データ確認・プロブレム立案、最新のエビデンスに準拠した考察と治療治療計画立案ができる。	ディスカッション 文献検索 プレゼンテーションスライドの作成	症例、資料、スライド	4～6		担 当 医
水	9:00～12:00	４C病棟	病棟実習	（火曜日と同じ）			4～6	デイリーレポート	担 当 医
		内視鏡室	内視鏡実習	（火曜日と同じ）			1		大　塚
	10:30～12:00	外来	外来実習	（火曜日と同じ）			1		馬　場
	13:30～16:40	４C病棟	病棟実習	（火曜日と同じ）			4～6		担 当 医
木	9:00～12:00	４C病棟	病棟実習	（火曜日と同じ）			4～6	デイリーレポート	担 当 医
		内視鏡室	内視鏡実習	（火曜日と同じ）			1		高　橋
	13:30～15:00	４C病棟	スモールグループディスカッション（炎症性腸疾患）	炎症性腸疾患について最新のエビデンスに基づいた資料をもとに、炎症性腸疾患患者の問題解決のプロセスを述べることができる。	レクチャー、スモールグループディスカッション	症例、資料、スライド	1		高　橋
	15:00～16:40	４C病棟	病棟実習	（火曜日と同じ）			4～6		担 当 医
金	9:00～10:30	４C病棟	POSによるBSL	（火曜日と同じ）			4～6	デイリーレポート	稲　富
	10:30～12:00	４C病棟	病棟実習	（火曜日と同じ）			1		稲　富
	13:30～16:40	４C病棟	スモールグループディスカッション	担当症例の発表、報告。 問題点などを討議	相互に症例を提示しあい、討議する。レポート作成。	1）カルテ 2）受持患者資料 3）スライド	2	POレポート 感想文 カルテ	稲　富 藤　本

第２週（消化器内科）

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教　員　名
月	9:00～9:30	４C病棟	POSによるBSL	（第１週と同じ）			1	デイリーレポート	藤　本
	9:30～10:30	４C病棟	スモールグループディスカッション（肝疾患）	肝疾患の資料をもとに肝疾患患者の問題解決のプロセスを述べることができる	症例提示を行い、討議する。	症例、資料、スライド	1	デイリーレポート	藤　本
	10:30～12:00	４C病棟	病棟実習	（第１週と同じ）			1		藤　本
	13:30～16:00	カンファレンスルーム	病棟回診	受持患者の症例表示ができる。	カンファレンスに参加する。	１）受持患者資料 ２）カルテ	4		安　藤 藤　本 松　本 高　橋
	16:00～16:40	カンファレンスルーム	プレゼンテーション	受持患者の症例について学会形式のプレゼンテーションを行う事ができる。	スライドを用いた口頭発表	症例、スライド	3	口頭発表	安　藤 稲　富 藤　本
火	9:00～10:30	４C病棟	スモールグループディスカッション（胆道疾患）	胆道疾患の資料をもとに胆道疾患患者の問題解決のプロセスを述べることができる			1	デイリーレポート	新　谷
	10:30～12:00	外来	外来実習	（第１週と同じ）			1		高　橋
		４C病棟	病棟実習	（第１週と同じ）			1		新　谷
		内視鏡室	内視鏡実習	（第１週と同じ）			1		新　谷
	13:30～16:40	内視鏡室	内視鏡見学・シミュレーター実習	実際の内視鏡画像を通して内視鏡検査の方法論・診断学を理解する。シュミレーター実習を通して内視鏡処置・手技の手順を学ぶ。	内視鏡処置の見学･1人ずつシミュレーターを実際に使用する。	症例、資料、シミュレーター	1		松　本
水	9:00～12:00	４C病棟	病棟実習	（第１週と同じ）			4～6	デイリーレポート	担当医
		内視鏡室	内視鏡実習	（第１週と同じ）			1		大　塚
	10:30～12:00	外来	外来実習	（第１週と同じ）			1		馬　場
	13:30～15:00	４C病棟	スモールグループディスカッション（上部消化管疾患）	上部消化管疾患患者の資料をもとに、上部消化管疾患患者の問題解決のプロセスを述べることができる。	レクチャー、スモールグループディスカッション	症例, 資料、スライド	1		大　塚
			病棟実習	（第１週と同じ）					
	15:00～16:40	４C病棟					4～6		担当医
木	栄養治療部実習（P.145参照）								
金	9:00～9:30	４C病棟	POSによるBSL	（第１週と同じ）			1		稲　富
	9:30～12:30	４C病棟	病棟実習	（第１週と同じ）			1		稲　富
	15:00～16:40	４C病棟	スモールグループディスカッション、口頭発表	（第１週と同じ）			2	POレポート 感想文 カルテ	稲　富 藤　本

第１週（血液内科）

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教　員　名
月	9：00～9：30	４C病棟	オリエンテーション	入院患者のプロブレムを正確に把握し、POSの形式に従ってそれらを解決する計画をたてることができる。	スケジュールの概略を説明	1）患者 2）カルテ 3）プレゼンテーション用資料	1	デイリーレポート	藤　本
	9:30～10:00	４C病棟	POSによるBSL	1）必要かつ十分なデータベースを収集することができる 2）データベースを解釈することができる 3）解決すべきプロブレムに気づき、統合整理することができる 4）的確なプロブレムを作成できる 5）効率的かつ十分な初期計画をたてることができる	学生1人に対象患者を割り当て、実習を開始する。		1		藤　本
	10:00～12:00	外来	外来実習	一定時間に必要な病歴やデータを適切に収集することができる。 初期計画をたてることができる。	外来患者の問診、診察、病歴作成。その後診察医と討論し、実際の検査を行う。	1）外来患者 2）患者資料･データ	1		南　口
		４C病棟	病棟実習	受診患者について、初期計画に基づいて情報収集することができる。Subjective：患者の主訴、Objective：診療所見、入院チャートよりデータ抽出、放射線画像の読影。情報を解釈し、計画を監査することができる　(Assessment)。Plan:計画を修正、発展させることができる。	入院患者の問診、診察、病歴作成。その後診察医と討論し、実際の検査を行う。	1）入院患者 2）患者資料	2～3		各担当医
	13:00～14:30	４C病棟	病棟回診	４C病棟入院患者について病状を述べることができる	総回診	1）患者 2）患者資料	5～6		安　藤 木　藤 松　本 藤　本 藤　城 教官全員
	14:30～16:30	４C病棟		担当症例の診察、検査データ確認･プロブレム立案、治療計画立案ができる。	症例提示を行い、討議する。	1）入院患者 2）患者資料	1		藤　城
火	9：00～10:00	４C病棟	POSによるBSL	血液疾患に対する診断のプロセスを述べることができる。　また実際の症例を診断する。	レクチャー、スモールディスカッション	血液内科入院患者、症例、資料、スライド	1	デイリーレポート	岩　佐
	10:30～12:00	外来	外来実習	（月曜と同じ）			1		木　藤
		４C病棟	病棟実習	（月曜と同じ）			2～3		各担当医
	13:30～15:00	４C病棟	POSによるBSL	各種血液疾患の診断、治療とその副作用を理解する。	レクチャー、スモールディスカッション	症例、　資料、スライド	1		河　原
	15:00～16:40	４C病棟	病棟実習	（月曜と同じ）			2～3		担 当 医
水	9：00～10:30	４C病棟	POSによるBSL	各種血液疾患の診断、治療とその副作用を理解する。	レクチャー、スモールグループディスカッション	1）患者 2）患者資料 3）プレゼンテーション用資料	1	デイリーレポート	南　口
	10:30～12:00	外来	外来実習	（月曜と同じ）			1		河　原
		４C病棟	病棟実習	（月曜日と同じ）			4～6		各担当医
	13:30～15:00	４C病棟	POSによるBSL	HIVなどの感染症疾患の実際を理解する。	レクチャー、スモールグループディスカッション	症例、資料、スライド	1	デイリーレポート	木　藤
	15:00～16:40	４C病棟	血液検査手技・自己血採取見学	検査の実際を見学して血液疾患検査の方法論・診断学を理解する。 実際の処置・手技の手順を学ぶ。	手技・検査の実際を見学、教員が解説を行う。	患者、資料	1	デイリーレポート	臼　井
木	9：00～10:30	４C病棟	POSによるBSL	急性白血病の病態と臨床を理解する。	レクチャー、スモールグループディスカッション	症例、資料、スライド、	1	デイリーレポート	河　原
	10:30～12:00	外来	外来実習	（月曜日と同じ）			1		南　口
		４C病棟	病棟実習	（月曜日と同じ）			2～3		各担当医

	13:30～ 16:40	4C病棟	顕微鏡実習	貧血、凝固、悪性リンパ腫、白血病などについて、診断のプロセスを述べることができる。　また実際の症例を診断する。	骨髄標本、病理標本を供覧	骨髄塗抹標本、 リンパ節病理標本	1		永　井
金	9:00～ 10:30	4C病棟	POSによるBSL	多発性骨髄腫の臨床を理解する。	レクチャー	症例、資料、 スライド	1	デイリー レポート	口分田
	10:30～ 12:00	4C病棟	病棟実習	貧血、凝固、悪性リンパ腫、白血病などについて、診断のプロセスを述べることができる。　また実際の症例を診断する。	スモールグループディスカッション	1）カルテ 2）受持患者資料 3）スライド	2～3		浅　井 口分田 西　村
	13:30～ 16:40	4C病棟	病棟実習	（月曜日と同じ）				2～3	各担当医

第2週（血液内科）

曜日	時　間	室　名	ユニット	目　的	方　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	9:00～ 10：00	輸血部教官室	POSによるBSL	再生不良性貧血の病態と臨床を理解する。	レクチャー、スモールグループディスカッション	症例、資料、 スライド	1	デイリー レポート	藤　城
	10:00～ 12:00	4C病棟	病棟実習	（第1週と同じ）			2～3		各担当医
	13:30～ 16:00	4C病棟	POSによるBSL	濾胞性リンパ腫について病態を理解する。	レクチャー、スモールグループディスカッション	症例、資料、 スライド	1	デイリー レポート	藤　城
火	9:00～ 12：00	4C病棟	スモールグループディスカッション	担当症例の発表、報告。 問題点などを討議	相互に症例を提示しあい、討議する。 レポート作成。	1）カルテ 2）受持患者資料 3）スライド	1	POレポート	岩　佐
	13:30～ 15:00	輸血部教官室	POSによるBSL	急性骨髄性白血病の病態と臨床を理解する	レクチャー、スモールグループディスカッション	症例、資料、 スライド	1		河　原
	15:00～ 16:40	4C病棟	病棟実習	（第1週と同じ）			2～3		各担当医
水	9:00～ 10:30	4C病棟	POSによるBSL	悪性リンパ腫（主にびまん性大細胞型B細胞性リンパ腫）の病態と臨床を理解する。	レクチャー、スモールグループディスカッション	症例、資料、 スライド	4～6	デイリー レポート	南　口
	10:30～ 12:00	4C病棟	病棟実習	（第1週と同じ）			2～3		各担当医
	13:30～ 15:00	4C病棟	POSによるBSL	HIVなどの感染症疾患の実際を理解する。	症例、資料、 スライド	症例、資料、 スライド	1	デイリー レポート	木　藤
	15:00～ 16:40	4C病棟	プレゼンテーション	受持患者の症例について学会形式のプレゼンテーションを行う事ができる。	スライドを用いた口頭発表	症例、スライド	4～6		木　藤 南　口 河　原 西　村 藤　城 岩　佐
木	9:00～ 10:30	4C病棟	POSによるBSL	骨髄異形成症候群の病態と臨床について理解する。	レクチャー、スモールグループディスカッション	症例、資料、 スライド	1	デイリー レポート	河　原
	10:30～ 12:00	4C病棟	病棟実習	（第1週と同じ）			2～3		担当医
	13:30～ 14:30	4C病棟	顕微鏡実習	骨髄像の評価方法について実際に標本の染色方法から学んで理解する	レクチャー、スモールグループディスカッション	患者検体	1		永　井
	14:30～ 16:30	4C病棟	病棟実習	（第1週と同じ）			2～3		担当医
金	9:00～ 9:30	輸血部教官室	POSによるBSL	血球貧食症候群の病態と臨床を理解する。	レクチャー、スモールグループディスカッション	症例、資料、 スライド	1	デイリー レポート	口分田
	9:30～ 12:00	輸血部教官室	POSによるBSL	化学療法の副作用について、主に造血器悪性腫瘍治療薬について理解する	レクチャー、スモールグループディスカッション	症例、資料、 スライド	1	デイリー レポート	浅　井
	13:30～ 16:40	4C病棟	スモールグループディスカッション、	実習のまとめ			1	POレポート 感想文 カルテ	西　村

５.集合場所・時間

消化器内科　月～金：消化器・血液内科医局前　9：00
血液内科　　月～金：消化器・血液内科医局前　9：00

６.学生へのメッセージ・注意事項等

２週間はあっという間です。単なる教科書的な知識の整理に終始していては、充分な実習はできません。

よく予習して実習に臨んでください。また希望者には、血液分野における基礎的研究の解説や、フローサイトメトリーなど臨床にも応用されている研究手法を行っていただくことも可能です。積極的な実習参加を期待します。

なお、欠席の場合は、消化器・血液内科医局（077-548-2217）まで連絡すること。

７.臨床実習（アドバンス）概要

アドバンスコースでは、消化器疾患・血液疾患についてより踏み込んだ専門知識の習得ならびに可能なかぎり検査の技術的体験を目指します。

消化器内科では、上部・下部消化管、肝胆膵の重要な疾患について、内視鏡処置および腹部超音波検査の出番に実際に参加します。したがって診断に必要な検査の選択や手技の実際、多彩な疾患の特徴的な画像を数多く学ぶことが可能です。また、実際に受け持ち患者さんを担当し、診断学・治療方針決定のワークフローについて徹底したディスカッションを交えての教育を受け、消化器患者さんの入院から退院まで主治医補佐としてチーム医療の一員として加わっていただきます。具体的には、消化管早期悪性腫瘍に対する診断と内視鏡的粘膜下切開剥離術を、炎症性腸疾患における血球成分除去療法や栄養療法を、閉塞性黄疸に対する内視鏡的減黄術などに対して、より深い専門的知識の習得と治療の実践について学んでいただきます。

血液内科では、各種血液疾患（主に急性白血病、骨髄異形成症候群、悪性リンパ腫）を複数例、主治医と共に担当して、診断から治療方針決定、さらには実際の治療や効果判定までを主治医と一緒に行っていただきます。具体的な学習内容は、手技については、採血や骨髄穿刺を上級医の指導のもとで実際に行って頂くことが一つの目標です。診断については、骨髄標本の作成と診断、リンパ節標本の病理診断、CTなどの画像診断をともに学習していきます。また、血液内科領域に独特な検査である細胞表面マーカー解析や染色体検査、遺伝子再構成などの原理、方法、解釈の仕方を学んでいただき、分子生物学的な診断法に関する知識を習得していただきます。治療については、担当患者の化学療法の治療計画立案・施行に参加し、副作用に対する対処法を学んでいただき、治療効果判定も行っていただきます。さらに造血幹細胞移植（骨髄移植、末梢血幹細胞移植、臍帯血移植）症例も担当していただき、先端医療を体験していただきます。血液内科では毎週すべての入院症例について、病棟看護師、病棟担当薬剤師、血液専門検査技師、輸血部とカンファレンスを行っています。アドバンスコースでは、このカンファレンスにも参加していただき、チーム医療の重要性を体験していただきます。また、血液内科領域は基礎と臨床の距離が近く、“bedside to bench, bench to bedside”を実践できる学問領域です。希望者には、患者検体からの細胞分離や細胞培養、遺伝子を抽出してのPCRやシークエンス検査、細胞表面マーカー解析などを実際に行っていただくことが可能です。トランスレーショナルな研究の一旦に触れていただくことで、優れたscientific physician の基礎を築いていただくことも強力にサポートします。

糖尿病内分泌内科、腎臓内科

1．担当教員

教　　授　前川　聡
講　　師　卯木　智
講　　師　金崎　雅美（血液浄化部）
講　　師　久米　真司
講師(学内)　藤田　征弘
講師(学内)　武田　尚子
講師(学内)　佐藤　大介
助　　教　山原　康佑
特任助教　柳町　剛司
特任助教　宮澤伊都子
（医学・看護学教育センター）
特任助教　佐々木裕紀（血液浄化部）

医　　員　桑形　尚吾
医　　員　井田　昌吾
医　　員　堀川　修
医　　員　村尾　葵
医　　員　森　亜希子

非常勤講師
江川　克哉（長浜赤十字病院）
中村　高秋（近江八幡市立総合医療センター）
森田　善方（市立長浜病院）

2．ねらいと学修目標

ねらい	学修目標
糖尿病、内分泌、腎臓疾患を有する患者の病態を適切に把握し、鑑別診断ならびに治療法の選択について、Evidence-based medicine（EBM）に基づいたプレゼンテーションができる。	1．患者背景に配慮した病歴聴取ならびに身体診察が実施できる。 2．臨床推論によって、糖尿病、内分泌、腎臓疾患の鑑別疾患を挙げることができる。 3．糖尿病、内分泌、腎臓疾患の診断や治療に必要な検査計画を立案し、結果を適切に解釈できる。 4．経口ブドウ糖負荷試験と腎生検の適応、方法、合併症を説明でき、その結果を解釈できる。 5．受持患者の病態、鑑別診断、治療法、予後について、EBMをもとにプレゼンテーションできる。

3．評価基準

1）患者診察、2）カルテ記載、3）問題点把握能力、4）研修態度（積極性、協調性、服装、接遇態度など)、5）プレゼンテーション能力、6）EBM理解度に関して評価を行う。

特に、受持患者の病態や治療に関するEBMに基づいたプレゼンテーションを重視し、実習の目標到達度を評価する。これらに全出席の有無を加えて5段階の総合評価を行う。

4．臨床実習のユニット内容

一日の基本的な流れ

朝のカンファレンス（診療科別の症例検討）

腎臓内科　6Ｃ病棟　8：00集合（コロナ対応時：7：40医局前EVホール集合）
糖尿病内分泌内科　6Ｃ病棟　9：00集合（コロナ対応時：8：40医局前EVホール集合）
●担当医と相談し１日の診療の流れを把握する。
入退院カンファレンス（共通）　6Ｃ病棟　8：30集合（コロナ対応時：8：10医局前EVホール集合）

↓ 月曜日～水曜日

担当医と共に病棟実習

担当主治医と回診・検査データの検討

受け持ち患者から得た情報から担当主治医と共に情報を解釈し、診断計画、治療計画をEBMに基づいて立てる。

↓ 木曜日

教授回診
入退院カンファレンス

●受持患者の症例提示

↓ 金曜日

第１－４週：
レクチャー

↓ 月曜日～水曜日　↓ 木曜日　↓ 金曜日

昼休憩

↓ 月曜日～水曜日

担当医と共に病棟実習

担当主治医、診療科上級医と回診・検査データの検討

受け持ち患者から得た情報を短くまとめて口頭で指導に当たる診療科上級医に報告し、今後の診断計画、治療計画を立てる。

●今日のカルテを書く

●病棟で患者さんを診察してわからなかった点を自分で勉強する

●病態など難解な点を当日のまとめの担当医と共にディスカッションし解決する。

（４週間のうち水曜日の１日は血液浄化部実習）

指導に当たる担当医に報告して帰宅
（終了予定　腎臓内科 16：00　糖尿病内分泌内科 17：00）

↓ 木曜日

第１，２，４週：
自己学習

第３週：レクチャー

↓ 金曜日

月１回（不定期）
レクチャー

レクチャー終了後に自己学習

注：上記は一般的な予定になります。実際には、患者さんの状況などで予定は大きく変わることがあります。毎日、担当医の先生と相談しその日の予定を決定することになります。

糖尿病内分泌内科　第１週

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	9：00 ~10：00	6Cカンファレンスルーム	オリエンテーション	4週間の予定説明 担当医の割り当て 受持患者の割当て 評価法の説明 カルテ記入法の説明	スケジュール表・模擬カルテの説明	スケジュール表・模擬カルテ	1	出席	担当医
	10:00 ~12：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握 （担当医の全患者）	担当医と共に病棟実習	入院患者 患者資料	3～4	出席 行動観察	病棟医
	13:00 ~17：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握・治療決定 （担当医の全患者）	担当医と共に病棟実習 受持患者診療録記入	入院患者 患者資料 カルテ	3～4	出席 行動観察	病棟医
火	9：00 ~12：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握 （担当医の全患者）	担当医と共に入院患者の診察・検査結果の評価・処置など	入院患者 患者資料	3～4	出席 行動観察	病棟医
	13:00 ~17：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握・治療決定 （担当医の全患者）	担当医と共に病棟実習 受持患者診療録記入	入院患者 患者資料 カルテ	3～4	出席 行動観察	病棟医
水	9：00 ~12：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握 （担当医の患者）	担当医と共に入院患者の診察・検査結果の評価・処置など	入院患者 患者資料	3～4	出席 行動観察	病棟医
	13：00 ~17：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握・治療決定 （担当医の全患者）	担当医と共に病棟実習 受持患者診療録記入	入院患者 患者資料 カルテ	3～4	出席	病棟医
木	8：30 ~12：00	6Cカンファレンスルーム	病棟回診 入退院カンファレンス カンファレンス後のレクチャー参加も可	受持患者のプレゼンテーション（学生） 診断、治療プロセスの習得（病棟医によるプレゼンテーション）	プレゼンテーション・見学・討議	患者 患者資料 カルテ	5	出席	前川 病棟医
金	10：00 ~12：00	大学構内 （適宜連絡）	レクチャー	糖尿病・内分泌疾患に関する診断・治療プロセスの習得	討議	教育資料	1	出席	担当医 （糖）

糖尿病内分泌内科　第２週

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	9：00 ~12：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握 （担当医の全患者）	担当医と共に病棟実習	入院患者 患者資料	3～4	出席 行動観察	病棟医
	13：00 ~17：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握・治療決定 （担当医の全患者）	担当医と共に病棟実習 受持患者診療録記入	入院患者 患者資料 カルテ	3～4	出席 行動観察	病棟医
火	9：00 ~12：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握 （担当医の全患者）	担当医と共に入院患者の診察・検査結果の評価・処置など	入院患者 患者資料	3～4	出席 行動観察	病棟医
	13：00 ~17：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握・治療決定 （担当医の全患者） 希望者はCKD教育入院多職種合同カンファレンスに参加（不定期開催）	担当医と共に病棟実習 受持患者診療録記入	入院患者 患者資料 カルテ	3～4	出席 行動観察	病棟医
水	9：00 ~12：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握 （担当医の全患者）	担当医と共に入院患者の診察・検査結果の評価・処置など	入院患者 患者資料	3～4	出席 行動観察	病棟医
	13：00 ~17：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握・治療決定 （担当医の全患者）	担当医と共に病棟実習 受持患者診療録記入	入院患者 患者資料 カルテ	3～4	出席 行動観察	病棟医
木	8：30 ~12：00	6Cカンファレンスルーム	病棟回診 入退院カンファレンス カンファレンス後のレクチャー参加も可	受持患者のプレゼンテーション（学生） 診断、治療プロセスの習得（病棟医によるプレゼンテーション）	プレゼンテーション・見学・討議	患者 患者資料 カルテ	5	出席	前川 病棟医

金	10：00 ~12：00	大学構内 （適宜連絡）	レクチャー	腎生検実習	討議	教育資料	1	出席	腎臓内科 TA
	13：00 ~16：00	大学構内 or 6C 病棟	自己学習 or 病棟実習						
	16：00 ~17：00	大学構内（適宜連絡）	レクチャー	糖尿病・内分泌疾患に関する診断・治療プロセスの習得	討議	教育資料	1	出席	担当医 （糖）

糖尿病内分泌内科　第３週

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員 人数	評価法	教員名
月	9：00 ~12：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握 （担当医の全患者）	担当医と共に病棟実習	入院患者 患者資料	3～4	出席 行動観察	病棟医
	13：00 ~17：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握・治療決定 （担当医の全患者）	担当医と共に病棟実習 受持患者診療録記入	入院患者 患者資料 カルテ	3～4	出席 行動観察	病棟医
火	9：00 ~12：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握 （担当医の全患者）	担当医と共に入院患者の診察・検査結果の評価・処置など	入院患者 患者資料	3～4	出席 行動観察	病棟医
	13：00 ~17：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握・治療決定 （担当医の全患者） 希望者はCKD教育入院多職種合同カンファレンスに参加（不定期開催）	担当医と共に病棟実習 受持患者診療録記入	入院患者 患者資料 カルテ	3～4	出席 行動観察	病棟医
水	9：00 ~12：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握 （担当医の全患者）	担当医と共に入院患者の診察・検査結果の評価・処置など	入院患者 患者資料	3～4	出席 行動観察	病棟医
	13：00 ~17：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握・治療決定 （担当医の全患者） 希望者は糖尿病療養多職種合同ミーティングに参加（不定期開催）	担当医と共に病棟実習 受持患者診療録記入	入院患者 患者資料 カルテ	3～4	出席 行動観察	病棟医
木	8：30 ~12：00	6Cカンファレンスルーム	病棟回診 入退院カンファレンス カンファレンス後のレクチャー参加も可	受持患者のプレゼンテーション（学生） 診断、治療プロセスの習得（病棟医によるプレゼンテーション）	プレゼンテーション・見学・討議	患者 患者資料 カルテ	5	出席	前川 病棟医
	13：00 ~15：00	大学構内 （適宜連絡）	レクチャー	腎臓疾患に関する診断・治療プロセスの習得	討議	教育資料	1	出席	担当医 （腎）
金	9：00 ~12：00	6C病棟	レクチャー	OGTT実習	討議	教育資料	1	出席	糖内科 TA

糖尿病内分泌内科　第４週

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員 人数	評価法	教員名
月	9：00 ~12：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握 （担当医の全患者）	担当医と共に病棟実習	入院患者 患者資料	3～4	出席 行動観察	病棟医
	13：00 ~17：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握・治療決定 （担当医の全患者）	担当医と共に病棟実習 受持患者診療録記入	入院患者 患者資料 カルテ	3～4	出席 行動観察	病棟医
火	9：00 ~12：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握 （担当医の全患者）	担当医と共に入院患者の診察・検査結果の評価・処置など	入院患者 患者資料	3～4	出席 行動観察	病棟医
	13：00 ~17：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握・治療決定 （担当医の全患者）	担当医と共に病棟実習 受持患者診療録記入	入院患者 患者資料 カルテ	3～4	出席 行動観察	病棟医

				希望者はCKD教育入院多職種合同カンファレンスに参加（不定期開催）					
水	9：00 ~15：00	血液浄化療法室	集合場所・時間・実習内容の詳細は血液浄化部カリキュラムを参照（P.146）						
	15：00 ~17：00	6C病棟	病棟実習 （自己学習）	翌日発表の症例の病態把握・発表準備	担当医と共に発表準備	入院患者 患者資料 カルテ	3～4	出席 行動観察	病棟医
木	8：30 ~12：00	6Cカンファレンスルーム	病棟回診 入退院カンファレンス カンファレンス後のレクチャー参加も可	受持患者のプレゼンテーション（学生） 診断、治療プロセスの習得（病棟医によるプレゼンテーション）	プレゼンテーション・見学・討議	患者 患者資料 カルテ	5	出席	前川 病棟医
金	10：00 ~12：00	大学構内 （適宜連絡）	レクチャー	糖尿病・内分泌疾患に関する診断・治療プロセスの習得	討議	教育資料	1	出席	担当医 （糖）

腎臓内科　第１週

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	9：00 ~10：00	6Cカンファレンスルーム	オリエンテーション	２週間の予定説明 担当医の割り当て 受持患者の割当て 評価法の説明 カルテ記入法の説明	スケジュール表・模擬カルテの説明	スケジュール表・模擬カルテ	1	出席	担当医
	10：00 ~12：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握 （担当医の全患者）	担当医と共に病棟実習	入院患者 患者資料	3～4	出席 行動観察	病棟医
	13：00 ~17：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握・治療決定 （担当医の全患者）	担当医と共に病棟実習 受持患者診療録記入	入院患者 患者資料 カルテ	3～4	出席 行動観察	病棟医
火	8：00 ~12：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握 （担当医の全患者）	担当医と共に入院患者の診察・検査結果の評価・処置など	入院患者 患者資料	3～4	出席 行動観察	病棟医
	13：00 ~16：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握・治療決定 （担当医の全患者）	担当医と共に病棟実習 受持患者診療録記入	入院患者 患者資料 カルテ	3～4	出席 行動観察	病棟医
水	8：00 ~12：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握 （担当医の全患者）	担当医と共に入院患者の診察・検査結果の評価・処置など	入院患者 患者資料	3～4	出席 行動観察	病棟医
	13：00 ~16：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握・治療決定 （担当医の全患者）	担当医と共に病棟実習 受持患者診療録記入	入院患者 患者資料 カルテ	3～4	出席 行動観察	病棟医
木	8：30 ~12：00	6Cカンファレンスルーム	病棟回診 入退院カンファレンス カンファレンス後のレクチャー参加も可	受持患者のプレゼンテーション（学生） 診断、治療プロセスの習得（病棟医によるプレゼンテーション）	プレゼンテーション・見学・討議	患者 患者資料 カルテ	5	出席	前川 病棟医
金	10：00 ~12：00	大学構内 （適宜連絡）	レクチャー	糖尿病・内分泌疾患に関する診断・治療プロセスの習得	討議	教育資料	1	出席	担当医 （糖）

腎臓内科　第２週

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	8：00 ~12：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握 （担当医の全患者）	担当医と共に病棟実習	入院患者 患者資料	3～4	出席 行動観察	病棟医
	13：00 ~16：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握・治療決定 （担当医の全患者）	担当医と共に病棟実習 受持患者診療録記入	入院患者 患者資料 カルテ	3～4	出席 行動観察	病棟医
火	8：00 ~12：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握 （担当医の全患者）	担当医と共に入院患者の診察・検査結果の評価・処置など	入院患者 患者資料	3～4	出席 行動観察	病棟医

	13：00 ~16：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握・治療決定 (担当医の全患者) 希望者はCKD教育入院多職種合同カンファレンスに参加（不定期開催）	担当医と共に病棟実習 受持患者診療録記入	入院患者 患者資料 カルテ	3～4	出席 行動観察	病棟医
水	9：00 ~15：00	血液浄化療法室	集合場所・時間・実習内容の詳細は血液浄化部カリキュラムを参照（P.146）						
	15：00 ~17：00	6C病棟	病棟実習	翌日発表の症例の病態把握・発表準備	担当医と共に発表準備	入院患者 患者資料 カルテ	1	出席 行動観察	病棟医
木	8：30 ~12：00	6Cカンファレンスルーム	病棟回診 入退院カンファレンス カンファレンス後のレクチャー参加も可	受持患者のプレゼンテーション（学生） 診断、治療プロセスの習得（病棟医によるプレゼンテーション）	プレゼンテーション・見学・討議	患者 患者資料 カルテ	5	出席	前川 病棟医
金	10：00 ~12：00	大学構内 (適宜連絡)	レクチャー	腎生検実習	討議	教育資料	1	出席	腎臓内科 TA
	13：00 ~16：00	大学構内 or 6C病棟	自己学習 or 病棟実習						
	16：00 ~17：00	大学構内 (適宜連絡)	レクチャー	糖尿病・内分泌疾患に関する診断・治療プロセスの習得	討議	教育資料	1	出席	担当医 (糖)

腎臓内科　第3週

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	8：00 ~12：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握 (担当医の全患者)	担当医と共に病棟実習	入院患者 患者資料	3～4	出席 行動観察	病棟医
	13：00 ~16：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握・治療決定 (担当医の全患者)	担当医と共に病棟実習 受持患者診療録記入	入院患者 患者資料 カルテ	3～4	出席 行動観察	病棟医
火	8：00 ~12：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握 (担当医の全患者)	担当医と共に入院患者の診察・検査結果の評価・処置など	入院患者 患者資料	3～4	出席 行動観察	病棟医
	13：00 ~16：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握・治療決定 (担当医の全患者) 希望者はCKD教育入院多職種合同カンファレンスに参加（不定期開催）	担当医と共に病棟実習 受持患者診療録記入	入院患者 患者資料 カルテ	3～4	出席 行動観察	病棟医
水	8：00 ~12：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握 (担当医の全患者)	担当医と共に入院患者の診察・検査結果の評価・処置など	入院患者 患者資料	3～4	出席 行動観察	病棟医
	13：00 ~16：00	6C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握・治療決定 (担当医の全患者) 希望者は糖尿病療養多職種合同ミーティングに参加（不定期開催）	担当医と共に病棟実習 受持患者診療録記入	入院患者 患者資料 カルテ	3～4	出席 行動観察	病棟医
木	8：30 ~12：00	6Cカンファレンスルーム	病棟回診 入退院カンファレンス カンファレンス後のレクチャー参加も可	受持患者のプレゼンテーション（学生） 診断、治療プロセスの習得（病棟医によるプレゼンテーション）	プレゼンテーション・見学・討議	患者 患者資料 カルテ	5	出席	前川 病棟医
	13：00 ~15：00	大学構内 (適宜連絡)	レクチャー	腎臓疾患に関する診断・治療プロセスの習得	討議	教育資料	1	出席	担当医 (腎)
金	9：00 ~12：00	6C病棟	レクチャー	OGTT実習	討議	教育資料	1	出席	糖内科 TA

腎臓内科　第４週

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	８：00 ~12：00	６C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握 （担当医の全患者）	担当医と共に病棟実習	入院患者 患者資料	３～４	出席 行動観察	病棟医
	13：00 ~16：00	６C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握・治療決定 （担当医の全患者）	担当医と共に病棟実習 受持患者診療録記入	入院患者 患者資料 カルテ	３～４	出席 行動観察	病棟医
火	８：00 ~12：00	６C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握 （担当医の全患者）	担当医と共に入院患者の診察・検査結果の評価・処置など	入院患者 患者資料	３～４	出席 行動観察	病棟医
	13：00 ~16：00	６C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握・治療決定 （担当医の全患者） 希望者はCKD教育入院多職種合同カンファレンスに参加（不定期開催）	担当医と共に病棟実習 受持患者診療録記入	入院患者 患者資料 カルテ	３～４	出席 行動観察	病棟医
水	８：00 ~12：00	６C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握 （担当医の全患者）	担当医と共に入院患者の診察・検査結果の評価・処置など	入院患者 患者資料	３～４	出席 行動観察	病棟医
	13：00 ~16：00	６C病棟	病棟実習	入院患者の病態把握・治療決定 （担当医の全患者）	担当医と共に病棟実習 受持患者診療録記入	入院患者 患者資料 カルテ	３～４	出席 行動観察	病棟医
木	８：30 ~12：00	６Cカンファレンスルーム	病棟回診 入退院カンファレンス カンファレンス後のレクチャー参加も可	受持患者のプレゼンテーション（学生） 診断、治療プロセスの習得（病棟医によるプレゼンテーション）	プレゼンテーション・見学・討議	患者 患者資料 カルテ	5	出席	前川 病棟医
金	10：00 ~12：00	大学構内 （適宜連絡）	レクチャー	糖尿病・内分泌疾患に関する診断・治療プロセスの習得	討議	教育資料	1	出席	担当医 （糖）

5 .集合場所・時間

初日：午前９時00分・６Ｃカンファレンスルーム（全体オリエンテーション）

２日目以降は腎臓内科、糖尿病内分泌内科により集合時間が異なりますので、カリキュラムを確認して集合してください。

臨床実習の始まりが火曜日の際は、火曜日の午前９時00分に６Ｃカンファレンスルームに集合し、全体オリエンテーション後に実習を開始します。

コロナ対応で病棟での集合が制限されている場合は、上記の20分前に医局前EVホールに集合。学生の体調確認後に担当医と共に病院内、講義室に移動します。

6 .学生へのメッセージ・注意事項等

糖尿病内分泌内科、腎臓内科のいずれかの診療グループで４週間の実習を行う。専門医資格を持った上級医、後期・初期研修医と共に屋根瓦式のチームを作り、そのチームの一員として実習を行って頂きます。特に、各学生に割り当てた受持患者１～２名に関しては、毎日のカルテ記載、病棟回診等での症例提示を行う。グループ分け、担当医、受持患者は初日のオリエンテーションで決定します。また、４週間の実習のうち１日（いずれかの水曜日）には血液浄化部での実習を実施します。

止むを得ず欠席する場合は、出来るだけ早く糖尿病内分泌・腎臓内科医局（077-548-2222）に欠席する旨の連絡をし、所定の欠席届を提出すること。また、学生課（hqgaku@belle.shiga-med.ac.jp）にも連絡してください。欠席した場合には、進級のための補講をうけてもらう場合があります。

臨床実習は“頭”で学習した事項を実際に“体”で体験し、臨床技術を学び、さらに学習効率も高めうる絶好の機会であり、積極的な参加が強く望まれます。実際の診療は多くのスタッフとの連携で行われており、参加型診療実習は医療におけるチームワークの重要性を学べる良い機会です。医師になる前の数少ない接遇経験の場であり、患者ならびに共に働くスタッフに対する真摯な態度を心がけ、将来に活かせる接遇技術も身につけていただきたい。

7 .臨床実習（アドバンス）概要

各診療科（糖尿病内分泌内科、腎臓内科）において、臨床能力の向上を目標に実習を行ってもらいます。最初の２週間は、糖尿病内分泌内科、腎臓内科のいずれかの診療グループの一員となり診療参加型実習を行います。最後の１週は、病棟実習を踏まえたディスカッションや模擬診療実習を行います。

脳神経内科

1. 担当教員

教　　授	漆谷　真	非常勤講師	福山　秀直
准　教　授	真田　充	（市立野洲病院　病院長）	
講師（学内）	山川　勇	非常勤講師	寺田　雅彦
助教（教育医長）	北村　彰浩	（磐田市立総合病院　副院長）	
助　　教	小川　暢弘	非常勤講師	小河　秀郎
特任助教	小橋　修平	（公立甲賀病院　脳神経内科部長　副院長）	
特任助教	塚本　剛士	非常勤講師	櫻井　健世
医　　員	田村　亮太	（脳神経内科･内科さくらいクリニック院長）	

2. ねらいと学修目標

ねらい	学修目標
多様な病態や背景を有する神経疾患患者に適切な診療を学ぶ。詳細で効果的な病歴聴取、全身ならびに神経診察の仕方を習得し、診断・治療計画を立てて診療録への記載やその要約を発表する能力を身につける。	1．神経系主要疾患の基礎的知識の概略を理解する。 2．鑑別診断が絞り込めるような病歴聴取ができる。 3．基本的な神経診察法を習得し、得られた神経学的所見から神経局在診断ができる。 4．医療問診による病因診断や神経診察による局在診断を通じたThree step diagnosisができる。 5．神経症候などに関して問題志向型システムに基づいたカルテ記載ができる。 6．脳梗塞や認知症などのコモンディジーズの診断と治療を学ぶ。 7．よき医療人として、難治性の神経変性疾患患者の背景を考慮した医療面接や診察ができる。 8．神経疾患のみならず、全身疾患に伴う神経合併症の診断と治療法を学ぶ。 9．神経画像・神経生理・神経病理などの検査の結果を正確に評価できる。 10．症例を適切に要約し、その情報を回診やカンファレンスで提示できる。

3. 評価基準

診療参加型臨床実習として、医療チームの一員としての役割を担うことが要求される。担当患者やその家族との接し方や病状把握は勿論のこと、指導教員や主治医・担当医、その他コメディカルスタッフとの積極的なコミュニケーションも重視される。患者との対話、診察を通じた学習態度を評価し、カルテの抜粋と要約のみの実習にとどまらないよう留意すること。

実習は以下の２つの研修システムからなる。

１．グループ担当症例：２週間の実習中にグループ全体で担当症例１例を指定する。カルテを精読し、診断、治療、患者の社会・療養環境などから３つの問題点を抽出し、パワーポイントにまとめる。実習最終日にグループで20～30分程度のプレゼンテーションを行っていただく（発表形式は自由）。

２．個別担当症例：２週目から各学生ごとに症例を担当する。医療面接、患者診察、診療録記載をしてＡ４用紙１枚程度に要約をする。この際、患者との面接の中で感じたこと、教科書の記載を越えて学んだことを加える。実習終了時にそれらを簡単に発表し、サマリーを指導教官に提出する。

教員や研修医とのディスカッションにより実習の目標達成度を評価する。臨床実習カリキュラムの出席は必須であり、実習態度（診療チームの一員としての自覚や協調性、患者に接する共感や接遇態度、服装など）と総合して評価を行う。

上記の通り全出席を基本とするが、出席以外は提出レポートのほか、下記のチェックリストに基づいて行う。

１．神経系領域の基本知識
２．医療者としての自覚と認識
３．患者への理解と共感
４．医療面接や神経診察による病態把握能力
５．未知の病態への解折能力
６．問題志向型の診療録記載能力
７．簡潔で的確な症例提示能力

4 .臨床実習のユニット内容

一日の基本的な流れ

（チーム回診前）

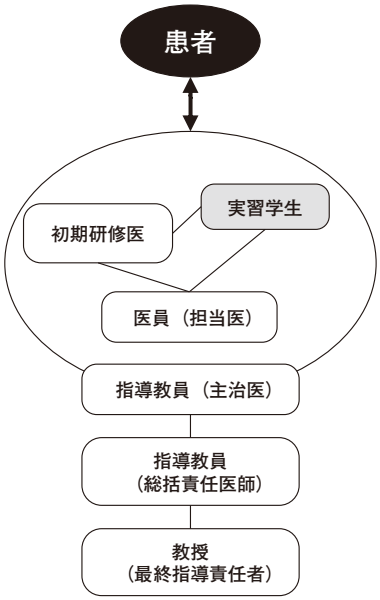
・毎朝、受け持ち患者を診察して熱型表や診療記録を確認し、前日や夜起こったことについて把握する。

チーム回診

・受け持ち患者から得た情報を簡潔にまとめて口頭で指導に当たる医師に報告する。
・受け持ち患者を診療チームスタッフ（研修医、担当医、主治医）と共に回診し、本日の診療計画を検討して、おこなう医療行為をリスト化して実践する。

グループ学習

神経セミナー
ベッドサイドティーチング
臨床実技実習
グループ討議



臨床実習の診療チームでの教育体制

・本日の診療内容を診療録に記載する。
・疾患や診療に関してわからなかったところを自分で学習する。
・診療録の記載内容や学習した課題などについて診療チームスタッフで検討し、指導教員の確認を受ける。

病棟カンファレンスや教授総回診

指導教員に報告して帰宅

注意事項

1．基本的に外来見学は第１週、病棟患者の受け持ちは第２週とする。
2．配属された診療チームの一員として、基本的にそのチームが担当する全ての患者について担当医と共に診療に参加する。
3．各チームと行動を共にすることによりその診療体制を理解する。
4．毎朝、受け持ち患者を診察し、体温板と看護・診療記録を必ずチェックし、前日や夜起こったことについて把握する。
5．毎日、患者の状態、検査結果、検査治療計画について指導にあたる医師に口頭で提示し、診療計画を検討する。
6．毎日、診療録を記載する。
7．電子カルテの使用については注意事項を厳守する。
8．病棟回診、カンファレンスでは受け持ち患者さんを症例呈示し、討論に参加する。
9．問題点、疑問点については文献検索などにより自分で調べ、指導にあたる医師に報告し討論した上で、診療計画に反映させる。
10．ベッドサイドで行われる採血や静脈注射などの基本手技を見学、医師の指導を受ける。
11．受け持ち患者の検査には可能なかぎり同席する。
12．診療チームと患者、患者家族とで持たれる病状説明や検査治療計画の策定に参加する。

第１週

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	９：30 ～10：00	医局カンファレンスルーム	オリエンテーション	実習スケジュールや実習体制の説明、診療チーム割り当て	説　明	田村
	10：00 ～12：00	脳神経センター外来	外来診療見学	脳神経内科の外来業務／診療を見学	見　学	漆谷／真田／小川
	13：00 ～13：30	図書館	文献検索実習	医学論文（PubMed、医中誌）検索方法を習得する	セミナー	図書館職員
	13：30 ～15：00	医局カンファレンスルーム	神経セミナー	Three step Diagnosisを習得	セミナー	漆谷
	15：00～ 17：00	医局カンファレンスルーム	神経セミナー	神経画像の読影を習得	セミナー	山川
火	８：00 ～９：00	６Cカンファレンスルーム	ジャーナルクラブ	臨床における医学論文の活用の実際を経験する	輪　講	スタッフ全員
	９：00 ～10：30	医局カンファレンスルーム	神経セミナー	日本神経学会などでの教育ビデオで学ぶ	ビデオ	真田
	10：30 ～12：00	医局カンファレンスルーム	診療実習	症例に関する臨床考察	診　療	
	13：00 ～15：00	医局カンファレンスルーム	神経セミナー	神経診察法の習得	セミナー	北村
	15：00 ～17：00	医局カンファレンスルーム	診療実習	症例に関する臨床考察	診　療	
水	９：30 ～12：00	脳神経センター外来	外来診療	脳神経内科の外来業務／診療を見学	見　学	漆谷／山川／北村
	13：00 ～15：00	医局カンファレンスルーム	神経セミナー	てんかん・脳波の基礎	セミナー	塚本
	15：00 ～17：00	医局カンファレンスルーム	診療実習	症例に関する臨床考察	診　療	
木	９：00 ～10：30	医局カンファレンスルーム	神経セミナー	最新の脳卒中診療について	セミナー	小川
	11：00 ～12：00	医局カンファレンスルーム	神経セミナー	ISLS（座学）	セミナー	北村
	13：00 ～15：30	６Cカンファレンスルーム	カンファレンス	脳神経内科新患カンファレンス	討　議	スタッフ全員
	15：30 ～17：00	６C病棟	教授回診	脳神経内科入院患者の回診に参加	回　診	スタッフ全員
金	９：30 ～12：00	脳神経センター外来	外来診療	脳神経内科の外来業務／診療を見学	見　学	真田／北村／塚本
	13：00 ～14：30	医局カンファレンスルーム	診療実習	症例に関する臨床考察	診　療	
	16：00 ～17：00	６Cカンファレンスルーム	カンファレンス	１週間の診療要約のプレゼンテーションを見学する	見　学	漆谷／北村

第２週

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	９：30 ～10：00	医局カンファレンスルーム	オリエンテーション	実習スケジュールや実習体制の説明、診療チーム割り当て	説　明	田村
	10：00 ～12：00	６C病棟	病棟診療実習	患者診察／カルテでの情報収取／臨床考察	診　療	
	13：00 ～14：00	６C病棟	病棟診療実習	患者診察／カルテでの情報収取／臨床考察	診　療	
	14：00 ～16：00	医局カンファレンスルーム	神経セミナー	SMONについて考える	セミナー	山川

火	8：00 ～9：00	6Cカンファレンスルーム	ジャーナルクラブ	臨床における医学論文の活用の実際を経験する	輪　講	スタッフ全員
	9：00 ～10：30	医局カンファレンスルーム	神経セミナー	神経系免疫疾患について	セミナー	真田
	10：30 ～12：00	6C病棟	病棟診療実習	患者診察／カルテでの情報収取／臨床考察	診　療	
	13：00 ～15：00	電気生理室	診療実習	神経伝導検査を理解し習得する	実　習	北村
	15：00 ～17：00	6C病棟	病棟診療実習	患者診察／カルテでの情報収取／臨床考察	診　療	
水	9：30 ～12：00	6C病棟	病棟診療実習	患者診察／カルテでの情報収取／臨床考察	診　療	
	13：00 ～15：00	医局カンファレンスルーム	神経セミナー	意識障害の診かた	セミナー	田村
	15：00 ～17：00	6C病棟	病棟診療実習	患者診察／カルテでの情報収取／臨床考察	診　療	
木	9：30 ～11：00	スキルズラボ	診療実技	腰椎穿刺の目的や手技を理解し習得する	実　習	小橋
	11：00 ～12：00	医局カンファレンスルーム	診療実習	ISLS（演習）	実　習	北村
	13：00 ～15：30	6Cカンファレンスルーム	カンファレンス	脳神経内科の入院患者について、病態や治療方針を理解する	討　議	スタッフ全員
	15：30 ～17：00	6C病棟	教授回診	脳神経内科入院患者の回診に参加	症例提示	スタッフ全員
金	9：30 ～12：00	6C病棟	病棟診療実習	患者診察／カルテでの情報収取／臨床考察	診　療	
	13：00 ～16：00	6C病棟	病棟診療実習	患者診察／カルテでの情報収取／臨床考察	診　療	
	16：00 ～17：00	医局カンファレンスルーム	まとめ	２週間の臨床実習を総括	発　表	真田

5 .集合場所・時間

毎朝、9 時30分（火曜日は 7 時50分、第 1 週木曜日は 9 時）に脳神経内科医局に集合し検温結果報告の後、実習を開始する。第 1 週初日は午前 9 時30分のオリエンテーションに間に合うように集合する（オリエンテーション担当：田村）。月曜日が祝日の場合は火曜日午前 7 時50分に集合する（火曜日担当：真田）。

6 .学生へのメッセージ・注意事項等

脳神経内科は脳解剖と生理学の知識をもとに、ハンマーや音叉、ペンライトといった手軽な診察器具を使った神経局在診断を行い、患者や家族からの丁寧で適切な病歴聴取、時にはポイントを押さえた臨床経過の把握によって得られた病因診断を合わせて臨床診断をします（Three step diagnosis）。採血や髄液検査、MRIなどの検査は、臨床診断によって決定され、診断確認と絞り込みのために行います。したがって診断をするのは検査ではなくあくまで医師となります。皆さんがCBTやOSCEでパスした基本的臨床技能のなかで「難しいなぁ」と思いながら学んだ脳神経内科の知識は、患者と接することによって自分のものとなり、繰り返し診察することによって神経機能解剖を連想しながら診断している自分に気づきます。そして何より脳神経内科疾患の幅広さと奥深さに驚くはずです。 2 週間の実習によって少しでも脳神経内科学の面白さを感じて頂きたいと思います。

欠席する場合は出来るだけ早くに電話ではなく、内科学講座（脳神経内科）（hqsinkei@belle.shiga-med.ac.jp）と学生課（hqgaku@belle.shiga-med.ac.jp）に連絡をとり、教育担当教員が把握できるようにしてください。欠席がある場合は進級するために補講をうけてもらう必要があります。

7 .臨床実習（アドバンス）概要

病棟、外来で患者を通じて実際の神経症候学を学ぶとともに、頻度の高い脳梗塞症例の画像診断と最新の治療法の流れに触れて頂く一方、パーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症といった神経変性疾患の患者の受け持ちをすることによって典型例とその経過、非典型例からの診断のtipsを学んでもらいます。また、学内の教員のほかに学外の非常勤講師にも臨床に役立つレクチャーをして頂きます。

実臨床に即した実習を行い、卒後に脳神経内科を希望する学生には初期研修時により高いレベルでスタートできるよう、脳神経内科以外を希望する学生には脳神経内科へのコンサルテーションのタイミングを知っていただけるように指導をします。

小　児　科

1. 担当教員

教　　授	丸尾　良浩	内分泌、先天性代謝異常症、遺伝子診断、体質性黄疸
教授(特任)	竹内　義博	発達障害、神経、てんかん
准　教　授	多賀　　崇	腫瘍、血液、感染症、膠原病、ターミナルケア
准教授(特任)	阪上　由子	発達障害、神経
講　　師	澤井　俊宏	腎疾患、救急、感染症
講　　師	松井　克之	内分泌、糖尿病、先天性代謝異常症、感染症、予防接種
講師(特任)	澤井ちひろ	発達障害、発達
講師(学内)	柳　　貴英	未熟児・新生児、NICU（neonatal intensive care unit）
助　　教	坂井　智行	腎疾患、急性血液浄化、透析、腎移植
助　　教	星野　真介	循環器、呼吸器
助　　教	底田　辰之	神経、発達障害、てんかん
助　　教	古川　央樹	循環器、呼吸器、NICU（neonatal intensive care unit）
助　　教	坂本　謙一	腫瘍、血液
助　　教	森宗　孝夫	神経、発達障害、てんかん
助教(特任)	長井　静世	内分泌、先天性代謝異常症
助教(特任)	中原小百合	未熟児・新生児、NICU（neonatal intensive care unit）
助教(特任)	筒井　英美	未熟児・新生児、内分泌、NICU（neonatal intensive care unit）
助教(特任)	吉田　大輔	未熟児・新生児、NICU（neonatal intensive care unit）
助教(特任)	西倉　紀子	発達障害、神経、てんかん
総合周産期母子医療センター		
講師(特任)	越田　繁樹	未熟児・新生児、NICU（neonatal intensive care unit）
臨床教育センター		
助教(特任)	柴田　晶美	未熟児・新生児、内分泌、NICU（neonatal intensive care unit）
総合診療部		
助　　教	岸本　卓磨	小児重症管理、集中治療、救急医学
救急集中治療医学講座		
助　　教	高島　光平	救急、集中治療
非常勤講師		
中島　　亮(済生会滋賀県病院小児科)		アレルギー疾患
佐藤　知実(近江八幡市立総合医療センター小児科)		リウマチ・膠原病

2. ねらいと学修目標

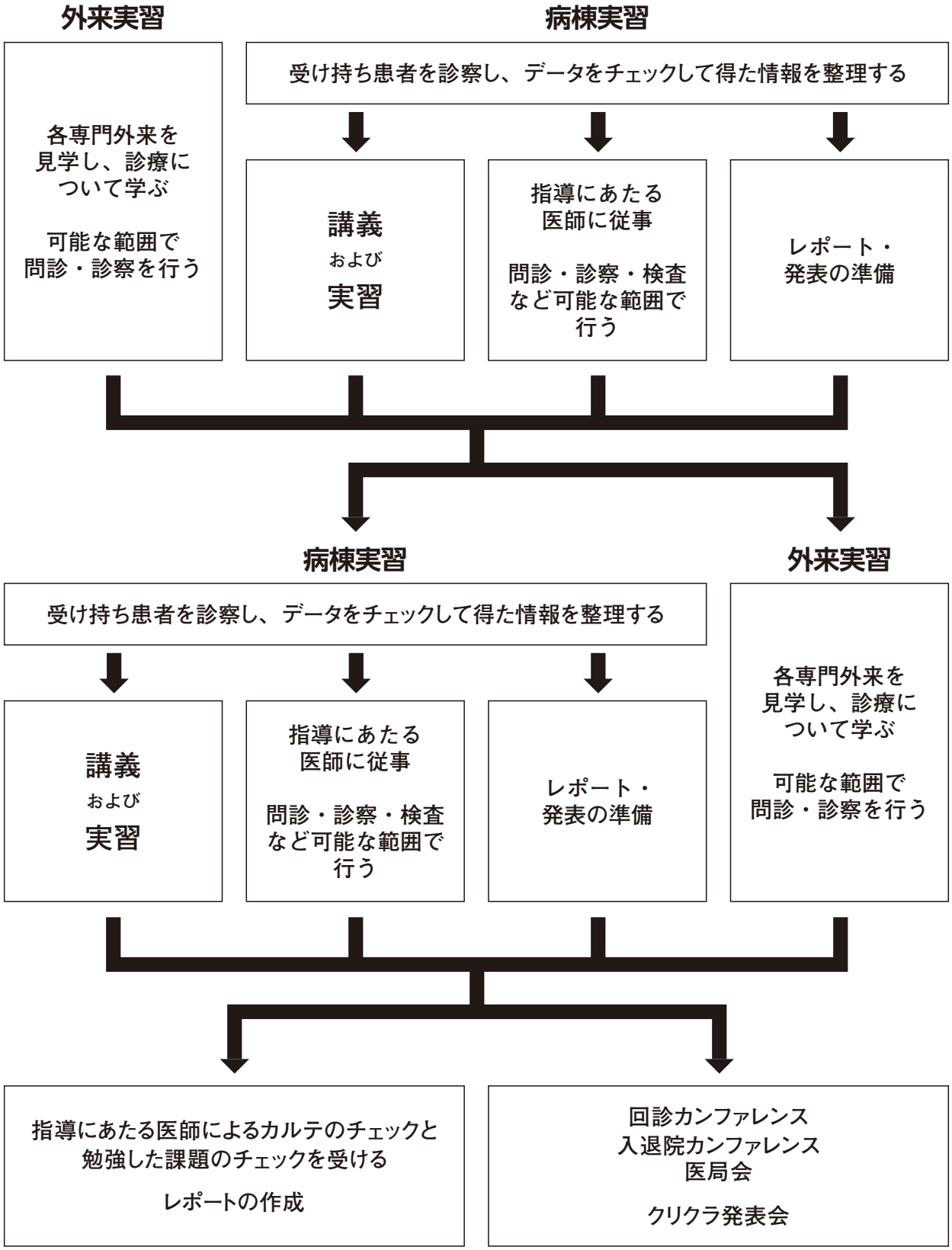
ねらい	学修目標
患児、家族と正面から向き合い、実医療に通用する姿勢・技術・知識の体得を目指す。	1．各種実習、カンファレンスに積極的に参加し、小児科領域疾患を数多く体験する。学生カルテの記載を行う。担当疾患についてレポートを作成し、疾患の鑑別診断に至る思考過程を身につける。 2．各種検査を見学し、小児科内各分野の理解を深める。 3．NICU（新生児集中治療室）およびGCU（Growing care unit：回復期治療室）を見学し、新生児の診察技術を身につける。

3. 評価基準

臨床実習への出席、レポート提出、学生カルテ記載内容、実習最終日の口頭試問などにより５段階で評価を行う。評価基準および評価結果は公表する。臨床の基本的知識が不十分と判断された者や、臨床実習の評価が低い者に対しては、別途筆記試験や口頭試問の機会を設ける。

4 .臨床実習のユニット内容

一日の基本的な流れ



第１週　Ａ：奇数番の班、 Ｂ：偶数番の班

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	10：00～11：30	５Ａ病棟カンファレンスルーム	講義	甲状腺と小児保健について学ぶ	講義	資料	1	チェックリスト	丸尾
	14：00～15：00	５Ａ病棟カンファレンスルーム	オリエンテーション	担当患者の割当等	説明	入院患者	1	チェックリスト	松井
	15：00～16：30	５Ａ病棟	カンファレンス	回診および入退院カンファレンスにて積極的に討議に参加する。	カンファレンス	担当患者	全員	チェックリスト	全員
火	９：00～	（火曜日に臨床実習開始の場合は５Ａ病棟カンファレンスルームでオリエンテーション）							松井
	９：00～10：30	５Ａ病棟	病棟実習	割当グループ毎の実習	実習	担当患者	6	チェックリスト	病棟担当医
	10：30～12：00	５Ａ病棟カンファレンスルーム	講義	代表的な先天性心疾患の捉え方について学ぶ	講義	資料	1	チェックリスト	古川
	13：00～14：30	５Ａ病棟カンファレンスルーム	講義	新生児学入門、生育限界の考え方について学ぶ	講義	資料	1	チェックリスト	越田
	14：30～16：00	５Ａ病棟	病棟実習	割当グループ毎の実習	実習	担当患者	6	チェックリスト	病棟担当医
水	Ａ：９：00～12：00	５Ａ病棟	病棟実習	割当グループ毎の実習	実習	担当患者	6	チェックリスト	病棟担当医
	Ｂ：９：00～12：00	小児科外来	外来実習	各種専門外来に参加し、各疾患の病態を把握する。	実習	担当患者	6	チェックリスト	外来担当医
	Ａ：13：00～16：00	小児科外来	外来実習	各種専門外来に参加し、各疾患の病態を把握する。	実習	担当患者	6	チェックリスト	外来担当医
	Ｂ：13：00～16：00	５Ａ病棟	病棟実習	割当グループ毎の実習	実習	担当患者	6	チェックリスト	病棟担当医
木	９：00～10：30	５Ａ病棟	病棟実習	割当グループ毎の実習	実習	担当患者	6	チェックリスト	病棟担当医
	10：30～12：00	５Ａ病棟カンファレンスルーム	講義	予防接種などについて学ぶ	講義	資料	1	チェックリスト	筒井
	13：00～16：00	５Ａ病棟	病棟実習	割当グループ毎の実習	実習	担当患者	6	チェックリスト	病棟担当医
	16：00～16：45	５Ａ病棟カンファレンスルーム	カンファレンス	入退院カンファレンスで積極的に討議に参加する。	カンファレンス	入院患者	全員	チェックリスト	全員
	16：45～17：30	第３会議室	症例検討会	入院症例等の検討会にて積極的に討議に参加する。	討論	検討会資料	全員	チェックリスト	全員
金	Ａ：９：00～12：00	小児科外来	外来実習	各種専門外来に参加し、各疾患の病態を把握する。	実習	担当患者	6	チェックリスト	外来担当医
	Ｂ：８：40～12：00	医師臨床教育センター		医師臨床教育センターでの実習（P.151参照）					医師臨床教育センター
	Ａ：13：00～16：00	５Ａ病棟	病棟実習	割当グループ毎の実習	実習	担当患者	6	チェックリスト	病棟担当医
	Ｂ：13：00～16：00	小児科外来	外来実習	各種専門外来に参加し、各疾患の病態を把握する。	実習	担当患者	6	チェックリスト	外来担当医

第２週　Ａ：奇数番の班、 Ｂ：偶数番の班

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	Ａ：９：00～12：00	小児科外来	外来実習	各種専門外来に参加し、各疾患の病態を把握する。	実習	担当患者	6	チェックリスト	外来担当医
	Ｂ：9：00～12：00	５Ａ病棟	病棟実習	割当グループ毎の実習	実習	担当患者	6	チェックリスト	病棟担当医
	13：00～13：30	５Ａ病棟	病棟実習	担当症例の情報収集等	実習	担当患者	6	チェックリスト	病棟担当医

	13：30 ～15：00	5 A病棟カンファレンスルーム	講義	悪いニュースの伝え方について学ぶ	講義	資料	1	チェックリスト	澤井俊
	15：00 ～16：30	5 A病棟	カンファレンス	回診および入退院カンファレンスにて積極的に討議に参加する。	カンファレンス	担当患者	全員	チェックリスト	全員
火	A：9：00 ～12：00	小児科外来	外来実習	各種専門外来に参加し、各疾患の病態を把握する。	実習	担当患者	6	チェックリスト	外来担当医
	B：9：00 ～12：00	5 A病棟	病棟実習	割当グループ毎の実習	実習	担当患者	6	チェックリスト	病棟担当医
	A：13：00 ～16：00	5 A病棟	病棟実習	割当グループ毎の実習	実習	担当患者	6	チェックリスト	病棟担当医
	B：13：00 ～16：00	小児科外来	外来実習	各種専門外来に参加し、各疾患の病態を把握する。	実習	担当患者	6	チェックリスト	外来担当医
水	9：00 ～10：30	5 A病棟	病棟実習	割当グループ毎の実習	実習	担当患者	6	チェックリスト	病棟担当医
	10：30～ 12：00	5 A病棟カンファレンスルーム	講義	発熱の診察について学ぶ	講義	資料	1	チェックリスト	松井
	13：00～ 14：30	5 A病棟	病棟実習	割当グループ毎の実習	実習	担当患者	6	チェックリスト	病棟担当医
	14：30 ～16：00	5 A病棟	病棟実習	割当グループ毎の実習	実習	担当患者	6	チェックリスト	病棟担当医
木	A：9：00 ～12：00	5 A病棟	病棟実習	割当グループ毎の実習	実習	担当患者	6	チェックリスト	病棟担当医
	B：9：00 ～12：00	小児科外来	外来実習	各種専門外来に参加し、各疾患の病態を把握する。	実習	担当患者	6	チェックリスト	外来担当医
	14：00～ 16：00	5 A病棟カンファレンスルーム	講義	脳性麻痺について学ぶ	講義	資料	1	チェックリスト	底田
	16：00 ～16：45	5 A病棟カンファレンスルーム	カンファレンス	入退院カンファレンスで積極的に討議に参加する。	カンファレンス	入院患者	全員	チェックリスト	全員
	16：45 ～17：30	第 3 会議室	症例検討会	入院症例等の検討会にて積極的に討議に参加する。	討論	検討会資料	全員	チェックリスト	全員
金	9：00 ～10：30	5 A病棟	病棟実習	割当グループ毎の実習	実習	担当患者	6	チェックリスト	病棟担当医
	10：30 ～12：00	5 A病棟カンファレンスルーム	講義	発達について学ぶ	講義	資料	1	チェックリスト	澤井ち
	13：00 ～15：00	5 A病棟	病棟実習	割当グループ毎の実習	実習	担当患者	6	チェックリスト	病棟担当医
	15：00 ～16：00	5 A病棟カンファレンスルーム	講義	新生児について学ぶ	講義	資料	1	チェックリスト	柳
	16：00 ～17：00	5 A病棟カンファレンスルーム	病棟実習	中間まとめ	懇談	担当患者	1	チェックリスト	多賀

第 3 週　A：奇数番の班、 B：偶数番の班

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	9：00 ～10：30	5 A病棟	病棟実習	割当グループ毎の実習	実習	担当患者	6	チェックリスト	病棟担当医
	10：30 ～12：00	5 A病棟カンファレンスルーム	講義	てんかんについて学ぶ	講義	資料	1	チェックリスト	西倉
	13：30 ～15：00	5 A病棟カンファレンスルーム	講義	小児腎について学ぶ	講義	資料	1	チェックリスト	坂井
	15：00 ～16：30	5 A病棟	カンファレンス	回診および入退院カンファレンスにて積極的に討議に参加する。	カンファレンス	担当患者	全員	チェックリスト	全員
火	9：00 ～10：30	5 A病棟	病棟実習	割当グループ毎の実習	実習	担当患者	6	チェックリスト	病棟担当医

	10：30 ～12：00	5 A病棟カンファレンスルーム	講義	神経発達症・その周辺領域の診療について学ぶ	講義	資料	1	チェックリスト	阪上
	13：00 ～15：00	5 A病棟	病棟実習	割当グループ毎の実習	実習	担当患者	6	チェックリスト	病棟担当医
	15：00 ～16：00	5 A病棟	講義	新生児マススクリーニングについて学ぶ	講義	資料	1	チェックリスト	柴田
水	A：9：00 ～12：00	小児科外来	外来実習	各種専門外来に参加し、各疾患の病態を把握する。	実習	担当患者	6	チェックリスト	外来担当医
	B：9：00 ～12：00	5 A病棟	病棟実習	割当グループ毎の実習	実習	担当患者	6	チェックリスト	病棟担当医
	A：13：00 ～16：00	5 A病棟	病棟実習	割当グループ毎の実習	実習	担当患者	6	チェックリスト	病棟担当医
	B：13：00 ～16：00	小児科外来	外来実習	各種専門外来に参加し、各疾患の病態を把握する。	実習	担当患者	6	チェックリスト	外来担当医
木	9：00 ～10：30	5 A病棟	病棟実習	割当グループ毎の実習	実習	担当患者	6	チェックリスト	病棟担当医
	10：30 ～12：00	5 A病棟カンファレンスルーム	講義	神経疾患について学ぶ	講義	資料	1	チェックリスト	森宗
	13：00 ～16：00	5 A病棟	病棟実習	割当グループ毎の実習	実習	担当患者	6	チェックリスト	病棟担当医
	16：00 ～16：45	5 A病棟カンファレンスルーム	カンファレンス	入退院カンファレンスで積極的に討議に参加する。	カンファレンス	入院患者	全員	チェックリスト	全員
	16：45 ～17：30	第 3 会議室	症例検討会	入院症例等の検討会にて積極的に討議に参加する。	討論	検討会資料	全員	チェックリスト	全員
金	A：8：40 ～12：00	医師臨床教育センター		医師臨床教育センターでの実習 (P.151参照)	実習				医師臨床教育センター
	B：9：00 ～12：00	小児科外来	外来実習	各種専門外来に参加し、各疾患の病態を把握する。	実習	担当患者	6	チェックリスト	外来担当医
	A：13：00 ～16：00	小児科外来	外来実習	各種専門外来に参加し、各疾患の病態を把握する。	実習	担当患者	6	チェックリスト	外来担当医
	B：13：00 ～16：00	5 A病棟	病棟実習	割当グループ毎の実習	実習	担当患者	6	チェックリスト	病棟担当医

第 4 週　A：奇数番の班、 B：偶数番の班

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	A：9：00 ～12：00	5 A病棟	病棟実習	割当グループ毎の実習	実習	担当患者	6	チェックリスト	病棟担当医
	B：9：00 ～12：00	小児科外来	外来実習	各種専門外来に参加し、各疾患の病態を把握する。	実習	担当患者	6	チェックリスト	外来担当医
	13：00 ～13：30	5 A病棟	病棟実習	担当症例の情報収集等	実習	担当患者	6	チェックリスト	病棟担当医
	13：30 ～15：00	5 A病棟カンファレンスルーム	講義	小児循環器の最近の話題について学ぶ	講義	資料	1	チェックリスト	星野
	15：00 ～16：30	5 A病棟	カンファレンス	回診および入退院カンファレンスにて積極的に討議に参加する。	カンファレンス	担当患者	全員	チェックリスト	全員
火	A：9：00 ～12：00	5 A病棟	病棟実習	割当グループ毎の実習	実習	担当患者	6	チェックリスト	病棟担当医
	B：9：00 ～12：00	小児科外来	外来実習	各種専門外来に参加し、各疾患の病態を把握する。	実習	担当患者	6	チェックリスト	外来担当医
	A：13：00 ～16：00	小児科外来	外来実習	各種専門外来に参加し、各疾患の病態を把握する。	実習	担当患者	6	チェックリスト	外来担当医
	B：13：00 ～16：00	5 A病棟	病棟実習	割当グループ毎の実習	実習	担当患者	6	チェックリスト	病棟担当医

水	9：00 ～10：30	5 A病棟	病棟実習	割当グループ毎の実習	実習	担当患者	6	チェックリスト	病棟担当医
	10：30 ～12：00	5 A病棟カンファレンスルーム	講義	小児内分泌救急について学ぶ	講義	資料	1	チェックリスト	松井
	13：00 ～14：30	5 A病棟	講義	早産、超低出生体重児について学ぶ	講義	資料	1	チェックリスト	吉田
	14：30 ～16：00	5 A病棟	病棟実習	割当グループ毎の実習	実習	担当患者	6	チェックリスト	病棟担当医
木	A：9：00 ～12：00	小児科外来	外来実習	各種専門外来に参加し、各疾患の病態を把握する。	実習	担当患者	6	チェックリスト	外来担当医
	B：9：00 ～12：00	5 A病棟	病棟実習	割当グループ毎の実習	実習	担当患者	6	チェックリスト	病棟担当医
	13：30 ～15：00	5 A病棟カンファレンスルーム	講義	実際あった症例の診断へのアプローチについて学ぶ	講義	資料	1	チェックリスト	多賀
	15：50 ～18：00	5 A病棟カンファレンスルーム →第３会議室	発表会	実習で経験した症例の発表を行い、議論する。	発表	担当患者	全員	チェックリスト	全員
金	9：00 ～10：30	5 A病棟	病棟実習	割当グループ毎の実習	実習	担当患者	6	チェックリスト	病棟担当医
	10：30 ～12：00	5 A病棟カンファレンスルーム	講義	成長について学ぶ	講義	資料	1	チェックリスト	長井
	13：00 ～15：00	5 A病棟	病棟実習	割当グループ毎の実習	実習	担当患者	6	チェックリスト	病棟担当医
	15：00 ～16：00	5 A病棟カンファレンスルーム	講義	小児がんについて学ぶ	講義	資料	1	チェックリスト	坂本
	16：00 ～17：00	5 A病棟カンファレンスルーム	病棟実習	まとめ・質疑応答 レポート提出	懇談	担当患者	1	チェックリスト	丸尾

5．集合場所・時間

表に一括。

6．学生へのメッセージ・注意事項等

こどもの世界は、大人とは異なったヒューマニティ、強い生命力、疾病からの回復力、どんな時にも絶えず常に前向きに進んでゆく力があります。小児科の世界のすばらしさ、新鮮さ、驚き、喜び、悲しみ……これらを体験してください。きっと、皆さんに新たな視野が開けることと思います。

1）私達教員は小児科こそが臨床医学の原点であるという自負を持って全人的医療を実践し教育に携わっています。

2）臨床実習は学生として実際の医療世界に踏み込む第一歩です。一般社会からは医学の科学性、倫理性が厳しく求められており、医学生に対しても礼儀、社会常識が求められるのは当然です。礼儀、服装、清潔、言葉遣い等については十分注意をしてください。

3）患者さんの人格、人権に対する細やかな配慮を忘れないようにしてください。

4）欠席の場合は077-548-2228小児科医局まで必ず連絡すること。
病気による欠席の場合は診断書を後日必ず提出すること。
欠席期間・欠席内容によっては補講の対象となります。

7．臨床実習（アドバンス）概要

主治医グループの中に数名ずつ配置し、外来から入院まで小児科臨床の実習をおこなう。

希望により、神経・発達障害・循環器・血液腫瘍・新生児未熟児・腎臓・内分泌代謝・アレルギー外来等の専門分野を集中的に選択するコースを設ける。

精　神　科

1. 担当教員

教　　授　尾関　祐二
特任教授　角谷　　寛（睡眠センター長）
准教授　藤井久彌子
講　　師　吉村　　篤
助　　教　眞田　　陸
助　　教　増田　　史
助　　教　角　　幸頼
助　　教　藤井　彰夫
助　　教　松田　有史
特任講師　森田　幸代（腫瘍センター）
助　　手　上西　祐輝（心理士）
非常勤講師　石田　展弥（琵琶湖病院院長）
非常勤講師　村上　純一（琵琶湖病院）
非常勤講師　青木　浄亮（瀬田川病院院長）
非常勤講師　青木　崇　（滋賀八幡病院）
非常勤講師　大久保雅則（水口病院）

2. ねらいと学修目標

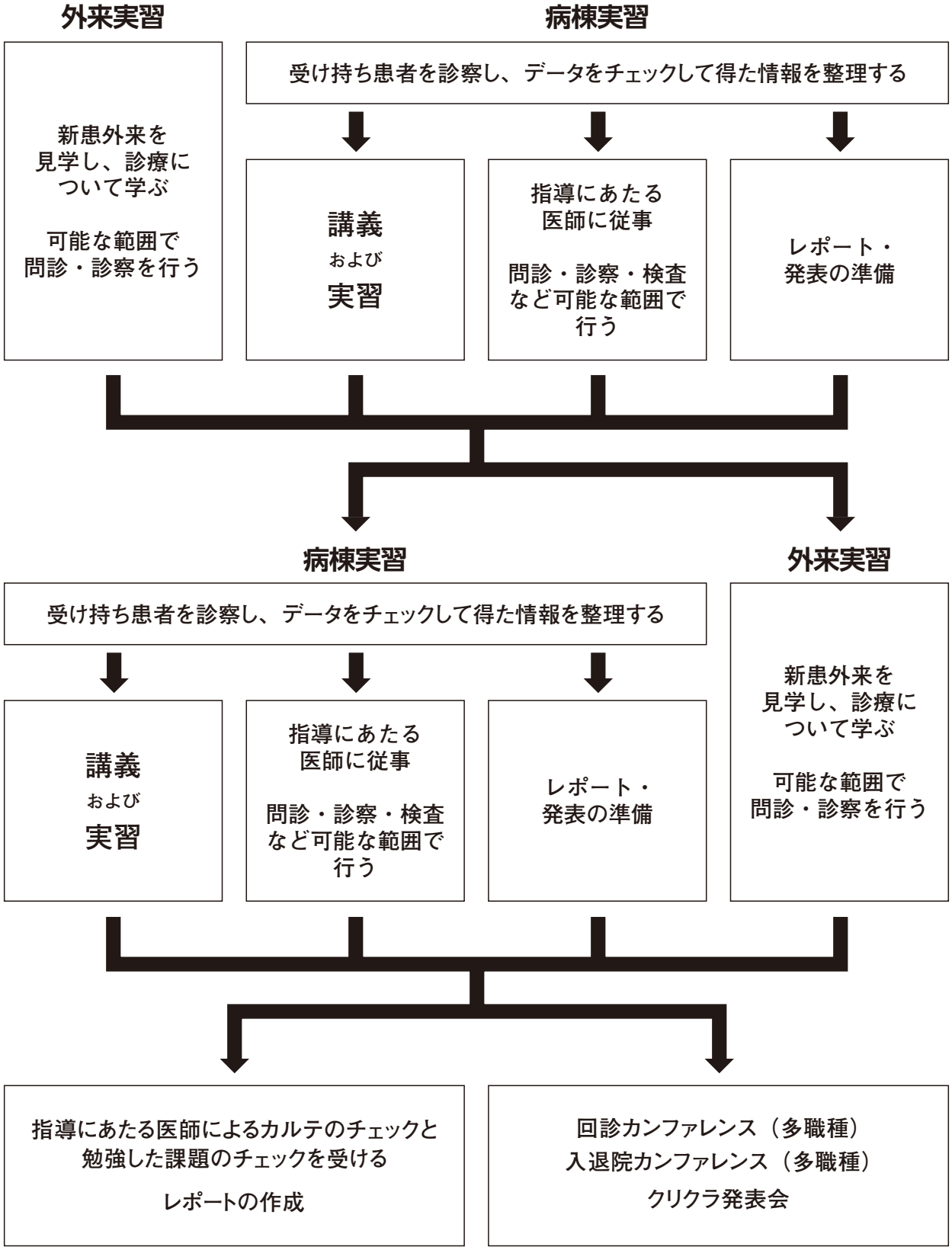
ねらい	学修目標
1．統合失調症、気分障害、不安障害、認知症、睡眠障害などの基本となる精神疾患の精神症状、関連する行動異常、及び治療に関して理解する。	1．患者に面接（予診）を行い、患者の受診動機、病歴を聴取して、記録できる。 2．統合失調症、気分障害、不安障害、認知症、睡眠障害、児童思春期精神障害などの精神疾患において、精神疾患の診断及び鑑別診断を説明できる。 3．心理検査や脳波検査（終夜睡眠脳波を含む）に関して概説できる。 4．基本的な精神疾患の薬物療法、精神療法、集団療法、身体的治療の適応を説明できる。 5．修正型電気けいれん療法、認知行動療法・家族心理療法などの心理療法についてその適応と手技を説明できる。 6．興奮状態の患者対応に関して説明できる。 7．精神保健福祉法および関連法規についての知識を修得し、適切な入院形態や行動制限について説明できる。 8．外来･病棟実習で生じた臨床疑問に対し、国際学術誌・医学誌を抄読することで、エビデンスに基づく治療法の提案ができる。

3. 評価基準

外来実習では、学生カルテへの記載と診察陪席において、精神症状の把握、記載、診断について評価する。病棟実習では、担当症例の面接と学生カルテへの記載、カンファレンスで患者のサマリーをレビューすることで評価する。実習で生じた臨床疑問を、指導医とのディスカッションを通じて理解し、PubMedを用いて臨床疑問のヒントとなる科学的知見を検索・精読・整理する。担当症例に関連した知見・エビデンスをもとに、治療法を提案し発表することで評価する。いずれも全出席が前提である。2週目の金曜日までに、課題を発表できるようにしておくこと。

4 .臨床実習のユニット内容

一日の基本的な流れ



第１週

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	9：00 ～9：30	医局	病棟オリエンテーション	精神科実習の要点の理解 担当患者の割当て	セミナー	プリント	1	出席確認	藤井K
	9：30 ～12：00	１C病棟その他	病棟実習・論文検索など	担当患者の理解・論文精読	クラークシップ	入院患者 PubMed	1	出席確認	全員
	13：00 ～16：30	医局	病棟カンファレンス	回診	セミナーラウンド	入院患者	1	出席確認	尾関 全員
火	8：50 ～12：00	医局→外来	外来実習	新患の診断面接の理解	クラークシップ	外来患者	1	出席確認	藤井K
	13：00 ～15：00	１C病棟	病棟実習	担当患者面接と評価	〃	入院患者	1	出席確認	全員
	15：00 ～16：00	医局	精神医学セミナー	症例検討・予診の取り方	セミナー 〃	スライド 〃	1	出席確認	藤井K
水	8：50 ～12：00	医局→外来	外来実習	新患の診断面接の理解	クラークシップ	外来患者	1	出席確認	尾関
	12：30 ～13：30	医局	精神医学セミナー	気分障害	セミナー	スライド	1	出席確認	角
	14：30 ～15：30	医局	精神医学セミナー	気分障害	〃	〃	1	出席確認	青木崇
	15：30 ～17：00	１C病棟	病棟実習	担当患者面接と評価	クラークシップ	入院患者	1	出席確認	担当医
木	9：00 ～10：00	医局→１C病棟	病棟実習	担当患者面接と評価	クラークシップ	入院患者	1	出席確認	担当医
	10：00 ～12：00	医局	精神医学セミナー	精神医学	セミナー	スライド	1	出席確認	石田
	13：00 ～14：00	１C病棟	病棟実習	担当患者面接と評価	クラークシップ	入院患者	1	出席確認	担当医
	14：00 ～15：00	医局	心理検査セミナー	心理検査の理解	セミナー	スライド	1	出席確認	上西
	15：00 ～17：00	１C病棟	病棟実習	担当患者面接と評価	クラークシップ	入院患者	1	出席確認	担当医
金	9：00 ～12：00	医局→１C病棟	病棟実習	担当患者面接と評価	クラークシップ	入院患者	1	出席確認	担当医
	13：00 ～16：30	１C病棟 その他	病棟実習・論文検索など	担当患者面接と評価・論文精読	〃	〃	1	出席確認	担当医

第２週

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	9：00 ～12：00	医局→１C病棟	電気けいれん療法見学	電気けいれん療法の理解	クラークシップ	入院患者	1	出席確認	吉村他
	13：00 ～16：30	医局	入退院カンファレンス	回診	セミナー ラウンド	入院患者	1	出席確認	尾関 全員
火	8：50 ～12：00	医局→１C病棟	外来実習	新患の診断面接の理解	クラークシップ	外来患者	1	出席確認	藤井K
	13：00 ~17：00	１C病棟	病棟実習	担当患者面接と評価	〃	入院患者	1	出席確認	担当医
水	8：50 ～12：00	医局→外来	外来実習	新患の診断面接の理解	クラークシップ	外来患者	1	出席確認	尾関
	13：30 ～14：30	医局	精神医学セミナー	リエゾン精神医学	セミナー	スライド	1	出席確認	藤井A
	15：00 ～16：00	医局	精神医学 セミナー	セルフケアとメンタルヘルス	〃	〃	1	出席確認	増田

木	8：50 ～12：00	医局→外来	外来実習	新患の診断面接の理解	クラークシップ	外来患者	1	出席確認	吉村
	13：00 ~14：00	医局	精神医学 セミナー	精神医学	セミナー	スライド	1	出席確認	松田
	14：00 ～16：00	1C病棟	病棟実習	担当患者面接と評価	クラークシップ	入院患者	1	出席確認	担当医
	16：00 ～17：00	医局	精神医学 セミナー	認知症	セミナー	スライド	1	出席確認	青木 浄亮
金	8：50 ～12：00	医局→1C病棟	病棟実習	担当患者面接と評価	クラークシップ	入院患者	1	出席確認	担当医
	13：00 ～15：00	1C病棟	病棟実習	担当患者面接と評価	〃	〃	1	出席確認	担当医
	15：00 ～17：00	医局	実習のまとめ	担当患者の評価のまとめと課題発表		レポート で課題発表	1	課題発表 と評価等	尾関

5．集合場所・時間

実習初日は、午前9時00分に精神科医局に集合し、藤井久教育医長から説明を受けること。

6．学生へのメッセージ・注意事項等

精神医学的知識は、基礎的な医学素養のひとつといえ、精神科診療における面接技法は、臨床医学の基本ともいえますので、ぜひ、能動的な学習機会を自ら得てください。傾聴とともに診断をおこなう治療的な関りを学び、患者さんに対して、心理・社会的側面に配慮し共感性を示しつつ診察ができるように、実習を生かしてください。

学生実習に協力していただいている患者さん、看護師、その他の医療従事者、受付クラークなど診療に関わる人は皆さんチームです、相手の立場・役割を尊重した対応を心がけてください。

必携図書：**DSM-5精神疾患の分類と診断の手引**（高橋三郎ら訳、医学書院）は、あらかじめ、各自が図書館で借りておいてください。実習終了後は、次のグループのために速やかに返却してください。

遅刻・欠席する場合は、必ず当日の午前9時までに、精神科医局【Tel：077-548-2291】に電話しその旨を連絡してください。連絡なく欠席した場合、相応の対処をします。早退する場合も、教員への報告が必要です。

7．臨床実習（アドバンス）概要

精神医学的思考をさらに深めるために、実習を計画していますが、状況が許せば精神科リハビリテーションや地域支援体制、精神科救急について経験して頂きます。できる限り学生の興味や希望を取り入れる予定です。将来、精神科医を希望する学生や、向精神薬を中心とした臨床精神薬理学、精神科リエゾン、精神科救急などに興味がある学生は、是非ご参加ください。

皮　　膚　　科

1. 担当教員

教　　授	藤本　徳毅	客員教授	立花　隆夫（JCHO星ヶ丘医療センター皮膚科診療部長）
講　　師	加藤　　威	非常勤講師	藤井　紀和（藤井皮フ科クリニック院長）
助　　教	山本　文平	非常勤講師	若林麻記子（マキ皮膚科クリニック院長）
助　　教	高橋　聡文	非常勤講師	中西　　元（中西皮フ科クリニック院長）
助　　教	米田　健祐	非常勤講師	中西　健史（明治国際医療大学教授）
助　　教	前田　泰広	非常勤医師	山根　尚子

2. ねらいと学修目標

ねらい	学修目標
皮膚を見ることから正しい診断情報を抽出し、的確な検査を選択でき、治療と対策が行える能力を身につける。	1．現症(皮疹)を正しく記載できることを中心に病歴聴取と身体診察を正確に実施できる。 2．現症に基づいて臨床推論から鑑別すべき疾患を想起できる。 3．鑑別に必要な検査法を想起し、検査計画を立案し、結果を解釈できる。 4．基本的な検査法の実技ができる。 5．common diseaseが診断でき、治療法を述べることができる。 6．代表的な皮膚疾患の治療計画を立案し、治療に参加でき、治療評価ができる。 7．必要な医療文書や診療録が作成でき、インフォームドコンセントに参加できる。 8．検査や治療にあたっては医療安全や感染対策を実施できる 9．皮膚疾患患者のQOLが理解できる。 10．EBMの概念がいかに皮膚科領域の診療に活用されているかを理解し、説明できる。 11．これらを総合して、関連情報を分析し、EBMに基づいて自分の受け持ち患者についてプレゼンテーションができる。

3. 評価基準

1）出席率

出席率を重視します（履修要項に記載の出席に満たない場合、補講または留年となります)。

2）入院受持ち患者に関する発表

入院患者を受け持ち、現症検査成績の正しい記載、鑑別診断、重症度判定、治療法、治療評価法、QOL改善の考え方などについて症例報告の形式での発表およびグループディスカッションを求めます。これに基づき、国家試験合格に最低限求められるレベルを「良」、それよりも優れていれば「優」または「秀」、それ以下であれば「可」または「不可」と判定します。技能は、アドバンスドオスキーの水準を参考に合否を判断します。

3）実習中の各ユニットにおける、上記行動目標の達成度

項目1）と2）を重点的に、総合的に評価する。

4 .臨床実習のユニット内容

一日の基本的な流れ

午前

指導にあたる医師と、病棟・外来患者に基づき実習内容の打合せを行う。

例）●皮疹の現症をとり記載できる
●皮疹の時間軸に沿った変化を記載できる
●鑑別診断をあげる事ができる　など

↓

打合せ内容をもとに、
午前中の実習を開始する。

↓

指導にあたる医師とともに患者診察を行い、カルテ記載を行う
カルテ記載のレベルはあらかじめ相談したレベルまで行う
得た情報を検討し、できれば鑑別診断まで進む

↓

午前の最後
or
午後の最初

フィードバック

例）●学生は紅斑と読んだが実際には紫斑であった
●鑑別診断のリストが不足している　など

↓

午後

フィードバックに基づいて、自分で診察してわからなかった事を自分で勉強する

↓

各曜日に定められたカリキュラムに基づき、
特定の観点から症例への理解を深める。

例）●病理組織学的観点、
●皮膚科検査　など

↓

指導にあたる医師に報告して帰宅する

第１週

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	8：50 ～12：20	皮膚科外来	外来実習	皮膚アレルギー性疾患全般の診療を体験し、診断について理解を深める。また、パッチテストの知識を学ぶ。	外来見学、検査補助	外来患者	1	出席率、実習への参加	山本
	13：10 ～16：40	皮膚科医局	皮膚科講義	皮膚疾患の総合的把握に必要な検査法について討論する。	講義、討論	外来患者 入院患者 スライド	1	出席率、実習への参加	担当医
火	8：50 ～12：20	皮膚科外来	外来実習	炎症性角化症（乾癬など）の診療を体験し、診断について理解を深める。 生検の意義を学ぶ。	外来見学、検査補助	外来患者	1	出席率、実習への参加	藤本 加藤
	13：10 ～16：40	皮膚科医局	皮膚科講義	入院患者の診療を体験する。 皮膚科領域の文献抄読を体験する。	講義、実習	外来患者 入院患者 スライド 文　　献	1	出席率、実習への参加	山根
水	8：50 ～12：20	皮膚科外来	外来実習	アトピー性皮膚炎や蕁麻疹患者の診療を体験し、診断について理解を深める。また、ウイルス・細菌検査の意義を学ぶ。	外来見学、検査補助	外来患者	1	出席率、実習への参加	山本 高橋
	13：10 ～16：40	手術室	手術実習	手術症例についての臨床についての臨床像・病理像を学ぶ。	手術見学・介助	外来患者 入院患者	1	出席率、実習への参加	藤本
木	8：50 ～12：20	皮膚科外来	外来実習	膠原病・腫瘍患者の診療を体験し、診断について理解を深める。真菌検査の意義を学ぶ。	外来見学、検査補助	外来患者	1	出席率、実習への参加	藤本
	13：10 ～16：40	皮膚科医局	皮膚科講義	皮疹の見方、表現法を学び、皮疹からいかに検査や診断に至るかの皮膚科診断学のプロセスを学ぶ。	講義、討論	外来患者 入院患者 スライド	1	出席率、実習への参加	山本
金	8：50 ～12：20	皮膚科外来	外来実習	光アレルギー患者の診療を体験し、診断について理解を深める。光テストの意義を学ぶ。	外来見学、検査補助	外来患者	1	出席率、実習への参加	加藤 高橋
	13：10 ～16：40	手術室	手術実習	手術症例についての臨床についての臨床像・病理像を学ぶ。	手術見学・介助	外来患者 入院患者	1	出席率、実習への参加	藤本 山本

第２週

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	8：50 ～12：20	皮膚科医局	病棟実習	病棟患者の診療を体験し、その治療経過について理解を深める。	実習	入院患者	1	出席率、実習への参加	担当医
	13：10 ～16：40	皮膚科医局	皮膚科講義	皮膚疾患の治療法について討論する。	講義、討論	外来患者 入院患者 スライド	1	出席率、実習への参加	担当医
火	8：50 ～12：20	皮膚科医局	病棟実習	縫合など手技実習	実習	入院患者	1	出席率、実習への参加	米田
	13：10 ～16：40	皮膚科医局	皮膚科講義	アレルギー性皮膚疾患を例に、皮膚科領域でのエビデンスに基づく診療を体験する。	講義、討論	外来患者 入院患者 スライド	1	出席率、実習への参加	山根
水	8：50 ～12：20	皮膚科医局	皮膚科講義	皮膚科手術の術式、再建法などを学び、基本的な臨床的・外科的手技について理解を深める。	講義、討論	外来患者 入院患者 スライド	1	出席率、実習への参加	加藤
	13：10 ～16：40	手術室	手術実習	手術症例についての臨床像・病理像について理解する。	手術見学・介助	外来患者 入院患者	1	出席率、実習への参加	藤本
木	8：50 ～12：20	皮膚科医局	皮膚科講義	皮膚疾患に関する基本的な知識を演習形式で確認する。	演習	外来患者 入院患者 スライド	1	出席率、実習への参加	高橋
	13：10 ～16：40	皮膚科医局	皮膚科講義	皮膚潰瘍、創傷の病態と治療法について理解を深める。	講義、討論	外来患者 入院患者 スライド	1	出席率、実習への参加	山本

金	8：50 ～12：20	皮膚科医局	受持患者のまとめ	受け持った入院患者と、関連文献について総合討論する。	プレゼンテーション、口頭試問	入院患者 スライド 文　献	1	出席率、実習への参加、スライド、プレゼンテーション、口頭試問の評価	藤本
	13：10 ～16：40	手術室	手術実習	手術症例についての臨床像・病理像について理解する。	手術見学・介助	外来患者 入院患者	1	出席率、実習への参加	藤本 山本

5．集合場所・時間

各曜日：皮膚科医局　8：50（実習初日は特に時間厳守）

6．学生へのメッセージ・注意事項等

皮膚科は診療に参加しやすい科なので、指導医のもと積極的に参加実習して欲しい。
欠席の場合は、欠席当日の9：00までに皮膚科医局（077-548-2233）まで連絡すること。

7．臨床実習（アドバンス）概要

皮膚科学に興味を持っている皆さん。じっくりと皮膚科を学ぶ、良い機会です。

1）プライマリ・ケアを要する皮膚疾患について診断でき、検査法と治療法について学習する。
2）「ありふれた疾患」（common disease）について診断でき、検査法と治療法について学習する。
3）「まちがえてはならない疾患」―特に皮膚悪性腫瘍等―について診断でき、検査法と治療法について学習する。
4）皮膚悪性疾患膠原病について診断でき、検査法と治療法について学習する。
5）主治医とマンツーマンで実習をおこない、皮膚科学の臨床を学習する。
6）各人の希望に応じて、現症をとり診断に至るまでを中心とするコース、貼布試験、プリック試験、皮膚生検等の検査手術を中心にするコース、皮膚病理学を重点的に学ぶコース、手術には全て入り、手術見学と簡単な実習を中心とするコース、入院から退院までを一貫して受け持ち、入院のナチュラルコースを学ぶことを中心とするコース等々の各人の希望に応じカスタマイズできます。なお、美容皮膚科の分野は、皮膚科学会の指導専門医が2名とも非常勤講師であるため、集中的な実習は困難です。

消化器・乳腺・小児・一般外科

1. 担当教員

教　　授　谷　眞至　消化器外科、肝胆膵外科、一般外科、内視鏡外科

●上部消化管外科（食道外科・胃外科・一般外科）

講　　師　山口　剛　消化器外科、一般外科、内視鏡外科

講師(学内)　貝田佐知子　消化器外科、一般外科、内視鏡外科

助　　教　竹林　克士　消化器外科、一般外科、内視鏡外科

●下部消化管外科（大腸肛門外科・一般外科）

講　　師　三宅　亨　消化器外科、一般外科、内視鏡外科

助　　教　植木　智之　消化器外科、一般外科、内視鏡外科

助　　教　小島　正継　消化器外科、一般外科、内視鏡外科

●肝胆膵外科（肝臓外科・胆道外科・膵臓外科・一般外科）

准　教　授　飯田　洋也　消化器外科、肝胆膵外科、内視鏡外科

助　　教　前平　博充　消化器外科、肝胆膵外科、内視鏡外科

●乳腺・一般外科（乳腺外科・内分泌外科・一般外科）

助　　教　坂井　幸子　小児外科、化学療法

助　　教　冨田　香　乳腺外科、化学療法

2. ねらいと学修目標

ねらい	学修目標
受持症例に対して、主治医として患者の治療計画が立案できるようになる。また、担当症例関連疾患に対する知識を学習する。	**診察** 1．受持症例について術前・術後に訪室・診察を行い、所見を正確に把握できる。 **検査** 2．受持症例に必要な検査を適切に選択し、結果を解釈できる。 3．受持症例に必要な検査を指導医の指導のもと適切に施行できる。 **診断、治療計画の立案** 4．指導医の指導のもと、受持症例の診断を行い、治療計画を立案できる。 **治療** 5．受持症例の手術に参加できる。 6．受持症例に必要な治療を指導医指導のもと適切に施行できる。 **文書記録** 7．担当医の管理下で文書を適切に作成できる。 **コミュニケーション** 8．患者の社会的背景を理解し、患者家族と良好な人間関係の下で問題を解決できる。

3. 評価基準

1．担当症例に関する理解度（術前検査や周術期の状態などを含む）
2．担当症例に該当する疾患の理解
3．実習に関する態度
により評価を行う。

実習では、症例レポート（2例／4週）作成をタスクとする。
担当医の指導のもと、積極的に診療に参加することが評価される。

医行為：
以下のリスト（当科で経験できる行為を抜粋）に基づいて医行為を行う。
ここにリストされていない診療科ごとの検査、治療への介助、見学は指導医の判断で許容されるので、より積極的な参加が望まれる。

①指導医の指導・監視の下で実施が開始されるべき医行為（レベルⅠ）

診療の基本	臨床推論、診断・治療計画立案、EBM、診療録作成、症例プレゼンテーション
一般手技	体位交換、移送、皮膚消毒、外用薬の貼付・塗布、気道内吸引、ネブライザー、静脈採血、胃管挿入、尿道カテ挿入抜去、注射（皮下皮内筋肉静脈内）、診療記録
外科手技	清潔操作、手洗い、ガウンテクニック、縫合、抜糸、消毒・ガーゼ交換
検査手技	超音波検査（腹部・乳腺）、12 誘導心電図、経皮的酸素飽和度モニター
診察手技	医療面接、診察法（成人・小児・全身・各臓器）（侵襲性、羞恥的医行為は含まない）、バイタルサイン、高齢者の診察（ADL 評価、CGA）
救急	一次救命処置

②指導医の実施の介助・見学にとどめることが推奨される医行為（レベルⅡ）

一般手技	中心静脈カテ挿入、動脈採血・ライン確保、膀胱洗浄、ドレーン挿入・抜去、全身麻酔、局所麻酔、輸血
外科手技	手術、術前・術中・術後管理
検査手技	超音波検査（判読）、エックス線検査、CT／MRI、核医学、内視鏡検査
救急	救命治療（二次救命処置等）、救急病態の初期治療、外傷処置

学生は先検査部グループ（4～8名程度）と先医療安全管理部グループ（4～8名程度）に分かれる。
先検査部グループは第2週水曜～金曜検査部で終日実習、第3週金曜朝から15時まで医療安全管理部で実習を行い、それぞれの部署で評価を受ける。
先医療安全管理部グループは第2週金曜朝から15時まで医療安全管理部で実習、第3週水曜～金曜検査部で終日実習を行い、それぞれの部署で評価を受ける。

実際の症例レポート

消化器・乳腺・小児・一般外科　臨床実習レポート（第１週目）

学籍番号		氏　　名	
担当症例	第１週目		
患者年齢		性　　別	
疾患名（ステージ）			
術前治療	□あり　　□なし		
ありの場合内容			
術　　式			
術後経過（術当日）			指導医　印
術後１日目			指導医　印
術後２日目			指導医　印

術後(　)日目		指導医　印
術後(　)日目		指導医　印
術後(　)日目		指導医　印
術後(　)日目		指導医　印
術後(　)日目		指導医　印

術後(　)日目		指導医　印
術後(　)日目		指導医　印
術後(　)日目		指導医　印
術後(　)日目		指導医　印
術後(　)日目		指導医　印

術後(　)日目		指導医　印
術後(　)日目		指導医　印
術後(　)日目		指導医　印
担当症例の手術、術後治療に参加した感想		
２週目の目標		

消化器・乳腺・小児・一般外科　臨床実習レポート（第２週目）

学籍番号		氏　　名	
担当症例	第２週目		
患者年齢		性　　別	
疾患名（ステージ）			
術前治療	□あり　　□なし		
ありの場合内容			
術　　式			
術後経過（術当日）			指導医　印
術後１日目			指導医　印
術後２日目			指導医　印

術後(　)日目		指導医　印
術後(　)日目		指導医　印
術後(　)日目		指導医　印
術後(　)日目		指導医　印
術後(　)日目		指導医　印

術後(　)日目		指導医　印
術後(　)日目		指導医　印
担当症例の手術、術後治療に参加した感想		
消化器・乳腺・小児・一般外科の臨床実習に参加した感想、臨床実習の改善点		

症例に関する課題レポート（感染症蔓延等により登校ができなくなった場合実施を考慮する）

例：

以下の課題について適宜文献を引用しながら自分の言葉でまとめなさい。

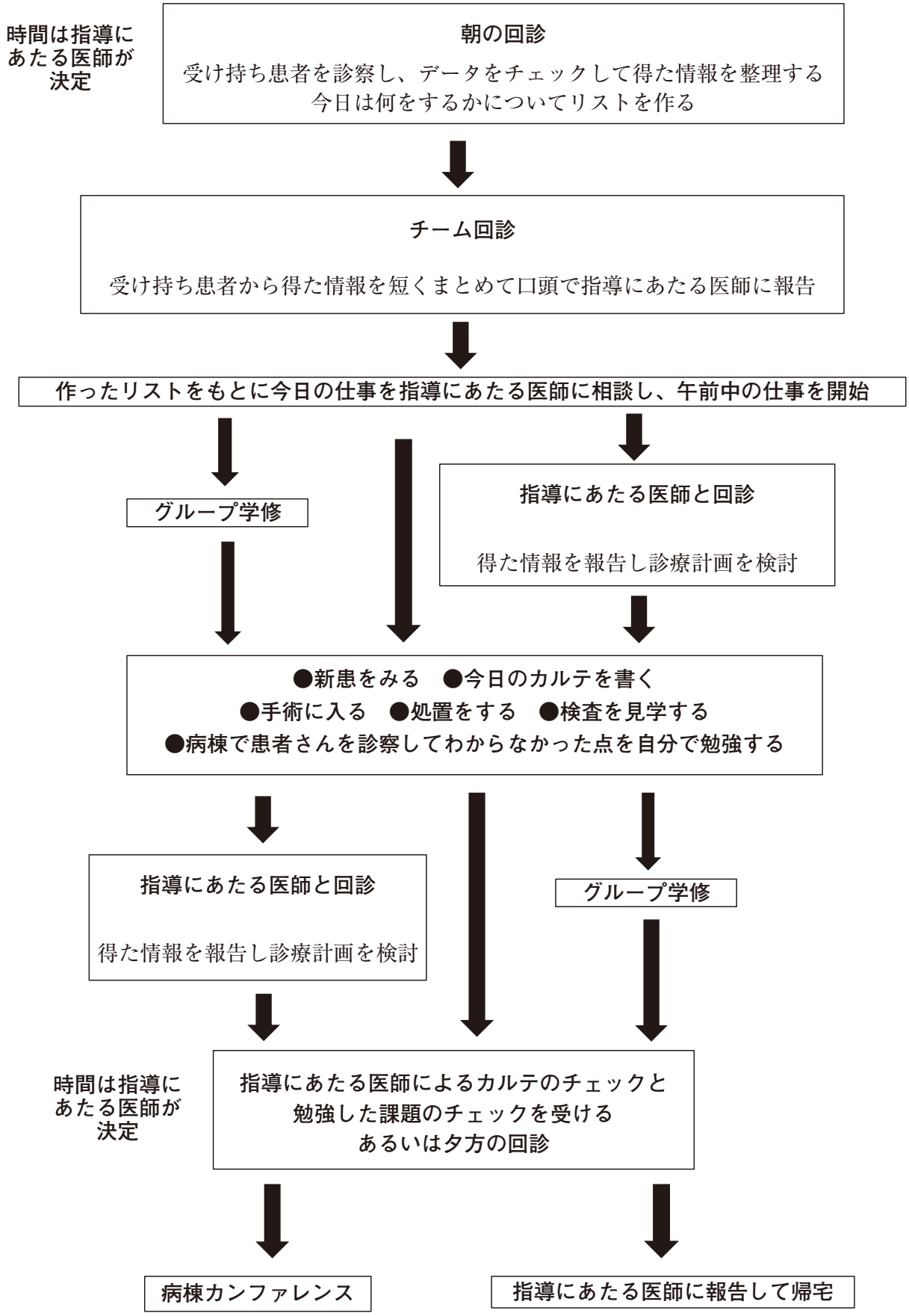
文献とは教科書や論文、成書のことであり、インターネットのサイトのコピーアンドペーストなどは慎むように。

1．食道癌に対する周術期化学（放射線）療法について述べよ
2．結腸癌に対する腹腔鏡手術のリスク因子について述べよ
3．肝切除における腹腔鏡手術の利点、欠点を開腹手術と比較して述べよ
4．IPMNに対する手術適応、術式について述べよ
5．乳癌治療における乳房再建の適応、術式について述べよ

最終評価　　1・2・3・4・5

4．臨床実習のユニット内容

一日の基本的な流れ



消化器・乳腺・小児・一般外科における実習は、実習班を２つに分け、以下の２パターンで実施します。自分に割り振られたパターンを確認し、ユニット内容を確認してください。

パターン	１週目	２週目	３週目	４週目
Ⅰ	A	B	C	D
Ⅱ	A	C	B	D

［Ａ～Ｄの診療科概要］

Ⓐ

月	火	水	木	金
消化器・乳腺・小児・一般外科				

Ⓑ

月	火	水	木	金
消化器・乳腺・小児・一般外科				医療安全

Ⓒ

月	火	水	木	金
消化器・乳腺・小児・一般外科		検査部		

Ⓓ

月	火	水	木	金
消化器・乳腺・小児・一般外科				

Ⓐ

曜日	時　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	8：00	4Dカンファレンス室	症例検討 自己紹介	術前症例を把握する。	説明	症例	11	出席	全員
	8：30	4Dカンファレンス室	ガイダンス	臨床実習に対する心構えを理解し、目標の設定、実習内容を把握する。	説明	マニュアル	1	出席	山口
	9：00	中央手術室	手術実習および見学	外科手術を見学し、各種基本手技を理解する。	手術見学	患者	11	観察	担当医
	13：00	中央手術室	手術実習および見学	外科手術を見学し、各種基本手技を理解する。	手術見学	患者	11	観察	担当医
火	8：30	4D病棟	受持患者診察	診察法の習得	実技指導	患者	4	観察	担当医
	13：00	4Dカンファレンス室	縫合結紮セミナー	縫合結紮を習得	実技指導	シミュレーター	4	観察	担当医
	14：00	4D病棟	受持患者診察	診察法の習得	実技指導	患者	4	観察	担当医
水	8：00	4Dカンファレンス室	症例検討	術前症例を把握する。	討論	症例	11	出席	全員
	8：30	4Dカンファレンス室	臓器別セミナー	各臓器別における診断治療の現況についての知識を習得	各種画像	資料	1	出席	担当医
	9：00	中央手術室	手術実習および見学	外科手術を見学し、各種基本手技を理解する。	手術見学	患者	11	観察	担当医
	13：00	中央手術室	手術実習および見学	外科手術を見学し、各種基本手技を理解する。	手術見学	患者	11	観察	担当医
木	8：30	4D病棟	受持患者診察	診察法の習得	実技指導	患者	4	観察	担当医
	13：00	4Dカンファレンス室	ミニレクチャー	術前術後管理を学ぶ	聴講	資料	1	出席	担当医
	14：00	4Dカンファレンス室	臓器別セミナー	各臓器別における診断治療の現況についての知識を習得	聴講	資料	1	出席	担当医
	14：30	4D病棟	受持患者診察	診察法の習得	実技指導	患者	4	観察	担当医
	15：30	4Dカンファレンス室	臓器別セミナー	各臓器別における診断治療の現況についての知識を習得	聴講	資料	1	出席	担当医
	16：00	4D病棟	受持患者診察	診察法の習得	実技指導	患者	4	観察	担当医
金	8：00	4Dカンファレンス室	抄読会	英文論文の読み方まとめ方を習得する。	聴講	英語論文	11	出席	全員
	9：00	中央手術室	手術実習および見学	外科手術を見学し、各種基本手技を理解する。	手術見学	患者	11	観察	担当医
	15：00	4Dカンファレンス室	術前症例検討会	術前症例のプレゼンテーションをする。(学生発表は1人1例)	討論	症例	9	出席	全員

Ⓑ

曜日	時　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	8：00	4Dカンファレンス室	症例検討	術前症例を把握する。	討論	症例	11	出席	全員
	8：30	4D病棟	受持患者診察	診察法の習得	実技指導	患者	4	観察	担当医
	9：00	中央手術室	手術実習および見学	外科手術を見学し、各種基本手技を理解する。	手術見学	患者	11	観察	担当医
	13：00	中央手術室	手術実習および見学	外科手術を見学し、各種基本手技を理解する	手術見学	患者	11	観察	担当医
火	8：30	4D病棟	受持患者診察	診察法の習得	実技指導	患者	4	観察	担当医
	13：00	4D病棟	受持患者診察	診察法の習得	実技指導	患者	4	観察	担当医
水	8：00	4Dカンファレンス室	症例検討	術前患者を把握する。	討論	症例	11	出席	全員
	8：30	4D病棟	受持患者診察	診察法の習得	実技指導	患者	11	出席	担当医
	9：00	中央手術室	手術実習および見学	外科手術を見学し、各種基本手技を理解する。	手術見学	患者	11	観察	担当医
	13：00	中央手術室	手術実習および見学	外科手術を見学し、各種基本手技を理解する。	手術見学	患者	11	観察	担当医
木	8：30	4D病棟	受持患者診察	診察法の習得	実技指導	患者	4	観察	担当医
	10：00	4D病棟・外科外来	受持患者診察・外来見学	各臓器別における診断治療の現況についての知識を習得	実技指導	患者	4	観察	担当医

	13：00	4Dカンファレンス室	講義：振り返り	経験した症例について深く理解する。	講義	症例	1	観察	谷教授
	14：00	4D病棟	受持患者診察	診察法の習得	実技指導	患者	4	観察	担当医
金	8：00	指定場所	医療安全管理部（P.148参照）で実習						
	15：00	4Dカンファレンス室	術前症例検討会	術前症例のプレゼンテーションをする。(学生発表は1人1例)	討論	症例	9	出席 観察	全員

Ⓒ

曜日	時　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	8：00	4Dカンファレンス室	症例検討	術前患者を把握する。	討論	症例	11	出席	全員
	8：30	4D病棟	受持患者診察	診察法の習得	実技指導	患者	4	観察	担当医
	9：00	中央手術室	手術実習および見学	外科手術を見学し、各種基本手技を理解する。	手術見学	患者	11	観察	担当医
	13：00	中央手術室	手術実習および見学	外科手術を見学し、各種基本手技を理解する	手術見学	患者	11	観察	担当医
火	8：30	4D病棟	受持患者診察	診察法の習得	実技指導	患者	4	観察	担当医
	10：00	4D病棟・外科外来	受持患者診察・外来見学	各臓器別における診断治療の現況についての知識を習得	実技指導	患者	4	観察	担当医
	13：00	4D病棟	受持患者診察	診察法の習得	実技指導	患者	4	観察	担当医

検査部、病理部、病理診断科、輸血部（P.127参照）

Ⓓ

曜日	時　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	8：00	4Dカンファレンス室	症例検討	術前患者を把握する。	討論	症例	11	出席	全員
	9：00	中央手術室	手術実習および見学	外科手術を見学し、各種基本手技を理解する。	手術見学	患者	11	観察	担当医
	13：00	中央手術室	手術実習および見学	外科手術を見学し、各種基本手技を理解する	手術見学	患者	11	観察	担当医
火	8：30	4D病棟	受持患者診察	診察法の習得	実技指導	患者	4	観察	担当医
	13：00	4D病棟	受持患者診察	診察法の習得	実技指導	患者	4	観察	担当医
水	8：00	4Dカンファレンス室	症例検討	術前患者を把握する。	討論	症例	11	出席	全員
	9：00	中央手術室	手術実習および見学	外科手術を見学し、各種基本手技を理解する。	手術見学	患者	11	観察	担当医
	13：00	中央手術室	手術実習および見学	外科手術を見学し、各種基本手技を理解する。	手術見学	患者	11	観察	担当医
木	8：30	4D病棟	受持患者診察	診察法の習得	実技指導	患者	4	観察	担当医
	13：00	4Aスキルズラボ	腹腔鏡シミュレーター	腹腔鏡手技の習得	実技指導	シミュレーター	2	出席 行動観察	担当医
	14：00	4D病棟	受持患者診察	診察法の習得	実技指導	患者	4	観察	担当医
	16：00	4Dカンファレンス室	臓器別セミナー	各臓器別における診断治療の現況についての知識を習得	各種画像	資料	1	出席	担当医
	16：30	4Dカンファレンス室	臓器別セミナー	各臓器別における診断治療の現況についての知識を習得	各種画像	資料	1	出席	担当医
金	8：00	4Dカンファレンス室	抄読会	英文論文の読み方まとめ方を習得する。	聴講	英語論文	11	出席	全員
	10：00	中央手術室	手術実習および見学	外科手術を見学し、各種基本手技を理解する。	手術見学	患者	11	観察	担当医
	13：00	4Dカンファレンス室	臓器別セミナー	各臓器別における診断治療の現況についての知識を習得	各種画像	資料	1	出席	担当医
	13：30	4D病棟	受持患者診察	診察法の習得	実技指導	患者	4	観察	担当医
	14：30	4Dカンファレンス室	臓器別セミナー	各臓器別における診断治療の現況についての知識を習得	各種画像	資料	1	出席	担当医
	15：00	4Dカンファレンス室	症例検討会	術前術後症例の検討を行う。	討論	症例	9	出席、観察	全員

5 .集合場所・時間

月曜日午前８：00（月曜日が祝日等の場合は火曜日午前８：30）に４D病棟カンファレンス室に集合する。

実習の時間帯：原則として８時から17時50分までとする。

6 .学生へのメッセージ・注意事項等

1．①上部消化管、②下部消化管、③肝胆膵、④乳腺一般小児の複数の症例を実習できるようにする（手術症例数により希望に添えないことがある）。
2．実習期間内に２人の担当患者を決め、担当学生医師として術前管理・手術・術後管理を学ぶ（主治医または指導医が学生を患者に紹介し、学生医師の訪室・診察の同意を得る）。
3．担当患者の術前状態を把握し、術前症例検討会で発表を行う（術前症例のプレゼンテーション）。担当症例について臨床実習レポートを作成し、患者の経過について発表を行う。
4．臨床実習レポートは、指導医に提出する。提出されたレポートは指導医がチェックし返送する（フィードバック）。指導医から指導を受け修正したレポートを提出する。
5．術後担当患者の訪室・診察を必ず行い、毎日の患者の状態をレポートに書き、担当医のチェックを受ける。
6．臓器別セミナーでは各科診療チームの診療内容の解説や実技指導などを受ける。
7．欠席の場合には、当日に必ず学生課に連絡し、指示を受けること。
8．医療行為の内容について
　①当科で施行する可能性の高い「レベルⅠ」の医療行為については、実習期間内に遂行することが推奨される。
　②「レベルⅡ」の医療行為についても積極的に見学、介助を行うことが推奨される。
　③医療行為の施行には指導医が厳重に指導監察する。

7 .臨床実習（アドバンス）概要

消化器・乳腺・小児・一般外科は対象患者・臓器が多岐にわたるため、短期間での実習では全貌を把握するのは困難である。

アドバンスコースでは、この点を補い、さらに多くの手術症例を経験できるように、①上部消化管外科、②下部消化管外科、③肝胆膵外科、④乳腺小児一般外科の４分野の手術実習を中心として系統的に実習できるようなシステムを構築している。実習効率の向上とより高度の到達目標を設定する。

手術症例の見学を中心に、一般の臨床実習で未経験の疾患を中心に実習を行う。

将来必ず必要となってくる英文論文の読み方の指導を行う。

実際の実習スケジュールに関しては、個々の学生と相談の上、柔軟に対応する。

心臓血管外科、呼吸器外科

1. 担当教員

心臓血管外科

教　　授　鈴木　友彰
助　　教　髙島　範之
助　　教　神谷　賢一
助　　教　榎本　匡秀
非常勤講師　白石昭一郎（大津赤十字病院）
非常勤講師　乃田　浩光（済生会滋賀県病院）
非常勤講師　宮下　史寛（湖東記念病院）
非常勤講師　森本　政憲（淡海医療センター）
非常勤講師　南舘　直志（近江八幡市立総合医療センター）

呼吸器外科

准　教　授　花岡　　淳
講　　師　大塩　恭彦
助　　教　川口　　庸
助　　教　岡本　圭伍
助　　教　賀来　良輔
助　　教　白鳥　琢也

2. ねらいと学修目標

ねらい	学修目標
心臓血管外科 重症心臓血管病の病態や患者全体を評価し、理解できるとともに、心臓血管治療をチームの一員として体験する。 **呼吸器外科** 肺癌をはじめとする外科療法の対象となる呼吸器疾患の治療経過を知るために、術前診断と手術適応の評価の方法を理解し、実際の症例の手術と術後管理を体験する。	**心臓血管外科** 1．毎朝の病棟、ICUの回診に参加し、循環器疾患患者の重症周術期管理、早期回復管理を学習する。 2．担当症例では、実際に手術手洗いして参加し、ICU入室までの経過を把握する。また、担当外の様々な心臓血管手術を見学し学習する。 3．担当患者の的確な病歴聴取、全身にわたる身体所見をとることができる。 4．症例ごとの問題点を把握できる。 5．心臓血管疾患の病態生理、必要な臨床検査（胸部X線写真、心電図、心臓超音波検査、心臓血管造影など）を理解し評価できる。 6．各心臓血管疾患の手術適応と、リスク、治療方針を正しく理解し述べることができる。 7．心臓血管手術の特殊性、補助手段について基本的な理解を得る。 **呼吸器外科** 1．症例の病歴聴取、身体診察を行い、全身状態を評価する。 2．画像所見（胸部X線写真、CT、MRI、FDG-PETなど）を具体的に述べる。 3．気管支鏡検査の適応とリスクを理解し、実際に検査を見学する。 4．呼吸器疾患の手術適応、リスクを説明する。 5．予定術式を前もって理解した上で、手術を見学する。 6．周術期の診察で注意すべきポイントを抽出し、実際に診察し確認する。

3. 評価基準

心臓血管外科　SBO1-7.　出席と実習中の態度、口頭での質問で評価を行う。
呼吸器外科　SBO1-6.　出席と実習中の態度、口頭での質問で評価を行う。

4．臨床実習のユニット内容

心臓血管外科

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	10:00～10:30	3Dカンファ室	レクチャー	オリエンテーション	レクチャー	資料	1	スケジュールに押印	榎　本
	10:30～12:00	3Dカンファ室	レクチャー	大動脈疾患について学ぶ	レクチャー	資料	1	〃	乃　田/南　舘
	13:00～14:30	3Dカンファ室	レクチャー	弁膜症・人工弁について学ぶ	レクチャー	資料	1	〃	白　石
火	7:30～8:00	病棟、ICU	回診	入院患者の病態を把握する	指導教員と共に入院患者の診察を行う	入院患者	全員	スケジュールに押印	全　員
	8:00～9:00	循内カンファ室	合同カンファレンス	循環器内科とのチーム医療について理解する		患者検査資料	全員	〃	全　員
	9:00～17:00	手術室	手術実習	手術に参加し、基本事項について理解する	手術、麻酔、消毒法など	手術患者	全員	〃	全　員
水	7:30～8:30	3Dカンファ室	術前カンファレンス	手術・入院症例について検討する	術式の説明と見学	患者検査資料	全員	スケジュールに押印	全　員
	8:30～9:00	病棟、ICU	回診	入院患者の病態を把握する	指導教員と共に入院患者の診察を行う	入院患者	全員	〃	全　員
	9:00～12:00	手術室	手術実習	手術に参加し、基本事項について理解する	手術、麻酔、消毒法など	手術患者	全員	〃	全　員
	14:00～15:00	3Dカンファ室	レクチャー	結紮法を体得する	実技	資料	1	〃	榎　本
木	8:30～8:00	病棟、ICU	回診	入院患者の病態を把握する	指導教員と共に入院患者の診察を行う	入院患者	全員	スケジュールに押印	全　員
	8:00～9:00	3Dカンファ室	抄読会予習	心臓血管外科治療について学ぶ		論文	1	〃	担　当
	9:00～17:00	手術室	手術実習	手術に参加し、基本事項について理解する	手術、麻酔、消毒法など	手術患者	全員	〃	全　員
金	7:30～8:30	3Dカンファ室	抄読会	最先端の心臓血管外科治療について学ぶ		論文	全員	スケジュールに押印	全　員
	8:30～9:00	病棟、ICU	回診	入院患者の病態を把握する	指導教員と共に入院患者の診察を行う。	入院患者	全員	〃	全　員
	9:00～12:00	3Dカンファ室	レクチャー	心臓血管外科医について	レクチャー	資料	1	〃	鈴　木
	13:00～17:00	手術室	手術実習	手術に参加し、基本事項について理解する	手術、麻酔、消毒法など	手術患者	全員	〃	全　員

呼吸器外科

一日の基本的な流れ

（月）
オリエンテーション

担当症例の割当て、挨拶

↓

病棟実習

術前評価、手術適応や術式の理解

↓

見学

気管支鏡検査がある場合のみ

↓

結紮、縫合実習

トレーニング用器材を使用

↓

グループディスカッション

術後患者把握のための要点を抽出

↓

指導にあたる医師に報告して帰宅

（火、木）
ビデオ解説

中止の場合があります。

↓

手術実習

手術における基本事項を理解

原則、1人1症例を担当

担当患者の手術に清潔で参加

↓

指導にあたる医師に報告して帰宅

（水）
レクチャー

胸腔ドレーン

↓

病棟実習

術後患者診察等

↓

グループディスカッション

術後患者の問題点の抽出

↓

レクチャー

肺癌

↓

見学

気管支鏡検査がある場合のみ

↓

病棟実習

術後患者処置等

↓

指導にあたる医師に報告して帰宅

（金）
レクチャー

気胸

↓

病棟実習

術後患者診察

検査データ収集

レポート作成指導

↓

病棟実習

胸部X線確認

処置見学、介助

↓

気管支鏡実習

シミュレーターを用いた手技練習

↓

実習のまとめ、ふりかえり等

↓

指導にあたる医師に報告して帰宅

呼吸器外科

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	8:45～10:00	医局	オリエンテーション	担当症例の割当て、挨拶	実習スケジュールの概略を説明する	患者資料	1	出席	賀　来/岡　本
	10:00～12:00	3C病棟	病棟診療実習	術前検査結果の把握、手術適応についての理解	実習	患者資料	—	レポート	担当医
	13:00～14:00	3C病棟	病棟診察実習	診察法の習得	実習	患者	—	行動観察	担当医
		(光学診療部)	(検査)	(気管支鏡検査がある場合は見学)	(見学)	(患者)	—	(出席)	担当医
	14:00～15:00	医局	結紮、縫合実習	結紮、縫合の基礎を習得する	実習	人工皮膚他	1	出席	大　塩
	15:30～17:00	3Cカンファ室2	グループディスカッション	術後患者把握のための要点抽出	討議	患者資料	—	行動観察	担当医
火	8:30～9:30	医局	レクチャー	手術ビデオ解説（※1）	講義	患者資料	1	出席	花　岡
	9:30～17：00	医局（※2）/手術室	手術実習	呼吸器外科手術に参加し、手術における基本事項について理解する	手術、麻酔、消毒法など	手術患者	—	出席	川　口/担当医
水	8:30～9：30	医局	レクチャー	胸腔ドレーン	講義	デモ材料等	1	出席	川　口
	10：00～12：00	3C病棟	病棟診察実習	術後患者の診察、処置の介助（ある場合※3）、検査データ収集	前日のディスカッションに基づき診察、検査結果を把握する	患者、患者資料	—	行動観察	担当医
	13：00～14：00	3C病棟	グループディスカッション	術後患者の問題点の抽出、プレゼン準備	討議	患者資料	—	行動観察	担当医
	14:00～15：00	3Cカンファ室4	レクチャー	肺癌	講義	プレゼンテーション	1	出席	賀　来/岡本
		(光学診療部)	(検査)	(気管支鏡検査がある場合は見学)	(見学)	(患者)	—	(出席)	担当医
	15:00～17:00	3C病棟	病棟診察実習	術後患者の画像確認、処置の介助（ある場合※3）	実習	患者、患者資料	—	行動観察	担当医
木	8:30～9:30	医局	レクチャー	手術ビデオ解説（※1）	講義	患者資料	1	出席	花　岡
	9:30～17：00	医局（※2）/手術室	手術実習	呼吸器外科手術に参加し、手術における基本事項について理解する	手術、麻酔、消毒法など	手術患者	—	出席	担当医
金	8:30～9:30	医局	レクチャー	気胸	講義	プレゼンテーション	1	出席	川　口
	9:30～12:00	3C病棟	病棟診察実習	術後患者の診察、処置の介助（ある場合※3）、検査データ収集、レポート作成指導	実習	患者、患者資料	1	出席	川　口
	13:00～15:00	3C病棟	病棟診察実習	術後患者の画像確認、処置の介助（ある場合※3）	実習	患者、患者資料	1	行動観察	担当医
	15:00～15:30	病院4階スキルズ　ラボ	気管支鏡実習	気管支鏡基本手技を理解する	実習	気管支鏡シミュレーター	1	出席	大　塩
	15:30～16:00	3Cカンファ室2	まとめ	呼吸器外科臨床実習のまとめ、ふりかえり、質疑応答など	実習	プレゼンテーション他	1	出席	大　塩

※1火曜日、木曜日8:30～9:30の手術ビデオ解説はその日の手術予定により中止となることがあるので、月曜日のオリエンテーション時に確認してください。

※2火曜日、木曜日の手術実習の際、まず医局に9:30に集合し、その後担当教員と共に手術室に入室してもらいます。

※3胸部X線撮影の結果によりドレーン抜去等の処置を行うことがあるので、事前に担当医に確認してください。

５.集合場所・時間

実習開始日までにグループ内で２グループ（半数）に分かれ、１週目に心臓血管外科を回った学生は２週目に呼吸器外科、１週目に呼吸器外科を回った学生は２週目に心臓血管外科とする。

心臓血管外科

実習週の月曜日10：00に３D病棟カンファレンスルーム
（月曜日が休日の場合には、火曜日７：30に３D病棟カンファレンスルーム）
初日以外は７：30に３D病棟カンファレンスルーム

呼吸器外科

実習週の月曜日８:45に３C病棟カンファレンス室４
（月曜日が休日の場合には、火曜日８：30に３C病棟カンファレンス室４）
初日以外は4.臨床実習のユニット内容参照

６.学生へのメッセージ・注意事項等

心臓血管外科

１週間の実習期間ではありますが、最先端の低侵襲心臓手術から重症患者の複合合併手術まで教科書や講義では分からない本物の外科治療をお見せします。チームに加わり、我々とともに心臓血管外科の神髄を体感していただきたいと思います。また、将来の進路としても興味のある方は、医局員が親身に相談を受けます。選択実習では、手術基本手技やさらに多彩な手術に参加していただきます。早朝７：30からの実習になりますが、直前の体温測定と入力を確実にお願いします。
※レポートはできるだけグループ毎にまとめて医局へ提出してください

呼吸器外科

実習期間は１週間と短期間ですが、肺癌や縦隔腫瘍などの呼吸器疾患の診断から手術療法、そして術後管理まで、実際の症例を診ることで理解する機会を得ることが出来ます。現在胸部外科領域で盛んに取り組まれている様々な鏡視下手術を見ることができます。臨床実習は実際患者さんと向き合うことが出来る貴重な機会ですので、少しでも多く接する時間を持てるように実習に取り組んで下さい。呼吸器外科に少しでも興味を感じた人は、さらに選択実習で手術や検査手技を学べます。

７.臨床実習（アドバンス）概要

心臓血管外科

複数の患者を担当し、さらに多くの手術に参加する。外科基本手技を手術室内外で十分に習得する。周術期循環動態管理をスタッフとともに学び心臓の疾患ごとの病態生理を学習する。将来の進路として興味のある者には、個別に十分なアドバイスと指針を与える。

呼吸器外科

複数の患者を担当し、病棟業務（血管の確保、動脈穿刺等を含む）および手術に参加する。手術においては､症例に応じて閉胸時の縫合結紮を行う（十分に練習が出来ている場合)。肺癌化学療法を主治医と共に計画し実施する。気管支鏡検査の介助を行う。

整　形　外　科

1．担当教員

教　　授　　今井　晋二
病院教授　　川崎　　拓（医師臨床教育センター）
准 教 授　　森　　幹士
准 教 授　　児玉　成人（リハビリテーション部）
講　　師　　久保　充彦
講　　師　　彌山　峰史
講師(学内)　　三村　朋大
助　　教　　安藤　厚生（リハビリテーション科）
助　　教　　熊谷　康佑
助　　教　　竹村　宜記
助　　教　　前田　　勉
助　　教　　米田　真悟
医　　員　　天野　泰孝
医　　員　　北川　誠大

2．ねらいと学修目標

ねらい	学修目標
・運動器疾患の中で頻度の高い主要な疾患や外傷について、必要な検査・診断・治療を理解できるようになる。	・外来実習や病棟業務実習を通して運動器疾患のカルテの内容が理解できるようになる。また、実際にカルテ記載ができるようになる。 ・手術症例のプレゼンや手術実習を通して、運動器疾患に必要な検査・診断・鑑別診断・治療方針（保存治療や手術治療の適応）を理解し、説明ができるようになる。 ・提出するレポート作成を通して、関連情報の分析と運動器疾患の診断や治療に必要な検査計画を立案し、検査結果を解釈できるようになる。

3．評価基準

評価は、１，出席、２，実習態度、３，目標達成度、４，レポートで評価する。

・出席の評価は、各実習や聴講毎に管理する。（評価者：各教員・指導医）

・実習態度は、回診や各プレゼン、評価者がかかわった実習や手術実習で評価する。
（評価者：各教員・指導医）

・目標達成度は、カルテ記載や、プレゼン、病棟業務、手術実習、各実習で総合的に評価する。
（評価者：カンファレンスにて教員・指導医全員で協議して総合的に判断）

・最終日にするレポートで評価する。（評価者：今井・三村）

４.臨床実習のユニット内容

整形外科クリクラ実習の一日の基本的な流れ

朝の勉強会・抄読会

整形外科領域の最先端に触れ、整形外科的思考を習得する。

↓

担当医と共に病棟業務および担当する手術実習症例のプレゼンの準備

担当医と行動を共にし、病棟業務を行い病歴の聴取、基本的な診察手技や処置の学習を行う。また術前カンファレンスでのプレゼンの発表の準備を行う。これらを通して、運動器疾患の検査・診断・鑑別診断・治療方針を理解する

↓

術前・術後カンファレンス、回診

術前カンファレンスで手術症例のプレゼンを行う。この事を通して、運動器疾患の病歴記載、必要な検査・診断・鑑別診断・治療方針の知識を整理する。また、質疑応答を通してそれらの理解度をさらに深める。

↓

指導医によるチェック（評価）を受ける。

↓

帰宅

第１週

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	7:50～	2D病棟カンファレンスルーム	勉強会 抄読会	整形外科領域の最先端の学術知識に触れ、整形外科的思考を習得する。	同上	文献	15		今井 三村 他
	8:50～	同上	概要説明	実習の内容を知る。	聴講		1	出席と実習態度	三村
	9:00～ 9:30	同上	プレゼン割り当て	半分の人数に術前カンファレンスでのプレゼンを当てる。	聴講	資料	1	同上	三村
	9:30～	病棟	病棟業務と プレゼンの準備	担当医と行動を共にし、病棟業務を行い病歴の聴取、基本的な診察手技や処置の学習を行う。また術前プレゼンの準備を行い、運動器疾患の検査・診断・鑑別診断・治療方針を理解する。	実習	患者及び担当医	4人程度	出席と実習態度と目標達成度	医員・後期研修医
	15:00～	2D病棟カンファレンスルーム	術前カンファレンス	手術症例のプレゼンを通して、運動器疾患に必要な検査・診断・鑑別診断・治療方針（保存治療や手術治療の適応）を理解し、説明ができるようになる。またカンファレンスの質疑応答を通してそれらの理解度を深める。	同上	同上	15	同上	今井 三村 他
火	9:00～	手術場 病棟	手術実習 および病棟業務	手術の手順や手術手技の実際を知る。また病棟業務を行い病歴の聴取、基本的な診察手技や処置の学習を行う。	実習	手術患者	15	出席と実習態度と目標達成度	今井 他
	17:00～ 17:30	2D病棟カンファレンスルーム	術後カンファレンス	診察方法と所見、画像所見、治療法などについて学ぶ	同上	患者及び担当医	15	同上	今井 三村 他
水	9:30～ 12:00	整形外科外来	外来診察実習 （膝・スポーツ/関節・リウマチ）	カルテの内容が理解できるようになる（または、実際にカルテ記載ができるようになる）。	実習	患者及び患者資料	3	出席と実習態度と目標達成度	久保 前田 天野
	13:30～	2D病棟カンファレンスルーム	各種講義	整形外科領域の最先端の学術知識に触れ、整形外科的思考を習得する。	聴講	資料	1	同上	森 児玉 他
木	9:00～	手術場 病棟	手術実習 および病棟業務	手術の手順や手術手技の実際を知る。また病棟業務を行い病歴の聴取、基本的な診察手技や処置の学習を行う。	実習	手術患者	15	出席と実習態度と目標達成度	今井 他
	17:00～ 17:30	2D病棟カンファレンスルーム	術後カンファレンス	診察方法と所見、画像所見、治療法などについて学ぶ	同上	患者及び担当医	15	同上	今井 三村 他
金	9:30～ 13:00	整形外科外来	外来診察実習 （脊椎外科/骨軟部腫瘍・手の外科）	カルテの内容が理解できるようになる（または、実際にカルテ記載ができるようになる）。	実習	患者及び患者資料	3	出席と実習態度と目標達成度	森 彌山 児玉 竹村
	13:30～	2D病棟カンファレンスルーム	各種講義	整形外科領域の最先端の学術知識に触れ、整形外科的思考を習得する。	聴講	資料	1	同上	森 児玉 他

第２週

曜日	時　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	7:50～	２D病棟カンファレンスルーム	勉強会 抄読会	テーマ別の最新整形外科に触れ、整形外科的思考を習得する。		文献	15		今井 三村 他
	9:00～ 9：30	同上	プレゼンの割り当て	実習の内容を知る。半分の人数に術前カンファレンスのプレゼンを当てる	同上	資料	1	同上	同上
	9:30～	病棟	病棟業務および プレゼンの準備	担当医と行動を共にし、病棟業務を行い病歴の聴取、基本的な診察手技や処置の学習を行う。また術前プレゼンの準備を行い、運動器疾患の検査・診断・鑑別診断・治療方針を理解する。	実習	患者及び担当医	4人程度	出席と 実習態度と 目標達成度	医員・後期研修医
	15:00～	２D病棟カンファレンスルーム	術前カンファレンス	手術症例のプレゼンを通して、運動器疾患に必要な検査・診断・鑑別診断・治療方針（保存治療や手術治療の適応）を理解し、説明ができるようになる。またカンファレンスの質疑応答を通してそれらの理解度を深める。	同上	同上	15	同上	今井 三村 他
火	9:00～	リハビリ科外来	リハビリテーション科・部（P.150参照）						
水	9:30～ 12:00	整形外科外来	外来診察実習 （膝・スポーツ/関節・リウマチ）	カルテの内容が理解できるようになる（または、実際にカルテ記載ができるようになる）。	実習	患者及び患者資料	3	出席と 実習態度と 目標達成度	久保 前田 天野
	13:30～	２D病棟カンファレンスルーム	各種講義	整形外科領域の最先端の学術知識に触れ、整形外科的思考を習得する。	聴講	資料	1	出席と 実習態度と 目標達成度	森 児玉 他
木	9:00～	手術場 病棟	手術実習 および病棟業務	手術実習を通して整形外科疾患の手術的治療について学習する。また病棟業務を行い病歴の聴取、基本的な診察手技や処置の学習を行う	実習	手術患者	15	出席と 実習態度と 目標達成度	三村 他
	17:00～ 17:30	２D病棟カンファレンスルーム	術後カンファレンス	診察方法と所見、画像所見、治療法などについて学ぶ	同上	患者及び担当医	15	同上	今井 三村 他
金	9:30～ 13:00	整形外科外来	外来診察実習 （脊椎外科/骨軟部腫瘍・手の外科）	整形外科疾患の病歴聴取、診察、 検査、治療のすすめ方を体得し併せて疾患の予後、患者の社会適応を知る。	実習	患者及び患者資料	3	出席と 実習態度と 目標達成度	森 彌山 児玉 竹村
	外来後	２D病棟カンファレンスルーム 他	レポート課題への 取り組み	レポート課題に対して、関連情報を分析し、EBMを実戦してレポートを完成させる。	実習	関連資料	0		
	講義終了後	医局	レポート提出						

５.集合場所・時間

臨床実習初日：２D病棟カンファレンスルーム　７時50分
月曜日が休日の時は、火曜日の８時45分に整形外科外来集合。

６.学生へのメッセージ・注意事項等

欠席の場合は必ず整形外科医局秘書まで連絡すること（077-548-2252／９：00～17：00）。

７.臨床実習（アドバンス）概要

このコースでは、２回目の整形外科実習で日数も十分にあることから、整形外科における臨床現場で各専門別に、主治医、担当医とペアーを組んで外来診療、病棟業務、手術治療の実際を学ぶ。外来診療においては、運動器疾患の見方、診断方法、特殊検査の理解、保存療法の概要と実践について習得する。病棟においては、担当医とともに患者を受け持ち、手術患者さんの術前検査を理解し、術前評価を行う。術前のインフォームドコンセントへの参加を通じて手術療法の適応、効果、問題点と合併症、手術成績などについて学ぶ。術後の全身管理と術後療法、リハビリテーションについても担当医と一緒に学ぶ。手術においては、担当医とともに手術に入り、整形外科手術の清潔操作の重要性を学ぶとともに、骨・関節手術、脊椎手術、手の外科の手術などの基本的事項を習得する。専門を考慮して、患者さんの受け持ちを変えて、実習期間の間に上記のコースを繰り返す。

脳　神　経　外　科

1．担当教員

教授　　野﨑　和彦
准教授　　辻　　篤司
講師　　深見　忠輝
講師　　新田　直樹
病院講師　山田　茂樹
助教　　高木　健治
助教　　吉村　弥生
助教　　辻　　敬一
助教　　河野　浩人

臨床教授
中洲　　敏（本務先なし）
鈴木　文夫（湖東記念病院院長）
中澤　拓也（京都岡本記念病院
脳血管内治療センター長）

非常勤講師
中洲　庸子（本務先なし）
木戸岡　実（伏見岡本病院）
寳子丸　稔（信愛会交野病院院長･脊椎脊髄センター長）
松村　憲一（淡海医療センター院長特別補佐）
高橋　　潤（洛西シミズ病院副院長）
山添　直博（大津赤十字病院部長）
金子　隆昭（彦根市立病院病院長）
中島　正之（近江八幡市立総合医療センター主任部長）
深尾　繁治（京都岡本記念病院部長）
初田　直樹（京都市立病院部長）
平井　久雄（湖東記念病院部長）
岡　　英輝（済生会滋賀県病院副部長）
樋口　一志（長浜赤十字病院部長）
地藤　純哉（京都市立病院副部長）

2．ねらいと学修目標

ねらい	学修目標
脳神経外科領域に必要な神経学的診断方法、神経学的補助検査法、術前術後患者の管理方法、蘇生術及び救急患者の処置、そして手術の基本的な技術を修得し実践することができるようになる。	1．患者との間に良いコミュニケーションを保って問診を行い、総合的かつ全人的にとらえることができ、その病歴聴取と記載ができる。 2．バイタルサインの把握、意識状態の把握、頭頚部の診察、神経学的検査を行うことができる。 3．頭部・頚部単純撮影、CT・MRI検査、脳血管撮影検査、神経生理学的検査など脳神経外科診療に必要な種々の検査の、個々の症例に於ける意義を理解し、正常と異常所見の相違を判断できる。 4．臨床推論により神経系疾患の的確な鑑別診断を挙げることができる。 5．脳神経外科疾患の緊急対応と周術期管理の基本を理解し指示に対応することができる。 6．手術症例のインフォームドコンセント文書を作成することができる。 7．学術論文を解釈し症例報告することができる。

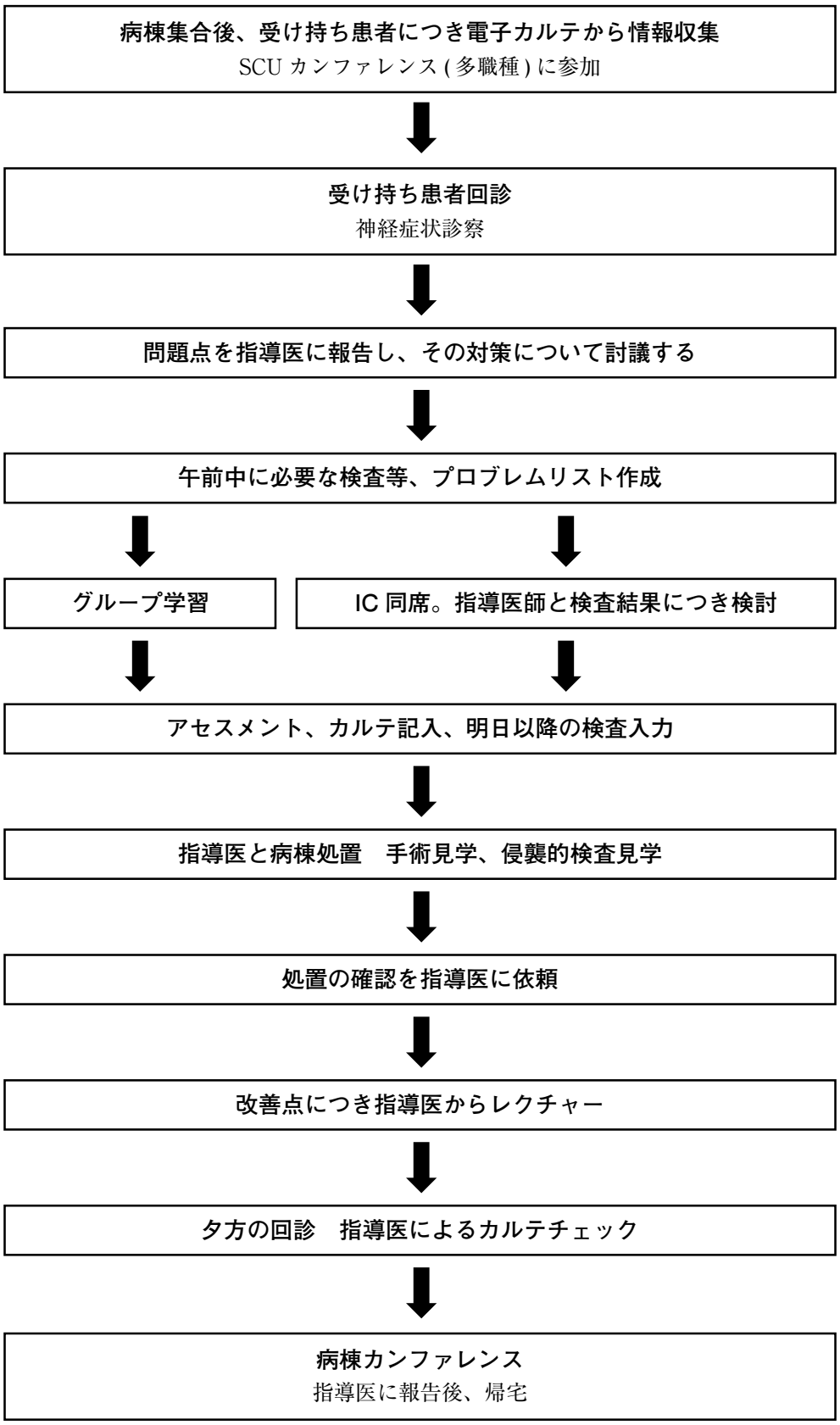
3．評価基準

臨床実習は全ての出席を必要とする。病気等による欠席の場合は診断書の提出を必要とする。正当な事由のない出席日数不足者に補習は行わない。各実習への出席（原則100％）、カンファレンスなどでの学習態度、基本事項の理解度、実習終了時に提出する臨床実習評価表および担当患者症例報告をもとに、脳神経外科の成績を総合的に５段階評価で行う。臨床実習評価表において、指導教官名など必要事項を記入しアウトカム評価の自己評価を記入する。アウトカム評価の教育評価は担当教官により記入される。担当患者症例報告は主訴、現病歴、入院時検査結果、治療内容、治療後経過などを要領よくまとめ、該当疾患の疫学、病態、鑑別診断、標準治療、予後などを記載し、担当症例との相違点などを考察する（Ａ４で概ね５ページとし参考文献を記載する）。患者の個人情報の記載は年齢、性別のみとする。提出レポート内容につき不備がある場合は再提出を行う。再提出においても重大な不備がある場合は、脳神経外科での実習の合否について検討する。

4 .臨床実習のユニット内容

一日の基本的な流れ（脳神経外科）

各時間設定は指導にあたる医師が決定



当科の臨床実習では、クリニカルクラークシップによる指導医の個別指導学習を基本としている。

第１週

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	8:00～9:00	５D病棟 カンファレンスルーム	病棟カンファレンス 病棟回診	入院患者について、病態、治療方針などを理解する	討議	患者資料	9	出席	教員全員
	9:00～10:00	５D病棟 検査室	オリエンテーション	２週間の指導教員と受持患者の紹介をうける	説明	臨床実習 時間割	1		病棟医長
	10:00～12:00	５D病棟	神経学的検査 病歴の作成	受持患者の病歴を正確に聴取し、神経学的診断法を習得する	患者紹介 実技指導	患者資料	2		担当医
	13:30～15:00	５D病棟 検査室	病棟カンファレンス	受け持ち患者について指導教員と討議を行い、問題点を抽出する。	実習	患者資料	5		担当医
	16:00～16:45	５D病棟 カンファレンスルーム	術前カンファレンス	今週の手術症例の術前検討会に出席し疾患の診断、治療法について習得する。	討議	患者資料	9		教官全員
	16:45～17:00	５Dカンファレンスルーム	抄読会	最新論文を抄読する。	討議	文献	9		教官全員
火	9:00～12:00	手術室	手術見学	脳神経外科手術の実際と基本的手技についての概念を学ぶ（指導教員により内容の変更あり）	手術見学 実技指導	患者、モニター、周辺機器	3～4		手術チーム
	14:00～17:00	5D病棟 面談室２	非常勤講師による臨床講義	脳神経外科の各分野におけるエキスパートによる少人数講義を行い、新たな知見を得る	講義	資料	1		担当講師
水	8:50～12:00	５D病棟 検査室	講義・実演	神経診察方法について学ぶ	実技指導	学生医師同士	2		担当医
	13:00～17:00	５D病棟	病棟実習	受持患者の病歴を正確に聴取し、神経学的診断法を習得するまた、検査、処置に同行する（指導教員により内容の変更あり）	実技指導	患者資料	1		担当医
木	7:45～9:00	５D病棟 カンファレンスルーム	病棟カンファレンス 病棟回診	入院患者について、病態、治療方針などを理解する	討議	患者資料	9		教員全員
	9:00～12:00	手術室	手術見学	脳神経外科手術の実際と基本的手技についての概念を学ぶ（指導教員により内容の変更あり）	手術見学 実技指導	患者、モニター、TV、周辺機器	3～4		担当医
	13:00～17:00	手術室 ５D病棟	手術見学 術後管理実習	脳神経外科手術後の患者管理、検査を見学する（指導教員により内容の変更あり）	手術見学 実技指導	患者および周辺機器	3～4		担当医
金	9:00～12:00	脳神経外科外来	外来実習	外来患者の病歴聴取、神経学的診断法を習得する　受持患者の検査、処置に同行する（指導教員により内容の変更あり）	見学 実技指導	患者	2～3		担当医
	15:00～17:00	５D病棟 カンファレンスルーム	術後カンファレンス	今週の手術症例の術後検討会に出席し、担当症例につきプレゼンテーションを行い、疾患の診断、治療法について習得する	討議	患者資料	9		教員全員

第２週目

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	8:00～9:00	５D病棟カンファレンスルーム	病棟カンファレンス病棟回診	入院患者について、病態、治療方針などを理解する	討議	患者資料	9	出席	教員全員
	9:00～12:00	外来	外来自習	担当教官と外来治療における神経治療を学ぶ	実習	患者資料	3		担当医
	10:00～12:00	５D病棟	神経学的検査 病歴の作成	受持患者の病歴を正確に聴取し、神経学的診断法を習得する	患者紹介 実技指導	患者資料	2		担当医
	13:30～15:00	５D病棟 検査室	病棟カンファレンス	受け持ち患者について指導教員と討議を行い、問題点を抽出する。	実習	患者資料	5		担当医
	16:00～16:45	５D病棟 カンファレンスルーム	術前カンファレンス	今週の手術症例の術前検討会に出席し疾患の診断、治療法について習得する。	討議	患者資料	9		教官全員
	16:45～17:00	５Dカンファレンスルーム	抄読会	最新論文を抄読する。	討議	文献	9		教官全員
火	9:00～12:00	脳神経外科医局	ハンズオン	顕微鏡外科術の練習を行う	実習	顕微鏡	1		大学院生
	14:00～17:00	５D病棟 面談室２	非常勤講師による 臨床講義	脳神経外科の各分野におけるエキスパートによる少人数講義を行い、新たな知見を得る	講義	資料	1		担当講師
水	8:50～12:00	５D病棟 検査室	講義・実演	神経診察方法について学ぶ	実技指導	学生医師同士	2		担当医
	13:00～17:00	５D病棟	病棟実習	受持患者の病歴を正確に聴取し、神経学的診断法を習得するまた、検査、処置に同行する（指導教員により内容の変更あり）	実技指導	患者資料	1		担当医
木	7:45～9:00	５D病棟 カンファレンスルーム	病棟カンファレンス病棟回診	入院患者について、病態、治療方針などを理解する	討議	患者資料	9		教員全員
	9:00～12:00	手術室	手術見学	脳神経外科手術の実際と基本的手技についての概念を学ぶ（指導教員により内容の変更あり）	手術見学 実技指導	患者、モニター、TV、周辺機器	3～4		担当医
	13:00～17:00	手術室 ５D病棟	手術見学 術後管理実習	脳神経外科手術後の患者管理、検査を見学する（指導教員により内容の変更あり）	手術見学 実技指導	患者および 周辺機器	3～4		担当医
金	9:00～12:00	脳神経外科外来	外来実習	外来患者の病歴聴取、神経学的診断法を習得する　受持患者の検査、処置に同行する（指導教員により内容の変更あり）	見学 実技指導	患者	2～3		担当医
	15:00～17:00	５D病棟 カンファレンスルーム	術後カンファレンス	今週の手術症例の術後検討会に出席し、担当症例につきプレゼンテーションを行い、疾患の診断、治療法について習得する	討議	患者資料	9		教員全員

５.集合場所・時間

初日（月曜日）は８時00分に５D病棟カンファレンスルームに集合。以後は前日に指示する。週により予定が変更されることがあるため、随時、指導医や病棟医長に確認をとること。欠席する場合は、欠席当日午前９時までに脳神経外科病棟医長（TEL：077-548-2257　５D病棟）まで連絡すること。

尚COVID-19対策のため病院内への学生の立ち入りが制限される事態にあっては、10時00分に臨床研究棟３階脳神経外科医局に集合とする。

６.学生へのメッセージ・注意事項等

１）患者に接するにふさわしい清潔な服装・身なりおよび言葉遣いをする。
２）患者診療情報についてコピーをとることや他言することを禁ずる。
３）臨床実習前には、必ず、解剖学の授業で習った中枢神経系の解剖および放射線診断学で学習したCTやMRなどの画像診断を復習しておく。
４）担当医の指導のもとに患者を受持ち、診察・検査・採血・創処置・手術など、診断・治療行為に積極的に参加する。臨床実習を通して疑問・質問があれば、遠慮なく申し出て、各担当医と討議し、実習の間に解決するように努める。
５）学生自身の自主性を尊重し、自学自習の態度を身につける。
６）５D病棟内検査室の図書は自由に活用してよいが、病棟外への持出しは禁ずる。
７）カンファレンス中、講義中の私語、居眠りは禁ずる。
８）患者の通行の妨げになってはならない。また廊下、階段等でのスマートフォンの使用を禁ずる。

７.臨床実習（アドバンス）概要

２週間の臨床実習ののち、さらに脳神経外科について理解を深めたい場合に参加していただき、各人の要望に応じて以下の実習を行うことができる。

１）病棟での臨床実習内容を繰り返しつつ、到達度により内容を高度にし、脳神経外科的手技の習得および希望に応じて実際の手術への参加も行う。
２）臨床およびベッドサイドにおける基本手技を各主治医に同行して体得する。
３）顕微鏡手術、脳血管内手術、内視鏡手術などの講義・実習を通して、脳神経外科に関する手術手技の初歩を体得し、希望に応じて実際の手術に参加する。
４）緊急入院患者への対応を主治医に同行しながら経験、体得する。
５）臨床研究、基礎研究（脳腫瘍、てんかん、脳動脈瘤研究など）への理解を深め、実際の研究活動に参加する。
６）期間中に開催される脳神経外科に関する学会、研究会に参加し、希望に応じて発表する。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

1．担当教員

教　　授	清水　猛史	助　　教	中村　圭吾
准　教　授	大脇　成広	助　　教	村尾　拓哉
講　　師	神前　英明	医　　員	清水　志乃
講　　師	戸嶋　一郎	医　　員	堀井　翔平
助　　教	松本　晃治	医　　員	須藤　智之
助　　教	新井　宏幸	医　　員	川北　憲人
助　　教	大江祐一郎	医　　員	池田　智紀

2．ねらいと学修目標

ねらい	学修目標
耳鼻咽喉科・頭頸部外科の診療を経験するために、基本的な検査や手術症例を担当し、ミニレクチャーに参加することで、耳鼻咽喉科・頭頸部外科一般の手技、検査、手術を理解する。	1．患者に対して深い敬意と思いやりを示し、患者背景に配慮した全人的医療を実践できる。 2．外来診察見学、耳鼻科診察実習を経験し、患者の病歴聴取、身体診察、基本臨床手技等ができる。 3．聴力検査、平衡機能検査、頸部エコー検査等を見学し、検査結果を解釈することができる。 4．担当した症例の手術には手洗いをして清潔の状態で直接参加し、カンファレンス等でプレゼンテーションができる。 5．担当した症例をまとめ、EBMに基づいて関連情報を分析し、レポートを提出する。

3．評価基準

（1）出席を評価
（2）カンファレンスで症例の手術経過を発表する呈示力を評価
（3）担当症例のレポートの内容、まとめ討論時の疾患理解を評価

４.臨床実習のユニット内容

一日の基本的な流れ（耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

外来実習

外来患者の診察法を学び、耳鼻咽喉科・頭頸部外科担当患者の病歴聴取、身体診察などに役立てる

↓

担当患者のカルテを確認し、患者さんの状態を把握する

↓

指導に当たる医師と回診

担当医の指導のもと、病棟で患者さんを診察する

↓

手術参加

清潔の状態で直接参加する。事前に手術書をよく読み、術中の術者からの質疑に答える

講義、検査実習

耳鼻咽喉科疾患を理解し、聴力検査、平衡機能検査、頸部エコー検査などを学ぶ

↓

わからなかった点を自分で勉強する

↓

担当患者とその疾患について、レポートを作成して報告する

第１週

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	9:00～	耳鼻咽喉科･頭頸部外科教室会議室	ガイダンス	実習案内、 担当患者割当、レポート作成の説明	講義	実習予定表	1	出席	大　脇
	10:00～	手術室	手術見学	手術実習、担当患者の診察	実習	手術患者	2	出席	担当教官
	13:00～	手術室	手術見学	手術実習、担当患者の診察	実習	手術患者	2	出席	担当教官
火	9:00～	外来	外来実習	耳鼻咽喉科・頭頸部外科疾患 （一般、中耳、めまい、アレルギー） の理解	実習	外来患者	4	出席	清　水 神　前 中　村 大　江
	13:00～	外来	実習	診察実習、聴力検査	実習		1	出席	堀　井 池　田
	14:00～	外来	講義	気管カニューレ	講義		1	出席	松　本
	15:00～ 16:30	病棟	回診 カンファレンス	病棟回診、 カンファレンス、手術症例の発表	実習	入院患者	2	出席	清　水 大　脇 戸　嶋
水	9:00～	外来	外来実習	耳鼻咽喉科・頭頸部外科疾患 （一般、音声、嗅覚・味覚） の理解	実習	外来患者	4	出席	清　水 大　脇 中　村
	13:00～	手術室	手術実習	手術実習、担当患者の診察	実習	手術患者	2	出席	担当教官
	14:30～	外来	講義	中耳の解剖と疾患	講義	資料	1	出席	大　江
木	9:00～	外来	外来実習	耳鼻咽喉科・頭頸部外科疾患 （一般、甲状腺疾患、頭頚部腫瘍） の理解	実習	実習器具	4	出席	大　脇 神　前 新　井 松　本
	13:00～	手術室	手術実習	手術実習、担当患者の診察	実習	手術患者	2	出席	担当教官
	14:00～	外来	講義	アレルギー性鼻炎	実習	資料	1	出席	神　前
	15:00～	外来	実習	耳鼻咽喉科救急疾患	実習	実習器具	1	出席	中　村
金	9:00～	外来	外来実習	耳鼻咽喉科・頭頸部外科疾患 （一般、鼻副鼻腔・顔面外傷） の理解	実習	外来患者	4	出席	戸　嶋 大　江 中　多 新　井
	14:00～	外来	実習	頸部エコー	実習	実習器具	1	出席	川　北

第２週

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	9:00～	外来	外来実習	耳鼻咽喉科・頭頸部外科疾患（一般、難聴・めまい・補聴器）の理解	実習	外来患者	4	出席	戸　嶋 清 水 志 大　江 村　尾
	13:00～	手術室	手術実習	手術実習、担当患者の診察	実習	手術患者	2	出席	担当教官
火	9:00～			レポート作成					
	13:00～	病棟	講義	耳鼻咽喉科感染症	講義	資料	1	出席	堀　井
	14:00～	病棟	講義	画像診断	講義	資料	1	出席	新　井
	15:00～16:30	病棟	回診 カンファレンス	病棟回診、 カンファレンス、手術症例の発表	実習	入院患者	2	出席	清　水 大　脇 戸　嶋
水	9:00～			レポート作成					
	11:00～	病棟	講義	国試に出そうな疾患	実習	資料	1	出席	村　尾
	13:00～	手術室	手術実習	手術実習、担当患者の診察	実習	手術患者	2	出席	担当教官
	16:00～	外来	実習	平衡機能検査	実習	実習器具	1	出席	池　田
木	9:00～			レポート作成					
	13:00～	手術室	手術実習	手術実習、担当患者の診察	実習	手術患者	2	出席	担当教官
金	9:00～	手術室	手術実習	手術実習	実習	手術患者	2	出席	担当教官
	14:00～	医局	まとめ	レポートのプレゼンテーション	討論	レポート	1	出席 レポート	戸　嶋

５.集合場所・時間

初日：９時00分　耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座会議室

初日のガイダンスで実習の集合場所・時間や講義日程等、レポート作成など耳鼻咽喉科臨床実習について説明します。

６.学生へのメッセージ・注意事項等

臨床実習においては出席点が最重要評価項目となります。

耳鼻咽喉科･頭頸部外科実習は各教官のミニレクチャーを中心に、外来実習、手術実習を行います。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科は、耳科手術、鼻副鼻腔手術、咽喉頭手術、頭頸部腫瘍手術や血管吻合を必要とする再建手術など、顕微鏡や内視鏡を利用した多種多様な手術加療を行うとともに、気道を中心とした感染症やめまい、難聴、アレルギー、嗅覚味覚、音声、嚥下などの内科的疾患にも対処しています。

疑問点がありましたら、気軽に質問してください。

欠席の場合は､欠席当日の午前９時に耳鼻咽喉科医局（TEL 077-548-2261）および学生課へ連絡をすること。

７.臨床実習（アドバンス）概要

（研修内容）

１週間ごとに、割り当てられた専門分野の教官（オーベン）のもとで研修を行います。耳、鼻、頭頸部腫瘍、耳鼻咽喉科一般の４分野を中心に外来、手術見学を行います。

①耳（慢性中耳炎・真珠腫性中耳炎などの中耳疾患、メニエール病・突発性難聴などの内耳疾患、鼓室形成術や人工内耳埋込術といった手術など）

②鼻（アレルギー性鼻炎・慢性副鼻腔炎など鼻副鼻腔疾患、鼻内視鏡手術、顔面骨折など）

③頭頸部腫瘍（舌癌・下咽頭癌・喉頭癌などの頭頸部悪性腫瘍、甲状腺腫瘍など）

④耳鼻咽喉科一般（耳鼻咽喉科診察法、扁桃摘出術・気管切開術・鼻出血止血法といった手技の理解など）

また､各週に様々な講義や実習を企画しています。そして以下の項目を習得することを目指します。

１．額帯鏡、耳鏡、ファイバースコープを用いた耳鼻咽喉頭の診療
２．聴力検査、平衡機能検査など各種生理機能検査の施行と検査結果の解釈
３．頭頸部疾患に対する単純Ｘ線、ＣＴ、ＭＲＩなどの画像診断
４．耳垢除去、耳洗浄、鼻処置などの基本的な外来処置
５．中耳炎、副鼻腔炎、扁挑炎、異物（外耳道、鼻腔、咽頭）など代表的な疾患の初期治療
６．鼻出血、めまい、気道閉塞などの疾患に対する救急処置の理解
７．鼓室形成手術、鼻副鼻腔手術、扁挑手術、気管切開術、頭頸部腫瘍手術などの理解
８．頭頸部悪性腫瘍に対する放射線・化学療法などの治療計画の立案

母子診療科、女性診療科

1．担当教員

教　　授	村上　　節	助　　教	西村　宙起
講　　師	笠原　恭子	助　　教	所　　伸介
講　　師	辻　俊一郎	助　　教	花田　哲郎
講師(学内)	天野　　創	助　　教	吉野　芙美
助　　教	高橋　顕雅	特任助教	出口　真理
助　　教	桂　　大輔	特任助教	山田　一貴
助　　教	林　　香里		

2．ねらいと学修目標

ねらい	学修目標
女性の生理・病理を理解し、診療の基本を身につける。	1．病棟患者を受け持ち、チームの一員として患者の診療に参加し、カルテを記載する。 2．受け持ち以外の患者についても、疾病や病態、状況等を把握し、問題点を考察する。 3．妊娠ならびに分娩の正常と異常を理解した上で、分娩に立ち会う。 4．骨盤臓器の解剖を理解した上で、手術に助手として参加する。 5．内視鏡手術の特性を理解した上で、腹腔鏡下の鉗子操作を実践する。 6．産婦人科学に関連する課題について調べ、記述し、説明する。

3．評価基準

1．出席点の評価を重要項目とし、全出席を要求します。ただし、発熱などの体調不良時は、適切に教官に連絡すれば欠席扱いにはしません。
2．実習期間中に受け持った症例について、診療録（練習用の紙カルテ）の提出を求めます。また、カンファレンスにおける症例のプレゼンテーションも評価の対象です。
3．レポート課題については、メールでレポート提出を求めます。
提出期限は実習最終日です。

4.臨床実習のユニット内容

一日の基本的な流れ（母子診療科、女性診療科）

実習初日に担当医、担当症例を決定する。
担当医の受け持ち患者について、一緒に学ぶ。

朝の回診

受け持ち患者の診療録を参照し、夜間の情報を収取した後、問題点を整理し、担当医に報告する。前日に立てた本日の行動計画を確認、修正する。

↓

チーム回診

担当医とともに
病室の回診および診察を行う。

↓

新規入院患者への対応

外来診療録を参照し、入院後の管理方針について、担当医とともに検討する。

↓

検査

・内診
・超音波検査
・胎児心拍数陣痛

等に参加し、その実際を理解する。

病棟処置

・子宮鏡検査
・子宮内容除去術
・羊水検査

等に参加し、その実際を理解する。

手術など

担当医とともに
手術や分娩に参加する。

↓

爾後管理

手術や分娩の総括を行い、その後の管理における問題点を担当医とともに検討する。

また、手術や分娩の記録、病理組織標本の整理、輸液や疼痛などの基本的管理計画を担当医とともに行う。

↓

チーム回診

担当医とともに
病室の回診および病棟診察を行う。

↓

診療録の記録

担当症例の診療記録を記載し、担当医のチェックを受ける。

↓

カンファレンスもしくはブリーフィング

ここでは担当症例以外の症例への理解を深め、問題点を考える。
担当医とともに明日の予定を計画したのち帰宅する。

第１週

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	８:00～	６Ａ病棟	オリエンテーション	スケジュール確認 症例・担当医の割り当て	座学	予定表	1	出欠	笠　原
	８:30～	第２会議室 （病院２階）	産婦人科カンファレンス	病棟スタッフへの挨拶、自己紹介、各自の目標を表明する。 担当医紹介・知識の整理	座学	カンファレンス	13	出欠 ディスカッション	村　上 笠　原 辻 天　野 高　橋 桂 林 西　村 所 花　田 吉　野 出　口 山　田 （上記を以下＊で示す）
	10:00～	６Ａ病棟	病棟研修	病棟における診療業務に立ち会う、などの従来型の実習だけでなく診療チームの一員として、積極的に参加する。（上記を以下＊＊で示す）	担当医とともに行動	患者	13	出欠	＊
	11:00～	スキルズラボ棟 ２階	実技実習（２名）	腹腔鏡シミュレーターによる実習を経験する。	実技	シミュレーター	1	〃	村　上
	13:00～	スキルズラボ棟 ２階	実技実習（３名）	〃	座学	〃	1	〃	村　上
	14:30～	６Ａ病棟	生殖・妊孕講義	知識の獲得	座学	講義	1	〃	花　田
	15:30～	６Ａ病棟	病棟研修	＊＊	担当医とともに行動	患者		〃	＊
	16:30～		病棟ブリーフィング	強制の当直はしない。但し受持ち妊婦の分娩に立会いを希望する際には当直可。 （上記を以下＊＊＊で示す）		症例	13	出欠 ディスカッション	
火	８:15～	６Ａ病棟 手術室	手術見学 手術介助 病棟研修	＊＊	担当医とともに行動	患者	13	出欠 ディスカッション	＊
	16:30～	６Ａ病棟	病棟ブリーフィング	＊＊＊	〃	症例	13	出欠 ディスカッション	＊
水	８:15～	６Ａ病棟 手術室	手術見学 手術介助 病棟研修	＊＊	担当医とともに行動	患者	13	出欠 ディスカッション	＊
	16:30～	６Ａ病棟	病棟ブリーフィング	＊＊＊	〃	症例	13	出欠 ディスカッション	＊
木	８:15～	６Ａ病棟 手術室	手術見学 手術介助 病棟研修	＊＊	担当医とともに行動	患者	13	出欠 ディスカッション	＊
	16:30～	６Ａ病棟	病棟ブリーフィング	＊＊＊	〃	症例	13	出欠 ディスカッション	＊
金	８:15～	６Ａ病棟 手術室	手術見学 手術介助 病棟研修	＊＊	担当医とともに行動	患者	13	出欠 ディスカッション	＊
	９:00～ 12:00	母子診療科 外来	妊婦健診見学（１名）	知識の整理	見学	患者	1	出欠	外　来 担当医
	16:30～	６Ａ病棟	病棟ブリーフィング	＊＊＊	担当医とともに行動	症例	13	出欠 ディスカッション	＊

第２週

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目的	方法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	8:30～	第２会議室（病院２階）	産婦人科カンファレンス	知識の整理	座学	カンファレンス	13	出欠 ディスカッション	＊
	10:00～	６Ａ病棟	病棟研修	＊＊	担当医とともに行動	患者	13	出欠	＊
	13:15～	６Ａ病棟	NICUカンファレンス	小児科との連携によるチーム医療を学ぶ（他職種）。	座学	症例	3	〃	辻 桂 所
	14:00～	６Ａ病棟	病棟研修	＊＊	担当医とともに行動	患者	13	〃	＊
	16:30～	６Ａ病棟	病棟ブリーフィング	＊＊＊		症例	〃	出欠 ディスカッション	＊
火	8:15～	６Ａ病棟 手術室	手術見学 手術介助 病棟研修	＊＊	担当医とともに行動	患者	13	出欠 ディスカッション	＊
	9:00～ 12:00	母子診療科 外来	妊婦健診見学（１名）	知識の整理	見学	患者	1	出欠	外　来 担 当 医
	16:30～	６Ａ病棟	病棟ブリーフィング	＊＊＊	担当医とともに行動	症例	13	出欠 ディスカッション	＊
水	8:15～	６Ａ病棟 手術室	手術見学 手術介助 病棟研修	＊＊	担当医とともに行動	患者	13	出欠 ディスカッション	＊
	9:00～ 12:00	母子診療科 外来	妊婦健診見学（１名）	知識の整理	見学	患者	1	出欠	外　来 担 当 医
	16:30～	６Ａ病棟	病棟ブリーフィング	＊＊＊	担当医とともに行動	症例	13	出欠 ディスカッション	＊
木	8:15～	６Ａ病棟 手術室	手術見学 手術介助 病棟研修	＊＊	担当医とともに行動	患者	13	出欠 ディスカッション	＊
	9:00～ 12:00	母子診療科 外来	妊婦健診見学（1名）	知識の整理	見学	患者	1	出欠	外　来 担 当 医
	14:30～	６Ａ病棟	産科講義	知識の獲得	座学	講義	1	〃	交 代 制
	16:30～	６Ａ病棟	病棟ブリーフィング	＊＊＊	担当医とともに行動	症例	13	出欠 ディスカッション	＊
金	8:15～	６Ａ病棟 手術室	手術見学 手術介助 病棟研修	＊＊	担当医とともに行動	患者	13	出欠 ディスカッション	＊
	9:00～ 12:00	母子診療科 外来	妊婦健診見学（１名）	知識の整理	見学	患者	1	出欠	外　来 担 当 医
	15:00～ 16:00	医師臨床 教育センター	吸引分娩実習	分娩シミュレーターによる実習を経験する。	実技	シミュレーター	1	出欠	笠　原
	16:30～	６Ａ病棟	病棟ブリーフィング	症例プレゼンテーション 病棟スタッフへの挨拶	診療録提出	症例	13	出欠 ディスカッション	＊

５.集合場所・時間

第１週の月曜日朝８時に病院６階の６A病棟カンファレンスルーム集合。オリエンテーションを行い、２週間の予定表を配布するので集合場所・時間を確認して下さい。

６.学生へのメッセージ・注意事項等

女性を対象とする診療科ですので、とりわけ清潔で節度ある身だしなみを心がけてください。男性はシャツに白衣の場合ネクタイの着用を求めます。また男女とも香水等の使用は控えてください。

母子診療科・女性診療科では担当医と行動を共にし、より実践的な実習を目指しています。そのため出席を重視しており無断欠席は許されません。また、自主学習のための課題に取り組むことも考慮し、講義形式の座学の時間は数コマに留めています。質問があれば、毎日の実習の中で担当医に尋ねてください。カンファレンスでの質問も、学習効果を高めますので、遠慮は無用です。

なお、各人の診療録は病棟から持ち出し禁止です。個人情報の取り扱いには最大限の注意を払って下さい。

７.臨床実習（アドバンス）概要

産婦人科の領域は、大きく分けて、周産期医学、婦人科腫瘍学、生殖医学、その他の女性医学に分かれており、アドバンスコースでは、各人の希望に合わせて、２週間の臨床実習（クリニカルクラークシップ）では十分に触れられなかった領域を学ぶことや、あるいはさらに内容を深めて経験を積むことが可能で、これらの機会を通じて、将来自分の進むべき道に対する情報を提供します。

泌　尿　器　科

1. 担当教員

教　　授	河内　明宏	助　　教	永澤　誠之
准　教　授	成田　充弘	助　　教	窪田　成寿
講　　師	上仁　数義	助　　教	草場　拓人
講　　師	影山　　進	医　　員	馬塲　雅人
講師(学内)	吉田　哲也	医　　員	城　　文泰
助　　教	和田　晃典	医　　員	中川　翔太

2. ねらいと学修目標

ねらい	学修目標
腎･尿路系、生殖系の構造と機能を理解し、主な疾患の病態生理、原因、症候、診断と治療（外科的・内科的)についてレクチャーおよび教員の指導のもとに自らの手を動かして学ぶ（診療参加型臨床実習：クリニカル・クラークシップ)。	1．患者のプライバシーや羞恥心に対して十分な配慮ができる。 2．あらゆる階層の患者から的確に病歴が聴取でき、POSに則った診療録記載ができる。 3．外科系医師として必要な清潔操作･基本手技に精通し、同時に泌尿器科における救急処置を行える。 4．腹部および外陰部の基本的診察、双手診、直腸診を的確に行える。 5．検尿、尿沈渣顕微鏡所見、血液生化学検査、各種の腫瘍マーカー結果を的確に解釈できる。 6．各種画像診断の理解とその基本的読影ができる。 7．尿路造影法の実際を理解し、造影剤アレルギーに対する理解をし、あわせてその読影力をつける。 8．膀胱尿道鏡、尿管鏡、腹腔鏡などの内視鏡診断・治療を説明できる。 9．各種の泌尿器悪性腫瘍の診断とその治療、特に化学療法を中心とした集学的治療を概説できる。 10. 神経因性膀胱、尿路通過障害を来たす疾患について、診断と治療を説明できる。 11. 尿路結石症、尿路感染症について、原因、診断と治療を説明できる。 12. 腎・尿路・性器の先天異常の診断・治療について説明できる。 13. 男性不妊、アンドロロジー、性機能障害について概説できる。 14. 高齢男性の排尿障害、特に前立腺疾患の診断と治療が説明できる。 15. 女性の排尿障害、特に尿失禁や骨盤臓器脱について、その検査法と治療について説明できる。 16. 泌尿器科手術について概説でき、手術時の基本操作（止血、結紮、縫合）を体得する。 17. 泌尿器科内視鏡手術、腹腔鏡手術、ロボット支援下手術の内容を説明できる。

3．評価基準

1．　臨床実習の評価は出席が基本となる（出席点）。
2．　行動目標に対する評価は大学が定めた評価表を使用して評価を行う。
3．　担当患者のサマリーを定めた様式に沿ってレポート作成を行う。
4．　上記１．２．３.から総合的に最終評価とする。

4．臨床実習のユニット内容

一日の基本的な流れ（泌尿器科）

その日の予定を担当医と相談・確認する

↓

集合時間・場所
担当医が決定

・病歴を取りカルテ・レポートに記載
・理学的所見を取りカルテ・レポートに記載
・手術に参加する
・検査・処置に参加する
・疑問点について自己学習を行う

↓

時間
担当医が決定

担当医とミニカンファレンス
・得た情報を報告し診療計画を検討
・手術記録を作成
・患者サマリーを作成

↓

時間
担当医が決定

・その日行った実習を担当医に報告
・病歴、理学的所見、診療計画、手術記録、患者サマリーのチェックを受ける
・必要に応じて担当医と夕方の回診

↓

担当医に最終報告後、帰宅

第１週

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	9:30～12:00	泌尿器科 医局会議室	オリエンテーション	泌尿器科学総論と実習の概要を学習する	レクチャー	DVD スライド	1	質問	河　内
	14:00～17:10	手術室	泌尿器科手術オリエンテーション	泌尿器科手術について適応、手技を学び、臨床解剖学の知識を整理する。また、術前、術後の患者の管理法についても学習する。 無菌操作、手洗い、糸結びの基本を体得する。	レクチャー 手術実習	患者 手術野 病歴 画像情報	1	質問 評価表	影　山 和　田
火	9:30～12:40	泌尿器科 外来	外来臨床実習	泌尿器科的な病歴・理学的所見のとり方を体得する。腹部エコー画像について理解を深める。	病歴の作成 診察	患者、記録用紙、尿、超音波診断装置	4	質問 評価表	河　内 上　仁 永　澤 窪　田
	14:00～17:10	泌尿器科 カンファレンスルーム	回診と症例カンファレンス	1）泌尿器科のあらゆる疾患について、理解を深める 2）臨床所見の解釈の仕方を体得する。 3）症例提示の方法を学ぶ。 4）担当患者の割り当てを行う。	患者回診 カンファレンス	患者 病歴 臨床データ 画像情報	11	質問 評価表	全　員
水	9:00～	手術室	手術見学・実習	泌尿器科手術の実際と基本的手技についての概念を学ぶ。無菌操作、手洗い、糸結びの基本を体得する。	手術実習	患者 手術野 病歴 画像情報	11	質問 評価表	全　員
木	9:30～12:40	泌尿器科 外来	外来臨床実習	泌尿器科的な病歴・理学的所見のとり方を体得する。画像全般について理解を深める。	病歴の作成 診察	患者 画像情報	3	質問 評価表	影　山 中　川 和　田
	14:00～17:10	泌尿器科 カンファレンスルーム	各種泌尿器科検査	泌尿器内視鏡検査・処置、前立腺生検、ウロダイナミックスタディーについて理解を深める。	検査処置見学	内視鏡機器 経直腸エコー ウロダイナミック	3	質問 評価表	医　員
金	9:30～12:40	泌尿器科 外来	外来臨床実習	泌尿器科的な病歴・理学的所見のとり方を体得する。画像全般について理解を深める。	病歴の作成 診察	患者 画像情報	3	質問 評価表	成　田 馬　場 窪　田
	14:00～17:10	手術室 病棟	個別手術実習・ 担当患者管理	担当入院患者の問診、診察および手術参加を行い、POSによる患者サマリー、手術記録を作成する。	手術実習 病棟実習	担当入院患者	11	質問 評価表 レポート	全　員

第 2 週

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目的	方法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	9:30～12:40	泌尿器科外来	外来臨床実習	泌尿器科的な病歴･理学的所見のとり方を体得する。画像全般について理解を深める。	病歴の作成 診察	患者 画像情報	3	質問 評価表	吉　田 城 成　田 上　仁
	14:00～17:10	手術室 病棟	個別手術実習・ 担当患者管理	担当入院患者の問診、診察および手術参加を行い、POSによる患者サマリー、手術記録を作成する。	手術実習 病棟実習	担当入院患者	11	質問 評価表 レポート	全　員
火	9:00～12:40	透視検査室	泌尿器科透視検査処置	透視下検査、処置の実際について理解を深める。	検査処置見学	担当患者	1	質問 評価表 レポート	医　員
	14:00～17:10	泌尿器科 カンファレンスルーム	回診と症例カンファレンス	担当した入院患者の症例提示をおこない、診断、治療の問題点を探り討議する。	患者回診 カンファレンス 症例提示	患者 病歴 臨床データ 画像情報	11		全　員
水	9:00～	手術室 病棟	個別手術実習・ 担当患者管理	担当入院患者の問診、診察および手術参加を行い、POSによる患者サマリー、手術記録を作成する。	手術実習 病棟実習	担当入院患者	11	質問 評価表 レポート	全　員
木	9:30～12:00	病棟	担当患者レポート作成	担当患者のサマリーを決められた様式に従ってレポートを作成する。	レポート作成	患者 病歴 画像情報	4	質問 評価表	全　員
	14:00～17:10	病院スキルズラボ	ロボットシミュレータ実習	ロボット手術をシミュレータで体験し理解を深める。	検査処置見学 シミュレータ実習	ダビンチシミュレータ	3	質問 評価表	医　員
金	9:00～12:10	手術室	手術見学実習	泌尿器科手術の実際と基本的手技についての概念を学ぶ。	手術実習	患者 病歴 画像情報	4	質問 評価表	全　員
	13:30～16:40	泌尿器科 カンファレンスルーム	担当患者症例まとめ	1週間担当した入院患者の治療法、問題点について総合討論・まとめを行う。	レポート提出	レポート	2	質問 レポート	成　田 影　山 吉　田

5．集合場所・時間

曜日	第１週 午前		午後		第２週 午前		午後	
月	医局会議室	９時30分	手術室	14時	外来	９時30分	手術室 ２D病棟	14時
火	外来	９時30分	２D病棟	14時	透視検査室	９時30分	２D病棟	14時
水	手術室	９時	手術室	13時30分	手術室 ２D病棟	９時～		
木	外来	９時30分	２D病棟	14時	２D病棟	９時30分	スキルズラボ	14時
金	外来	９時30分	手術室 ２D病棟	14時	手術室	９時	２D病棟	13時30分

6．学生へのメッセージ・注意事項等

身なりには細心の注意をはらうこと。男子学生はネクタイ着用またはケーシ型白衣着用のこと。

1．身体、白衣は常に清潔に保ち、爪は必ず短く切っておくこと。
2．時間厳守を励行し、臨床実習には積極的・能動的に参加すること。
3．扱う疾患が性別を問わずプライベートパーツに関わるので、羞恥心に対する配慮は十分に行う。また、直腸診等を医学生に許可されるのは相当な犠牲が必要であるので、診察後は感謝の念をその場で表すこと。グループ間での私語は絶対禁止。
4．病歴作成時の年号は西暦で記載すること。
5．疑問点や分からない点があれば、その場で教員に質問してよい。
6．臨床実習はすべての出席が求められる。止むを得ない事情があって欠席の場合、当日９時～９時30分に**泌尿器科医局（電話：077-548-2273）**まで連絡すること。病気欠席の際には診断書を提出すること。

7．臨床実習（アドバンス）概要

教員とマンツーマン体制で、個別指導を行う。教員の担当する入院患者を中心として、泌尿器科入院での診断・治療について、教員の指導のもとに自らの手を動かして学ぶ（診療参加型臨床実習：クリニカル・クラークシップ）。具体的には、膀胱鏡、腹部・経直腸的エコー検査、尿流動態検査などの泌尿器科専門検査を見学実施し学ぶ。また、医学教育用トレーナーによる泌尿器科専門の治療的手技（導尿、腹腔鏡手術基本手技など）を教員が指導する。

眼　　科

1. 担当教員

教　授	大路　正人	助　教	南川　貴之
准教授	西信　良嗣	助　教	森　崇正
講　師	澤田　修	助　教	岩佐　真紀
講　師	柿木　雅志	助　教	一山　悠介
助　教	澤田　智子		

2. ねらいと学修目標

ねらい	学修目標
主な眼科疾患について、症例を通じて眼科検査、診断、治療を学ぶ。	① 疾患の病態や疫学を理解する。 ② 主訴からの診断推論を組み立てる。 ③ 眼科の治療に可能な範囲で参加する。 ④ 眼科の基本的な診察技能について学ぶ。 ⑤ どのように眼科にコンサルテーションすればよいかわかる。

3. 評価基準

以下を総合して評価する。

1）医療人として適切な行動・態度がおこなえているか、評価する。
2）実習中、医療安全および感染対策に留意しているか、確認する。
3）眼科疾患の発病機構、病態に関し、口頭試問を行う。
4）眼科にコンサルテーションが必要な症状、所見、疾患に関し、口頭試問を行う。
5）症例を通じて、眼科検査の説明、結果の解釈に関し、発表する。
6）症例を通じて、眼科疾患の内科的または外科的治療を説明する。
7）症例に関し、医療情報管理、個人情報保護を遵守しているか、確認する。
8）担当症例について、問診、眼科検査および解釈、鑑別診断、治療方法に関し、レポートをまとめ、提出する。

4.臨床実習のユニット内容

一日の基本的な流れ

時間は指導にあたる医師が決定

回診

指導にあたる医師とともに受け持ち患者を診察し、データをチェックして得た情報を整理する。
指導にあたる医師に得た情報を報告し診療計画を検討する。

↓

事前に知らせてあるスケジュールで仕事を開始する

↓

グループ学習

↓

・新患をみる
・手術に入る
・検査をお互いに行う
・動物眼を用いて眼科手術を行う
・病棟、外来で患者さんを診察してわからなかった点を自分で勉強する

↓

病棟回診

受け持ち患者の得た情報を報告し診療計画を検討

グループ学習

受け持ち患者のプレゼンテーションと質疑応答

↓

時間は指導にあたる医師が決定

指導にあたる医師により、受け持ち患者に関する理解のチェックと勉強した課題のチェックを受ける

↓

指導にあたる医師に報告して帰宅

第１週

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	9:00～9:30	眼科医局	実習オリエンテーション	2週間の実習の概要を説明する。	口頭での説明を行う。		1		澤 田 修
	9:30～12:30	眼科病棟	視力検査実習 細隙灯検査実習	視力検査について理解する。細隙灯の使い方、前眼部所見について理解する。	学生同士で視力検査を行う。 学生同士で細隙灯を用いた前眼部観察を行う。	視力検査票 細隙灯 モニタ	1	口頭試問	澤 田 修
	13:30～16:00	眼科医局	視野検査実習	視野検査について理解する。	視野検査、代表疾患を理解する。	プロジェクタ コンピュータ	1	口頭試問	森
火	9:00～13:00	眼科外来	外来実習	眼科外来患者の予診を行い、予想される疾患を考え、診察の計画をたてることができる。診察所見から診断を行う。	予診を行った症例の細隙灯顕微鏡所見をモニタで観察し、その所見を理解し、診断を行う。	外来患者 細隙灯 モニタ	5	口頭試問	柿 木 森 担当医師
	14:00～16:00	眼科医局	手術実習	顕微鏡下での眼科手術の模擬体験を行い、マイクロサージェリーを理解する。	豚眼で白内障手術の基本手技を体験する。	豚眼 手術顕微鏡 手術装置	1	口頭試問	南 川
水	9:00～12:00	眼科医局	手術実習	白内障症例の病態と術式を理解する。	様々な白内障手術症例を理解する。	プロジェクタ コンピュータ	1	口頭試問	一 山
	14:00～16:00	眼科病棟	病棟実習	入院担当症例の病態と術式を理解する。	担当医の診察・検査を見学し、所見を理解する。	検査機器	4		岩 佐 担当医師
木	9:00～13:00	手術室	手術実習	眼科顕微鏡手術の手技と理論を述べることができる。	手術顕微鏡で、入院担当症例の手術見学を行う。	手術顕微鏡 モニタ	5	口頭試問	南 川 担当医師
	14:00～16:00	眼科病棟	病棟実習	入院担当症例の病態と術式を理解する。	担当医の診察・検査を見学し、所見を理解する。	検査機器	1		森 担当医師
金	9:00～13:00	手術室	手術見学	眼科顕微鏡手術の手技と理論を述べることができる。	手術顕微鏡のモニタで、手術見学を行う。	手術顕微鏡 モニタ	4	口頭試問	柿 木 一 山 担当医師
	14:00～16:00	眼科外来	斜視検査実習	両眼視およびその障害を理解し、検査を行うことができる。	斜視、両眼視検査を行う。	学生同士 大型弱視鏡 プリズム	1		岩 佐

第 2 週

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目的	方法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	9:00～11:00	眼科外来	レーザー実習	レーザーの原理を知り、治療への応用を理解する。	模擬眼を用いて実際にレーザー照射する。	レーザー装置	1	口頭試問	澤田智子
	11:00～12:00	眼科医局	視覚障害	視覚障害とロービジョンケアについて理解する。	視覚障害を疑似体験する。	プロジェクタ コンピュータ			
	14:00～16:00	眼科病棟	病棟実習	入院担当症例の病態と術式を理解する。	担当医の診察・検査を見学する。	検査機器	4	口頭試問	西　信 担当医師
	16:00～17:00	眼科病棟	病棟回診	入院患者の病態と治療方針を理解する。	回診時に入院担当症例を見学し、病態の理解を行う。	検査機器	10	口頭試問	大　路 担当医師
火	9:00～13:00	手術室	手術見学	眼科顕微鏡手術の手技と理論を述べることができる。	手術顕微鏡で、入院担当症例の手術見学を行う。	手術顕微鏡 モニタ	4	口頭試問	澤 田 修 担当医師
	14:00～16:00	眼科外来	眼底検査実習	眼底観察と眼底撮影を体験する。	散瞳下で倒像鏡による眼底観察と、眼底カメラによる眼底撮影を行う。	学生同士 倒像鏡 眼底カメラ	1		西　信
水	9:00～12:00	眼科外来	外来実習	眼科外来患者の予診をとり、予想される疾患を考え、診察の計画を立てることができる。診察所見から診断を行う。	予診をとった症例の細隙灯顕微鏡所見をモニタで観察し、その所見を理解し、診断を行う。	細隙灯 モニタ	4	口頭試問	澤 田 修 岩　佐 担当医師
	13:00～16:00	眼科病棟	病棟実習	入院担当症例の術後診察を見学し、術後の病態を理解する。	担当医の診察・検査を見学する。	細隙灯	4	口頭試問	担当医師
木	9:00～12:00	眼科医局	手術見学	網膜硝子体症例の病態と術式を理解する。	様々な網膜硝子体手術症例を理解する。	手術患者	4	口頭試問	担当医師
	13:00～16:00	手術室		眼科顕微鏡手術の手技と理論を述べることができる。	手術顕微鏡で、手術見学を行う。	手術顕微鏡 モニタ			南　川 森 担当医師
金	9:00～11:00	眼科医局	眼科総論	入院担当症例の治療法と治療前後の病態を理解する。また、眼科全般に関しての理解を深める。	入院担当症例の病態とその治療方針を自らプレゼンテーションする。眼科全般の討論を行う。	プロジェクタ コンピュータ	1	口頭試問	大　路
	11:00～13:00	眼科医局	まとめ	実習全般での疑問点を学生に列挙させ、討論する。	自由討論とする。			口頭試問	大　路
	14:00～17:00		レポート作成	担当症例のレポートを作成する。	討論内容を含め、レポートを作成する。			レポート提出	

5 .集合場所・時間

第１週の月曜日に眼科医局に午前９時00分集合。
翌日以降に関しては、その際に指示する。

6 .学生へのメッセージ・注意事項等

実習中は、患者さんへの感謝の気持ちをもち真摯な態度に心がけること。
院内での身だしなみには充分に留意すること。
講義で学んだ眼科検査・疾患・治療等を充分に復習しておくこと。
体調管理に充分留意して病欠は無いようにすること。
診療業務などで、臨床実習の開始や終了が予定と異なることもある。
手術室では正確に術衣、マスク、帽子等の着用を行うこと。
手術見学中の途中入室や無断退室は認めない。
動物眼での手術実習の機会を設ける。
視力検査実習、眼底検査実習の日は、コンタクトレンズの装用はさけ、眼鏡を装用してくること。
眼底検査実習では各自散瞳を行うため、その後の車などの運転は控えること。

7 .臨床実習（アドバンス）概要

実習期間を通じて担当医をマンツーマンで割り当て、担当医の指導下で眼科の外来患者・入院患者の診察を行い、顕微鏡手術に参加する。
眼科学の復習を行うとともに、眼科学の国家試験対策の学習を行う。

麻　酔　科、ペインクリニック科

1. 担当教員

教　　授	北川　裕利	助　　教	葛川　顕子	特任助教	石原真理子
講　　師	福井　　聖	助　　教	福島　　豊	特任助教	河島愛莉奈
講　　師	小嶋亜希子	助　　教	湯浅真由美	特任助教	岩﨑　　愛
特任講師	小牧　史明	助　　教	水野　隆芳	特任助教	赤澤　舞衣
講師(学内)	今宿　康彦	助　　教	清水　盛浩	非常勤講師	松本　富吉
講師(学内)	岩下　成人	助　　教	井上　　基		
病院講師	中西　美保	助　　教	橋本　英輔		

2. ねらいと学修目標

ねらい	学修目標
周術期のストレスや疼痛の緩和･制御により、患者の安全を確保し、命を守るために、周術期生体管理を中心に各疾患の病態生理と麻酔薬の作用を理解する。	(1) 麻酔学の医学・医療における役割について理解する。 (2) 全身管理の概念について理解する。 • 呼吸管理について概説する。 • 循環管理について概説する。 • 体液代謝管理について概説する。 • 脳・神経系の管理について概説する。 • 全身管理に用いる薬について概説する。 • 小児と成人の麻酔の違いについて概説する。 (3) 麻酔管理について理解する。 • 安全な麻酔管理を理解する。 • 疼痛対策を理解する。 • 麻酔計画を立て、プレゼンテーションする。 • バイタルサインの変化について、その原因を理解する。 • 薬剤の投与・追加投与について、その意味を理解する。 • 麻酔のシミュレーションを通じて麻酔管理を理解する。 • 麻酔中の各種モニタリングについて理解する。 • 各種の麻酔法を概説する。 • 麻酔時に必要な診察、検査、手技、治療について概説する。 • 麻酔記録の解釈をする。 (4) ペインクリニックについて理解する。 • 痛みの治療・評価法・対象疾患と治療法について概説する。

3. 評価基準

- 臨床実習の学習目標の到達度について、症例レポート、症例実習ノート、達成度チェックリストに基づき指導担当教員が評価を行う。
- 臨床実習は必修課程であり、原則として欠席は認められない。
- 臨床実習のレポート提出、臨床実習中の態度も評価の対象となる。

4. 臨床実習のユニット内容

一日の基本的な流れ

前日までに
受け持ち患者を診察し、データをチェックして得た情報を整理する

↓

カンファレンス
受け持ち患者から得た情報を短くまとめて口頭で指導教員に報告

↓

指導教員と麻酔導入・維持・覚醒・抜管を見学

↓

- 術中の事象と対応処置について自習
- 指導教員とディスカション

↓

指導教員に報告して帰宅

第１週目

曜日	時　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	9:30	視聴覚室	オリエンテーション	麻酔科実習について 術前評価法について	見学・実習	患者	1	出席	北　　川
	12:30	手術室	手術室実習	麻酔器・器具の理解 症例割振り	供覧・実習	麻酔器・器具	1	出席	小　　嶋 小　　牧
火	9:30	視聴覚室	疼痛診療総論	ペインクリニックの理解	講義	Eラーニング	1	出席	福　　井
	14:00	スキルズラボⅡ	シミュレーション実習	気道確保シミュレーション	実習	模型	1	出席	今　　宿 赤　　澤
水	9:00	外来	疼痛外来実習	ペインクリニックの理解	見学、実習	患者	2	出席	福　　井 岩　　下
	12:30	手術室	臨床麻酔実習	麻酔管理の実際と基本的手技について学ぶ	見学・実習	患者	8	出席	福　　島 橋　　本
木	8:15	手術室	臨床麻酔実習	麻酔管理の実際と基本的手技について学ぶ	見学・実習	患者	5	出席	小　　嶋 小　　牧
	12:30	手術室	臨床麻酔実習	麻酔管理の実際と基本的手技について学ぶ	見学・実習	資料・患者	5	出席	井　　上 岩　　崎
金	9:00	カンファレンス室	シミュレーション実習	腰椎穿刺・硬膜外穿刺	実習	模型	1	出席	葛　　川
	12:30	手術室	臨床麻酔実習	麻酔管理の実際と基本的手技について学ぶ	見学・実習	患者	5	出席	清　　水 水　　野

第２週目

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	8:00	手術室	臨床麻酔実習	麻酔医療の理解を深める	見学・実習 講義	患者	6	出席	河　　島
	12:30	手術室	臨床麻酔実習	麻酔医療の理解を深める	講義・実習	患者	6	出席	麻酔担当 医　師
火	8:00	手術室	臨床麻酔実習	麻酔医療の理解を深める	見学・実習 講義	患者	8	出席	中　　西 石　　原
	14:00	スキルズラボⅡ	シミュレーション実習	全身シミュレーション実習	見学・実習 講義	高機能患者シミュレーター	1	出席	今　　宿 赤　　澤
水	8:00	手術室	臨床麻酔実習	麻酔医療の理解を深める	見学・実習・ 講義	患者	8	出席	福　　島 清　　水
	14:00	放射線部	疼痛治療実習	ペインクリニックの理解	講義・実習	患者・資料	2	出席	福　　井 岩　　下
木	8:00	手術室	臨床麻酔実習	麻酔医療の理解を深める	見学・実習	患者	5	出席	麻酔担当 医　師
	12:30	手術部	臨床麻酔実習	麻酔医療の理解を深める	見学・実習	患者	5	出席	麻酔担当 医　師
	14:00	視聴覚室	シミュレーション実習	CV	実習	模型	1	出席	湯　　浅
金	9:00	カンファレンス室	シミュレーション実習	気管支鏡	実習	模型	1	出席	葛　　川
	13:30	視聴覚室	質疑応答　・まとめ	まとめ、症例・検討・その他の疑問点を解決する	討論	学生	1	出席 レポート	北　　川

5 .集合場所・時間

第一週月曜日午前 9 :30、麻酔学講座医局

※第一週月曜日が休日の場合は、第一週火曜日午前 9 :00、麻酔学講座医局

月曜日のオリエンテーション時に臨床実習の予定表を配布しますので、その表の集合場所、時間を確認してください。

6 .学生へのメッセージ・注意事項等

わからないことがあれば放置せず、すぐに担当教員に積極的に質問すること。但し、患者の近くでの言動には注意すること。特に私語は慎むこと。

①病気・忌引き等でやむを得ず欠席する場合は、担当教員もしくは、麻酔科医局（AM 9 :00以降 TEL：548-2281）へ連絡すること。欠席日数に応じてレポート、あるいは補講を行う。

②術前カンファレンスについては事前に担当教員と打ち合わせをして発表すること。

③麻酔管理においては担当教員の指導の下で積極的に参加すること。

④患者のプライバシーの保護には留意すること。

7 .実習概要

この実習では指導教員の下にできる限り多くの症例を担当してもらいます。

以下、概要を記載します。

1）カルテによる情報収集を行い、術前依頼用紙を完成させる。

2）担当教員と相談の上、麻酔計画を立てる。

3）担当教員とともに麻酔準備を行う。

4）朝のカンファレンスにて発表する。

5）担当教員の指導の下、麻酔症例を担当する。

6）麻酔覚醒、抜管、退室まで見学して麻酔全体の流れを知る。

また、臨床実習で経験したことなどについて、高機能患者シミュレーターを用いた実習を行います。さらに各種デバイスを用いた挿管実習も行います。

ペインクリニック科においては、神経ブロックなどの疼痛緩和の手段やその意義、患者さんへの対応などについて見学を通して理解を深めます。

8 .臨床実習（アドバンス）概要

上記実習に7)、8）を追加します。

7）麻酔科サブスペシャリティ領域の実習

8）麻酔科研究およびキャリアプランの紹介

放　射　線　科

1．担当教員

教　　授　渡邉　嘉之
准 教 授　園田　明永
講　　師　井藤　隆太
講　　師　河野　直明
講　　師　永谷　幸裕
助　　教　北原　　均
助　　教　津川　拓也
助　　教　大谷　秀司
助　　教　土屋　桂子
助　　教　友澤　裕樹
助　　教　瀬古安由美
特任助教　村上　陽子
特任助教　青木　　健
特任助教　佐藤　滋高
特任助教　高木　　海

非常勤講師
村田喜代史（洛西ニュータウン病院放射線科部長）
高橋　雅士（友仁山崎病院院長）
新田　哲久（岡本記念病院放射線科部長）
川上　光一（医仁会武田総合病院放射線科部長）
松尾　寿保（近江八幡総合医療センター放射線科部長）
金崎　周造（康正会武田病院放射線科部長）
浜中　恭代（康正会武田病院PETセンター副部長）
前田　清澄（淡海医療センター放射線科部長）
邵　　啓全（公立甲賀病院放射線科部長）
井本　勝治（公立甲賀病院放射線科副部長）
大田　信一（長浜赤十字病院放射線科部長）
若宮　　誠（長浜市立病院放射線科部長）

2．ねらいと学修目標

ねらい	学修目標
種々の病態に対する医用画像を用いた診断やIVR治療、および放射線治療の基礎を習得する。	1．現在用いられている種々の画像診断法の説明ができる。 2．基本的疾患の特徴的画像所見を理解し、鑑別診断を述べることができる。 3．基本的なIVRの適応と手技の説明ができ、副作用を述べることができる。 4．種々の放射線治療法の適応と手技の説明ができ、放射線による障害を述べることができる。

3．評価基準

臨床実習担当者の判断を総合的に判断するが、以下の項目を評価する。

1．質問に対する応答の態度、知識量、コミュニケーション能力
2．与えられた課題の処理能力

4.臨床実習のユニット内容

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	9:30～	MRカンファレンス室	画像診断総論	画像診断の診断学における現状や今後を学ぶ	症例の検討と説明・討議	スライド、患者画像等	1	出席 行動観察	渡　邉
	13:00～	MRカンファレンス室	小児画像診断の基礎	小児画像診断の基礎を学ぶ	症例の検討と説明・討議	患者画像 スライド等	1	出席 行動観察	北　原
火	9:00～	MRカンファレンス室	心臓画像診断の基礎	心臓画像診断の基礎を学ぶ	症例の検討と説明・討議	患者画像等	1	出席 行動観察	永　谷
	13:00～	MRカンファレンス室	核医学画像診断の基礎を学ぶ	核医学画像診断の基礎を学ぶ	症例の検討と説明・討議	患者画像、 スライド等	1	出席 行動観察	瀬　古
	14:00～	血管撮影室	超音波診断の基礎	超音波画像診断の基礎を学ぶ	超音波装置を用いて実習	超音波装置	1	出席 行動観察	村　上
	講義終了後	総合画像診断室など	読影実習	読影の実際を体験する	症例の読影を行う	ビューワ	1	出席 行動観察	大　谷／ 佐　藤
水	9:00～	MRカンファレンス室	消化管画像診断の基礎	消化管画像診断の基礎を学ぶ	症例の検討と説明・討議	スライド	1	出席 行動観察	友　澤
	14:00～	MRカンファレンス室	乳腺診断の基礎	乳腺画像診断の基礎を学ぶ	症例の検討と説明・討議	スライド	1	出席 行動観察	土　屋
	講義終了後	総合画像診断室など	読影実習	読影の実際を体験する	症例の読影を行う	ビューワ	1	出席 行動観察	大　谷／ 佐　藤
木	9:00～	MRカンファレンス室 /血管造影室	腹部画像診断の演習	症例見学を通じて、血管造影手技の基本を習得する。	症例の検討と説明・討議 血管造影見学	患者画像等	1	出席 行動観察	高　木
	13:00～	MRカンファレンス室 /放射線治療棟	放射線腫瘍学の基礎	放射線治療の理論、基礎、悪性腫瘍の診療における位置づけを学ぶ	各装置による説明、症例についてプラニングを行う	シミュレーター、 ライナックグラフィー、 線量分布図等	1	出席 行動観察	河　野／ 津　川
	講義終了後	総合画像診断室など	読影実習	読影の実際を体験する	症例の読影を行う	ビューワ	1	出席 行動観察	大　谷／ 佐　藤
金	9:00～	MRカンファレンス室	胸部画像診断の基礎	胸部X線写真の診断を学ぶ	症例の画像の説明・討議	患者画像等	1	出席 行動観察	園　田
	13:00～	MRカンファレンス室	神経画像診断の基礎	神経画像診断基礎を学ぶ	症例の検討と説明・討議	スライド、患者画像等	1	出席 行動観察	井　藤

※読影実習は1人ずつ1回以上を担当教官と時間を打ち合わせて行う。

5.集合場所・時間

各時間にMRカンファレンスルームに集合する。集合時間は表の通り。

6.学生へのメッセージ・注意事項等

放射線科では、全領域にわたる診断、治療が行われていて、病院の中央部門として画像診断の中心的役割を果たしていることを理解してほしい。

全体の臨床実習では、様々な画像の読影やミニレクチャーを中心に、放射線診療を学んでもらうカリキュラムになっている。アドバンスコースでは、自ら調べることによって所見から鑑別診断を進める診断法を学ぶ。また、種々のカンファレンスにも参加してもらう。

7.臨床実習（アドバンス）概要

臨床実習（ローテーション）では、読影やミニレクチャーを中心に、放射線診療を学んでもらうカリキュラムになっているが、アドバンスコースでは、自ら調べることによって所見から鑑別診断を進める診断法を学ぶ。また、種々のカンファレンスにも参加してもらう。

歯科口腔外科

1. 担当教員

教　授　山本　学　　講　師　越沼　伸也
講　師　家森　正志　　助　教　町田　好聡

2. ねらいと学修目標

ねらい	学修目標
歯科学領域の知識を有した医師となるために、歯科的疾患と全身疾患の関連についての知識の習得。	1．口腔内診査方法を習得する。 2．口腔衛生状態の評価ができる。 3．口腔外科疾患の治療法の理解。 4．歯科と医科が連携できる疾患（睡眠時無呼吸症候群など）の連携治療が理解できる。 5．口腔ケアの重要性について理解できる。

3. 評価基準

- レポートにて評価を行う。

4. 臨床実習のユニット内容

一日の基本的な流れ（歯科口腔外科）

時間は指導にあたる医師が決定

診療室に集合
本日の指導医を紹介

↓

外来診察
指導医と一緒に診察した患者について口頭で指導にあたる医師と確認し、指導医のサインもしくは印鑑をもらう

↓

診療曜日によって変更あり

●新患をみる　●今日のカルテを書く
●手術に入る　●検査を見学する

↓

口腔内診査

口腔内印象実習
歯磨き実習

口腔外科
疾患講義

中央手術見学
外来手術見学

↓

指導にあたる医師による診察し
勉強した内容のチェックを受ける

↓

指導にあたる医師に報告

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	9:00 ～12:00	歯科口腔外科外来	外来小手術	• 口腔外科手技の理解	診療介助・見学	外来手術	1	口頭試問	山　本
			口腔衛生実習	• 口腔衛生実習実技		学生			越　沼
			周術期口腔機能管理	• 周術期口腔機能管理について理解する	実習	歯ブラシ	1		町　田
	13:00～ ～15:30	歯科口腔外科医局 カンファランスルーム	講義	• 全身と口腔との関連について理解する	講義	スライド	1		
火	9:00 ～12:00	歯科口腔外科外来	外来診療見学	• 見学・診療介助を行い、歯科口腔外科患者の愁訴、病状を把握する	診療介助	新来患者	1	口頭試問	家　森
	11:30 ～12:00	歯科口腔外科外来	口腔衛生実習	• 口腔内印象採得	実習		1		
	13:00～ ～15:30	歯科口腔外科医局 カンファランスルーム	全身と口腔との関連について説明	• 全身と口腔との関連について理解する	講義	スライド	1		冨　岡
水	形成外科(P.125参照)								
木									
金	9:00 ～12:00	中央手術室	手術	• 口腔外科手術の理解	見学	手術症例	1	口頭試問	山　本 越　沼
	13:30～ ～15:30	歯科口腔外科医局 カンファランスルーム	まとめ	• 全身と口腔との関連について理解する	講義	スライド			町　田

5.集合場所・時間

毎朝8時55分に歯科口腔外科外来に集合。

（コロナ対応時：毎朝8:45に歯科口腔外科学講座医局へ集合）

6.学生へのメッセージ・注意事項等

欠席の場合は、当日の9時までに歯科口腔外科外来（077-548-2583）に連絡をいれること。また、理由の認められない30分以上の遅刻は欠席とみなす。

月曜日の午後の口腔衛生実習で使用するため、各自、歯ブラシを持参すること。

実習中に配布する診療内容チェック項目にしたがって評価を行う。各診療ごとに指導医のサインをもらうこと。

形　成　外　科

1．担当教員

特任教授	鈴木　義久	助　　教	荻野　秀一
病院准教授	岡野　純子	特任助教	荒川　篤宏

2．ねらいと学修目標

ねらい	学修目標
形成外科の疾患の理解と治療法の理解。	1．形成外科手術を見学し学習する。 2．形成外科の疾患について実際に学ぶ。 3．皮膚の縫合法について学生自ら行えるようにトレーニングを行う。

3．評価基準

出席と実習中の態度、口頭での質問またはレポートでの評価を行う。

4．臨床実習のユニット内容

一日の基本的な流れ

（水）
医局集合
手術患者の把握、学習を行う

↓

手術患者のある場合は見学、
ない場合は講義・課題

↓

（木）
発表準備
1グループでレポートをまとめる

↓

（水）・（木）いずれかで実施
結紮、縫合実習
トレーニング機材を使用

↓

グループディスカッション
（木）のプレゼン準備

↓

指導にあたる医師に報告して帰宅

↓

担当患者のまとめ
症例のまとめ、レポートの作成

↓

指導に当たる医師に報告して帰宅

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	歯科口腔外科（P.123参照）								
火	歯科口腔外科（P.123参照）								
水	9 :00 ～12:00 13:30～ ～15:30	形成外科学講座医局 形成外科学講座医局	手術見学 or 講義	形成外科的手術の理解 形成外科疾患の理解	手術見学 or 講義	手術患者	1	出席	全　員
木	9 :00 ～11:30 13:00～ ～15:00	形成外科学講座医局 4D病棟	発表準備 カンファレンス	形成外科疾患の理解 まとめ	実習・講義 カンファレンス・ 発表	外来患者	1	レポート 又は 口頭試験	全　員
金	歯科口腔外科（P.123参照）								

5 .集合場所・時間

毎朝９時に形成外科外来もしくは形成外科学講座医局に集合。

6 .学生へのメッセージ・注意事項等

欠席の場合は、当日の９時までに形成外科学講座（077-548-2425）に連絡をいれること。また、理由の認められない30分以上の遅刻は欠席とみなす。

実習中に配布する診療内容チェック項目にしたがって評価を行う。各診療ごとに指導医のサインをもらうこと。

7 .臨床実習（アドバンス）概要

- 形成外科領域の学習と実習
- 形成外科で行っている研究及びキャリアプランの紹介

検査部、病理部・病理診断科、輸血部

1. 担当教員

教　　授	九嶋　亮治	（病理学講座・臨床検査医学講座）
准　教　授	茶野　徳宏	（臨床検査医学講座）
准　教　授	森谷　鈴子	（病理部）
講　　師	南口　仁志	（輸血部）
講師（学内）	松原　亜季子	（検査部）
助教（特任）	西村　理恵	（輸血部）
非常勤講師	乾　　武広	（甲西リハビリ病院）

2. ねらいと学修目標

ねらい	学修目標
臨床検査実務を理解し、適切な検査の選択し、基本的な実施方法やデータの判断ができるようにする。	・臨床検査が行われる場所、種類、担い手と精度管理について理解できること。 ・採血の一般的な手技と検査目的に応じた採血管の選択を正確に行えること。 ・末梢血の細胞形態の同定ができ、変動を来す病態を述べることが出来る。 ・生理検査の進め方について理解する。 ・輸血検査の意義を理解し、検査実技を実施できる。 ・緊急検査の意義を理解し、検査実技を実施できる。 ・病理・細胞診検査の検体の取扱いを習得し、診断方法を学習する。 ・微生物検査の検体の取扱いを習得し、グラム染色検体については、大まかな判定ができる。 ・検査室内での検査技師の職務を理解し、良好なコミュニケーションを作れる素地を与える。 ・臨床検査と病理診断に関する医師国家試験問題に対応できる能力を身につける。

3. 評価基準

出席状況と実習中の質疑応答で、理解度を把握する（５段階評価）。

4．臨床実習のユニット内容

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
水	8:50～10:00	カンファレンスルーム	オリエンテーションと検査の基本	検査部実習スケジュール説明および検体検査に関する概略を学習する。	ミニレクチャー、演習	配付資料 症例	1	出欠と質疑応答	九　嶋 林副技師長
	10:10～12:00	カンファレンスルーム	病理診断・病理検査の概論	臨床の一部門としての病理診断科における病理検査と病理診断の基本を知る	ミニレクチャー 実習	スライド、 術中迅速を含む病理検体	1	出欠と質疑応答	森　谷 または 松　原
	13:10～16:20	カンファレンスルーム及び病理検査室	病理検体の処理から診断まで	実際の外科手術症例を用いて、病理診断は顕微鏡を見るだけではなく、肉眼診断、検体処理、固定、臨床医や検査技師とのコミュニケーションが重要であることを理解する。	講義 切り出し実施 演習	外科手術検体、 術中迅速を含む病理検体	1	出欠と質疑応答	病理診断科医師 病理部検査技師 （九　嶋）
木	8:50～10:30	カンファレンスルーム	輸血検査に関する概論	輸血検査について概説を述べ、理解を深める	ミニレクチャー	テキスト、 スライド	1	出欠と質疑応答	西村、南口
	10:40～12:30	輸血検査室	輸血検査の実態	ABO式血液型、Rh式の血液型の判定、ならびに交差試験についての実技を習得する。	検査手技の習得	血液検体		出欠と質疑応答	湯本副技師長 （西村、南口）
	13:10～15:00	カンファレンスルーム	臨床血液検査概論、血液像・骨髄像の検査診断実技	採血法と血液検体の扱いを学ぶ。血液の分化過程の機略を述べる。血液塗抹標本の見方を正常と異常についてスライドで習得する。骨髄穿刺と骨髄生検を比較し、生検像の見方を習得する。	講義 演習	採血模型、 血液検体と 保存標本	1	出欠と質疑応答	池本技師長 （九　嶋）
	15:10～16:50	生化学検査室	臨床化学検査の概要と検体処理の実態	検体処理、保存の仕方のデータにおよぼす影響を、実際の測定でみせる。	検体処理の実技と見学	テキスト 残余検体	1	出欠と質疑応答	湯本副技師長 （九　嶋）
金	8:50～9:30	カンファレンスルーム	緊急検査に関する概論と	緊急検査に関する概説を述べ、理解を深める。	ミニレクチャー	配付資料、 スライド	1	出欠と質疑応答	乾非常勤講師 （臨床検査専門医）
	9:30～10:30	緊急検査室	緊急検査の実際	緊急検査についての実技を行う。	検査手技の習得	配付資料、 血液検体	1	出欠と質疑応答	乾
	10:30～12:20	カンファレンスルーム	遺伝子検査に関する概論	遺伝子検査に関する概論を述べ理解を深める。	ミニレクチャー	テキスト、 スライド	1	出欠と質疑応答	茶　野
	13:10～14:00	カンファレンスルーム	まとめ	検査部・輸血部・病理部の実習まとめ	相互討論		1		九　嶋 他

5 .集合場所・時間

水、木、金：検査部カンファレンスルーム、午前８時50分

6 .学生へのメッセージ・注意事項等

臨床検査を適切に利用するためには、検査データの意義を正確に判断する能力が必要なのは言うまでもありませんが、そのためには、個々の検査の原理と有用性および限界をよく知っておく必要があります。実際の臨床検査のほとんどは臨床検査技師が実施しますが、検体採取と検査技師に提出するまでの検体の取扱いは診療医の責任であり、検体の扱い方ひとつで検査結果が大きく変動します。検査技師の技能や業務の多様性を理解し、技師の専門性についても十分見聞し理解を深めるようにしてください。

また、病理学は基礎医学のひとつとして学んだかもしれませんが、「病理専門医」が基本領域専門医のひとつになっています。診療現場での実践的な病理診断科の業務を理解してもらうこともこの実習の重要な目的です。

7 .臨床実習（アドバンス）概要

特に病理診断学・病理医に興味を持つものを歓迎します。生検、外科切除あるいは剖検された症例について、先輩医師とともに病理検体の肉眼診断、写真撮影と切り出しを実際に行ない、病理診断を実施し、担当診療科との臨床病理カンファレンスやCPCで発表します。病理診断は、顕微鏡でみるスライドグラス像の単なる絵合わせはなく、各症例の臨床検査データを把握し、臨床画像と対比しつつ行われる業務であることを体験してもらいます。

救急・集中治療部／総合診療部

1. 担当教員

教　　授　塩見　直人
特任教授　松村　一弘（総合診療学講座）
講　　師　辻田　靖之
講　　師　田畑　貴久
講　　師　松下美季子（総合診療部・総合診療科）
講師(学内)　藤野　和典
講師(学内)　山根　哲信
講　　師　北村　直美（総合外科学講座）
助　　教　岸本　卓磨
助　　教　加藤　隆之
助　　教　藤井　恵美
助　　教　水村　直人
助　　教　宮武　秀光
助　　教　高島　光平
特任助教　牛場　　彩（総合診療部・総合診療科）
特任助教　田中　智基
非常勤講師　浜本　　徹（浜本内科医院　院長）
非常勤講師(診療)
大内　政嗣(東近江総合医療センター救急部)
非常勤講師(診療)
加藤　文崇(堺市立総合医療センター救命救急科)

2. ねらいと学修目標

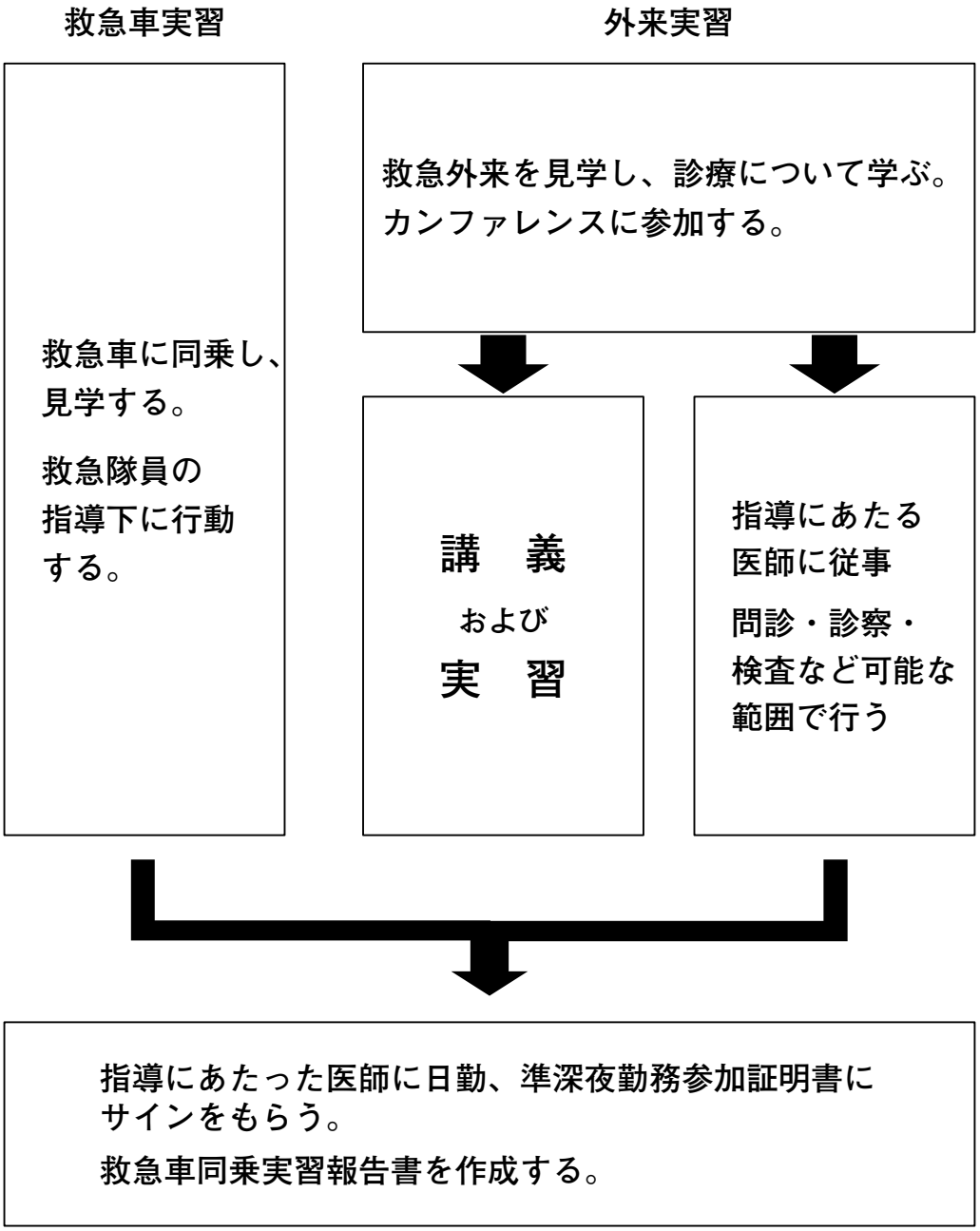
ねらい	学修目標
緊急に対応すべき疾患と重症病態の診断と治療の基礎を学び、軽症症例に実施できるようになる。	・一次救急疾患に対し初期診療が実施できる。 ・二次救命処置を行うことができる。 ・高エネルギー事故の初動を述べることができる。 ・多臓器不全の診断と治療について概略を述べることができる。 ・救急医療体制を説明できる。 ・感染対策や医療安全について実践できる。

3. 評価基準

1）救急ER室で担当教員とともに日勤、準深夜勤務を体験し、以下について評価する。
　・救急疾患で命に係わる病態を除外できる。
　・一次救急疾患に対し診断・初期治療・advanced triage（disposition）を行い、採血や点滴ルートの確保、当該医師への的確な伝達と患者さんや家族への説明を実施できる。
　・カンファレンスで担当症例のプレゼンテーションを的確に行うことができる。
2）シミュレーターを用いて二次救命処置が適切にできる。
3）off-the jobトレーニングで、高エネルギー事故の初動を実践できる。
4）集中治療室での重症病態の診断と治療を担当教員とともに体験し、以下について評価する。
　・臓器別に各臓器不全の重症度評価が行える。
　・その治療法について述べることができる。
5）メディカルコントロール（MC）体制に代表される救命救急士との連携について説明ができる。
6）標準予防策（スタンダード・プリコーション）を的確に実践できる。

４.臨床実習のユニット内容

１日の基本的な流れ（救急・集中治療部、総合診療部）



第１週

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	10:00～11:30	ICU 看護師室	オリエンテーション	救急診療・ICU実習について説明	説明	スケジュール資料	1	出席	担　当　医
	11:30～12:00	救急部カンファレンスルーム	PPE装着	PPE装着の習得	講義	資料	1	行動観察	担　当　医
	13:30～15:30	ICU看護師室	ACLS（1）	二次救命処置法の習得	講義	資料	1	出席	担　当　医
火	10:00～11:00	ICU看護師室	PALS小児二次救命処置	小児二次救命処置の習得	講義	資料	1	出席	担　当　医
	11:00～12:30	ICU看護師室	BTLS	外傷救命措置法の習得	講義	資料	1	出席	担　当　医
	13:30～14:30	ICU看護師室	BLS	一次救命処置法の習得	講義	DVD	1	出席	担　当　医
水	10:00～12:00	4Aスキルスラボ3	ACLS（2）	二次救命処置法の習得	実習	模型	1	行動観察	担　当　医
	13:00～15:00	4Aスキルスラボ3	ACLS（3）	二次救命処置法の習得	実習	模型	1	行動観察	担　当　医
木	9 :00～12:30	マルチメディアセンター2階会議室青	家庭医療演習（P.136参照）						
金	8 :50～16:40	消防署	救急車同乗実習	救急車活動を体験	実習	患者		レポート	

第２週

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	10:00～15:00	救急部カンファレンスルーム	救急・集中治療部診療	日勤・準深夜実習を通して基本的な診療手技・処置を学ぶ	実習	患者	2	行動観察	担　当　医
	17:00～翌8 :30	救急部カンファレンスルーム	救急・集中治療部診療	〃	実習	患者	1	行動観察	担　当　医
火	10:00～15:00	救急部カンファレンスルーム	救急・集中治療部診療	〃	実習	患者	2	行動観察	担　当　医
	17:00～翌8 :30	救急部カンファレンスルーム	救急・集中治療部診療	〃	実習	患者	1	行動観察	担　当　医
水	10:00～15:00	救急部カンファレンスルーム	救急・集中治療部診療	〃	実習	患者	2	行動観察	担　当　医
	17:00～翌8 :30	救急部カンファレンスルーム	救急・集中治療部診療	〃	実習	患者	1	行動観察	担　当　医
木	10:00～15:00	救急部カンファレンスルーム	救急・集中治療部診療	〃	実習	患者	2	行動観察	担　当　医
	17:00～翌8 :30	救急部カンファレンスルーム	救急・集中治療部診療	〃	実習	患者	1	行動観察	担　当　医
金	10:00～15:00	救急部カンファレンスルーム	救急・集中治療部診療	〃	実習	資料	1	行動観察	担　当　医
	17:00～翌8 :30	救急部カンファレンスルーム	救急・集中治療部診療	〃	実習	資料	1	行動観察	担　当　医

5．集合場所・時間

【第１週】

月曜日：	ICU看護師室	10：00
火～木曜日：	各カリキュラムの集合場所	
金曜日：	それぞれの消防署	８：50（湖南消防は８：00）

【第２週】

月～金曜日（日勤帯実習）：	救急部カンファレンスルーム	10：00
月～金曜日（準深夜帯実習）：	救急部カンファレンスルーム	17：00

【第１週目の月曜日が祭日の場合】

火曜日：	ICU看護師室	10：00

6．学生へのメッセージ・注意事項等

・第２週は救急の日勤帯実習を１回と準深夜実習を１回参加し、担当教員から学生当直証明書をもらうこと。なお、準深夜実習入りあるいは明けの日勤帯は休み（自宅自習）となる。

・準深夜実習と救急日勤担当者はPHS（8598）を携帯すること。

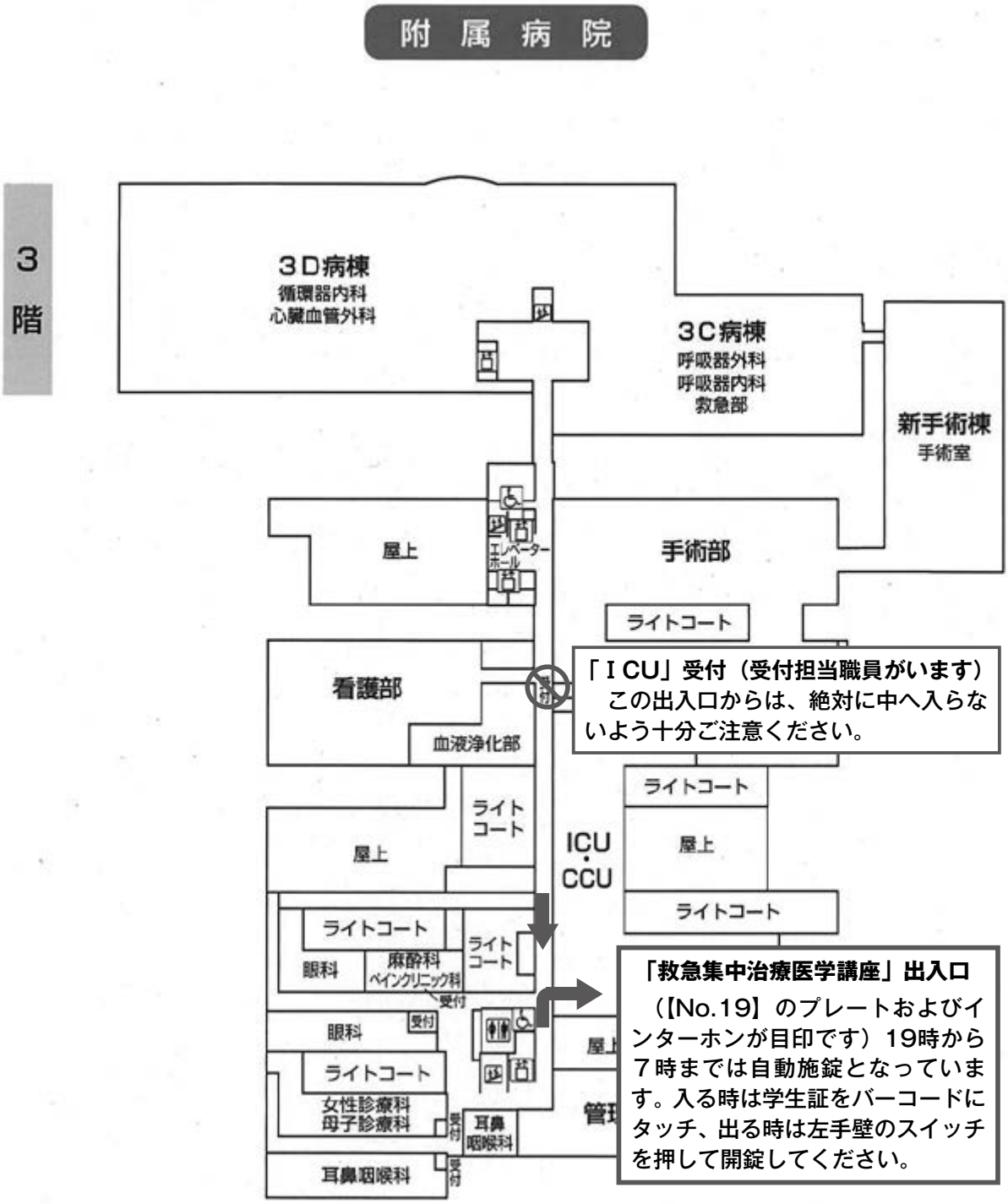
・実習中の連絡先：

８：30～17：15	学生課
それ以外の時間	医局（電話077-548-2929）

7．臨床実習（アドバンス）概要

救急集中治療医学実習では、担当教員とともに救急集中治療医学診療を研修医とほぼ同等に体験する。

【救急・集中治療部への行き方】



救急車同乗実習留意事項

大津市消防局北・中・南・東各消防署及び西分署(以下「大津」と記す）と、湖南広域消防局(以下「湖南」と記す）における標記実習については、次の各事項に留意すること。

1　実習時間については、原則として８時50分から16時40分まで（大津）／８時から16時40分まで（湖南）とする。
ただし、救急出場時間帯によっては、実習時間が延長する場合がある。

2－1　救急出場時には、白衣、ヘルメット等を着装し、腕章を付ける。
2－2　救急現場で活動できる服装及び運動靴とする。女性はスラックスを着用のこと。
2－3　現場および救急車内では救急活動の補助を依頼・命令されることがあるので、隊長の指示に従い活動すること。
2－4　服装は、端正で、かつ、活動しやすい服装とすること。なお、ヘルメット及び白衣は消防署が用意する(大津）／白衣、ヘルメット、腕章等は消防署が用意する(湖南)。

3　救急出場に際しては、機敏な行動を心掛け、また、救急現場では事故防止等のために隊長の指示に必ず従うこと。

4　救急出場から署に戻った後、患者の傷病について検討会を実施する(湖南)。

5　救急出場で知り得た個人的情報については、決して外部に漏らさないこと。

6　救急出場が閑散である時は、救急隊員の応急処置の範囲や過去の症例等の検討会を実施し、救急業務に対する認識を深めること(湖南)。

7　災害出場の特異性を加味し、休憩時間等については隊長の指示に従うこと。
なお、災害出場に備えるため、実習時間中は外出できないので、留意すること。

8　当日は公共交通機関を利用のこと（自家用車は禁止)。

9　研修終了後は、今後の研修内容の検討を踏まえるため、研修評価（所感）を大学（救急・集中治療部）へ提出すること。

10　昼食については、給食業者等による弁当を利用できることがあるので、当日署員に確認すること。

家 庭 医 療 演 習

1. 担当教員

特 任 教 授　　松村　一弘（総合診療学講座）
非常勤講師　　松井　善典（浅井東診療所）
非常勤講師　　中村　琢弥（弓削メディカルクリニック）

2. ねらいと学修目標

ねらい	学修目標
家庭医が現場で経験した事例をもとに、主訴や未分化な状態において、診断からマネジメントに至る臨床推論や多職種連携、具体的な対応についての討論に積極的に参加し、事例と討論を通した追体験を通して家庭医に必要な能力について理解を深めることができる。	1　臨床推論や鑑別診断についての討論に参加し、意見や疑問を発言することができる 2　マネジメントに必要な患者像や背景情報について関心を示し、問題解決のプロセスに参加できる 3　事例の追体験を通して、家庭医に必要な能力や家庭医療のコアの概念について討論で得られた持論を発表することができる。

3. 評価基準

家庭医療演習における討論の中で、発言の量はもちろんチームに与えた貢献度などの質も踏まえ、事例の診断・マネジメントへの参加度と、家庭医療の概念についての理解の深さが評価される。具体的には発言回数、発言内容が事例の討論を広く・深く展開した発言（例えば診断に迫る視点、マネジメントでかけている部分への指摘）は高い評価となる。また家庭医に必要な能力について、事例の討論をもとにしっかりと内省し持論が表現されることも重視している。

4. 臨床実習のユニット内容

家庭医療演習（救急集中治療部・総合診療部ローテーション１週目の木曜日午前）

曜日	時　間	室　名	ユニット	目　的	方　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
木	9:00～12:30	マルチメディアセンター２階会議室青または多目的	家庭医療演習	家庭医療のコアを学ぶ	討論	資料	1	行動観察	松村、松井もしくは中村

5. 集合場所・時間

マルチメディアセンター２階会議室青（多目的の場合は、事前に連絡します）　木曜日９：00

6. 学生へのメッセージ・注意事項等

あらかじめWebClassに掲載する事前アンケートを記載、印刷のうえ持参すること。白衣不要。
家庭医療演習に関する連絡先：総合診療部医局（電話077-548-2929）

診療所実習

1. 担当教員

医学・看護学教育センター　教　　授　　伊藤　俊之
　　特任助教　　宮澤伊都子
診療所指導医

2. ねらいと学修目標

ねらい	学修目標
将来地域に貢献できる医師となるために、保健・医療・福祉・介護等の活動を通して診療所の地域社会における役割を学び、各々の実態や連携の必要性についての理解を深める。	1）地域のプライマリ・ケアを体験する。 2）病診連携・病病連携を体験する。 3）地域の救急医療や在宅医療を体験する。 4）多職種連携のチーム医療を体験する。 5）地域における疾病予防・健康維持増進の活動を体験する。

3. 評価基準

診療所指導医が、診療所実習への取り組みに対して、態度、積極性や熱心さ、その他全般的な印象等により評価を行う。

4. 臨床実習のユニット内容（例）

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	指定時間	指定診療所	診療所実習	プライマリ・ケアを体験する	実習	体験	1	出席と行動観察	診療所指導医
火	指定時間	指定診療所	診療所実習	プライマリ・ケアを体験する	実習	体験	1	出席と行動観察	診療所指導医
水	指定時間	指定診療所	診療所実習	プライマリ・ケアを体験する	実習	体験	1	出席と行動観察	診療所指導医
木	指定時間	指定診療所	診療所実習	プライマリ・ケアを体験する	実習	体験	1	出席と行動観察	診療所指導医
金	8:30～16:30	自由。ただし、月～木に休日がある時には診療所実習が実施されるので、指定診療所へ行くこと。	診療所実習ポストアンケート	プライマリ・ケア体験について、ポストアンケートを作成する	報告書作成	診療所実習ポストアンケート	1	診療所実習ポストアンケート	医学・看護学教育センター担当教員（診療所実習ポストアンケートは実習終了後に学生課学部教育支援係へ提出すること）

●実習内容は診療所により様々であるが、例えば次のようなものが想定される。

・外来診察　　・検査：血液検査、尿検査、心電図、X線、超音波、内視鏡
・受付、待合室　　・訪問看護、訪問リハビリテーション、訪問介護
・往診、訪問診察　　・乳幼児検診、予防注射、校医検診
・薬局　　・特別養護老人ホーム

5 .集合場所・時間

診療所実習日には、指定された診療所へ指定時間に行くこと。
月～木曜日に休日がある時には、金曜日にも診療所実習が実施される。

6 .学生へのメッセージ・注意事項等

◆実習中の連絡先：学生課学部教育支援係（077-548-2068）
※ただし、欠席する場合等は、必ず直接診療所に連絡すること。

◆ 診療所実習参加に際する手続き

1．診療所実習受入先資料の確認

実習受入先資料をWebClass（第44期生 臨床実習）にアップロードしているため、診療所の受入条件や実習日等を事前に確認しておくこと。

2．プレアンケートの提出

実習参加に先立ちアンケートを提出してください。アンケートは別途配付します。なお、アンケートの回答は実習先へ共有します。

3．実習先への挨拶

訪問する２～３週間前に、診療所資料に記載している連絡先担当者・初回連絡等の指示（あれば）に従い、挨拶も兼ねて連絡を取ること。実習に関する質問や調整（実習スケジュールや交通手段、宿泊依頼等）がある場合は、併せて相談すること。

4．実習へ参加

診療所のスタッフや患者さんへの挨拶と周囲に不快感を与えない身だしなみを心がけ、積極的に実習に取組むことを期待します。

5．ポストアンケート等の提出

実習終了後、翌週月曜日（月曜日が祝日の場合は火曜日）午前中までにWebClassからアンケートを提出してください。なお、アンケートの回答は実習先へ共有します。

また、医学科後援会に入会している学生は、診療所実習に係る交通費等の補助を申請できます。希望する方は、実習終了後、翌週金曜日までにWebClassから様式をダウンロードのうえ、注意事項をよく読んで作成し、提出してください。

G	提出期限		G	提出期限	
	ポストアンケート	交通費等補助申請書		ポストアンケート	交通費等補助申請書
1	2023年1月23日	2023年1月27日	13	2022年7月19日	2022年7月22日
2	2023年1月10日	2023年1月13日	14	2022年7月4日	2022年7月8日
3	2022年2月21日	2022年2月25日	15	2022年8月29日	2022年9月2日
4	2022年2月7日	2022年2月14日	16	2022年8月1日	2022年8月5日
5	2022年3月22日	2022年3月25日	17	2022年9月26日	2022年9月30日
6	2022年3月7日	2022年3月11日	18	2022年9月12日	2022年9月16日
7	2022年4月18日	2022年4月22日	19	2022年10月24日	2022年10月28日
8	2022年4月4日	2022年4月8日	20	2022年10月11日	2022年10月14日
9	2022年5月23日	2022年5月27日	21	2022年11月21日	2022年11月25日
10	2022年5月2日	2022年5月6日	22	2022年11月7日	2022年11月11日
11	2022年6月20日	2022年6月24日	23	2022年12月19日	2022年12月23日
12	2022年6月6日	2022年6月10日	24	2022年12月5日	2022年12月9日

腫瘍内科・腫瘍センター

1. 担当教員

教　　授　醍醐弥太郎
講　　師　村田　聡
特任講師　寺本　晃治
特任講師　住本　秀敏
特任講師　森田　幸代
特任講師　高野　淳
特任助教　徳田　彩
薬剤師　森井　博朗
薬剤師　須藤　正朝
薬剤師　長谷川千晶
看護師　小倉　知子
看護師　木村　由梨
看護師　西川　誠人
クリニカル・インストラクター　大嶋　健三郎

2. ねらいと学修目標

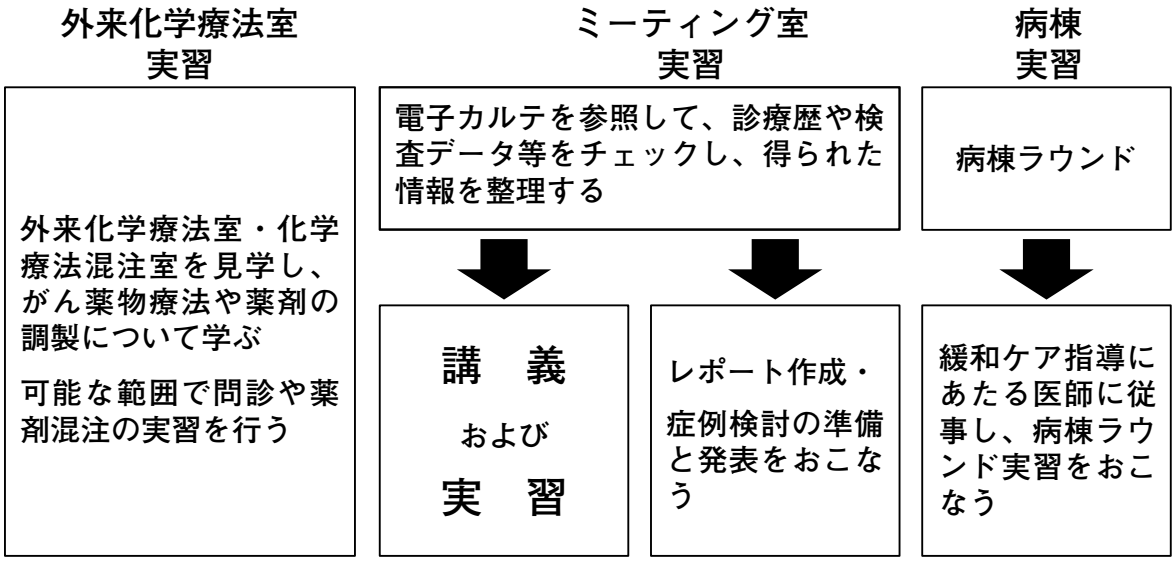
ねらい	学修目標
がん患者に対する包括的な診療を理解できるようになるために、がんに対する多面的な治療と全人的ながん患者ケアを学習する。	1．がん薬物療法の関連情報を分析し、EBMに基づいた標準的治療を説明できる。 2．がん薬物療法（抗がん薬、分子標的治療薬、抗体治療薬など）の効果と副作用、支持療法の必要性を、薬剤作用メカニズムに基づき列挙できる。 3．がんの診断と病態に基づいて、適切な治療計画を立案することができる。 4．自らが担当する患者について、病歴や身体所見を適切に把握でき、診断や治療に必要な検査計画を立案し、検査結果を説明できる。 5．担当症例のがん治療（薬物療法や緩和ケア）について論理的に考察し、プレゼンテーションができる。 6．緩和ケアの基礎知識を習得し、全人的医療に参加できる。 7．緩和ケアにおけるチーム医療と病棟を見学し、患者に対して深い敬意と思いやりを示し、患者背景に配慮した全人的医療の実践に生かすことができる。 8．がん治療中の患者に生じる、身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな苦痛や苦悩を述べられる。 9．がん診療に関わる多職種の役割を理解し、チーム医療に参加することができる。 10．がん診療の現場を見学し、医療安全や感染対策の適切な実施に配慮することができる。 11．自らが担当する患者の医療文書を作成できる。 12．集学的がん医療や先進的がん医療を見学し、がん医薬品開発や治療法開発を考えることができる。

3．評価基準

- すべての実習ユニットにおいて、出欠を記録し、75％以上の出席を必須とする。
- 各ユニットの評価は5段階でおこなう（５：秀、４：優、３：良、２：可、１：不可）。
- 欠席のユニットは評価１として扱う。無断欠席は評価０とする。
- すべての実習ユニットにおいて、実習中の双方向の質疑応答の内容や行動観察に基づき、知識（想起、解釈、問題解決）、技能、態度・習慣を総合的に5段階評価する。
- レポート（緩和ケア）においては、課題の理解力、分析力、表現力により、総合的に5段階評価する。
- 出欠、すべての実習ユニット、レポートの評価点の平均値を算出し、当診療科・センタークリニカルクラークシップの最終成績評価（５：秀、４：優、３：良、２：可、１：不可、0：全欠席）を決める。
- 最終成績評価が２以上を合格とする。

4．臨床実習のユニット内容

一日の基本的な流れ（腫瘍内科・腫瘍センター）



曜日	時　　間	室名	ユニット	目　　的	方法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	9：00集合 9：00～ 9：30	ミーティング室（腫瘍センター病院4F）	ガイダンス 症例提示	臨床実習の流れを知る。 症例の課題を知る。	説明	マニュアル	5	出席	村田、徳田 寺本、住本 醍醐
	9：30～ 10：30	ミーティング室	セミナー	がん薬物療法（作用メカニズム）	講義 討論	教材	2	チェックリスト	村田、徳田
	10：30～ 12：00	ミーティング室と病棟	緩和ケア	オリエンテーション 病棟ラウンド	実地訓練	患者	1	チェックリスト	森田
	13：30~ 14：30	ミーティング室	セミナー	がん薬物療法と臨床試験 （呼吸器など）	講義 討論	教材	1	チェックリスト	寺本
	14：30~ 15：30	ミーティング室	レポート作成	能動学習	調査	症例	2	レポート	寺本、村田
	15：30~ 16：30	ミーティング室と化学療法混注室	参加型実習	薬剤ミキシング業務の理解・薬物療法薬剤の準備・調剤実習・多職種役割理解・医療安全の理解	講義 実技 指導	教材	1	チェックリスト	須藤
	16：30~ 17：00	ミーティング室	レポート作成	能動学習	調査	症例	2	レポート	徳田、村田
火	09：00～ 10：00	ミーティング室	セミナー	がん薬物療法（支持療法）	講義 討論	教材	1	チェックリスト	徳田
	10：00～ 11：00	ミーティング室	レポート作成	能動学習	調査	症例	2	レポート	徳田 住本
	11：00～ 12：00	ミーティング室	セミナー	がん薬物療法（免疫療法など）	講義 討論	教材	1	チェックリスト	住本
	13：00～ 15：30	ミーティング室	レポート作成	能動学習	調査	教材	2	チェックリスト	住本 徳田
	15：30～ 16：30	ミーティング室	がん化学療法の看護	がん薬物療法（看護）・チーム医療の理解	講義	教材	3	チェックリスト	小倉、西川 木村
	16：30～ 17：00	ミーティング室	レポート作成	能動学習	調査	症例	3	レポート	小倉、西川 木村
水	9：45～ 10：45	外来化学療法室	参加型実習	担当化学療法患者観察	実習	患者	5	チェックリスト	村田、徳田 小倉、西川 木村
	10：45～ 11：30	ミーティング室	参加型実習	先進的がん医療を学ぶ・臨床試験	実習	教材と症例	4	チェックリスト	高野、住本 寺本、醍醐
	13：00～ 14：15	ミーティング室	プレゼンテーション	患者病歴・身体状態と検査結果の解釈・治療立案	討論	症例	2	チェックリスト	村田、徳田
	14：20～ 15：10	ミーティング室	セミナー	オピオイドについて	講義 討論	教材	1	チェックリスト	森井 長谷川
	15：20～ 16：30	ミーティング室	セミナー	がん薬物療法 （症例検討・治療立案）	討論	症例	1	チェックリスト	住本
木	9：00～ 10：00	ミーティング室	セミナー	能動学習	調査	症例	1	レポート	森田、村田
	10：00～ 12：00	ミーティング室	セミナー	癌患者の精神症状緩和について	討論	症例	1	チェックリスト	森田
	13：30～ 15：00	ミーティング室	セミナー	能動学習	調査	症例	1	レポート	寺本、村田
	15：30～ 17：00	ミーティング室	セミナー	がんゲノム医療	実習	教材と症例	1	チェックリスト	寺本
金	9：00～ 16：00	あそかビハーラクリニック 緩和ケア病棟	緩和ケア実習	緩和ケア病棟の実際を体験する	実地訓練	病棟患者	1	レポート	大嶋

５.集合場所・時間

月曜日（月曜日が祝日の場合は火曜日）９：00に腫瘍センター・ミーティング室（病院４階A棟）に集合する。

金曜日の緩和ケア実習は、事前オリエンテーションに従い指定された病院へ指定時間に行くこと。

レポートは緩和ケア室（又は、腫瘍センター受付）へ提出すること。

６.学生へのメッセージ・注意事項等

＜メッセージ＞

１）がん患者さんの病態や、精神的、社会的側面を包括したがん診療の現場から、全人的医療の実践へのアプローチを学んでください。

＜注意事項＞

１）身だしなみを整えること（入室禁止とする場合もある。）。名札を忘れないこと。がん（および慢性炎症性疾患）の治療現場であり、私語は慎むこと。

２）荷物を置くスペースが無いので、最小限の持ち物にすること。

３）欠席の場合は、欠席の当日の９：15までに外来化学療法室（077-548-2962）に連絡をすること。

４）実習時間は17：00までとする。

７.臨床実習（アドバンス）概要

病棟での患者の受け持ちと外来での見学を通して、がん薬物療法に関する知識を習得し、理解を深めることを目指します。さらに、緩和医療（全人的苦痛に配慮したがん患者の症状緩和）や、がんゲノム医療（がんゲノムプロファイルをもとにした治療薬の選択）など、がん診療において必要な領域についても、理解が深まるように、実習を計画しています。また、希望者は、各種のカンファレンス（化学療法カンファ、緩和ケアカンファ、がんゲノムエキスパートパネル）への参加を受け入れます。

薬　剤　部

1. 担当教員

准　教　授　　森田　真也

2. ねらいと学修目標

ねらい	学修目標
薬剤部の業務内容と医薬品の適正使用の概念を理解する。	1．調剤･製剤･薬品管理の基礎が理解できる。 2．チーム医療における薬剤師の役割を説明できる。 3．医薬品のリスクマネージメントの具体例を説明できる。 4．EBMを実践するための医薬品情報を検索できる。 5．薬物血中濃度測定結果を用いて投与設計が考えられる。

3. 評価基準

出席状況や実習態度、レポートをもとに、上記学修目標が達成できているかを総合評価する。
欠席の場合は補習を受ける。

4. 臨床実習のユニット内容

曜日	時　間	室　名	ユニット	目　的	方法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	8：30～10：30	薬剤部	薬剤部概要	薬剤部・薬剤師の役割の理解	講義討論	資料	1	出席	森　田
	10：30～11：30		製剤実習	製剤の実践	実習	製剤機器	1	出席	森　田
	13：00～14：00		医薬品管理とリスクマネージメント	医薬品の管理とリスクの発生要因と回避法の理解	講義討論	資料	1	出席	森　田
	14：00～15：00		持参薬鑑別	持参薬鑑別の理解	演習	資料	1	出席	森　田
火	8：30～9：30		薬品情報実習	情報検索の実践	実習	添付文書など	1	出席	森　田
	9：30～11：30		調剤実習	調剤の実践	実習	処方せん	1	出席	森　田
	13：00～15：00		TDM実習	TDMの理解	実習	演習問題	1	出席	森　田
			まとめ	実習の振返り	討論		1	レポート	森　田

5 .集合場所・時間

薬剤部外来窓口（⑦お薬渡し口）横のお薬相談室に集合。
集合時間・午前8：30（月曜日が祝日の場合は、火曜日午前8：30に集合）

6 .学生へのメッセージ・注意事項等

薬剤部内は清潔区域のため、履き物に注意。
持参の手荷物は最小限に。
薬剤部外への薬剤の持ち出しは厳禁。
欠席の場合は、午前8：30までに副薬剤部長（Tel：077-548-2681）へ連絡をすること。

栄　養　治　療　部

1．担当教員

教　　授　　佐々木雅也
管理栄養士　　中西　直子

2．ねらいと学修目標

ねらい	学修目標
栄養管理に関する知識を習得する	1．栄養評価に立ち会い、基本的手技を習得する 2．喫食調査を実施することができる 3．静脈栄養、経腸栄養の概念や基本的手技について理解することができる

3．評価基準

栄養評価や、静脈栄養、経腸栄養に関する質問への受け答えの状況から、個々の学生の理解度を評価する。欠席の場合には補習を受ける。

4．臨床実習のユニット内容

曜日	時　間	室　名	ユニット	目　的	方法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
木	9：00～10：45	NSTカンファレンス室	レクチャー	栄養療法の理解	講義	資料 シュミレーター	1		佐々木
	10：45～12：00		栄養調査		実習	資料	1		中　西
	13：30～15：00	検食室	栄養剤について		講義	資料	1		中　西
	15：00～17：00	NSTカンファレンス室	NSTミーティング NST回診		実習	患者・資料	1		佐々木

5．集合場所・時間

NSTカンファレンス室（病院2階　栄養治療部内）に木曜日9：00に集合する。

6．学生へのメッセージ・注意事項等

欠席の場合は、9：00までに連絡すること（栄養治療部077-548-2519）。

血　液　浄　化　部

1．担当教員

講師(部長)　　金崎　雅美
特 任 助 教　　佐々木裕紀

2．ねらいと学修目標

ねらい	学修目標
血液浄化療法（主に血液透析）の原理と意義、適応疾患について学習し、実際の治療について理解する。	1．血液透析の原理と導入基準について学習する。 2．血液透析患者の指導・管理について学習する。 3．血漿交換療法について学習する。 4．血液透析治療を通じて医療安全について学習する。

3．評価基準

質疑応答・症例検討の中から、行動目標に関する知識の理解度、積極性、協調性を評価する。評価には、学習態度および出席も加味する。（ここでの成績は糖尿病内分泌･腎臓内科の成績へ反映させます。）

4．臨床実習のユニット内容

曜日	時　　間	室　名	ユニット	目　　的	方法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
水	9：00～10：30	血液浄化療法室	ベッドサイドティーチング	⑴透析の原理を理解する。 ⑵情報伝達・感染予防など事故防止の実際を理解する	実習	実習	1	下記の基本チェックリストに基づき行う。 1．基本知識 2．医学生としての自覚と認識 3．患者および治療への理解 4．症例検討における考察	金　崎 佐々木
	10：30～11：30頃	血液浄化療法室	レクチャー 症例検討	疾患・治療・指導・管理の内容を理解する。	討議	資料 実習	1		金　崎 佐々木
	13：00～15：00頃	血液浄化療法室	症例検討	実際の症例を用いて透析方法などの検討をグループ内で行い発表する。	討論	実習	1		金　崎 佐々木

5．集合場所･時間

午前９時に病院３F血液浄化療法室に集合

コロナ対応が必要な際は、臨床研究棟３階の麻酔科医局と脳神経外科医局の間のエレベーターホールに集合。体調確認後に病院内の血液浄化療法室に移動する。

６.学生へのメッセージ・注意事項等

人口の高齢化に伴い腎疾患を有する患者さんの数が増えるとともに、医療の高度化に伴って腎不全患者さんの様々な合併症を治療する機会が増えています。そのため、すべての診療科において、血液透析などの腎代替療法を受けている患者さんに接する機会はこれからも増えていきます。腎代替療法に関して基本的な知識を持つことは、すべての医療関係者に必須のことなのです。臨床実習では、血液浄化療法（主に血液透析）について理解することとともに、患者さんに接して治療の実際を学んでいただきたいと考えています。また、血液を取り扱うことが多く、さまざまな病棟から患者さんが治療に来られる当部門で、どのように医療安全に取り組んでいるかを体験していただきたいと思います。

なお、やむをえず欠席する場合は、できるだけ早く医局（077-548-2223）にその旨を連絡してください。

医療安全管理部

1. 担当教員

教　　授　　清水　智治
講　　師　　萬代　良一

2. ねらいと学修目標

ねらい	学修目標
事例を通して医療安全を系統的に学び、患者あるいはさまざまな医療従事者の立場で医療を観察する能力をつける。	1．事例における問題点を抽出する能力を養う。 2．医療事故事例の分析を通じて、対策を立案する。 3．医療事故事例の分析方法を理解する。 4．インフォームドコンセントについて学ぶ。

3. 評価基準

1．実習への出席、態度
　積極的に発言しましょう。

2　ディスカッションにおける分析力、表現力、積極性
　インシデント事例を提示しますので、問題点を各自で考え意見を出し合いましょう。実臨床で自分が主治医になった気持ちで考えてみてください。自分の意見を持つこと、仲間の意見を尊重することが大切です。

3．インフォームドコンセントに関するグループワーク
　ある手術・処置に関する「説明書と同意書」を提示しますので、内容を完成させて、各自説明してもらいます。

4. 臨床実習のユニット内容

曜日	時　　間	室　名	ユニット	目　　的	方法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
金	9：00～10：00	医療安全管理部	オリエンテーション	医療安全管理部の業務を理解する。	説明見学	資料	1	出席	清　水
	10：00～12：00	医療安全管理部	医療安全管理体制について、事例提示	医療安全管理体制の経緯と現状を理解する。	講義実習	資料・体験	1	出席と行動観察	清　水
	13：00～14：00	医療安全管理部	事故分析	医療事故事例の分析方法を理解する。	実習	資料	1	出席と行動観察	萬　代
	14：00～15：00	医療安全管理部	インフォームドコンセント	インフォームドコンセントを体験する。	討論	資料・体験	1	出席と行動観察	萬　代

５.集合場所・時間

第２または第３週金曜日 ９時00分に外科学講座消化器・乳腺・小児・一般外科 医局会議室に集合。
欠席の場合は医療安全管理部まで連絡すること（077-548-2350）。

６.学生へのメッセージ・注意事項等

さまざまな医療従事者の立場で物事を考える能力を身につけることが医療安全を学ぶ上で必要です。事例を通じて要因を多角的に分析し、対策を立案してみましょう。また、インフォームドコンセント（＝説明に基づく同意）を得るには豊富な医学的知識だけでなく、患者の立場で病気に向き合う姿勢を理解することが必要です。「説明書と同意書」に盛り込む内容を学んで下さい。なお、実習で知り得た個人情報等については守秘義務を厳守すること。

リハビリテーション科・部

1. 担当教員

准　教　授　　児玉　成人
助　　教　　安藤　厚生
助　　教　　川口　民郎

2. ねらいと学修目標

ねらい	学修目標
基本的なリハビリテーションプログラムの考え方を身に付け、リハビリテーションの実際の流れを理解する。	1．理学療法の施術に必要な徒手筋力検査、Brummstromステージを理解できる。 2．作業療法の施術に必要な手指巧緻機能障害、高次脳障害の評価ができる。 3．言語聴覚療法の対象として代表的な感覚失語症と運動失語症を鑑別できる。

3. 評価基準

学修目標に挙げた各項目を身に付けており、加えて障害を持った患者の社会復帰・家庭復帰を目標とした考え方ができるかを更に高度な段階として評価する。

4. 臨床実習のユニット内容

曜日	時　　間	室　名	ユニット	目　　的	方法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
火	9：10～	リハ科外来	症例検討	入院患者の状況を把握	討論	新規の入院・退院患者	1	チェックリスト	児　玉
	9：15～12：00	運動療法室	理学療法の実施見学	理学療法（PT）の実際の見学	見学と口頭説明	理学療法実施中の入院患者	1	チェックリスト	川　口（PT）
	13：00～14：30	作業療法室	作業療法の実施見学	作業療法（OT）の実際の見学	見学と口頭説明	作業療法実施中の入院患者	1	チェックリスト	安　藤（OT）
	14：30～16：00	言語療法室	言語療法の実施見学	言語療法（ST）の実際の見学	見学と口頭説明	言語療法実施中の入院患者	1	チェックリスト	安　藤（ST）

5. 集合場所・時間

火曜日９：00、整形外科外来

6. 学生へのメッセージ・注意事項等

障害を克服し、家庭復帰・社会復帰を目指す患者の立場になって考えられる態度を身に付けてください。

医師臨床教育センター

1．担当教員

病院教授　　川崎　　拓
特任講師　　小牧　史明
特任講師　　山原　真子
特任助教　　柴田　晶美

2．ねらいと学修目標

ねらい	学修目標
1．初期臨床研修制度について理解を深め、卒後の医療人としての将来像を構築する 2．将来の専門医取得から大学院進学、海外留学などのキャリア形成について検討し理解する	1．初期臨床研修の必要性を理解する 2．自らの医師像、将来像を検討することができる

3．評価基準

初期研修制度、専門医制度、将来のキャリア形成に関する内容を、small group discussion（SGD）形式で情報提供、討論し、個々の態度、理解度を評価する。

4．臨床実習のユニット内容

曜日	時　　間	室　名	ユニット	目　　的	方法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
隔週金曜	8：40～9：40		講義 SGD	初期臨床研修制度を理解する	SGD	スライド	1	チェックリスト	川　崎
	9：50～11：20	4A 後期レジデント室	講義 SGD	医療人としての将来像を構築する	SGD	スライド	1	チェックリスト	小　牧
	11：30～12：00		講義 SGD	将来のキャリア形成を理解する	SGD	スライド	1～2	チェックリスト	山　原 柴　田

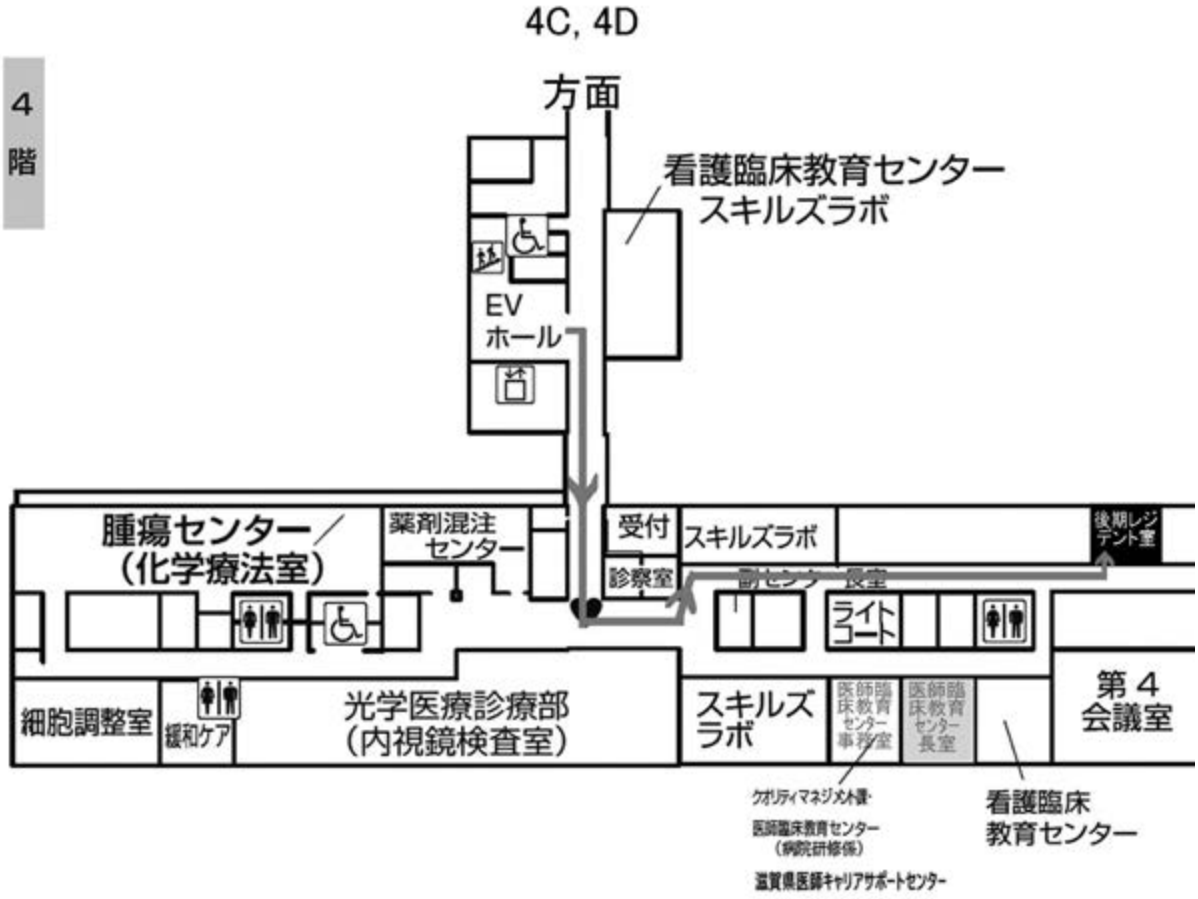
5．集合場所・時間

隔週金曜日午前中に、各班を２班（A、B）にわけて１班１回、小児科ローテーション中に実施するので、曜日や開始時間が変更となる可能性があります。当日朝、体温チェック等をして体調に問題なければ下記場所に集合し、発熱等体調異常があれば事務室へ連絡し（TEL077-548-2482）、附属病院外の場所で待機、センターからの指示を待ってください。

通常時の集合場所:医師臨床教育センターの後期レジデント室（次頁の図参照）に金曜８:40集合。病院４階光学医療診療部受付前を通り左手（４A側）に進み、スキルズラボ「１」前廊下を非常出口に向かって一番奥へ進むと左の部屋です。病院内への立入が制限されている場合には、場所変更を事前メール連絡、また大学への登校制限がかかっている時期はZOOM実習に変える場合があります。

6 .学生へのメッセージ・注意事項等

卒後臨床研修に関しての制度や、卒後の具体的な進路選択の考え方などをSGD形式で情報提供、討論します。今後の自分自身のキャリア形成について考えてみましょう。また初期研修制度、専門医制度、キャリア形成に関する将来の進路についてどんなことでも気軽に相談して下さい。



～地域医療教育研究拠点での臨床実習について～

Ⅰ．概要

- 内A、内B、内Cをローテーションする各10～11名のうち、**3～4名**は地域医療教育研究拠点（東近江総合医療センター、JCHO滋賀病院、公立甲賀病院）において実習を実施する。
- 地域医療教育研究拠点において実習を実施する学生の選抜については、学生の諸事情（興味関心、家庭環境等）を鑑み、該当する２グループごとに学生間で実習先を調整のうえ別途指定する期日までに 学生課学部教育支援係に報告することとする。なお、学生間での調整が難しい場合は、該当グループ全員の合意の下に大学側において抽選を実施することができる。
- 地域医療教育研究拠点における実習は、**原則１人１回いずれかの拠点に置いて行うこと**とする。
- 地域医療教育研究拠点においては、本学医学部附属病院において実習を行う学生との間に経験する診療科数の差異が生じることの無いよう、原則内A・内B・内Cのローテーション中に**それぞれ「循環器・呼吸器内科、薬剤部」・「消化器・血液内科、栄養治療部」・「糖尿病内分泌・腎臓内科、血液浄化部」での実習を基本**とするが、**病院の事情に応じて「総合内科」や「総合診療科」等における実習も可**とする。
- 東近江総合医療センターでの実習に際しては、研修医棟の宿泊又は自家用車通学の申請が可能。
- 公立甲賀病院での実習に際しては、原則公立甲賀病院が借り上げるアパートへの宿泊が必須。
- JCHO滋賀病院の実習に際しては、公共交通機関等を利用して通学すること。

【参考：イメージ図】

<table>
<tr><th>週数
G</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>10</th><th>11</th><th>12</th></tr>
<tr><td>1</td><td colspan="4" rowspan="2">内A
（東近江１/JCHO２/甲賀１）</td><td colspan="4" rowspan="2">内B
（東近江１/JCHO１/甲賀１）</td><td colspan="4" rowspan="2">内C
（東近江１/JCHO２/甲賀１）</td></tr>
<tr><td>2</td></tr>
<tr><td>3</td><td colspan="4" rowspan="2"></td><td colspan="4" rowspan="2">内A
（東近江１/JCHO２/甲賀１）</td><td colspan="4" rowspan="2">内B
（東近江１/JCHO１/甲賀１）</td></tr>
<tr><td>4</td></tr>
<tr><td>5</td><td colspan="4" rowspan="3"></td><td colspan="4" rowspan="3"></td><td colspan="4" rowspan="3">内A
（東近江１/JCHO２/甲賀１）</td></tr>
<tr><td>6</td></tr>
<tr><td>∫</td></tr>
<tr><td>21</td><td colspan="4" rowspan="2">内C
（東近江１/JCHO２/甲賀１）</td><td colspan="4" rowspan="2"></td><td colspan="4" rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>22</td></tr>
<tr><td>23</td><td colspan="4" rowspan="2">内B
（東近江１/JCHO１/甲賀１）</td><td colspan="4" rowspan="2">内C
（東近江１/JCHO２/甲賀１）</td><td colspan="4" rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>24</td></tr>
</table>

Ⅱ．実習参加に係る手続き

■　**東近江総合医療センター**

自家用車通学により駐車場を利用する場合は『車両登録申請書』、宿舎を利用する場合は『研修医棟貸与申請書』を以下の期限（原則実習開始日２週間前の月曜日）までにWebClass（第44期 臨床実習）から学生課学部教育支援係へ提出すること。

なお、研修医棟へ入居する学生のうち、実習日の前日からの入居を希望される場合の手続きは、WebClass（第44期 臨床実習）に掲載しているので各自確認すること。

《申請書提出期限》

東近江申請書類　各Gからの提出期限

G	内科A	内科B	内科C
1・2	2022年1月17日	2022年2月14日	2022年3月14日
3・4	2022年2月14日	2022年3月14日	2022年4月11日
5・6	2022年3月14日	2022年4月11日	2022年5月16日
7・8	2022年4月11日	2022年5月16日	2022年6月13日
9・10	2022年5月16日	2022年6月13日	2022年7月11日
11・12	2022年6月13日	2022年7月11日	2022年8月22日
13・14	2022年7月11日	2022年8月22日	2022年9月20日
15・16	2022年8月22日	2022年9月20日	2022年10月17日
17・18	2022年9月20日	2022年10月17日	2022年11月14日
19・20	2022年10月17日	2022年11月14日	2022年12月19日
21・22	2022年11月14日	2022年12月19日	2022年1月17日
23・24	2022年12月19日	2022年1月17日	2022年2月14日

■　**JCHO滋賀病院**

JCHO滋賀病院は、最寄駅が本学までの通学定期券の適用範囲内である学生が多いことや、最寄駅からJCHO滋賀病院までが比較的近いことから、後述の交通費補助の対象外となります。

ただし、最寄駅が通学定期券の適用範囲外となる学生については、実習用の通学定期券を発行することができますので、実習用通学定期券の発行を希望する場合は、実習開始日の１ヵ月前までにWebClass（第44期 臨床実習）から「実習用通学証明書発行願」の様式をダウンロード・作成し、学生課学生支援係まで提出してください。

■　公立甲賀病院

○実習初日の送迎

JR貴生川駅北口から公立甲賀病院が配車するタクシーの送迎があります。自家用車を利用しても構いません。なお、自家用車は￥1,100／月で公立甲賀病院に駐車可能です（実習初日のオリエンテーション時に集金）。但し、宿舎を利用せず自宅から通う場合は無料で駐車可能です。

実習先までタクシーを利用するか自家用車を利用するかについては、実習開始日１週間前までにWebClassから回答してください。

病院に到着後は、診療棟３階事務部までご訪問ください。

○アパートの借用

アパートは病院の近隣に以下の物件が用意されています。どの宿舎に入居するか、予め実習に参加する学生間で決めておいてください。尚、それぞれのアパートの内観は、WebClass（第44期 臨床実習）に掲載しています。**宿舎には、自転車（現在各宿舎に駐輪している共用のものを除く）、バイク及び自動車の駐輪、駐車はできません。**

《借上げアパート一覧》

１）名坂ハイツ 202号室：滋賀県甲賀市水口町名坂７－１

２）グランドール名坂 308号室：滋賀県甲賀市水口町名坂77－２

３）メイプル東名坂弐番館 101号室：滋賀県甲賀市水口町東名坂68

《アパートの付属備品一覧》

ベッド、机、椅子、テレビ、物干し竿、室内物干し、洗濯機、ハンガー（10個）、洗濯ばさみ、冷蔵庫、電子レンジ、ケトル、鍋、小鍋、お椀、平皿、菜箸、箸、洗浄用スポンジ

※上記以外で必要なものがあれば各自持参してください。

入居の際は、免許証等顔写真付きの身分証明書が必要です。事務部総務課が、実習初日のオリエンテーション時に氏名・生年月日・携帯番号・自宅住所を確認されます。個人情報は、不動産会社に提供する目的、緊急時連絡先把握の目的にのみ使用されます。

また、「個人情報保護に関する誓約書」に記入いただく際に印鑑が必要になるため、実習初日のオリエンテーション時に持参してください。

退去の際は、各自で部屋を清掃のうえ、当日午前10時までに事務部管財課へ鍵を返却してください。

Ⅲ．実習に係る交通費等の補助について

東近江総合医療センター及び公立甲賀病院における実習については、４週間の実習期間において、初回訪問時と最終日の帰宅時の往復及び週末自宅へ帰宅した場合の交通機関を利用した往復料金（【東近江：2,360円】／【甲賀：1,520円】）を補助します。なお、自家用車を使用した場合は補助の対象となりません。

交通費補助申請にあたっては、実習終了日から１週間後の金曜日までにWebClass（第44期 臨床実習）から「旅費申請書」の様式をダウンロード・作成のうえ、押印したものを学生課学部教育支援係まで提出すること。

国立病院機構 東近江総合医療センター
（総合内科学講座・総合外科学講座）

1．担当教員

●総合内科学講座、総合外科学講座

教　　授	目片　英治	東近江総合医療センター（副院長）	総合外科、外科
教　　授	杉本　俊郎	東近江総合医療センター（内科診療部長）	総合内科、腎臓内科
臨床教授	井上　修平	東近江総合医療センター（病院長）	呼吸器外科
准教授	大西　正人	東近江総合医療センター（循環器内科部長）	総合内科、循環器内科
准教授	前野　恭宏	東近江総合医療センター（糖尿病・内分泌内科医長）	総合内科、糖尿病･内分泌内科
准教授	伊藤　明彦	東近江総合医療センター（消化器内科医長）	総合内科、消化器内科
客員准教授	藤野　能久	東近江総合医療センター（麻酔科部長）	麻酔科
講　　師	太田　裕之	東近江総合医療センター（外科医長）	総合外科、外科
講　　師	赤堀　浩也	東近江総合医療センター（外科医長）	総合外科、外科
講　　師	北村　直美	東近江総合医療センター（救急部副部長）	総合外科、救急部
講　　師	和田　　広	東近江総合医療センター（呼吸器内科医長）	総合内科、呼吸器内科
助　　教	神田　暁博	東近江総合医療センター（消化器内科医師）	総合内科、消化器内科
非常勤講師	尾﨑　良智	東近江総合医療センター（外科診療部長）	呼吸器外科
非常勤講師	田中　政信	東近江総合医療センター（整形外科医長）	整形外科
非常勤講師	田中　妥典	東近江総合医療センター（循環器内科医長）	循環器内科
非常勤講師	坂野　祐司	東近江総合医療センター（泌尿器科医長）	泌尿器科
非常勤講師	石河　顕子	東近江総合医療センター（産婦人科医長）	産婦人科
非常勤講師	大内　政嗣	東近江総合医療センター（呼吸器外科医長）	呼吸器外科
非常勤講師	堤　　泰彦	東近江総合医療センター（歯科口腔外科医長）	歯科口腔外科
非常勤講師	奥野計寿人	東近江総合医療センター（小児科医長）	小児科
非常勤講師	星　　参	東近江総合医療センター（耳鼻咽喉科医長）	耳鼻咽喉科・頭頚部外科
非常勤講師	鵜飼　佳子	東近江総合医療センター（皮膚科医長）	皮膚科
非常勤講師	中多　真理	東近江総合医療センター（産婦人科医師）	産婦人科
非常勤講師	竹林　明枝	東近江総合医療センター（産婦人科医師）	産婦人科
非常勤講師	渡邉　尚武	東近江総合医療センター（放射線科医師）	放射線科
非常勤講師	加藤　裕美	東近江総合医療センター（麻酔科医師）	麻酔科
非常勤講師	寺田　好孝	東近江総合医療センター（外科医長）	外科
非常勤講師	田中　佑治	東近江総合医療センター（産婦人科医長）	産婦人科
客員助教	中島　智子	東近江総合医療センター（眼科医師）	眼科
客員助教	古屋　祐樹	東近江総合医療センター（整形外科医長）	整形外科
客員助教	田中　克典	東近江総合医療センター（小児科医師）	小児科
客員助手	水田　寛郎	東近江総合医療センター（消化器内科医師）	消化器内科
客員助手	多賀谷　翠	東近江総合医療センター（小児科医師）	小児科
客員助手	赤澤　　彰	東近江総合医療センター（呼吸器外科医師）	呼吸器外科
客員助手	芝田　浩平	東近江総合医療センター（整形外科医師）	整形外科
客員助手	大槻　晋士	東近江総合医療センター（消化器内科医師）	消化器内科
客員助手	坂田　瑞稀	東近江総合医療センター（糖尿病・内分泌内科医師）	糖尿病・内分泌内科
客員助手	三宅真規子	東近江総合医療センター（歯科口腔外科医師）	歯科口腔外科

客員助手	大橋　瑞紀	東近江総合医療センター（産婦人科医師）	産婦人科
客員助手	脇坂　恭加	東近江総合医療センター（消化器内科医師）	消化器内科
客員助手	前田　泰広	東近江総合医療センター（皮膚科医師）	皮膚科
客員助手	仁科　勇佑	東近江総合医療センター（外科医師）	外科
客員助手	山崎　　開	東近江総合医療センター（耳鼻咽喉科医師）	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
客員助手	吉武倫太郎	東近江総合医療センター（泌尿器科医師）	泌尿器科
客員助手	御園生昌史	東近江総合医療センター（呼吸器内科医師）	呼吸器内科
客員助手	森　　太平	東近江総合医療センター（消化器内科医師）	消化器内科
客員助手	任　　聿熙	東近江総合医療センター（麻酔科医師）	麻酔科
客員助手	山田　安希	東近江総合医療センター（総合内科医師）	総合内科

2．ねらいと学修目標

ねらい	学修目標
東近江医療圏でcommon disease（原則、内科系疾患）持つ患者の診療手順（外来・入院・通院の過程）を、指導医師（前期・後期研修医を含む）との密なコミュニケーションを通じて習得する。 毎日のカンファレンス・実習を通して、患者の医学的問題のみならず、社会的、倫理的側面に配慮した議論に参加する。 疾病に関する知識を得るばかりでなく、病気に対応できる医師を目指す初めの一歩となるように実習を行う。	1．指導医師やメディカルスタッフと円滑な意思疎通が図れる。 2．初診診療において、問診から鑑別診断を挙げることができる。 3．診断に必要な検査の計画を立てることができる。 4．血液検査データ・画像検査等の検査所見を解釈し、問題点を指摘することができる。 5．初期診療計画をたてることができる。 6．担当症例のプレゼンテーションを行う。

3．評価基準

①実習態度（医学生としてのマナー、積極性、協調性）
②担当症例のプレゼンテーション、
③レポート課題
④出席状況　これらを総合的に判断した上で評価します。

4．臨床実習のユニット内容

実習は原則として個人単位で行いますが、講義やシミュレーター実習等は集合型で行います。

一日の基本的な流れ

8：00

朝カンファレンス

前日入院患者と夜間救急患者のレビューから、内科系の各診療科の医師による横断的な意見交換や問題提起などのディスカッションに参加し、患者を総合的に診る目を養成する。

・検査データや画像診断の確認
・診断に必要な検査計画の作成
・初期診療計画の作成

9：00

質問タイム

朝カンファレンスで生じた疑問点を質問し、あいまいな知識の整理と正しい知識の理解・定着につなげる

スキルスラボ／講義

各種シミュレーターを活用した模擬体験実習／内科系専門医による講義

10：00

外来実習

内科系外来を見学し、問診から診断に必要な検査計画を立て、鑑別診断をつける可能な範囲で問診・診察・検査等を行う

12：00　　昼　休　憩

13：00

病棟回診／検査／○○教室

病棟回診に参加し、チーム医療の実際を学ぶ
検査では、処置・手技の実際を学ぶ
減塩教室・糖尿病教室に参加する

講義／手術見学

内科系疾患に関連する他診療科の講義
手術見学等

レポート／発表の準備

16：00

カンファレンス

Ａ：循環器カンファレンス　（毎週月曜16：00～17：00）
Ｂ：消化器内科カンファレンス（毎週水曜17：00～18：00）
Ｃ：総合内科カンファレンス　（毎週火曜15：30～17：00）
　　糖尿病カンファレンス　（３・４週目木曜13：00～15：00）

※　当直実習を希望する場合は、午後10時まで（ただし、２回／週まで）

第１週目

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	8:00～9:00	きらめきB	自己紹介 朝カンファレンス	入院症例の診断及び治療について、ディスカッションに参加する	討論	症例	17	出席	内科系担当教員
	9:00～10:00	副院長室	質問タイム	朝カンファレンスで生じた疑問点を解消する	Q&A	講義	1	質問	杉　本
			オリエンテーション	当院での実習の心構えを学ぶ	説明	資料	1	態度観察	杉　本
	10:00～12:00	外来	外来実習	内科系外来を見学し、問診から診断に必要な検査計画を立て、鑑別診断をつける	診療参加及び見学	外来患者等	3	態度観察	担当教員
	13:00～16:00	外来・病棟等	病棟回診 検査	病棟回診に参加し、チーム医療の実際を学ぶ。検査では、処置・手技の実際を学ぶ	診療参加及び見学	入院患者等	数名	態度観察	担当教員
	(~17:00)	東２病棟	カンファレンス	A：循環器内科カンファレンス	討論	電子カルテ	数名	態度観察	大西他
火	8:00～9:00	きらめきB	朝カンファレンス	(同上)	討論	症例	17	出席	内科系担当教員
	9:00～10:00	きらめきB	質問タイム	(同上)	Q&A	講義	1	質問	前　野
		スキルスラボ	シミュレーター	心電図の基礎学習	体験学習	シミュレーター	1	態度観察	前　野
	10:00～12:00	外来	外来実習	(同上)	診療参加及び見学	外来患者等	3	態度観察	担当教員
	13:00～16:00	外来・病棟等	病棟回診 検査	(同上)	診療参加及び見学	入院患者等	数名	態度観察	担当教員
	(~17:00)	スキルスラボ	カンファレンス	C：総合内科カンファレンス	討論	電子カルテ	数名	態度観察	前野他
水	8:00～9:00	きらめきB	朝カンファレンス	(同上)	討論	症例	17	出席	内科系担当教員
	9:00～10:00	スキルスラボ	シミュレーター	各種シミュレーターを用いて、エコー、腹腔鏡などの手技を学ぶ	体験学習	シミュレーター	1	態度観察	外科系担当教員
	10:00～12:00	外来	外来実習	(同上)	診療参加及び見学	外来患者等	3	態度観察	担当教員
	13:00～16:00	外来・病棟等	病棟回診 検査	(同上)	診療参加及び見学	入院患者等	数名	態度観察	担当教員
	(~18:00)	スキルスラボ	カンファレンス	B：消化器内科カンファレンス	討論	電子カルテ	数名	態度観察	伊藤他
木	8:00～9:00	きらめきB	朝カンファレンス	(同上)	討論	症例	17	出席	内科系担当教員
	9:00～10:00	きらめきB	質問タイム	(同上)	Q&A	講義	1	質問	和　田
		スキルスラボ	シミュレーター	呼吸音の聴診トレーニング	体験学習	シミュレーター	1	態度観察	和　田
	10:00～12:00	外来	外来実習	(同上)	診療参加及び見学	外来患者等	3	態度観察	担当教員
	13:00～16:00	オペ室	手術見学	整形外科の手術に参加し、手技を見学するとともに、感染予防のための清潔･不潔の概念を理解する	見学	手術	数名	態度観察	整形外科担当教員
金	8:00～9:00	きらめきB	朝カンファレンス	(同上)	討論	症例	17	出席	内科系担当教員
	9:00～10:00	きらめきB	質問タイム	(同上)	Q&A	講義	1	質問	伊　藤
			講義	症例発表について	講義	資料	1	態度観察	伊　藤
	10:00～12:00	外来	外来実習	(同上)	診療参加及び見学	外来患者等	3	態度観察	担当教員
	13:00～15:00	外来・病棟等	病棟回診 検査	(同上)	診療参加及び見学	入院患者等	数名	態度観察	担当教員
	15:00～16:00	放射線科 情報管理室	講義	検査画像から読影のポイントを学ぶ	講義	画像	1	態度観察	放射線科担当教員

※内科A～Cの各コースによって内容が異なる場合があります。

第２週目

曜日	時　　間	場　　所	ユニット	目　　的	方　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	8:00～9:00	きらめきB	朝カンファレンス	入院症例の診断及び治療について、ディスカッションに参加する	討論	症例	17	出席	内科系担当教員
	9:00～10:00	スキルスラボ	質問タイム	朝カンファレンスで生じた疑問点を解消する	Q&A	講義	1	質問	大　西
			講義	心電図	講義	スライド	1	態度観察	大　西
	10:00～12:00	外来	外来実習	内科系外来を見学し、問診から診断に必要な検査計画を立て、鑑別診断をつける	診療参加及び見学	外来患者等	3	態度観察	担当教員
	13:00～15:30	外来・病棟等	病棟回診検査	病棟回診に参加し、チーム医療の実際を学ぶ。検査では、処置・手技の実際を学ぶ	診療参加及び見学	入院患者等	数名	態度観察	担当教員
	15:30～16:00	耳鼻咽喉科外来	講義	内科系疾患に関連する耳鼻咽喉科症例を学ぶ	講義	スライド	1	態度観察	耳鼻咽喉科教員
	(~17:00)	東２病棟	カンファレンス	A：循環器内科カンファレンス	討論	電子カルテ	数名	態度観察	大西他
火	8:00～9:00	きらめきB	朝カンファレンス	(同上)	討論	症例	17	出席	内科系担当教員
	9:00～10:00	きらめきB	質問タイム	(同上)	Q&A	講義	1	質問	神　田
			講義	腹部CT	講義	症例、電子カルテ等	1	態度観察	神　田
	10:00～12:00	外来	外来実習	(同上)	診療参加及び見学	外来患者等	3	態度観察	担当教員
	13:00～16:00	外来・病棟等	病棟回診検査	(同上)	診療参加及び見学	入院患者等	数名	態度観察	担当教員
	15:00～15:30	皮膚科外来	講義	内科系疾患に関連する皮膚科症例を学ぶ	講義	スライド	1	態度観察	皮膚科担当教員
	(~17:00)	スキルスラボ	カンファレンス	C：総合内科カンファレンス	討論	電子カルテ	数名	態度観察	前野他
水	8:00～9:00	きらめきB	朝カンファレンス	(同上)	討論	症例	17	出席	内科系担当教員
	9:00～10:00	スキルスラボ	シミュレーター	各種シミュレーターを用いて、外科的処置の手技を学ぶ	体験学習	シミュレーター	1	態度観察	外科系担当教員
	10:00～12:00	外来	外来実習	(同上)	診療参加及び見学	外来患者等	3	態度観察	担当教員
	13:00～16:00	外来・病棟等	病棟回診検査	(同上)	診療参加及び見学	入院患者等	数名	態度観察	担当教員
	(~18:00)	スキルスラボ	カンファレンス	B：消化器内科カンファレンス	討論	電子カルテ	数名	態度観察	伊藤他
木	8:00～9:00	きらめきB	朝カンファレンス	(同上)	討論	症例	17	出席	内科系担当教員
	9:00～10:00	きらめきB	質問タイム	(同上)	Q&A	講義	1	質問	和　田
		スキルスラボ	救急実習	救命救急、患者急変時の流れを体験し、一連の対応を学ぶ	体験学習	シミュレーター	1	態度観察	北　村
	10:00～12:00	外来	外来実習	(同上)	診療参加及び見学	外来患者等	3	態度観察	担当教員
	13:00～16:00	病棟 オペ室	病棟回診 手術見学等	A：口腔ケアラウンド B：NST回診 C：全身麻酔管理	見学	入院患者等	数名	態度観察	担当教員
金	8:00～9:00	きらめきB	朝カンファレンス	(同上)	討論	症例	17	出席	内科系担当教員
	9:00～10:00	スキルスラボ	質問タイム	(同上)	Q&A	講義	1	質問	田　中
			シミュレーター	心音の聴診トレーニング	体験実習	シミュレーター	1	態度観察	田　中
	10:00～12:00	外来	外来実習	(同上)	診療参加及び見学	外来患者等	3	出席	担当教員
	13:00～14:00	スキルスラボ	総括	１～２週目実習の振り返り	討論	レポート	1	態度観察	目　片
	14:00～16:00	外来・病棟等	病棟回診検査	A：緩和ケアラウンド B・C：(同上)	診療参加及び見学	入院患者等	数名	態度観察	担当教員

第３週目

曜日	時　　間	場　　所	ユニット	目　　的	方　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	8:00～9:00	きらめきB	朝カンファレンス	入院症例の診断及び治療について、ディスカッションに参加する	討論	症例	17	出席	内科系担当教員
	9:00～10:00	副院長室	質問タイム	朝カンファレンスで生じた疑問点を解消する	Q&A	講義	1	質問	杉　本
			講義	地域医療	講義	講義	1	態度観察	杉　本
	10:00～12:00	外来	外来実習	内科系外来を見学し、問診から診断に必要な検査計画を立て、鑑別診断をつける	診療参加及び見学	外来患者等	3	態度観察	担当教員
	13:00～16:00	外来・病棟等	病棟回診 検査	病棟回診に参加し、チーム医療の実際を学ぶ。検査では、処置・手技の実際を学ぶ	診療参加及び見学	入院患者等	数名	態度観察	担当教員
	(~17:00)	東２病棟	カンファレンス	A：循環器内科カンファレンス	討論	電子カルテ	1	態度観察	大西他
火	8:00～9:00	きらめきB	朝カンファレンス	(同上)	討論	症例	17	出席	内科系担当教員
	9:00～10:00	きらめきB	質問タイム	(同上)	Q&A	講義	1	質問	前　野
			講義	高血糖緊急症	講義	スライド	1	態度観察	前　野
	10:00～12:00	外来	外来実習	(同上)	診療参加及び見学	外来患者	3	態度観察	担当教員
	13:00～16:00	外来・病棟等	病棟回診 検査	(同上)	診療参加及び見学	入院患者等	数名	態度観察	担当教員
	15:00～15:30	小児科外来	講義	小児科分野における内科系疾患を学ぶ	講義	スライド	1	態度観察	小児科担当教員
	(~17:00)	スキルスラボ	カンファレンス	C：総合内科カンファレンス	討論	電子カルテ	数名	態度観察	前野他
水	8:00～9:00	きらめきB	朝カンファレンス	(同上)	討論	症例	17	出席	内科系担当教員
	9:00～10:00	スキルスラボ	シミュレーター	各種シミュレーターを用いて、エコー、腹腔鏡手術などの手技を学ぶ	体験学習	シミュレーター	1	態度観察	外科系担当教員
	10:00～12:00	外来	外来実習	(同上)	診療参加及び見学	外来患者等	3	態度観察	担当教員
	13:00～15:30	外来・病棟等	病棟回診 検査	(同上)	診療参加及び見学	入院患者等	数名	態度観察	担当教員
	15:30～16:00	眼科外来	講義	糖尿病網膜症について学ぶ	講義	スライド	1	態度観察	眼科担当教員
	(~18:00)	スキルスラボ	カンファレンス	B：消化器内科カンファレンス	討論	電子カルテ	数名	態度観察	伊藤他
木	8:00～9:00	きらめきB	朝カンファレンス	(同上)	討論	症例	17	出席	内科系担当教員
	9:00～10:00	スキルスラボ	質問タイム	(同上)	Q&A	講義	1	質問	和　田
			シミュレーター	肺機能の実習	体験学習	シミュレーター	1	態度観察	和　田
	10:00～12:00	外来	外来実習	(同上)	診療参加及び見学	外来患者等	3	態度観察	担当教員
	13:00～16:00	外来・病棟等	病棟回診 手術見学等	A：全身麻酔管理 B：口腔ケアラウンド C：NST回診／糖尿病カンファレンス	診療参加及び見学	入院患者等	数名	態度観察	担当教員
金	8:00～9:00	きらめきB	朝カンファレンス	(同上)	討論	症例	17	出席	内科系担当教員
	9:00～10:00	スキルスラボ	質問タイム	(同上)	Q&A	講義	1	質問	田　中
			シミュレーター	心電図	体験学習	シミュレーター	1	態度観察	田　中
	10:00～12:00	外来	外来実習	(同上)	診療参加及び見学	外来患者等	3	態度観察	担当教員
	13:00～15:30	外来・病棟等	病棟回診 検査	A・C：(同上) B：緩和ケアラウンド	診療参加及び見学	入院患者等	数名	態度観察	担当教員
	15:30～16:00	南３病棟 詰所前	講義	産婦人科分野における内科系疾患を学ぶ	講義	スライド	1	態度観察	産婦人科担当教員

第４週目

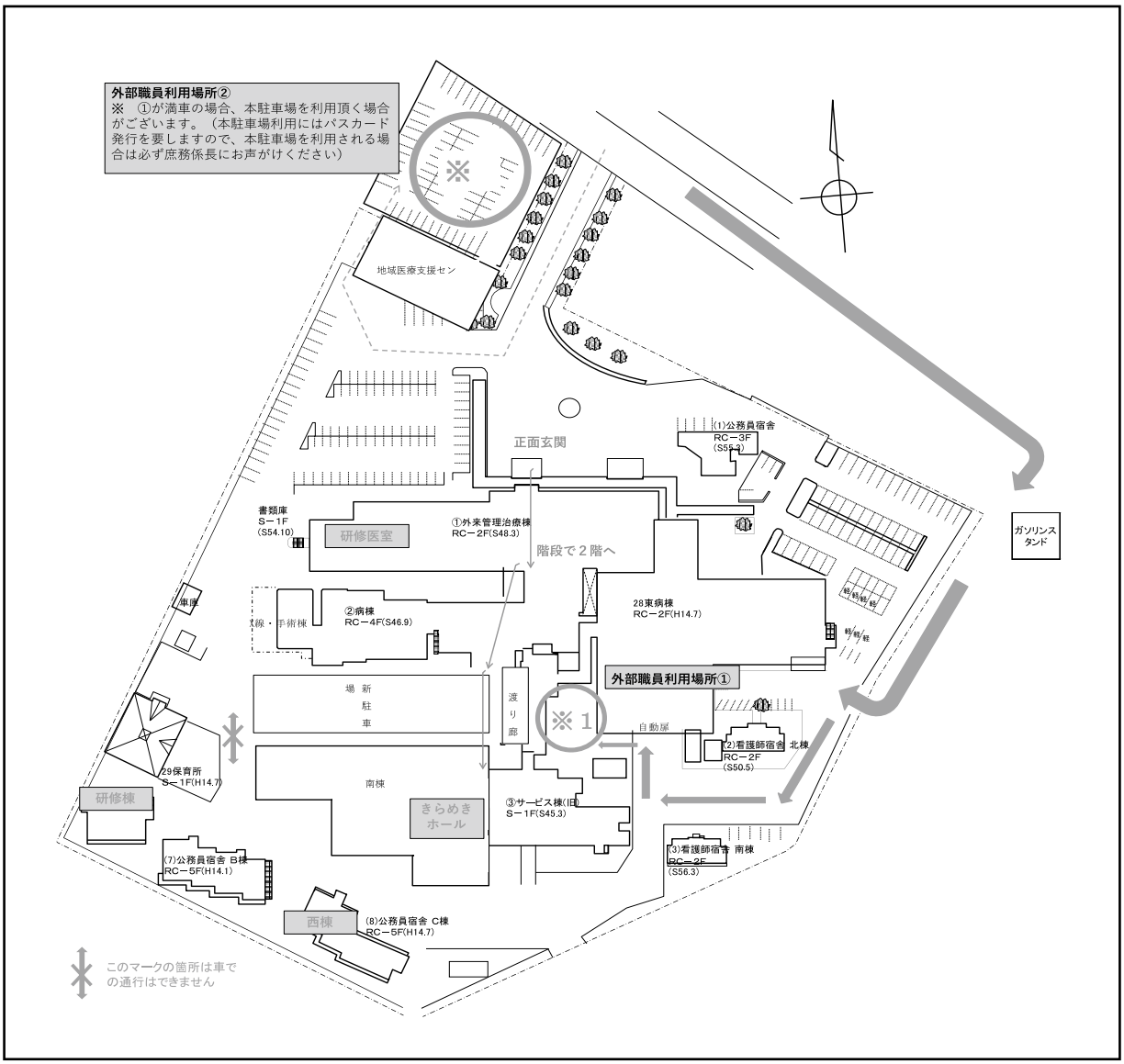
曜日	時　　間	場　　所	ユニット	目　　的	方　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	8:00～9:00	きらめきB	朝カンファレンス	入院症例の診断及び治療について、ディスカッションに参加する	討論	症例	17	出席	内科系担当教員
	9:00～10:00	スキルスラボ	質問タイム	朝カンファレンスで生じた疑問点を解消する	Q&A	講義	1	質問	大　西
			講義	循環器疾患	講義	スライド	1	態度観察	大　西
	10:00～12:00	外来	外来実習	内科系外来を見学し、問診から診断に必要な検査計画を立て、鑑別診断をつける	診療参加及び見学	外来患者等	3	態度観察	担当教員
	13:00～16:00	外来・病棟等	病棟回診 検査	病棟回診に参加し、チーム医療の実際を学ぶ。検査では、処置・手技の実際を学ぶ	診療参加及び見学	入院患者等	数名	態度観察	担当教員
	(~17:00)	東２病棟	カンファレンス	A：循環器内科カンファレンス	討論	電子カルテ	数名	態度観察	大西他
火	8:00～9:00	きらめきB	朝カンファレンス	(同上)	討論	症例	17	出席	内科系担当教員
	9:00～10:00	きらめきB	質問タイム	(同上)	Q&A	講義	1	質問	神　田
		スキルスラボ	シミュレーター	内視鏡シミュレーター	体験学習	シミュレーター	1	態度観察	神　田
	10:00～12:00	外来	外来実習	(同上)	診療参加及び見学	外来患者等	3	態度観察	担当教員
	13:00～16:00	外来・病棟等	病棟回診 検査	(同上)	診療参加及び見学	入院患者等	数名	態度観察	担当教員
	(~17:00)	スキルスラボ	カンファレンス	C：総合内科カンファレンス	討論	電子カルテ	数名	態度観察	前野他
水	8:00～9:00	きらめきB	朝カンファレンス	(同上) A：担当症例のプレゼンテーション	討論 発表	症例	17	出席	内科系担当教員
	9:00～10:00	スキルスラボ	シミュレーター	各種シミュレーターを用いて、外科的処置の手技を学ぶ	体験学習	シミュレーター	1	態度観察	外科系担当教員
	10:00～12:00	外来	外来実習	(同上)	診療参加及び見学	外来患者等	3	態度観察	担当教員
	13:00～16:00	外来・病棟等	病棟回診 検査	(同上)	診療参加及び見学	入院患者等	数名	態度観察	担当教員
	(~18:00)	スキルスラボ	カンファレンス	B：消化器内科カンファレンス	討論	電子カルテ	数名	態度観察	伊藤他
木	8:00～9:00	きらめきB	朝カンファレンス	(同上) B：担当症例のプレゼンテーション	討論 発表	症例	17	出席	内科系担当教員
	9:00～10:00	きらめきB	質問タイム	(同上)	Q&A	講義	1	質問	和　田
		スキルスラボ	救急実習	救命救急、患者急変時の流れを体験し、一連の対応を学ぶ	体験学習	シミュレーター	1	態度観察	北　村
	10:00～12:00	外来	外来実習	(同上)	診療参加及び見学	外来患者等	3	態度観察	担当教員
	13:00～16:00	外来・病棟等	病棟回診 手術見学	A：NST回診 B：全身麻酔管理 C：口腔ケアラウンド／糖尿病カンファレンス	診療参加及び見学	入院患者等	数名	態度観察	担当教員
金	8:00～9:00	きらめきB	朝カンファレンス	(同上) C：担当症例のプレゼンテーション	討論 発表	症例	17	出席	内科系担当教員
	9:00～10:00	きらめきB	質問タイム	(上記に同じ)	Q&A	講義	1	質問	伊　藤
			講義	プレゼンテーション総括	講義	講義	1	態度観察	伊　藤
	10:00～12:00	外来	外来実習	(同上)	診療参加及び見学	外来患者等	3	態度観察	担当教員
	13:00～15:00	外来・病棟等	病棟回診 検査	A・B：(同上) C：緩和ケアラウンド	診療参加及び見学	入院患者等	数名	態度観察	担当教員
	15:00～16:00	副院長室	総括	実習の振り返りと自己評価	討論	レポート	1	出席	杉　本

5 .集合場所・時間

集合場所：東近江総合医療センター　南棟２Ｆきらめきホール B

集合時間：午前８時

国立病院機構東近江総合医療センター　建物配置図



※東近江総合医療センターへは、公共交通機関・自家用車による通学の他、宿舎の利用も可能です。自家用車通学により駐車場を利用する場合は『車両登録申請書』､宿舎を利用する場合は『研修医棟貸与申請書』を、学生課まで提出してください。

※通学、宿泊等で不明な点がある場合は、予め杉本教授までメールで相談して下さい。
toshiro@belle.shiga-med.ac.jp

許可日

車 両 登 録 申 請 書

使用エリア	外部職員用エリア
許可番号	
所属	
職種	
氏名	
使用期間	

下記留意事項を了承のうえ、車両を登録いたします。

記

① 駐車場所については、病院指定場所を遵守すること。
② 患者・職員を優先とし、場合によっては、駐車場所の変更を許容すること。
③ 交通マナーを守り、特に敷地内においては徐行運転を厳守すること。

駐車場所：裏面参照

メーカー			車種名		車体色	
登録番号	都道府県①	②	かな③	④	－	⑤
					－	

(例)　①大阪　②３００

③む　④１２　－　⑤３４

独立行政法人国立病院機構　東近江総合医療センター

（滋賀医大学生用）

年　　月　　日

研修医棟貸与申請書

独立行政法人国立病院機構
東近江総合医療センター　院長　殿

所　　属　　滋賀医科大学
氏　　名
性別
住所

連　絡　先

下記により、東近江総合医療センター研修棟の貸与を受けたいので、申請いたします。
なお、使用にあたっては東近江総合医療センターの諸規程及び指示に従い、研修終了後は速やかに退去することを誓約いたします。

記

１．研修期間　　令和　　年　　月　　日　～　令和　　年　　月　　日

２．入居期間　　令和　　年　　月　　日　～　令和　　年　　月　　日

※　入居期間については、研修期間の前日から利用可能です。
　　また、研修棟が満室の場合、西棟を利用頂く場合がございます。

6 .学生へのメッセージ･注意事項等

※欠席の場合は、当日の８:00までに東近江総合医療センター（0748-22-3030（代））の医事当直に連絡をすること。宿舎を利用している場合は当日８：00までに院内PHS：4011（杉本教授）または4051（大西准教授）に連絡でも可。

※台風等（非常時）における臨床実習の取扱いは、滋賀医科大学の内容に準拠する。東近江市の天候等により独自に休止とする場合は、可能な限り事前に連絡をする。

１）実習当日に主治医または指導医が学生を患者に紹介し、同意を得る。

２）実習について

- 原則として患者に対してはStudent Doctorとして接する。
- カンファレンス中は間違いを気にせず、積極的に意見を述べること。

３）医行為の内容について

- 「必須項目」の医行為については、実習期間内になるべく実施させる。
- 優れた学生に対しては、「推奨項目」の医行為の実施を許可することもある。
- すべての医行為は指導医の厳重な指導・監視の下で行う。

４）実習の時間帯

原則として８：00から16：00までとするが、カンファレンス等で実習時間の変更が生じる場合がある。また、本人の希望により２回／週まで17：00～22：00までの当直実習も可能。

５）宿舎等の利用について

通学困難または本人の希望により、下記設備の利用が可能。

ただし、空き状況により、どちらの宿舎に入居するかは当院で割り振りをする。

料金（研修医棟・西棟宿舎ともに360円／日）は滋賀医科大学が負担する。

①設備

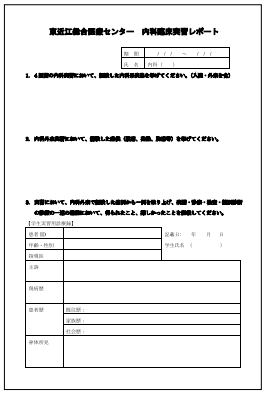
- 研修医棟（完全個室：ユニットバス・ベッド・カーテン・机・テレビ・エアコン・冷蔵庫・電子レンジ・トースター・洗濯機・洗濯干し竿・照明器具・Wi-Fi）
- 西棟宿舎（完全個室：ユニットバス・ベッド・カーテン・机・テレビ・エアコン・冷蔵庫・電子レンジ・トースター・洗濯機・洗濯干し竿・照明器具）

６）その他

内科初診外来･救急外来の実習が当院の臨床研修の特徴であることから、３回生系統講義『診断学序論』、４回生系統講義『臨床診断学』の復習を行ったうえで、臨床実習に望むことが望ましい。そして、経験すべき37症候（臨床実習において）を、外来・救急実習で経験することを目指してほしい。

外来・病棟実習を行うことより、感染対策の基本的知識（標準防護策・接触防護策、飛沫・空気感染防護策、手指衛生のタイミング（WHO ５つのタイミング等）を予め取得しておくことが必須である。

実習の内容及びスケジュールについては、変更の可能性あり。詳細は実習初日のオリエンテーションで説明する。


東近江総合医療センター　内科臨床実習レポート

期・間	／／（　）～／／（　）
学生	内科（　）

1．4週間の内科病棟において、経験した内科疾患総括を書いてください。（入院・内分泌等）

2．内科外来実習において、経験した疾患（感冒、糖尿、高血圧、高脂血症）を書いてください。

3．実習において、内科外来で経験した症例から一症を取り上げ、病歴・現症・検査・鑑別診断の過程を一連の流れにおいて、得られたこと、感じたことを自由に記してください。

【学生実習用記録欽】

患者 ID		実施日：　年　月　日	
年齢・性別		学生氏名（　　）	
主訴			
現病歴			
既往歴			
検査値	血液検：		
	尿検査：		
	画像検：		
鑑別診断			

７）実習終了後

実習終了後の翌月曜日（祝日の場合は翌日）午前９時までに、次項のレポートを提出すること。（このレポートはフィードバックを目的とした形成的評価に用いる。提出することで評価の対象とする。※レポートの電子ファイルは実習中にメール添付する）

東近江総合医療センター　内科臨床実習レポート

期　間	/　/　/　～　/　/　/
氏　名	内科（　　）

1. 4週間の内科実習において、経験した内科系疾患を挙げてください。（入院・外来を含）

2. 内科外来実習において、経験した症候（腹痛、発熱、胸痛等）を挙げてください。

3. 実習において、内科外来で経験した症例から一例を取り上げ、病歴・診察・検査・鑑別診断の診療の一連の過程において、得られたこと、難しかったことを記載してください。

【学生実習用診療録】

患者 ID		記載日:　　年　　月　　日
年齢・性別		学生氏名　（　　）
指導医		
主訴		
現病歴		
患者歴	既往歴：	
	家族歴：	
	社会歴：	
身体所見		

鑑別する疾患	見逃してはいけない疾患：
	治療可能な疾患：
	頻度が高い疾患：
行うべき検査	

（得られたこと）

（難しかったこと）

4. 東近江総合医療センターの臨床実習を通じて、地域中核病院での内科診療の特徴をまとめてください。

※送付先　toshiro@belle.shiga-med.ac.jp（総合内科学講座 教授：杉本俊郎先生宛）

地域医療機能推進機構（JCHO）滋賀病院

1．担当教員

●滋賀医科大学教育研究 活動拠点

臨床教授	来見　良誠	JCHO滋賀病院（院長）	外科、消化器外科
臨床教授	有村　哲朗	JCHO滋賀病院（副院長）	腎臓代謝内分泌内科
准教授	中島　滋美	JCHO滋賀病院（部長）	総合診療科、消化器内科
准教授	梅田　朋子	JCHO滋賀病院（部長）	乳腺外科
准教授	川合　寛道	JCHO滋賀病院（部長）	脳神経内科
臨床准教授	八木　俊和	JCHO滋賀病院（部長）	外科、消化器外科
臨床准教授	松永　勇	JCHO滋賀病院（医長）	健診診療部
臨床准教授	岡川　浩人	JCHO滋賀病院（部長）	小児科
	原田　夏樹	JCHO滋賀病院（部長）	老健診療部、腎臓代謝内分泌内科
	大惠　匡俊	JCHO滋賀病院（部長）	外科、消化器外科
	長澤みゆき	JCHO滋賀病院（部長）	健診診療部
	安藤　美雪	JCHO滋賀病院（医長）	健診診療部
	磯野　元秀	JCHO滋賀病院（部長）	腎臓代謝内分泌内科
	花田　誠	JCHO滋賀病院（部長）	耳鼻咽喉科
講師	中島　亮	JCHO滋賀病院（部長）	整形外科
臨床講師	松井　俊樹	JCHO滋賀病院（部長）	循環器内科
臨床講師	牛田　博	JCHO滋賀病院（部長）	泌尿器科
臨床講師	児玉　創太	JCHO滋賀病院（医長）	外科、消化器外科
臨床講師	佐藤　喜祝	JCHO滋賀病院（部長）	腎臓代謝内分泌内科
	木田　睦士	JCHO滋賀病院（医長）	外科
	竹林　紀子	JCHO滋賀病院（医長）	麻酔科
	早藤　清行	JCHO滋賀病院（部長）	消化器内科
	村上　智子	JCHO滋賀病院（医長）	眼科
	出路奈緒子	JCHO滋賀病院（医長）	腎臓代謝内分泌内科
	塩田　紘美	JCHO滋賀病院（医長）	循環器内科
	森　俊雄	JCHO滋賀病院（医員）	歯科口腔外科
	河原　千穂	JCHO滋賀病院（医長）	循環器内科
	長山　浩二	JCHO滋賀病院（医長）	腎臓代謝内分泌内科
	神田　理恵	JCHO滋賀病院（医長）	呼吸器内科
	伊狩　亮	JCHO滋賀病院（医長）	泌尿器科
	加藤　紀子	JCHO滋賀病院（医員）	腎臓代謝内分泌内科
非常勤講師	長谷川　大	JCHO滋賀病院（医長）	消化器内科
	藤井　誠	JCHO滋賀病院（医長）	消化器内科
	谷川　仁士	JCHO滋賀病院（医長）	整形外科
	大原真理子	JCHO滋賀病院（医員）	消化器内科
	澤井　和信	JCHO滋賀病院（医員）	腎臓代謝内分泌内科

	椿本　由紀	JCHO滋賀病院（医員）	健診診療部
	茶谷玲奈	JCHO滋賀病院（医員）	消化器内科
	伊藤　千尋	JCHO滋賀病院（医員）	耳鼻咽喉科
	高村　裕史	JCHO滋賀病院（医員）	整形外科
	高原　亜弥	JCHO滋賀病院（医員）	耳鼻咽喉科
客員助教	松原　栄子	JCHO滋賀病院（看護部長）	病院管理

2．ねらいと学修目標

ねらい	学修目標
患者のもつ問題点を的確に抽出し、EBMに基づいた全人的医療を行うために、初期診療を中心とした診断治療手順を習得するとともに、滋賀県下の医療の実態を理解し、地域医療に貢献できるための総合診療能力を身につける。	1．医師のプロフェッショナリズムを身につけ、患者中心の医療を実践できる 2．医学知識とEBMに基づいた医療ができる 3．診療技能を身につけ適切な患者ケアができる 4．患者や家族とコミュニケーションが築ける 5．チーム医療ができる 6．安全で良質な医療が提供できる 7．地域医療が実践できる 8．リサーチマインドをもって医療ができる 9．生涯にわたって学ぶ姿勢を持つ

3．評価基準

実習初日に自分が目標とする医師像と個別の学修目標を設定し、提出していただきます。その後は実習日誌に実習内容を毎日記載してもらい、最後に達成度を自己評価してもらいます。

また、専門科ごとに担当教員が①出席率、②目標の難易度、③目標の達成度、④実習への参加態度をもとに、総合的に学生を評価します。医師以外のスタッフによる360度評価も実施します。逆に、学生によるJCHO滋賀病院の臨床実習の評価もしていただきます。

4．臨床実習のユニット内容

実習は原則として、内科系専門科（循環器内科、消化器内科、腎・糖尿病・代謝・内分泌内科）のうちの１つで行いますが、呼吸器内科、脳神経内科、総合内科・総合診療科、薬剤科などでの実習が追加されることもあります。以下に例を示します。

第 1～2 週（例）

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	8:20～9:00	会議室	自己紹介 症例検討	患者の外観を把握する 初期診療の方法を学ぶ	症例提示 討論	症例	25	出席	全員
	9:00～9:30	院長室	オリエンテーション	学外研修病院での心構えを学ぶ	説明	スライド	1	観察	来見、有村
	9:30～12:00	ルーム 1～3	コース 1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	媒体1～3	3	観察	
	13:00～16:00	ルーム 1～3	コース 1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	媒体1～3	3	観察	
火	8:20～8:50	会議室	症例検討	患者の外観を把握する 初期診療の方法を学ぶ	症例提示 討論	症例	25	出席	全員
	9:00～12:00	ルーム 1～3	コース 1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	媒体1～3	3	観察	
	13:00～16:00	ルーム 1～3	コース 1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	媒体1～3	3	観察	
水	8:20～8:50	会議室	症例検討	患者の外観を把握する 初期診療の方法を学ぶ	症例提示 討論	症例	25	出席	全員
	9:00～12:00	ルーム 1～3	コース 1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	媒体1～3	3	観察	
	13:00～16:00	ルーム 1～3	コース 1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	媒体1～3	3	観察	
木	8:20～8:50	会議室	症例検討	患者の外観を把握する 初期診療の方法を学ぶ	症例提示 討論	症例	25	出席	全員
	9:00～12:00	ルーム 1～3	コース 1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	媒体1～3	3	観察	
	13:00～16:00	ルーム 1～3	コース 1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	媒体1～3	3	観察	
金	8:20～8:50	会議室	症例検討	患者の外観を把握する 初期診療の方法を学ぶ	症例提示 討論	症例	25	出席	全員
	9:00～12:00	ルーム 1～3	コース 1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	媒体1～3	3	観察	
	13:00～15:30	ルーム 1～3	コース 1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	媒体1～3	3	観察	
	15:30～16:00	院長室	◆前半の評価	実習前半の自己評価と後半の抱負を述べる	討論	レポート	1	観察	来見、有村 中島、磯野

第 3~4 週（例）

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	8 :20～ 8 :50	会議室	症例検討	患者の外観を把握する 初期診療の方法を学ぶ	症例提示 討論	症例	25	出席	全員
	9 :00～ 12:00	ルーム 1 ～ 3	コース 1 ～ 3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	媒体 1 ～ 3	3	観察	
	13:00～ 16:00	ルーム 1 ～ 3	コース 1 ～ 3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	媒体 1 ～ 3	3	観察	
火	8 :20～ 8 :50	会議室	症例検討	患者の外観を把握する 初期診療の方法を学ぶ	症例提示 討論	症例	25	出席	全員
	9 :00～ 12:00	ルーム 1 ～ 3	コース 1 ～ 3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	媒体 1 ～ 3	3	観察	
	13:00～ 16:00	ルーム 1 ～ 3	コース 1 ～ 3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	媒体 1 ～ 3	3	観察	
水	8 :20～ 8 :50	会議室	症例検討	患者の外観を把握する 初期診療の方法を学ぶ	症例提示 討論	症例	25	出席	全員
	9 :00～ 12:00	ルーム 1 ～ 3	コース 1 ～ 3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	媒体 1 ～ 3	3	観察	
	13:00～ 16:00	ルーム 1 ～ 3	コース 1 ～ 3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	媒体 1 ～ 3	3	観察	
木	8 :20～ 8 :50	会議室	症例検討	患者の外観を把握する 初期診療の方法を学ぶ	症例提示 討論	症例	25	出席	全員
	9 :00～ 12:00	ルーム 1 ～ 3	コース 1 ～ 3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	媒体 1 ～ 3	3	観察	
	13:00～ 16:00	ルーム 1 ～ 3	コース 1 ～ 3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	媒体 1 ～ 3	3	観察	
金	8 :20～ 8 :50	会議室	症例検討	患者の外観を把握する 初期診療の方法を学ぶ	症例提示 討論	症例	25	出席	全員
	9 :00～ 12:00	ルーム 1 ～ 3	コース 1 ～ 3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	媒体 1 ～ 3	3	観察	
	13:00～ 15:30	ルーム 1 ～ 3	コース 1 ～ 3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	媒体 1 ～ 3	3	観察	
	15:30～ 16:00	院長室	◆後半の評価	実習後半の自己評価を述べる	討論	レポート	1	観察	来見、有村 中島、磯野

5 .集合場所・時間

（初　　日）　8 時20分　JCHO滋賀病院　健康管理センター 3 階 総務企画課前

（初日以外）　8 時20分　JCHO滋賀病院　健康管理センター 3 階 会議室

6 .学生へのメッセージ・注意事項等

※欠席の場合には、当日の午前９時00分までにJCHO滋賀病院総務企画課に連絡（077-537-3101）すること。

１）実習当日に主治医または指導医が学生を患者に紹介し、同意を得る。

２）指導体制について

　１．原則として患者に対してはStudent Doctorとして接する。

　２．可能な限り担当となった医師と行動を共にする。

３）医行為の内容について

　１.「基礎的項目」の医療行為については、実習期間内に遂行することが推奨される。

　２．熱心な学生に対しては、「上級項目」の医療行為の遂行を許可することもある。

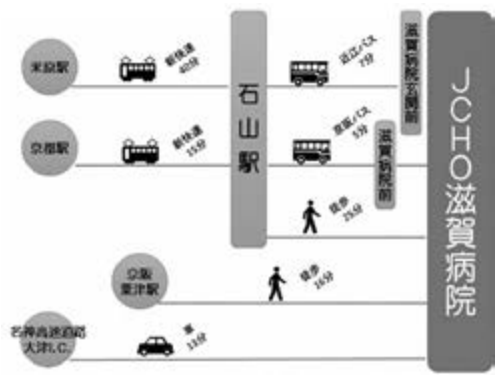
　３．医療行為の施行には指導医が厳重に指導監察する。

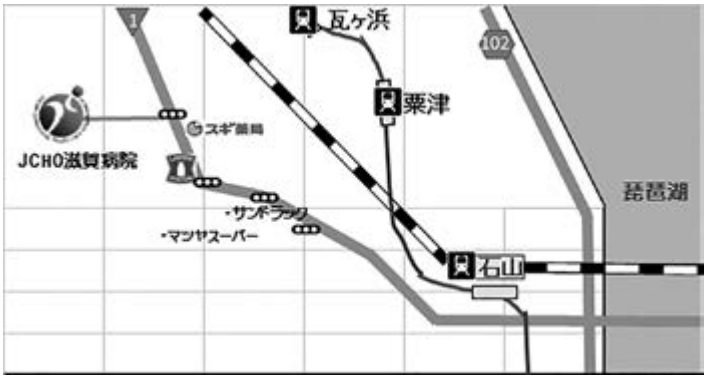
４）研修の時間帯

　原則として８時20分から16時00分までとするが、本人の希望により延長は可能。

※通学の際は、公共交通機関を利用すること。

所在地　〒520-0846　大津市富士見台16-１





地方独立行政法人 公立甲賀病院

1．担当教員

●滋賀医科大学教育研究 活動拠点

外部理事	辻川　知之	公立甲賀病院　（院長）	消化器内科
非常勤講師	渡辺　一良	副院長	脳神経外科
	南部　卓三	副院長	消化器内科
	小河　秀郎	副院長	脳神経内科
	山本　　孝	副院長補佐	循環器内科
	岡林　旅人	救急医療部長	循環器内科
	道家　智博	循環器内科主任部長	循環器内科
	髙山　智行	循環器内科部長	循環器内科
	八木　勇紀	消化器内科部長	消化器内科
	渋谷　和之	腎臓内科部長	腎臓内科
	武内　美紀	血液内科部長	血液内科
	大村　　寧	糖尿病・内分泌内科部長	糖尿病・内分泌内科
	大井　二郎	脳神経内科部長	脳神経内科
	岡垣　哲弥	緩和ケア内科部長	緩和ケア内科
	福永健太郎	呼吸器内科部長	呼吸器内科
	池田　房夫	副院長補佐	外科
	中右　雅之	消化器外科部長	外科
	藤田　琢也	呼吸器外科部長	呼吸器外科
	森　　毅	乳腺外科部長	乳腺外科
	藤田美奈子	リハビリテーション科部長	リハビリテーション科
	西原　秀紀	整形外科主任部長	整形外科
	嶋　　靖子	整形外科部長	整形外科
	伊藤　隆司	整形外科部長	整形外科
	上中　一泰	整形外科部長	整形外科
	今井　秀一	麻酔科主任部長	麻酔科
	廣瀬　俊郎	麻酔科部長	麻酔科
	金　　哲將	泌尿器科部長	泌尿器科
	小林　　昌	産婦人科部長	産婦人科
	中多　祐介	耳鼻いんこう科医長	耳鼻いんこう科
	山﨑　道夫	放射線診断部長	放射線科
	邵　　啓全	放射線科治療部長	放射線科
	井本　勝治	放射線科部長	放射線科
	金子智亜紀	健診部長	健診センター

2. ねらいと学修目標

ねらい	学修目標
甲賀･湖南保健医療圏内での基幹病院で実習することにより、地域医療の重要性を理解し、地域医療を担うために必要な診療能力を身に着けるべく、患者のもつ問題点を的確に抽出し、初期診療を中心とした診断治療手順を習得するとともに、急性期から慢性期・終末期・在宅医療から介護に至る地域医療の一連の流れを理解する。	1．学生として病院内での振る舞い、かつ医療人として患者や家族への接し方を身に着ける 2．指導医へ自ら質問を行い能動的に学ぶ能力を身に着ける 3．問診から診察により問題点を抽出できる 4．必要な検査を想起できる 5．地域医療の特徴と課題を述べることができる

3. 評価基準

各自に毎日１名の担当教員が交代でつき、①出席率、②実習の能動的参加態度、③目標の達成度、をもとに、総合的に学生を評価します。

4 .臨床実習のユニット内容

実習は原則として、個人単位で行います。別紙のコース表に従って実習担当者が変わりますので、ご注意ください。

内科 A、内科 B、内科 C 共通

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
初日	8:30～10:00	院長室 医局	オリエンテーション	自己紹介や院内手続き	説明	資料	2	なし	辻　川 総務課
最終日	15:00～16:00	院長室	実習総括	公立甲賀病院の臨床実習総括	討論	評価表と レポート	1	出席	辻　川 副院長

内科 A の循環器（1 － 2 週）以外、内科 B、内科 C 共通

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
毎朝	8:30～9:00	医局	症例検討	前日の救急患者で臨床推論と議論を行う	症例提示	症例	1	観察	辻　川 岡　林

内科 A

第 1 週（主に循環器内科）

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	10:00～12:00	循環器内科病棟	コース別実習	循環器医療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	症例	3	観察	循環器内科担当医
	13:00～16:00	放射線科透視室	コース別実習	気管支鏡の医療の実践を学ぶ	診療参加	症例	3	観察	呼吸器内科担当医
	17:30～18:00	外来		循環器疾患患者の診断と治療についてのディスカッションに参加する	自由参加	症例	5	観察 参加	循環器内科担当医
火	8 :30～9 :00	集中治療室	症例検討	集中治療を要する患者の診断と治療についてのディスカッションに参加する	症例提示討論	症例	6	出席	集中治療担当医
	9 :00～10:00	循環器内科病棟	コース別実習	循環器医療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	症例	3	観察	循環器内科担当医
	10:00～11:00	CT室		心臓CTの実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	症例	1	観察	循環器内科担当医
	13:00～15:00	循環器内科病棟	コース別実習	循環器医療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	症例	3	観察	循環器内科担当医
	15:00～16:00	循環器内科病棟 CR	心不全カンファレンス	心不全のチーム医療のディスカッションに参加する			5	観察	心不全チーム
水	8 :30～9 :00	集中治療室	症例検討	集中治療を要する患者の診断と治療についてのディスカッションに参加する	症例提示討論	症例	6	出席	集中治療担当医
	9 :00～12:00	循環器内科病棟	コース別実習	循環器医療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	症例	3	観察	循環器内科担当医
	13:00～16:00	循環器内科病棟	コース別実習	循環器医療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	症例	3	観察	循環器内科担当医
	17:30～18:00	会議室 1	内科カンファレンス 症例検討	内科症例の診断と治療についてのディスカッションに参加する	症例提示討論	症例	20	観察 自由参加	内科医
木	8 :30～9 :00	集中治療室	症例検討	集中治療を要する患者の診断と治療についてのディスカッションに参加する	症例提示討論	症例	6	出席	集中治療担当医
	9 :00～12:00	心カテ室	コース別実習	心臓カテーテル検査の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	症例	3	観察	循環器内科担当医
	13:00～16:00	心カテ室	コース別実習	心臓カテーテル検査の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	症例	3	観察	循環器内科担当医
金	8 :30～9 :00	集中治療室	症例検討	集中治療を要する患者の診断と治療についてのディスカッションに参加する	症例提示討論	症例	6	出席	集中治療担当医
	9 :00～12:00	循環器内科病棟	コース別実習	循環器医療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	症例	3	観察	循環器内科担当医
	13:00～16:00	循環器内科病棟	コース別実習	循環器医療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	症例	3	観察	循環器内科担当医
	17:00～17:30	研修医室	前半の評価	実習前半の自己評価と後半の抱負を述べる	討論	レポート	1	観察	循環器内科担当医

第 2 週（主に循環器内科）

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	8 :30～9 :00	集中治療室	症例検討	集中治療を要する患者の診断と治療についてのディスカッションに参加する	症例提示討論	症例	6	出席	集中治療担当医
	9 :00～10:00	会議室 2	BLS/ACLA レクチャー	心肺蘇生の基本を学ぶ	実地	モデル人形	1	観察	救急部長
	10:00～12:00	循環器内科病棟	コース別実習	循環器医療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	症例	1	観察	循環器内科担当医
	13:00～16:00	放射線科透視室	コース別実習	気管支鏡の医療の実践を学ぶ	診療参加	症例	3	観察	呼吸器内科担当医
	17:30～18:00	外来		循環器疾患患者の診断と治療についてのディスカッションに参加する	自由参加	症例	3 5	観察 自由参加	循環器内科担当医

火	8:30～9:00	集中治療室	症例検討	集中治療を要する患者の診断と治療についてのディスカッションに参加する	症例提示討論	症例	6	出席	集中治療担当医
	9:00～10:00	循環器内科病棟	コース別実習	循環器医療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	症例	3	観察	循環器内科担当医
	10:00～11:00	CT室		心臓CTの実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	症例	1	観察	循環器内科担当医
	13:00～15:00	循環器内科病棟	コース別実習	循環器医療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	症例	3	観察	循環器内科担当医
	15:00～16:00	循環器内科病棟CR	心不全カンファレンス	心不全のチーム医療のディスカッションに参加する			5	観察	心不全チーム
水	8:30～9:00	集中治療室	症例検討	集中治療を要する患者の診断と治療についてのディスカッションに参加する	症例提示討論	症例	6	出席	集中治療担当医
	9:00～12:00	循環器内科病棟	コース別実習	循環器医療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	症例	3	観察	循環器内科担当医
	13:00～16:30	循環器内科病棟	コース別実習	循環器医療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	症例	3	観察	循環器内科担当医
	16:30～17:45	研修室１	循環器症例検討と後半の評価	担当患者症例のプレゼンテーションとディスカッションを学ぶ	症例提示討論	症例	1	観察	循環器内科担当医
木	8:30～9:00	集中治療室	症例検討	集中治療を要する患者の診断と治療についてのディスカッションに参加する	症例提示討論	症例	6	出席	集中治療担当医
	9:00～12:00	心カテ室	コース別実習	心臓カテーテル検査の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	症例	3	観察	循環器内科担当医
	13:00～17:00	心カテ室	コース別実習	心臓カテーテル検査の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	症例	3	観察	循環器内科担当医
金	8:30～9:00	集中治療室	症例検討	集中治療を要する患者の診断と治療についてのディスカッションに参加する	症例提示討論	症例	6	出席	集中治療担当医
	9:00～12:00	薬剤部	コース別実習	薬剤部の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加		1	観察	担当医薬剤師
	13:00～16:00	薬剤部	コース別実習	薬剤部の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	症例	1	観察	担当医薬剤師

★研修期間中に1回は緩和ケアラウンド、訪問診療に参加する。

第３週（主に呼吸器内科）

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	9:00～12:00	医局 病棟	オリエンテーションおよび臨床実習	臨床実習の予定や担当症例の振り分け。地域医療の実践を見学し、部分的に参加する	出席 参加	説明 症例	1	出席	担当教員
	13:30～16:00	内視鏡検査室	気管支鏡検査	検査を見学し、検査の方法、必要性について理解する	参加	症例	4	出席	担当教員
火	9:00～12:00	病棟 or 救外	臨床実習	地域医療の実践を見学し、部分的に参加する	参加	症例	4	出席	担当教員
	13:00～14:00	医局	ミニレクチャー	専門的な知識を身につける	出席	講義	1	出席	担当教員
	14:00 ~16:00	病棟 or 救外	臨床実習	地域医療の実践を見学し、部分的に参加する	参加	症例	1	出席	担当教員
水	9:00～12:00	医局	臨床実習	各コースにおける医療の実践に参加する	参加	症例	4	出席	担当教員
	13:00～14:00	医局	ミニレクチャー	専門的な知識を身につける	出席	講義	1	出席	担当教員
	14:00 ~14:30	ICU	呼吸器ケアラウンド	多職種カンファレンスに参加し、人工呼吸管理の症例を見学する	参加	症例	1	出席	担当教員
	14:30 ~15:30	外来C６	呼吸内科カンファレンス	入院症例の診断および治療について、ディスカッションに参加する	参加	症例	1	出席	担当教員
木	9:00～12:00	病棟 or 救外	臨床実習	地域医療の実践を見学し、部分的に参加する	参加	症例	4	出席	担当教員
	13:00～14:00		ミニレクチャー	専門的な知識を身につける	出席	講義	1	出席	担当教員

金	9 :00～ 12:00	医局 病棟	臨床実習	地域医療の実践を見学し、部分的に参加する	参加	症例	4	出席	担当教員
	13:30～ 15:30	内視鏡検査室	気管支鏡検査	検査を見学し、検査の方法、必要性について理解する	参加	症例	4	出席	担当教員
	16:00～ 17:00 （月2回）	放射線科読影室	３科合同カンファレンス	気管支鏡又は術後症例の診断および病理所見について、ディスカッションに参加する	参加 討論	電子カルテ 症例	4	出席	担当教員

第４週（主に呼吸器内科）

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	9 :00～ 12:00	病棟 or救外	臨床実習	臨床実習の予定や担当症例の振り分け。地域医療の実践を見学し、部分的に参加する	出席 参加	説明 症例	1	出席	担当教員
	13:30～ 16:00	内視鏡検査室	気管支鏡検査	検査を見学し、検査の方法、必要性について理解する	参加	症例	4	出席	担当教員
火	9 :00～ 12:00	病棟 or 救外	臨床実習	地域医療の実践を見学し、部分的に参加する	参加	症例	4	出席	担当教員
	13:00～ 14:00	医局	ミニレクチャー	専門的な知識を身につける	出席	講義	1	出席	担当教員
	14:00～ 16:00	病棟 or 救外	臨床実習	地域医療の実践を見学し、部分的に参加する	出席	症例	1	出席	担当教員
水	9 :00～ 12:00	医局	臨床実習	各コースにおける医療の実践に参加する	参加	症例	4	出席	担当教員
	13:00～ 14:00	医局	ミニレクチャー	専門的な知識を身につける	出席	講義	1	出席	担当教員
	14:00～ 14:30	ICU	呼吸器ケアラウンド	多職種カンファレンスに参加し、人工呼吸管理の症例を見学する	参加	症例	1	出席	担当教員
	14:30～ 15:30	外来C６	呼吸内科カンファレンス	入院症例の診断および治療について、ディスカッションに参加する	参加	症例	1	出席	担当教員
木	9 :00～ 12:00	病棟 or 救外	臨床実習	地域医療の実践を見学し、部分的に参加する	参加	症例	4	出席	担当教員
	13:00～ 14:00		ミニレクチャー	専門的な知識を身につける	出席	講義	1	出席	担当教員
金	9 :00～ 12:00	薬剤部	臨床実習	地域医療の実践を見学し、部分的に参加する	参加	症例	1	出席	担当教員
	13:00～ 15：30	薬剤部	臨床実習	地域医療の実践を見学し、部分的に参加する	参加	症例	1	出席	担当教員
	16:00～	院長室	臨床実習総括	当院での臨床実習について感想を述べる	出席		1	出席	院長

◆期間中に１回は緩和ケアラウンドや訪問診療に参加する。

内科B（主に消化器内科、血液内科）

第１週

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	10:00～ 12:00	消化器内科病棟	病棟実習	消化器医療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	入院患者	8	観察	全員
	13:00～ 16:00	消化器内科病棟	病棟実習	消化器医療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	入院患者	8	観察	全員
火	9 :00～ 12:00	内視鏡室	コース別実習	消化器内視鏡診療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	外来および入院患者	8	観察	全員
	13:00～ 16:00	内視鏡室	コース別実習	消化器内視鏡診療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	外来および入院患者	8	観察	全員
水	9 :00～ 12:00	外来	コース別実習	消化器内科外来診療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	外来患者	8	観察	全員
	13:00～ 16:00	血液内科病棟	病棟実習	血液内科医療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	入院患者	1	観察	全員

木	9 :00～12:00	内視鏡室	コース別実習	消化器内視鏡診療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	外来および入院患者	8	観察	全員
	13:00～16:00	内視鏡室	コース別実習	消化器内視鏡診療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	外来および入院患者	8	観察	全員
金	9 :00～12:00	救急外来	コース別実習	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	救急患者	8	観察	全員
	13:00～15:30	消化器内科病棟	コース別実習	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	入院患者	8	観察	全員
	15:30～16:00	内視鏡室	１週間の評価	実習１週間の自己評価と今後の抱負を述べる	討論	レポート	1	出席	副院長

第２,３週

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	9 :00～12:00	消化器内科病棟	病棟実習	消化器医療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	入院患者	8	観察	全員
	13:00～16:00	消化器内科病棟	病棟実習	消化器医療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	入院患者	8	観察	全員
火	9 :00～12:00	内視鏡室	コース別実習	消化器内視鏡診療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	外来および入院患者	8	観察	全員
	13:00～16:00	内視鏡室	コース別実習	消化器内視鏡診療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	外来および入院患者	8	観察	全員
水	9 :00～12:00	外来	コース別実習	消化器内科外来診療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	外来患者	8	観察	全員
	13:00～16:00	血液内科病棟	病棟実習	血液内科医療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	入院患者	1	観察	全員
木	9 :00～12:00	内視鏡室	コース別実習	消化器内視鏡診療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	外来および入院患者	8	観察	全員
	13:00～16:00	内視鏡室	コース別実習	消化器内視鏡診療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	外来および入院患者	8	観察	全員
金	9 :00～12:00	救急外来	コース別実習	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	救急患者	8	観察	全員
	13:00～15:30	消化器内科病棟	コース別実習	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	入院患者	8	観察	全員
	15:30～16:00	内視鏡室	１週間の評価	実習１週間の自己評価と今後の抱負を述べる	討論	レポート	1	出席	副院長

第4週

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	9 :00～12:00	消化器内科病棟	病棟実習	消化器医療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	入院患者	8	観察	全員
	13:00～16:00	消化器内科病棟	病棟実習	消化器医療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	入院患者	8	観察	全員
火	9 :00～12:00	内視鏡室	コース別実習	消化器内視鏡診療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	外来および入院患者	8	観察	全員
	13:00～16:00	内視鏡室	コース別実習	消化器内視鏡診療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	外来および入院患者	8	観察	全員
水	9 :00～12:00	外来	コース別実習	消化器内科外来診療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	外来患者	8	観察	全員
	13:00～16:00	血液内科病棟	病棟実習	血液内科医療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	入院患者	1	観察	全員
木	9 :00～12:00	内視鏡室	コース別実習	消化器内視鏡診療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	外来および入院患者	8	観察	全員
	13:00～16:00	内視鏡室	コース別実習	消化器内視鏡診療の実践を見学し、部分的に参加する	診療参加	外来および入院患者	8	観察	全員

金	9 :00～12:00	救急外来	コース別実習	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	救急患者	8	観察	全員
	13:00～15:00	消化器内科病棟	コース別実習	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	入院患者	8	観察	全員

★研修期間中に可能な場合１回はNST回診・褥瘡回診に参加する。

内科C

第1週（主に腎臓内科）

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	10:00～12:00	人工透析部	透析外来実習	透析医療の実践を見学し診察する	診療参加	外来患者	1	観察	渋谷
	13:00～16:00		検査結果検討	検査結果を検討し議論する		症例データ	4	観察	全員
火	9 :00～12:00	人工透析部	透析外来実習	透析医療の実践を見学し診察する	診療参加	外来患者	1	観察	佐々木
	13:00～16:00		検査結果検討	検査結果を検討し議論する	診療参加	症例データ	4	観察	全員
水	9 :00～12:00	人工透析部	透析外来実習	透析医療の実践を見学し診察する	診療参加	外来患者	1	観察	高木
	13:00～16:00		検査結果検討	検査結果を検討し議論する	診療参加	症例データ	4	観察	全員
木	9 :00～10:30	人工透析部	透析外来実習	透析医療の実践を見学し診察する	診療参加	外来患者	1	観察	全員
	10:30～11:00		腹膜透析外来実習	腹膜透析の実践を見学する	診療参加	外来患者	4	観察	全員
	11:00～12:30	外来Ｂ６	腎臓外来	紹介外来患者の問診や診察を見学し一部参加する	診療参加	外来患者	4	観察	全員
	14:00～15:00	人工透析部	透析外来	透析医療の見学および診察	診療参加	外来患者	4	観察	全員
	15:00～16:00	放射線科	腎生検	腎生検見学	見学	入院患者	4	観察	全員
金	9 :00～12:00	人工透析部または救急外来	透析外来実習	透析医療の実践を見学し診察する	診療参加	外来患者	1	観察	大張
			救急外来実習	救急医療を見学し、一部参加する	診療参加	救急患者	1	観察	大張
	13:00～15:30	手術室または放射線科	内シャント造設術または血管造影	透析に必要なシャント造設などを見学する	見学	入院患者	1	観察	佐々木
	15:30～16:00	医局	実習評価	１週間の評価	討論	レポート	1	出席	指導医

第2週（主に腎臓内科）

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	9 :00～12:00	人工透析部	透析外来実習	透析医療の実践を見学し診察する	診療参加	外来患者	1	観察	渋谷
	13:00～15:00		担当症例診察	担当症例を診察し記録する	診療参加	外来患者	4	観察	全員
	15:00～16:00		レポート作成	レポート作成する	自習	レポート	1	出席	渋谷
火	9 :00～12:00	人工透析部	透析外来実習	透析医療の実践を見学し診察する	診療参加	外来患者	1	観察	佐々木
	13:00～15:00		担当症例診察	担当症例を診察し記録する	診療参加	外来患者	4	観察	全員
	15:00～16:00		レポート作成	レポート作成する	自習	レポート	1	出席	渋谷

水	9:00～12:00	人工透析部	透析外来実習	透析医療の実践を見学し診察する	診療参加	外来患者	1	観察	高木
	13:00～15:00		担当症例診察	担当症例を診察し記録する	診療参加	外来患者	4	観察	全員
	15:00～16:00		レポート作成	レポート作成する	自習	レポート	1	出席	渋谷
木	9:00～10:30	人工透析部	透析外来実習	透析医療の実践を見学し診察する	診療参加	外来患者	1	観察	全員
	10:30～11:00		腹膜透析外来実習	腹膜透析の実践を見学する	診療参加	外来患者	4	観察	全員
	11:00～12:30	外来B６	腎臓外来	紹介外来患者の問診や診察を見学し一部参加する	診療参加	外来患者	4	観察	全員
	14:00～15:00	人工透析部	透析外来	透析医療の見学および診察	診療参加	外来患者	4	観察	全員
	15:00～16:00	放射線科	腎生検	腎生検見学	見学	入院患者	4	観察	全員
金	9:00～12:00	人工透析部または救急外来	透析外来実習	透析医療の実践を見学し診察する	診療参加	外来患者	1	観察	大張
			救急外来実習	救急医療を見学し、一部参加する	診療参加	救急患者	1	観察	大張
	13:00～15:30	手術室または放射線科	内シャント造設術または血管造影	透析に必要なシャント造設などを見学する	見学	入院患者	1	観察	佐々木
	15:30～16:00	医局	実習評価	１週間の評価	討論	レポート	1	出席	指導医

第3週（主に糖尿病・内分泌、脳神経内科）

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	9:00～12:00	外来	外来実習	糖尿病・内分泌内科外来 診察、問診、検査法などを学ぶ	診療参加	外来患者	1	行動観察	大村
	14:00～15:00	外来	オリエンテーション	２週間の実習内容の説明	説明	スケジュール表	1	出席	大村
	15:00～16:00	４階西病棟	入退院カンファレンス	担当症例の決定、診療計画を立てる	発表・討論	カルテ	4	出席	全員
火	9:00～10:00	４階西病棟	脳神経内科カンファレンス・回診	脳神経内科入院症例の診断および治療について学ぶ	見学・討論	入院患者	3	出席	小河　他
	10:45～11:30		認知症ラウンド	認知症のチーム治療・ケアについて学ぶ	見学・討論	入院患者	1	出席	小河
	13:00～14:00		病棟実習	担当主治医とともに入院患者の診察・検査結果の評価・処置など	診療参加	入院患者	1	行動観察	担当医
	14:00～15:00		糖尿病教室	糖尿病総論　講義	講義	テキスト	1	出席	担当医
	15:00～16:00		糖尿病教室	糖尿病の食事療法　講義（総論）	講義	テキスト	1	出席	管理栄養士
水	9:00～12:00	４階西病棟	病棟実習（症例あればボトックス外来）	担当主治医とともに入院患者の診察・検査結果の評価・処置など	診療参加	入院患者	1	行動観察	担当医
	13:30～14:30		糖尿病教室	フットケア　講義	講義	テキスト	1	出席	看護師
	15:00～16:00		糖尿病教室	糖尿病の運動療法　講義	講義	テキスト	1	出席	理学療法士
	時間未定		糖尿病教室（実践）	栄養個別指導を見学し、理解する	診療参加	入院患者	1	行動観察	管理栄養士
木	9:00～10:00	４階西病棟	脳神経内科カンファレンス・回診	脳神経内科入院症例の診断および治療について学ぶ	見学・討論	入院患者	3	出席	小河　他
	10:00～10:30		糖尿病教室	糖尿病性神経障害　講義	講義	テキスト	1	出席	小河

	13:30～14:00		糖尿病教室	糖尿病と骨粗鬆症　講義	講義	入院患者	1	出席	担当医
	14:00～15:00		糖尿病教室（実践）	担当症例のフットケアを見学し、知識・手技を取得する	実習	入院患者	1	出席	看護師
	15:00～16:00		病棟実習	担当主治医とともに入院患者の診察・検査結果の評価・処置など	診療参加	入院患者	1	行動観察	担当医
金	9:00～12:00	4階西病棟	病棟実習	担当主治医とともに入院患者の診察・検査結果の評価・処置など	診療参加	入院患者	1	行動観察	担当医
	14:00～15:00		糖尿病教室	糖尿病の薬物療法　講義	講義	テキスト	1	出席	薬剤師
	15:00～15:30		糖尿病教室（実践）	インスリン注射・SMBG・FGMの知識・手技を習得する	実習	実習用器具	1	出席	薬剤師
	15:30～16:00	医局	１週間の評価	この１週間の自己評価と、次週の抱負を述べる	討論	レポート・評価表	1	出席	指導医

第4週（主に糖尿病・内分泌、脳神経内科）

曜日	時　　間	室　　名	ユニット	目　　的	方　法	教育媒体	教員人数	評価法	教員名
月	9:00～12:00	4階西病棟	病棟実習	担当主治医とともに入院患者の診察・検査結果の評価・処置など	診療参加	入院患者	1	行動観察	担当医
	14:00～15:00		糖尿病教室	糖尿病網膜症・腎症　講義	講義	テキスト	1	出席	担当医
	15:00～16:00		糖尿病チームカンファレンス・回診	担当症例についてプレゼンテーション	発表・討論	入院患者カルテ	4	出席	全員
火	9:00～10:00	4階西病棟	脳神経内科カンファレンス・回診	脳神経内科入院症例の診断および治療について学ぶ	見学・討論	入院患者	3	出席	小河　他
	10:45～11:30		認知症ラウンド	認知症のチーム治療・ケアについて学ぶ	見学・討論	入院患者	1	出席	小河
	13:00～13:30	4階リハビリ室	糖尿病教室（実践）	糖尿病運動療法の指導法を学ぶ（動きやすい服装・靴で参加）	実習	入院患者	1	出席	理学療法士
	14:00～15:00	4階西病棟	糖尿病教室	嗜好品・外食について　講義	講義	テキスト	1	出席	管理栄養士
	15:00～16:00		病棟実習	担当主治医とともに入院患者の診察・検査結果の評価・処置など	診療参加	入院患者	1	行動観察	担当医
水	9:00～12:00	4階西病棟	病棟実習（症例あればボトックス外来）	担当主治医とともに入院患者の診察・検査結果の評価・処置など	診療参加	入院患者	1	行動観察	担当医
	14:00～15:00		糖尿病教室	糖尿病と歯周病　講義	講義	テキスト	1	出席	歯科医師
	15:00～16:00		糖尿病教室	糖尿病患者の災害時対策　講義	講義	テキスト	1	出席	看護師
	時間未定		糖尿病教室（実践）	栄養個別指導を見学し、理解する	診療参加	入院患者	1	出席	管理栄養士
木	9:00～12:00	外来	外来実習	糖尿病透析予防外来 診察、問診、検査法などを学ぶ	診療参加	外来患者	3	行動観察	担当医他
	14:00～15:00	検査部	検査部実習	生理検査（頸部超音波検査など） 見学し、知識・手技を習得する	実習	入院・外来患者	1	出席	臨床検査技師
	15:00～16:00	4階西病棟	病棟実習	カルテ回診・レポート作成	討論	カルテレポート	1	出席	大村
金	9:30～11:30	4階西	ミニレクチャー	内分泌疾患講義（当院の実際の症例から学ぶ）	講義	カルテ・スライド	1	出席	担当医
	14:00～15:00	病棟	実習のまとめ	担当患者のレポート発表、質疑応答	発表	レポート	1	出席	大村

★研修期間中、NST回診（水曜または木曜午後）に１回以上参加する（日時は実習初日に説明）。
☆糖尿病・内分泌疾患の救急症例、負荷試験、副腎静脈サンプリングなどがある場合は、その見学を優先する。

５.集合場所・時間

公立甲賀病院での実習期間中は学生一人につき、原則家賃負担なしで賃貸アパートの一部屋（寝具や調理器具など日常生活必需品あり、また各自が異なるアパート）を使用してもらいます。

（初日）　８時00分　JR貴生川駅北出口へ集合（病院の公用車またはタクシーで迎え）
　　直接病院へ集合する場合は時８時20分　病院正面玄関へ集合

（初日以外）　８時20分　病院３階医局内の学生スペース（各自のロッカーと机あり）集合
　　最終日の朝はアパートの私物すべてと鍵を持参して集合

６.学生へのメッセージ・注意事項等

※欠席の場合には、当日の午前８時20分までに病院事務、または辻川院長に連絡（代表0478-62-0234）すること。

※体調不良時や忌引き等の休みについては大学病院での実習中と同様の対応とします。

１）実習当日に主治医または指導医が学生を患者に紹介し、同意を得る。

２）指導体制について

　１．原則として患者に対してはStudent Doctorとして接する。

　２．可能な限り担当となった医師と行動を共にする。

３）医行為の内容について

　１.「基礎的項目」の医療行為については、実習期間内に遂行することが推奨される。

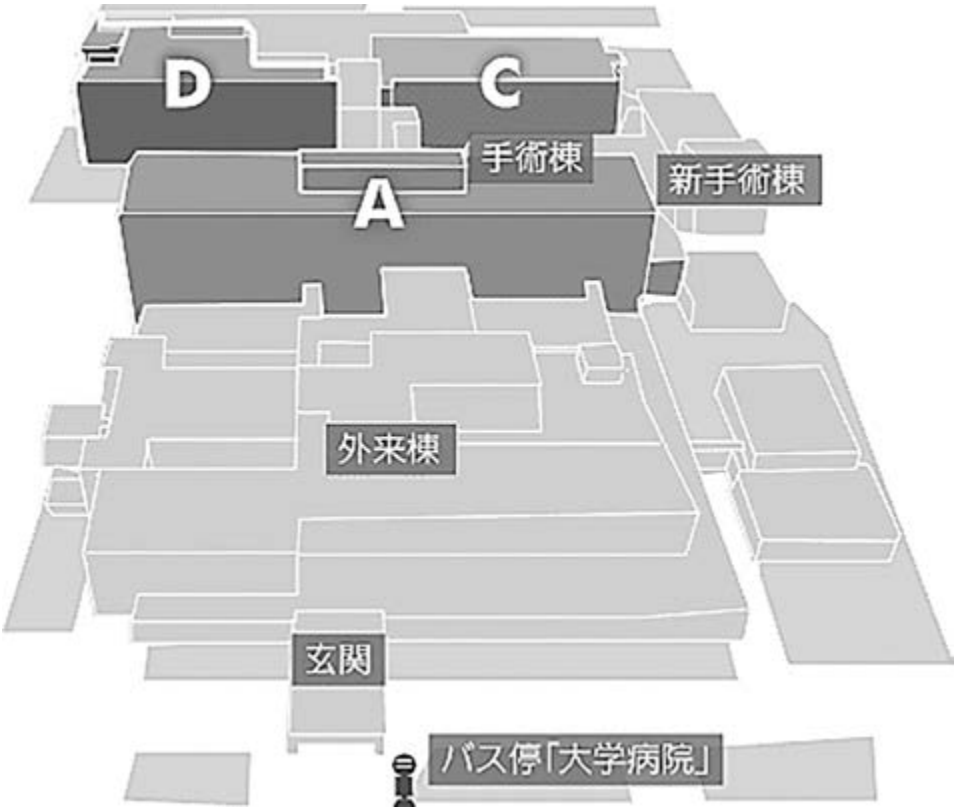
　２．熱心な学生に対しては、「上級項目」の医療行為の遂行を許可することもある。

　３．医療行為の施行には指導医が厳重に指導監察する。

４）研修の時間帯

　原則として８時30分から16時00分までとするが、本人の希望により延長は可能。

滋賀医科大学医学部附属病院建物配置図



	A病棟	C病棟	D病棟
6F	母子診療科、女性診療科、MFICU	糖尿病内分泌内科、腎臓内科、脳神経内科、放射線科	展望レストラン、屋上庭園
5F	小児科、NICU、GCU	皮膚科、 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	脳神経外科、眼科、 脳神経内科、SCU
4F	光学医療診療部（内視鏡検査室）、腫瘍センター（化学療法室）	消化器内科、血液内科	消化器外科、乳腺・小児・一般外科、消化器内科、歯科口腔外科、形成外科
3F	ICU・CCU	呼吸器内科、呼吸器外科、心臓血管外科、脳神経外科	循環器内科、心臓血管外科
2F		整形外科、歯科口腔外科、救急科、総合診療部 初期診療科、消化器内科	整形外科、泌尿器科、ペインクリニック科
1F		精神科	

臨床実習Ⅱ部
附属病院等の各科実習要綱
（見学型実習の場合）

新型コロナウイルス感染拡大に伴う見学型実習への移行等について

新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、一時的に附属病院への立入が禁止されたり、診療参加型臨床実習が行えず代替措置として見学型実習を実施したりする可能性があります。診療参加型臨床実習が行えなくなった場合、臨床実習のカリキュラムを本項に示す見学型実習用カリキュラムに読み替えて実習を実施します。

なお、診療参加型臨床実習・見学型実習のいずれの場合にも、以下に示す方法により各自で体調管理を行うとともに、３密の回避や大人数での飲食を伴う会合の自粛など、世間の情勢にあった行動を取るよう心掛けてください。

また、学生生活上の行動規範や臨床実習の形態については、最新の「新型コロナウイルス感染拡大に係る注意喚起」に基づいて判断してください。

●臨床実習参加に際する体調管理について

臨床実習の参加に際しては、以下のとおり取扱うこととする。

１）毎朝実習開始時刻の20分前までに「体温チェックシステム」から体温等を入力。

※地域医療教育研究拠点での実習については、「臨床実習期間における体温・諸症状等の自己管理チェックリスト」（別紙参照）を用いて記録を行い、実習初日及び実習期間中に指導教員へ「チェックリスト」を提示すること。

２）各診療科は、「体温チェックシステム」に入力された体温データ又は紙の「チェックリスト」を確認のうえ、病院内での実習を開始する。

※「体温チェックシステム」から自宅待機を要請された際や、チェックリスト提示時に健康状態に問題があるとみなされた場合は、自宅学習となる場合等がありますので、指導教員の指示に従ってください。

３）学生が再三の指導にもかかわらず体温入力を怠る場合は、当該学生の臨床実習への参加を認めないことがあり得る。

《参考》

厚生労働省 HP
新型コロナウイルス感染症について

滋賀県 HP
健康・医療・福祉

臨床実習期間における体温・諸症状等の自己管理チェックリスト

臨床実習に際しての申告（本紙を記入する初日に必ず記入していください。）

※　以下の該当する項目に☑を記入していください。4つすべてに☑がなければ実習に参加できません。
- □　過去２週間以内に新型コロナウイルス感染の濃厚接触者になっていない。
- □　現在、感冒様症状等、感染を疑う症状を認めない。
- □　過去２日以内に発熱（37.5℃以上）を認めていない。
- □　「新型コロナウイルス感染拡大に係る注意喚起」の最新版に規定されている内容を熟読・理解し、２週間前から遵守している。（https://www.shiga-med.ac.jp/corona20200410　参照）

※ 以下の表は毎日（休日も含む）記入してください。

※ 症状等に該当するものがあれば“○”を、なければ″ー”を記入してください。

※ 以下のいずれかの場合は通学せず、学生課に連絡してください（077ー548ー2068、hggaku@belle.shiga-med.ac.jp）。
- ・体温が37.5℃以上のとき
- ・新たに嗅覚・味覚異常がある場合
- ・「食事会や外食への参加」に加えて発熱あるいは嗅覚・味覚異常以外の何かの症状があるとき

※ 本紙は、実習前に必ず指導教員に提出し、確認のチェックを受けてください。

※ 本紙は各自で専用ファイル（配布します）に臨床実習終了時まで保管し、提出を求められた場合は、速やかに提出してください。

※ 新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）（厚生労働省）をダウンロードして、活用してください。（https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html　参照）

学籍番号：

学年：

氏名：

日　付	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
曜　日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
体　温														
嗅覚異常														
味覚異常														
咳														
呼吸苦														
倦怠感														
鼻汁・鼻閉														
咽頭痛														
嘔気・嘔吐														
下痢														
頭痛														
その他の症状（腹痛など）														
通学以外に移動した他府県（移動地域を記入、大阪・京都など）														
食事会や外食への参加														
その他（気になること等）														
指導教員の確認（附属病院での実習の際には必ず確認を受けること）														

循環器内科・呼吸器内科

評価基準

変更なし

集合場所・時間

【循環器内科】午前７時50分　大学２階西側エレベーターホール前に集合
（COVID-19規制解除になるまで）
【呼吸器内科】８時25分　臨床研究棟１階東側（病院側）エレベーターホール前に集合
（薬剤部実習の際は、薬剤部外来窓口横の「お薬相談室」に集合）

臨床実習のユニット内容（見学型実習用）

第１週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	８時00分	３Ｄ病棟カンファレンス室	Morning Report	新患紹介・症例紹介	対面	中川・八木
	９時00分	教授室もしくは面談室	講義	レクチャー	対面	中川
	10時00分	カテ室	カテ室見学	手技見学	対面	肥後・澤山
	13時00分	３Ｄ病棟カンファレンス室	実習	実習オリエンテーション	対面	加藤
	14時00分	３Ｄ病棟カンファレンス室	講義	心臓エコー	対面	林
火	８時00分	３Ｄ病棟カンファレンス室	Morning Report	新患紹介・入院症例カルテ回診	対面	中川・小澤・八木
	10時00分	教授室もしくは面談室	講義	レクチャー	対面	中川
	11時00分	３Ｄ病棟カンファレンス室	実習	担当患者紹介	対面	八木
	13時00分	３Ｄ病棟カンファレンス室	講義	COVID-19について	対面	酒井
水	８時00分	３Ｄ病棟カンファレンス室	Morning Report	新患紹介・症例紹介	対面	中川・八木
	９時00分	教授室もしくは面談室	講義	レクチャー	対面	中川
	10時00分	カテ室	カテ室見学	TAVI見学・カテーテル治療手技見学	対面	酒井・加藤
	13時00分	３Ｄ病棟カンファレンス室	講義	心カテ全般	対面	福山
木	８時00分	３Ｄ病棟カンファレンス室	Morning Report	新患紹介・症例紹介	対面	中川・八木
	９時00分	３Ｄ病棟カンファレンス室	講義	心電図の記録法	対面	藤居
	11時00分	３Ｄ病棟カンファレンス室	講義	冠動脈治療	対面	浅田
	13時00分	３Ｄ病棟カンファレンス室	講義	レクチャー	対面	肥後
金	８時00分	３Ｄ病棟カンファレンス室	Morning Report	新患紹介・症例紹介	対面	中川・八木
	９時00分	教授室もしくは面談室	講義	レクチャー	対面	中川
	10時00分	３Ｄ病棟カンファレンス室	講義	レクチャー	対面	塩山
	13時00分	３Ｄ病棟カンファレンス室	講義	心臓の解剖	対面	加藤

第２週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	８時00分	３Ｄ病棟カンファレンス室	Morning Report	新患紹介・症例紹介	対面	中川・八木
	９時00分	教授室もしくは面談室	講義	レクチャー	対面	中川
	10時00分	カテ室	カテ室見学	手技見学	対面	肥後・澤山
	13時00分	３Ｄ病棟カンファレンス室	実習	実習オリエンテーション	対面	加藤
	14時00分	３Ｄ病棟カンファレンス室	講義	心臓エコー	対面	林
火	８時00分	３Ｄ病棟カンファレンス室	Morning Report	新患紹介・入院症例カルテ回診	対面	中川・小澤・八木
	10時00分	教授室もしくは面談室	講義	レクチャー	対面	中川
	11時00分	３Ｄ病棟カンファレンス室	実習	担当患者紹介	対面	八木
	13時00分	３Ｄ病棟カンファレンス室	講義	COVID-19について	対面	酒井
水	８時00分	３Ｄ病棟カンファレンス室	Morning Report	新患紹介・症例紹介	対面	中川・八木
	９時00分	教授室もしくは面談室	講義	レクチャー	対面	中川
	10時00分	カテ室	カテ室見学	TAVI見学・カテーテル治療 手技見学	対面	酒井・加藤
	13時00分	３Ｄ病棟カンファレンス室	講義	心カテ全般	対面	福山
木	８時00分	３Ｄ病棟カンファレンス室	Morning Report	新患紹介・症例紹介	対面	中川・八木
	９時00分	３Ｄ病棟カンファレンス室	講義	心臓デバイス	対面	藤居
	11時00分	３Ｄ病棟カンファレンス室	講義	冠動脈治療	対面	浅田
	13時00分	３Ｄ病棟カンファレンス室	講義	レクチャー	対面	肥後
金	８時00分	３Ｄ病棟カンファレンス室	Morning Report	新患紹介・症例紹介	対面	中川・八木
	９時00分	教授室もしくは面談室	講義	レクチャー	対面	中川
	10時00分	３Ｄ病棟カンファレンス室	講義	レクチャー	対面	塩山
	13時00分	３Ｄ病棟カンファレンス室	講義	CRTDとICD	対面	加藤

第３週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	８：30～９：00	３Ｃ病棟カンファレンスルーム	Morning Report	新患カンファレンス	症例提示・検討	教員全員
	９：00～９：15	同上	オリエンテーション	オリエンテーション	症例提示・検討	山口
	９：15～10：45	同上	演習	胸部X線演習	症例提示・検討	山口
	10：45～12：00	同上	カンファレンス	呼吸器内科カンファレンス	症例提示・検討	中野、病棟医長他
火	８：30～９：00	３Ｃ病棟カンファレンスルーム	Morning Report	新患カンファレンス	症例提示・検討	教員全員
	９：00～10：00	同上	講義	肺癌	パワーポイント･資料	黒田
	10：00～11：00	同上	講義	COVID-19	パワーポイント･資料	内田
水	８：30～９：00	３Ｃ病棟カンファレンスルーム	Morning Report	新患カンファレンス	症例提示・検討	教員全員
	９：00～10：00	同上	講義	COPD	パワーポイント･資料	黄瀬
	10：00～11：00	同上	講義	抗酸菌感染症	パワーポイント･資料	入山
木	８：30～９：00	３Ｃ病棟カンファレンスルーム	Morning Report	新患カンファレンス	症例提示・検討	教員全員
	９：00～10：00	同上	講義	肺炎	パワーポイント･資料	山口
	10：00～11：00	同上	講義	呼吸器内科総論	パワーポイント･資料	中野
金	８：30～９：00	３Ｃ病棟カンファレンスルーム	Morning Report	新患カンファレンス	症例提示・検討	教員全員
	９：00～10：00	同上	講義	間質性肺炎・膠原病	パワーポイント･資料	仲川

第４週目（月・火は薬剤部での実習）

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	８：30～11：00	薬剤部	薬剤部概要	薬剤部・薬剤師の役割の理解	講義・討論	寺田
	11：00～12：00		製剤実習	製剤の実践	実習	寺田
	14：00～15：00		医薬品管理とリスクマネジメント	医薬品の管理とリスクの発生要因と回避法の理解	講義・討論	森田
	15：00～16：00		持参薬鑑別	持参薬鑑別の理解	演習	森田
火	８：30～９：30	薬剤部	薬品情報実習	情報検索の実践	実習	寺田
	９：30～11：30		調剤実習	調剤の実践	実習	寺田
	13：00～15：00		TDM実習	TDMの理解	実習	森田
			まとめ	実習の振返り	討論	森田
水	８：30～９：00	３Ｃ病棟カンファレンスルーム	Morning Report	新患カンファレンス	症例提示・検討	教員全員
	９：00～10：30	同上	講義	感染・細菌学	症例提示・検討	大澤
	10：45～11：45	同上	実習	気管支鏡実習	症例提示・検討	黄瀬
木	８：30～９：00	３Ｃ病棟カンファレンスルーム	Morning Report	新患カンファレンス	症例提示・検討	教員全員
	９：00～10：00	同上	講義	喘息	パワーポイント・資料	角田
	10：00～12：00	同上	実習	模擬患者診察	症例提示・検討	山口
金	８：30～９：00	３Ｃ病棟カンファレンスルーム	Morning Report	新患カンファレンス	症例提示・検討	教員全員
	９：00～10：00	同上	講義	酸素デバイス	パワーポイント・資料	山崎
	10：00～11：00	同上	講義	呼吸不全	パワーポイント・資料	成宮

その他の変更点

変更なし

消化器・血液内科

評価基準

診療参加型実習と同じ

集合場所・時間

消化器・血液内科医局前に９：00集合
（栄養治療部での実習は、臨床講義室３前に集合）

臨床実習のユニット内容（見学型実習用）

第１週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	９：00～９：30	４C病棟カンファレンス室	オリエンテーション	スケジュールの概略を説明		藤本
	９：30～12：00	４C病棟カンファレンス室	担当患者割当	担当患者についてPOSによる症例学習	電子カルテ	藤本
	13：30～16：00	４C病棟カンファレンス室	病棟回診	入院患者について病状を述べることができる	ディスカッション	安藤
火	９：00～12：00	４C病棟カンファレンス室	レクチャー	消化器症状に対する診断のプロセスを述べることができる。	ディスカッション	大野
	13：30～16：40	４C病棟カンファレンス室	病棟実習	担当患者についてPOSによる症例学習	ディスカッション	担当医
水	９：00～12：00	４C病棟カンファレンス室	病棟実習	担当患者についてPOSによる症例学習	ディスカッション	担当医
	13：30～16：40	４C病棟カンファレンス室	病棟実習	担当患者についてPOSによる症例学習	ディスカッション	担当医
木	９：00～12：00	４C病棟カンファレンス室	病棟実習	担当患者についてPOSによる症例学習	ディスカッション	担当医
	13：30～15：00	４C病棟カンファレンス室	レクチャー	炎症性腸疾患患者の問題解決のプロセスを述べることができる。	ディスカッション	高橋
	15：00～16：40	４C病棟カンファレンス室	病棟実習	担当患者についてPOSによる症例学習	ディスカッション	担当医
金	９：00～12：00	４C病棟カンファレンス室	病棟実習	担当患者についてPOSによる症例学習	ディスカッション	担当医
	13：30～16：40	４C病棟カンファレンス室	スモールグループディスカッション	相互に症例を提示しあい、討議する	ディスカッション	稲富

第２週目（木曜日は栄養治療部での実習）

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	９：00～10：00	４C病棟カンファレンス室	レクチャー	肝疾患患者の問題解決のプロセスを述べることができる	ディスカッション	藤本
	10：00～12：00	４C病棟カンファレンス室	担当患者割当	担当患者についてPOSによる症例学習	電子カルテ	藤本
	13：30～16：00	４C病棟カンファレンス室	病棟回診	入院患者について病状を述べることができる	ディスカッション	安藤
	16：00～16：40	４C病棟カンファレンス室	プレゼンテーション	受持患者の症例について学会形式のプレゼンテーションを行う事ができる。	プレゼンテーション	安藤
火	９：00～12：00	４C病棟カンファレンス室	レクチャー	胆道疾患患者の問題解決のプロセスを述べることができる	ディスカッション	大野
	13：30～16：40	スキルズラボ	内視鏡シミュレーター実習	シュミレーター実習を通して内視鏡処置・手技の手順を学ぶ。	シュミレーター	松本
水	９：00～12：00	４C病棟カンファレンス室	病棟実習	担当患者についてPOSによる症例学習	ディスカッション	担当医
	13：30～16：40	４C病棟カンファレンス室	病棟実習	担当患者についてPOSによる症例学習	ディスカッション	担当医
木	９：00～12：00	NSTカンファレンス室	ミニ講義と演習	栄養治療の理解	講義・演習	佐々木・中西
	13：30～14：30	検食室	経腸栄養剤について		講義	佐々木・中西
	14：45～17：00	NSTカンファレンス室	NSTカンファレンス		講義	佐々木
金	９：00～12：00	４C病棟カンファレンス室	病棟実習	担当患者についてPOSによる症例学習	ディスカッション	担当医
	13：30～16：40	４C病棟カンファレンス室	スモールグループディスカッション	相互に症例を提示しあい、討議する	ディスカッション	稲富

第 3 週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	9：00～ 9：30	4 C病棟カンファレンス室	オリエンテーション	スケジュールの概略を説明		藤本
	9：30～12：00	4 C病棟カンファレンス室	担当患者割当	担当患者についてPOSによる症例学習	電子カルテ	藤本
	13：30～16：00	4 C病棟カンファレンス室	病棟回診	入院患者について病状を述べることができる	電子カルテ	安藤
火	9：00～12：00	4 C病棟カンファレンス室	病棟実習	担当患者についてPOSによる症例学習	ディスカッション	担当医
	13：30～16：40	4 C病棟カンファレンス室	レクチャー	血液疾患検査の方法論･診断学を理解する	ディスカッション	河原
水	9：00～10：30	4 C病棟カンファレンス室	レクチャー	各種血液疾患の診断、治療とその副作用を理解する。	ディスカッション	南口
	10：30～12：00	4 C病棟カンファレンス室	病棟実習	担当患者についてPOSによる症例学習	ディスカッション	担当医
	13：30～15：00	4 C病棟カンファレンス室	病棟実習	HIVなどの感染症疾患の実際を理解する。	ディスカッション	木藤
	15：00～16：40	4 C病棟カンファレンス室	病棟実習	担当患者についてPOSによる症例学習	ディスカッション	藤城
木	9：00～12：00	4 C病棟カンファレンス室	病棟実習	担当患者についてPOSによる症例学習	ディスカッション	担当医
	13：30～16：40	4 C病棟カンファレンス室	スモールグループディスカッション	貧血、凝固、悪性リンパ腫、白血病などについて、診断のプロセスを述べる	ディスカッション	岩佐
金	9：00～12：00	4 C病棟カンファレンス室	病棟実習	担当患者についてPOSによる症例学習	ディスカッション	担当医
	13：30～16：40	4 C病棟カンファレンス室	スモールグループディスカッション	相互に症例を提示しあい、討議する	ディスカッション	木藤

第 4 週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	9：00～12：00	4 C病棟カンファレンス室	担当患者割当	担当患者についてPOSによる症例学習	電子カルテ	担当医
	13：30～16：00	4 C病棟カンファレンス室	病棟回診	入院患者について病状を述べることができる	電子カルテ	安藤
	16：00～16：40	4 C病棟カンファレンス室	プレゼンテーション	受持患者の症例について学会形式のプレゼンテーションを行う事ができる。	プレゼンテーション	安藤
火	9：00～12：00	4 C病棟カンファレンス室	病棟実習	担当患者についてPOSによる症例学習	ディスカッション	担当医
	13：30～16：40	4 C病棟カンファレンス室	レクチャー	血液疾患検査の方法論･診断学を理解する	ディスカッション	河原
水	9：00～10：30	4 C病棟カンファレンス室	レクチャー	各種血液疾患の診断、治療とその副作用を理解する。	ディスカッション	南口
	10：30～12：00	4 C病棟カンファレンス室	病棟実習	担当患者についてPOSによる症例学習	ディスカッション	担当医
	13：30～15：00	4 C病棟カンファレンス室	病棟実習	HIVなどの感染症疾患の実際を理解する。	ディスカッション	木藤
	15：00～16：40	4 C病棟カンファレンス室	病棟実習	担当患者についてPOSによる症例学習	ディスカッション	藤城
木	9：00～12：00	4 C病棟カンファレンス室	病棟実習	担当患者についてPOSによる症例学習	ディスカッション	担当医
	13：30～16：40	4 C病棟カンファレンス室	スモールグループディスカッション	貧血、凝固、悪性リンパ腫、白血病などについて、診断のプロセスを述べる	ディスカッション	岩佐
金	9：00～12：00	4 C病棟カンファレンス室	病棟実習	担当患者についてPOSによる症例学習	ディスカッション	担当医
	13：30～16：40	4 C病棟カンファレンス室	スモールグループディスカッション	相互に症例を提示しあい、討議する	ディスカッション	木藤

その他の変更点

特になし

糖尿病内分泌・腎臓内科

評価基準

出席並びに実習期間に課したレポート提出により評価します。

集合場所・時間

糖尿病・内分泌腎臓内科実習　集合場所：医局（臨床研究棟２F）実習開始時間の20分前
血液浄化部実習　集合場所：臨床研究棟３F 病院側エレベーター前

臨床実習のユニット内容（見学型実習用）

第１週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	9：00～10：00（糖・腎）	６C病棟	オリエンテーション	４週間の実習内容を理解する	対面講義	佐藤
	10：00～17：00（糖・腎）	６C病棟	見学型病棟実習	症例検討、カルテ記載	見学実習	病棟医師
火	8：00～16：00（腎）	６C病棟	見学型病棟実習	症例検討、カルテ記載、プレゼンテーション	見学実習	病棟医師
	9：00～17：00（糖）	６C病棟	見学型病棟実習	症例検討、カルテ記載、プレゼンテーション	見学実習	病棟医師
水	8：00～16：00（腎）	６C病棟	見学型病棟実習	症例検討、カルテ記載、プレゼンテーション	見学実習	病棟医師
	9：00～17：00（糖）	６C病棟	見学型病棟実習	症例検討、カルテ記載、プレゼンテーション	見学実習	病棟医師
木	8：30～12：00（糖・腎）	６C病棟	見学型病棟実習	病棟カンファ・回診・プレゼンテーション	見学実習	病棟医師
金	10：00～12：00（糖・腎）	大学構内教室（多目的室等）	講義	糖尿病・内分泌疾患の知識習得	対面講義	前川
	13：00～15：00（糖・腎）	大学構内教室	自主学習	症例レポート作成	自主学習	なし

第２週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	9：00～12：00（糖・腎）	自己学習	症例検討	模擬症例を用いた症例検討、カルテ記載実習	自己学習	
	13：00～15：00（糖・腎）	大学構内教室（多目的室等）	症例検討	模擬症例を用いた症例の解説	対面講義	桑形
火	9：00～12：00（糖・腎）	自己学習	症例検討	模擬症例を用いた症例検討、カルテ記載実習	自己学習	
	13：00～15：00（糖・腎）	大学構内教室（多目的室等）	症例検討	模擬症例を用いた症例の解説	対面講義	柳町
水	9：00～12：00（糖・腎）	自己学習	症例検討	模擬症例を用いた症例検討、カルテ記載実習	自己学習	
	13：00～15：00（糖・腎）	大学構内教室（多目的室等）	症例検討	模擬症例を用いた症例の解説	対面講義	藤田
木	8：30～12：00（糖・腎）	６C病棟	見学型病棟実習	病棟カンファ・回診	見学実習	病棟医師
	13：00～15：00（糖・腎）	大学構内教室（多目的室等）	症例検討	模擬症例を用いた症例の解説	対面講義	山原
金	10：00～12：00（糖・腎）	大学構内教室（多目的室等）	講義（腎生検実習）	腎生検の適応、組織診断についての知識習得	対面講義	担当医
	13：00～17：00（糖・腎）	大 学 構 内	自主学習	症例レポート作成	自主学習	なし

第３週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	８：00～16：00（腎）	６C病棟	見学型病棟実習	症例検討、カルテ記載、プレゼンテーション	見学実習	病棟医師
	９：00～17：00（糖）	６C病棟	見学型病棟実習	症例検討、カルテ記載、プレゼンテーション44.5	見学実習	病棟医師
火	８：00～16：00（腎）	６C病棟	見学型病棟実習	症例検討、カルテ記載、プレゼンテーション	見学実習	病棟医師
	９：00～17：00（糖）	６C病棟	見学型病棟実習	症例検討、カルテ記載、プレゼンテーション	見学実習	病棟医師
水	８：00～16：00（腎）	６C病棟	見学型病棟実習	症例検討、カルテ記載、プレゼンテーション	見学実習	病棟医師
	９：00～17：00（糖）	６C病棟	見学型病棟実習	症例検討、カルテ記載、プレゼンテーション	見学実習	病棟医師
木	８：30～12：00（糖・腎）	６C病棟（臨床研究棟医局）	見学型病棟実習	病棟カンファ・回診・プレゼンテーション	見学実習	病棟医師
金	９：00～12：00（糖・腎）	大学構内教室（多目的室等）	講義（OGTT実習）	糖代謝の知識習得・感染対策・医療安全の知識習得	対面講義	担当医
	13：00～17：00（糖・腎）	大学構内	自主学習	症例レポート作成	自主学習	なし

第４週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	９：00～12：00（糖・腎）	自己学習	症例検討	模擬症例を用いた症例検討、カルテ記載実習	自己学習	
	13：00～15：00（糖・腎）	大学構内教室（多目的室等）	症例検討	模擬症例を用いた症例の解説	対面講義	堀川
火	９：00～12：00（糖・腎）	自己学習	症例検討	模擬症例を用いた症例検討、カルテ記載実習	自己学習	
	14：00～17：00（糖・腎）	大学構内教室（多目的室等）	症例検討	模擬症例を用いた症例の解説	対面講義	宮澤
水	９：00～15：00（糖・腎）	血液浄化部（臨床研究棟３FEV前）	見学型病棟実習	血液透析の実際を学ぶ	見学実習	金崎
木	８：30～12：00（糖・腎）	６C病棟（臨床研究棟医局）	見学型病棟実習	病棟カンファ・回診	見学実習	病棟医師
	13：00～15：00（糖・腎）	大学構内教室（多目的室等）	症例検討	腎臓内科の知識取得	対面講義	久米
金	10：00～12：00（糖・腎）	大学構内教室（多目的室等）	講義	糖尿病・内分泌疾患の知識習得	対面講義	卯木

その他の変更点

見学型実習となる場合には腎臓内科で２週間、糖尿病内分泌内科で２週間の実習とします。ただし、その間のレクチャー等は全て一緒に行います。また４週のうちいずれかの水曜日午前中には血液浄化部での実習を行います。詳細はオリエンテーションで説明します。

脳　神　経　内　科

評価基準

診療参加型臨床実習と同様に、医療チームの一員としての役割を担うことが要求される。担当患者やその家族との接し方や病状把握は勿論のこと、指導教員や主治医・担当医、その他コメディカルスタッフとの積極的なコミュニケーションも重視される。患者との対話、診察を通じた学習態度を評価し、カルテの抜粋と要約のみの実習にとどまらないよう留意すること。

実習は以下の２つの研修システムからなる。

1．グループ担当症例：２週間の実習中にグループ全体で担当症例１例を指定する。カルテを精読し、診断、治療、患者の社会・療養環境などから３つの問題点を抽出し、パワーポイントにまとめる。実習最終日にグループで20～30分程度のプレゼンテーションを行っていただく（発表形式は自由）。

2．個別担当症例：２週目から各学生ごとに症例を担当する。医療面接、患者診察、診療録記載をしてA4用紙１枚程度に要約をする。この際、患者との面接の中で感じたこと、教科書の記載を越えて学んだことを加える。実習終了時にそれらを簡単に発表し、サマリーを指導教官に提出する。

教員や研修医とのディスカッションにより実習の目標達成度を評価する。臨床実習カリキュラムの出席は必須であり、実習態度（診療チームの一員としての自覚や協調性、患者に接する共感や接遇態度、服装など）と総合して評価を行う。

集合場所・時間

毎朝、９時30分（火曜日は７時50分、第１週木曜日は９時）に脳神経内科医局に集合し検温結果報告の後、実習を開始する。第１週初日は午前９時30分のオリエンテーションに間に合うように集合する（オリエンテーション担当：田村）。月曜日が祝日の場合は火曜日午前７時50分に集合する（火曜日担当：真田）。

臨床実習のユニット内容（見学型実習用）

第１週目

集合場所：脳神経内科医局
集合時間：月・水・金 ９：30、火 ７：50、木 ９：00
Webで体温入力：火曜日は７時55分、その他の曜日は８時55分まで

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	９：30～10：00	医局カンファレンスルーム	オリエンテーション	実習スケジュールや実習体制の説明、診療チーム割り当て	説明	田村
	10：00～12：00	脳神経センター外来	外来診療見学	脳神経内科の外来業務／診療を見学	見学	漆谷／真田／小川
	13：00～13：30	図書館	文献検索実習	医学論文（PubMed、医中誌）検索方法を習得する	セミナー	図書館職員
	13：30～15：00	医局カンファレンスルーム	神経セミナー	Three step Diagnosisを習得	セミナー	漆谷
	15：00～17：00	医局カンファレンスルーム	神経セミナー	神経画像の読影を習得	セミナー	山川
火	８：00～９：00	６Cカンファレンスルーム	ジャーナルクラブ	臨床における医学論文の活用の実際を経験する	輪講	スタッフ全員
	９：00～10：30	医局カンファレンスルーム	神経セミナー	日本神経学会などでの教育ビデオで学ぶ	ビデオ学習	真田
	10：30～12：00	医局カンファレンスルーム	診療実習	症例に関する臨床考察	診療	
	13：00～15：00	医局カンファレンスルーム	神経セミナー	神経診察法の習得	セミナー	北村
	15：00～17：00	医局カンファレンスルーム	診療実習	症例に関する臨床考察	診療	
水	９：30～12：00	脳神経センター外来	外来診療	脳神経内科の外来業務／診療を見学	見学	漆谷／山川／北村
	13：00～15：00	医局カンファレンスルーム	神経セミナー	てんかん・脳波の基礎	セミナー	塚本
	15：00～17：00	医局カンファレンスルーム	診療実習	症例に関する臨床考察	診療	
木	９：00～10：30	医局カンファレンスルーム	神経セミナー	最新の脳卒中診療について	セミナー	小川
	11：00～12：00	医局カンファレンスルーム	神経セミナー	ISLS（座学）	セミナー	北村
	13：00～15：30	６Cカンファレンスルーム	カンファレンス	脳神経内科新患カンファレンス	討議	スタッフ全員
	15：30～17：00	６C病棟	教授回診	脳神経内科入院患者の回診に参加	回診	スタッフ全員
金	９：30～12：00	脳神経センター外来	外来診療	脳神経内科の外来業務／診療を見学	見学	真田／北村／塚本
	13：00～14：30	医局カンファレンスルーム	診療実習	症例に関する臨床考察	診療	
	16：00～17：00	６Cカンファレンスルーム	カンファレンス	１週間の診療要約のプレゼンテーションを見学する	見学	漆谷／北村

・希望者は、金曜日に血管内治療の見学もしてもらえます。
・外来見学は、希望があれば、自由時間にいつでも歓迎です。
・欠席時は下記にご連絡ください。
hqsinkei@belle.shiga-med.ac.jp

第２週目

集合場所：脳神経内科医局
集合時間：月・水・木・金 ９：30、火 ７：50、
Webで体温入力：火曜日は７時55分、その他の曜日は８時55分まで

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	９：30～10：00	医局カンファレンスルーム	オリエンテーション	実習スケジュールや実習体制の説明、診療チーム割り当て	説明	田村
	10：00～12：00	６Ｃ病棟	病棟診療実習	患者診察見学／カルテでの情報収取／臨床考察	診療	
	13：00～14：00	６Ｃ病棟	病棟診療実習	患者診察見学／カルテでの情報収取／臨床考察	診療	
	14：00～16：00	医局カンファレンスルーム	神経セミナー	SMONについて考える	セミナー	山川
火	８：00～９：00	６Ｃカンファレンスルーム	ジャーナルクラブ	臨床における医学論文の活用の実際を経験する	輪講	スタッフ全員
	９：00～10：30	医局カンファレンスルーム	神経セミナー	神経系免疫疾患について	セミナー	真田
	10：30～12：00	６Ｃ病棟	病棟診療実習	患者診察見学／カルテでの情報収取／臨床考察	診療	
	13：00～15：00	電気生理室	診療実習	神経伝導検査を理解し習得する	実習	北村
	15：00～17：00	６Ｃ病棟	病棟診療実習	患者診察見学／カルテでの情報収取／臨床考察	診療	
水	９：30～12：00	６Ｃ病棟	病棟診療実習	患者診察見学／カルテでの情報収取／臨床考察	診療	
	13：00～15：00	医局カンファレンスルーム	神経セミナー	意識障害の診かた	セミナー	田村
	15：00～17：00	６Ｃ病棟	病棟診療実習	患者診察見学／カルテでの情報収取／臨床考察	診療	
木	９：30～11：00	スキルズラボ	診療実技	腰椎穿刺の目的や手技を理解し習得する	実習	小橋
	11：00～12：00	医局カンファレンスルーム	診療実習	ISLS（演習）	実習	北村
	13：00～15：30	６Ｃカンファレンスルーム	カンファレンス	脳神経内科の入院患者について、病態や治療方針を理解する	討議	スタッフ全員
	15：30～17：00	６Ｃ病棟	教授回診	脳神経内科入院患者の回診に参加	症例提示	スタッフ全員
金	９：30～12：00	６Ｃ病棟	病棟診療実習	患者診察見学／カルテでの情報収取／臨床考察	診療	
	13：00～16：00	６Ｃ病棟	病棟診療実習	患者診察見学／カルテでの情報収取／臨床考察	診療	
	16：00～17：00	医局カンファレンスルーム	まとめ	２週間の臨床実習を総括	発表	真田

・希望者は、金曜日に血管内治療の見学もしてもらえます。
・外来見学は、希望があれば、自由時間にいつでも歓迎です。
・欠席時は下記にご連絡ください。
hqsinkei@belle.shiga-med.ac.jp

その他の変更点

変更なし

小　児　科

評価基準

変更なし

集合場所・時間

実習開始時刻に小児科医局

臨床実習のユニット内容（見学型実習用）

第１週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	10：00～11：30	小児科医局→ 病棟カンファ室		講義		丸尾
	14：00～15：00	病棟カンファレンス室		説明・割当		松井
	15：00～16：30	５A病棟		カンファレンス参加		全スタッフ
火	９：00～	（火曜日に臨床実習開始の場合は５A病棟カンファレンスルームでオリエンテーション）				松井
	９：00～10：30	５A病棟		実習		病棟担当医
	10：30～12：00	病棟カンファレンス室		講義		古川
	13：00～14：30	病棟カンファレンス室		講義		越田
	14：30～16：00	５A病棟		実習		病棟担当医
水	９：00～12：00	５A病棟	A	実習		病棟担当医
	９：00～12：00	小児科外来	B	実習		外来担当医
	13：00～16：00	小児科外来	A	実習		外来担当医
	13：00～16：00	５A病棟	B	実習		病棟担当医
木	９：00～10：30	５A病棟		実習		病棟担当医
	10：30～12：00	病棟カンファレンス室		講義		筒井
	13：00～16：00	５A病棟		実習		病棟担当医
	16：00～16：45	病棟カンファレンス室		カンファレンス参加		全スタッフ
	16：45～17：30	第３会議室		討論		全スタッフ
金	９：00～12：00	小児科外来	A	実習		外来担当医
	８：40～12：00	医師臨床教育センター	B	実習		医師臨床教育センター
	13：00～16：00	５A病棟	A	実習		病棟担当医
	13：00～16：00	小児科外来	B	実習		外来担当医

第 2 週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	9：00～12：00	小児科外来	A	実習		外来担当医
	9：00～12：00	5 A病棟	B	実習		病棟担当医
	13：00～13：30	5 A病棟		実習		病棟担当医
	13：30～15：00	病棟カンファレンス室		講義		澤井俊
	15：00～16：30	5 A病棟		カンファレンス参加		全スタッフ
火	9：00～12：00	小児科外来	A	実習		外来担当医
	9：00～12：00	5 A病棟	B	実習		病棟担当医
	13：00～16：00	5 A病棟	A	実習		病棟担当医
	13：00～16：00	小児科外来	B	実習		外来担当医
水	9：00～10：30	5 A病棟		実習		病棟担当医
	10：30～12：00	病棟カンファレンス室		講義		松井
	13：00～14：30	5 A病棟		実習		病棟担当医
	14：30～16：00	5 A病棟		実習		病棟担当医
木	9：00～12：00	5 A病棟	A	実習		病棟担当医
	9：00～12：00	小児科外来	B	実習		外来担当医
	14：00～16：00	病棟カンファレンス室		講義		底田
	16：00～16：45	病棟カンファレンス室		カンファレンス参加		全スタッフ
	16：45～17：30	第 3 会議室		討論		全スタッフ
金	9：00～10：30	5 A病棟		実習		病棟担当医
	10：30～12：00	病棟カンファレンス室		講義		澤井ち
	13：00～15：00	5 A病棟		実習		病棟担当医
	15：00～16：00	病棟カンファレンス室		講義		柳
	16：00～17：00	病棟カンファレンス室		懇談		多賀

第 3 週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	9：00～10：30	5 A病棟		実習		病棟担当医
	10：30～12：00	病棟カンファレンス室		講義		西倉
	13：30～15：00	病棟カンファレンス室		講義		坂井
	15：00～16：30	5 A病棟		カンファレンス参加		全スタッフ
火	9：00～10：30	5 A病棟		実習		病棟担当医
	10：30～12：00	病棟カンファレンス室		講義		阪上
	13：00～15：00	5 A病棟		実習		病棟担当医
	15：00～16：00	5 A病棟		講義		柴田
水	9：00～12：00	小児科外来	A	実習		外来担当医
	9：00～12：00	5 A病棟	B	実習		病棟担当医
	13：00～16：00	5 A病棟	A	実習		病棟担当医
	13：00～16：00	小児科外来	B	実習		外来担当医
木	9：00～10：30	5 A病棟		実習		病棟担当医
	10：30～12：00	病棟カンファレンス室		講義		森宗
	13：00～16：00	5 A病棟		実習		病棟担当医
	16：00～16：45	病棟カンファレンス室		カンファレンス参加		全スタッフ
	16：45～17：30	第 3 会議室		討論		全スタッフ
金	8：40～12：00	医師臨床教育センター	A	実習		医師臨床教育センター
	9：00～12：00	小児科外来	B	実習		外来担当医
	13：00～16：00	小児科外来	A	実習		外来担当医
	13：00～16：00	5 A病棟	B	実習		病棟担当医

第 4 週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	9：00～12：00	5 A病棟	A	実習		病棟担当医
	9：00～12：00	小児科外来	B	実習		外来担当医
	13：00～13：30	5 A病棟		実習		病棟担当医
	13：30～15：00	病棟カンファレンス室		講義		星野
	15：00～16：30	5 A病棟		カンファレンス参加		全スタッフ
火	9：00～12：00	5 A病棟	A	実習		病棟担当医
	9：00～12：00	小児科外来	B	実習		外来担当医
	13：00～16：00	小児科外来	A	実習		外来担当医
	13：00～16：00	5 A病棟	B	実習		病棟担当医
水	9：00～10：30	5 A病棟		実習		病棟担当医
	10：30～12：00	病棟カンファレンス室		講義		松井
	13：00～14：30	5 A病棟		講義		吉田
	14：30～16：00	5 A病棟		実習		病棟担当医
木	9：00～12：00	小児科外来	A	実習		外来担当医
	9：00～12：00	5 A病棟	B	実習		病棟担当医
	13：30～15：00	病棟カンファレンス室		講義		多賀
	15：50～18：00	病棟カンファレンス室→第 3 会議室		クリクラ発表会		全スタッフ
金	9：00～10：30	5 A病棟		実習		病棟担当医
	10：30～12：00	病棟カンファレンス室		講義		長井
	13：00～15：00	5 A病棟		実習		病棟担当医
	15：00～16：00	病棟カンファレンス室		講義		坂本
	16：00～17：00	病棟カンファレンス室		懇談		丸尾

その他の変更点

変更なし

精　神　科

評価基準

精神科では、患者さんの生活環境・半生などを聞き取り、包括的な視点から診断・治療に結びつけていく必要がある。見学型実習では、患者さんとの接点が限られるため、架空症例として過去の偉人を題材に「診断」「治療」についてのレポートを課題とする。提示された偉人の半生を調べ、精神疾患の診断可能性を調査し、精神疾患にあたる場合は診断名を、そうでない場合は診断閾値に達さない理由をレポートしてもらう。また、小説を読みその内容および登場人物について、精神医学的用語で評価・考察する形式でレポートする。EBMに関連する手技を習得するため、精神科疾患についてその治療法について記載されている英語論文を要約し、レポートとする。見学実習中に予定される講義出席とともに、上記レポートを用いて評価を行う。

集合場所・時間

9：00に精神科医局

臨床実習のユニット内容（見学型実習用）

第１週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	9：00	医局	オリエンテーション	精神科クリクラの説明	プリント	藤井K
	13：00	医局	病棟カンファ	入院患者の診断・治療について学ぶ	見学	全員
火	8：50	医局→外来	初診陪席	精神科的診断・評価を学ぶ	見学	藤井K
	15：00	医局	精神医学セミナー	症例検討・予診の取り方	スライド	藤井K
水	8：50	医局→外来	初診陪席	精神科的診断・評価を学ぶ	見学	尾関
	12：30	医局	精神医学セミナー	気分障害等の診断治療を学ぶ	スライド	角
	14：30	医局	精神医学セミナー	気分障害の診断治療を学ぶ	スライド	青木崇
木	10：00	医局	精神医学セミナー	精神医学	スライド	石田
	14：00	医局	精神医学セミナー	心理検査の実際について学ぶ	スライド	上西

第２週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	13：00	医局	病棟カンファ	入院患者の診断・治療について学ぶ	見学	全員
火	8：50	医局→外来	初診陪席	精神科的診断・評価を学ぶ	見学	藤井K
水	8：50	医局→外来	初診陪席	精神科的診断・評価を学ぶ	見学	尾関
	13：30	医局	精神医学セミナー	リエゾン精神医学を学ぶ	スライド	藤井A
	15：00	医局	精神医学セミナー	セルフケアとメンタルヘルス	スライド	増田
木	9：50	医局→外来	初診陪席	精神科的診断・評価を学ぶ	見学	吉村
	13：00	医局	精神医学セミナー	精神医学	スライド	松田
	16：00	医局	精神医学セミナー	認知症を学ぶ	スライド	青木浄亮
金	15：00	医局	まとめ	まとめたレポートを発表する	スライド	尾関

その他の変更点

変更なし

皮　　膚　　科

評価基準

参加型実習用シラバスに記載の通り、
1）出席率
2）課題の発表
3）実習中の各ユニットにおける、シラバス記載の行動目標の達成度　などに基づき評価する。
特に1）と2）を重視する。
ただし、感染症の流行状況に応じ、2）を主要評価項目に変更する場合がある。

集合場所・時間

8：50皮膚科医局。検温、健康チェックを受け、問題ないと判断されれば実習を開始する。

臨床実習のユニット内容（見学型実習用）

第1週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	8：50～12：20	皮膚科外来	外来見学	外来見学	見学	山本
	13：10～16：40	皮膚科医局	講義	検査総論	講義	塚本
火	8：50～12：20	皮膚科外来	外来見学	外来見学	見学	藤本
	13：10～16：40	皮膚科医局	講義	文献抄読	講義	山根
水	8：50～12：20	皮膚科外来	外来見学	外来見学	見学	山本
	13：10～16：40	皮膚科医局	症例検討	入院症例検討	実習	加藤
木	8：50～12：20	皮膚科外来	外来見学	外来見学	見学	藤本
	13：10～16：40	皮膚科医局	講義	発疹学	講義	山本
金	8：50～12：20	皮膚科外来	外来見学	外来見学	見学	加藤
	13：10～16：40	皮膚科医局	講義	入院症例検討	実習	高橋

第2週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	8：50～12：20	皮膚科医局	症例検討	入院症例検討	実習	国府
	13：10～16：40	皮膚科医局	講義	治療総論	講義	小林
火	8：50～12：20	皮膚科医局	症例検討	入院症例検討	実習	米田
	13：10～16：40	皮膚科医局	講義	皮膚アレルギー疾患とEBM	講義	山根
水	8：50～12：20	皮膚科医局	講義	手術療法	講義	加藤
	13：10～16：40	皮膚科医局	症例検討	入院症例検討	実習	高橋
木	8：50～12：20	皮膚科医局	演習	皮膚科演習	演習	山本
	13：10～16：40	皮膚科医局	講義	皮膚潰瘍、創傷	講義	山本
金	8：50～12：20	皮膚科医局	発表、試問	課題発表	発表	藤本

その他の変更点

変更なし

消化器・乳腺・小児・一般外科

評価基準

1．担当症例に関する理解度（術前検査や周術期の状態などを含む）
2．担当症例に該当する疾患の理解
3．実習に関する態度

集合場所・時間

初日は７時50分に臨床研究棟１階自動販売機前（図書館側）

臨床実習のユニット内容（見学型実習用）

Ⓐ 参加型実習と同様に、実習班を２つに分けて実施します。
実習のパターンについてはP.77を確認してください。

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	8：00～8：30	4Dカンファレンス室	症例検討・挨拶	術前症例を把握する。	カンファレンス	全員
	8：30～9：00	4Dカンファレンス室	ガイダンス	臨床実習の心構え・内容を把握する。	説明	山口
	9：00～12：00	中央手術室	手術見学	外科手術を見学、各種手技を理解する。	手術見学	担当医
	13：00～17：00	中央手術室	手術見学	外科手術を見学、各種手技を理解する。	手術見学	担当医
火	13：00～14：00	4Dカンファレンス室	縫合結紮セミナー	縫合結紮手技を習得する。	実技練習	担当医
水	8：00～8：30	4Dカンファレンス室	症例検討	術前症例を把握する。	カンファレンス	全員
	8：30～9：00	4Dカンファレンス室	臓器別セミナー	各臓器別診断治療の現況を理解する。	講義	担当医
	9：00～12：00	中央手術室	手術見学	外科手術を見学、各種手技を理解する。	手術見学	担当医
	13：00～17：00	中央手術室	手術見学	外科手術を見学、各種手技を理解する。	手術見学	担当医
木	13：00～14：00	4Dカンファレンス室	講義:術前術後管理	術前術後管理を理解する。	講義	担当医
	14：00～14：30	4Dカンファレンス室	臓器別セミナー	各臓器別診断治療の現況を理解する。	講義	担当医
	15：30～16：00	4Dカンファレンス室	臓器別セミナー	各臓器別診断治療の現況を理解する。	講義	担当医
金	14：30～15：00	4Dカンファレンス室	臓器別セミナー	各臓器別診断治療の現況を理解する。	講義	担当医
	15：00～17：00	4Dカンファレンス室	術前カンファ	術前症例を把握する。	カンファレンス	全員

Ⓑ 先検査部グループは水曜-金曜検査部で終日実習。先医療安全部グループは金曜朝から15時まで医療安全部で実習。

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	8：00～9：00	4Dカンファレンス室	症例検討	術前症例を把握する。	カンファレンス	全員
	9：00～12：00	中央手術室	手術見学	外科手術を見学、各種手技を理解する。	手術見学	担当医
	13：00～17：00	中央手術室	手術見学	外科手術を見学、各種手技を理解する。	手術見学	担当医
火		自宅で自習				
水	8：00～9：00	4Dカンファレンス室	症例検討	術前症例を把握する。	カンファレンス	全員
	9：00～12：00	中央手術室	手術見学	外科手術を見学、各種手技を理解する。	手術見学	担当医
	13：00～17：00	中央手術室	手術見学	外科手術を見学、各種手技を理解する。	手術見学	担当医
木	13：00～14：00	4Dカンファレンス室	講義：振り返り	経験した症例について深く理解する。	講義	谷教授
金	15：00～17：00	4Dカンファレンス室	術前カンファ	術前症例を把握する。	カンファレンス	全員

Ⓒ 先検査部グループは金曜朝から15時まで医療安全部で実習。先医療安全部グループは水曜-金曜検査部で終日実習。

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	8：00～9：00	4Dカンファレンス室	症例検討	術前症例を把握する。	カンファレンス	全員
	9：00～12：00	中央手術室	手術見学	外科手術を見学、各種手技を理解する。	手術見学	担当医
	13：00～17：00	中央手術室	手術見学	外科手術を見学、各種手技を理解する。	手術見学	担当医
火		自宅で自習				
水	8：00～9：00	4Dカンファレンス室	症例検討	術前症例を把握する。	カンファレンス	全員
	9：00～12：00	中央手術室	手術見学	外科手術を見学、各種手技を理解する。	手術見学	担当医
	13：00～17：00	中央手術室	手術見学	外科手術を見学、各種手技を理解する。	手術見学	担当医
木	13：00～14：00	4Dカンファレンス室	講義：振り返り	経験した症例について深く理解する。	講義	谷教授
金	15：00～17：00	4Dカンファレンス室	術前カンファ	術前症例を把握する。	カンファレンス	全員

Ⓓ

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	8：00～9：00	4Dカンファレンス室	症例検討	術前症例を把握する。	カンファレンス	全員
	9：00～12：00	中央手術室	手術見学	外科手術を見学、各種手技を理解する。	手術見学	担当医
	13：00～17：00	中央手術室	手術見学	外科手術を見学、各種手技を理解する。	手術見学	担当医
火		自宅で自習				
水	8：00～9：00	4Dカンファレンス室	症例検討	術前症例を把握する。	カンファレンス	全員
	9：00～12：00	中央手術室	手術見学	外科手術を見学、各種手技を理解する。	手術見学	担当医
	13：00～17：00	中央手術室	手術見学	外科手術を見学、各種手技を理解する。	手術見学	担当医
木	13：00～14：00	スキルズラボ	腹腔鏡シミュレーター実習	腹腔鏡操作を習得する。	実技練習	担当医
	16：00～16：30	4Dカンファレンス室	臓器別セミナー	各臓器別診断治療の現況を理解する。	講義	担当医
	16：30～17：00	4Dカンファレンス室	臓器別セミナー	各臓器別診断治療の現況を理解する。	講義	担当医
金	13：00～13：30	4Dカンファレンス室	臓器別セミナー	各臓器別診断治療の現況を理解する。	講義	担当医
	14：30～15：00	4Dカンファレンス室	臓器別セミナー	各臓器別診断治療の現況を理解する。	講義	担当医
	15：00～17：00	4Dカンファレンス室	術前カンファ	術前症例を把握する。	カンファレンス	全員

その他の変更点

特になし。

心臓血管外科、呼吸器外科

評価基準

出席と実習中の態度、口頭での質問、レポート課題で評価を行う。

集合場所・時間

実習開始日までにグループ内で２グループ（半数）に分かれ、１週目に心臓血管外科を回った学生は２週目に呼吸器外科、１週目に呼吸器外科を回った学生は２週目に心臓血管外科とする。時間、場所については以下のとおり。

臨床実習のユニット内容（見学型実習用）

心臓血管外科　第１週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	10：00～10：30	医局	オリエンテーション	臨床実習カリキュラムの説明	レクチャー	榎本
	10：30～12：00	医局	レクチャー	大動脈疾患	レクチャー	乃田／南舘
	13：00～14：00	医局	レクチャー	弁疾患	レクチャー	白石
火	9 ：30～12：00	医局	レクチャー	手術画像閲覧・解説	画像と解説	担当
水	13：00～15：00	医局	実習	糸結び	実習	榎本
木	9 ：30～12：00	医局	レクチャー	手術画像閲覧・解説・抄読会説明	画像と解説	担当
金	7 ：30～11：00	医局	抄読会	論文抄読会・講義	レクチャー	担当

呼吸器外科　第１週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	8 ：45	医局	オリエンテーション	ガイダンス、患者説明、見学	レクチャー	岡本／賀来
	14：00	医局	手技実習	縫合、糸結び実習	実習	大塩
火	8 ：30	医局	レクチャー	手術内容の理解	ビデオ解説	花岡
	9 ：30	医局→手術室	手術見学※	手術見学、手術内容解説	見学	川口
	12：30	３C病棟	病棟実習	患者情報の収集	実習	川口
水	8 ：30	医局	レクチャー	胸腔ドレーンの理解	レクチャー	川口
	14：00	医局	レクチャー	肺癌の理解	レクチャー	岡本／賀来
木	8 ：30	医局	レクチャー	手術内容の理解	ビデオ解説	花岡
	14：00	３C病棟	病棟実習	患者情報の収集	実習	川口
金	8 ：30	医局	レクチャー	気胸の理解	レクチャー	川口
	15：00	医局／ 病院４階スキルズラボ	レクチャー／ 気管支鏡実習	呼吸器外科トピックスの理解／ シミュレーターによる実習	レクチャー／ 実習	大塩

※手術室への入室が可能な場合

その他の変更点

変更なし

整　形　外　科

評価基準

評価は、１．出席、２．実習態度、３．目標達成度、４．レポートで評価する。
・出席の評価は、各実習や聴講毎に管理する。（評価者：各教員・指導医）
・実習態度は、外来見学時や術前・術後のプレゼンテーション、評価者がかかわった講義や手術見学時に評価する。（評価者：各教員・指導医）
・目標達成度は、プレゼンテーション、外来見学、手術見学、各講義で総合的に評価する。（評価者：カンファレンスにて教員・指導医全員で協議して判断）
・レポートは、提出された症例レポートで評価する。（評価者：今井・三村）

集合場所・時間

集合場所は毎回整形外科医局とする
集合時間は曜日によって異なる（月曜日や火曜日が休日の場合は、別途連絡する）

臨床実習のユニット内容（見学型実習用）

第１週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	７時50分	整形外科医局	体調確認とオリエンテーション	病院への入館許可と実習内容の説明	聴講	三村
	８時～９時	２Ｄ病棟カンファレンスルーム	勉強会･抄読会	整形外科領域の最先端の学術知識に触れ、整形外科的思考を習得する。	聴講	各指導医･医員
	９時～12時	２Ｄ病棟カンファレンスルーム	割り当て症例のプレゼン準備	術前症例プレゼンの準備を行う。運動器疾患の検査･診断･鑑別診断･治療方針を理解する。	カルテ実習	医員･後期研修医
	14時30分～	２Ｄ病棟カンファレンスルーム	プレゼンの仕上げ	プレゼン発表の最終ブラッシュアップ:EBMや画像診断への理解を深める	カルテ実習	医員･後期研修医
	15時～	２Ｄ病棟カンファレンスルーム	術前カンファレンス	運動器疾患に必要な検査･診断･鑑別診断･治療方針を理解し、説明ができるようになる。またカンファレンスの質疑応答を通してそれらの理解度を深める。	プレゼン	三村
火	９時	整形外科医局	体調確認	病院への入館許可		各指導医･医員
	９時10分頃～17時	各手術室	手術見学･学習	手術室に入りOPの見学と学習をする。手術の手順や手術手技の実際を知る。	見学実習	各指導医･医員
	17時～	２Ｄ病棟カンファレンスルーム	術後カンファレンス	術後カンファレンスでのプレゼンテーションを行い、EBMに基づく手術治療への理解を深める。	プレゼン	各指導医･医員
水	９時30分	整形外科医局	体調確認	病院への入館許可		各指導医･医員
	９時40分頃～	整形外科外来	外来見学	カルテ内容の理解･整形外科疾患のEBMへの理解ができるようになる。整形外科疾患への理解を深める。	見学実習	各指導医･医員
	13時30分～	２Ｄ病棟カンファレンスルーム	講義	整形外科領域の最先端の学術知識やEBMに触れ、整形外科的思考を習得する。	聴講	各指導医（助教以上）
木	９時	整形外科医局	体調確認	病院への入館許可		各指導医･医員
	９時10分頃～17時	各手術室	手術見学･学習	手術室に入りOPの見学と学習をする。手術の手順や手術手技の実際を知る。	見学実習	各指導医･医員
	17時～	２Ｄ病棟カンファレンスルーム	術後カンファレンス	術後カンファレンスでのプレゼンテーションを行い、EBMに基づく手術治療への理解を深める。	プレゼン	各指導医･医員
金	９時30分	整形外科医局	体調確認	病院への入館許可		各指導医･医員
	９時40分頃～	整形外科外来	外来見学	カルテ内容の理解･整形外科疾患のEBMへの理解ができるようになる。整形外科疾患への理解を深める。	見学実習	各指導医･医員
	13時30分～	２Ｄ病棟カンファレンスルーム	講義	整形外科領域の最先端の学術知識やEBMに触れ、整形外科的思考を習得する。	聴講	各指導医（助教以上）

第２週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	７時50分	整形外科医局	体調確認	病院への入館許可		三村
	８時～９時	２Ｄ病棟カンファレンスルーム	勉強会・抄読会	整形外科領域の最先端の学術知識に触れ、整形外科的思考を習得する。	聴講	各指導医・医員
	９時～12時	２Ｄ病棟カンファレンスルーム	割り当て症例のプレゼン準備	術前症例プレゼンの準備を行う。運動器疾患の検査・診断・鑑別診断・治療方針を理解する。	カルテ実習	医員・後期研修医
	14時30分～	２Ｄ病棟カンファレンスルーム	プレゼンの仕上げ	プレゼン発表の最終ブラッシュアップ:EBMや画像診断への理解を深める。	カルテ実習	医員・後期研修医
	15時～	２Ｄ病棟カンファレンスルーム	術前カンファレンス	運動器疾患に必要な検査・診断・鑑別診断・治療方針を理解し、説明ができるようになる。またカンファレンスの質疑応答を通してそれらの理解度を深める。	プレゼン	三村
火	９時	整形外科医局	体調確認	病院への入館許可		各指導医・医員
	９時10分頃～	整形外来とリハビリルーム	オリエンテーションとリハビリ見学	整形外科外来でリハビリ実習のオリエンテーションを行い、その後運藤器リハビリの実際を学ぶ。	見学実習	児玉
	13時30分～14時30分	整形外来	運動器講義	運動器リハビリに関する講義で最新の運動器リハビリのEBMに触れる。	聴講	安藤
	15時～16時	リハビリテーションA心臓リハビリ診察室	心臓リハ講義	心臓リハビリに関する講義で最新の心臓リハビリのEBMに触れる。	聴講	川口
水	９時30分	整形外科医局	体調確認	病院への入館許可		各指導医・医員
	９時40分頃～	整形外科外来	外来見学	カルテ内容の理解・整形外科疾患のEBMへの理解ができるようになる。整形外科疾患への理解を深める。	見学実習	各指導医・医員
	13時30分～	２Ｄ病棟カンファレンスルーム	講義	整形外科領域の最先端の学術知識やEBMに触れ、整形外科的思考を習得する。	聴講	各指導医（助教以上）
木	９時	整形外科医局	体調確認	病院への入館許可		各指導医・医員
	９時10分頃～17時	各手術室	手術見学・学習	手術室に入りOPの見学と学習をする。手術の手順や手術手技の実際を知る。	見学実習	各指導医・医員
	17時～	２Ｄ病棟カンファレンスルーム	術後カンファレンス	術後カンファレンスでのプレゼンテーションを行い、EBMに基づく手術治療への理解を深める。	プレゼン	各指導医・医員
金	９時30分	整形外科医局	体調確認	病院への入館許可		各指導医・医員
	９時40分頃～	整形外科外来	外来見学	カルテ内容の理解・整形外科疾患のEBMへの理解ができるようになる。整形外科疾患への理解を深める。	見学実習	各指導医・医員
	13時～17時	医局・２Ｄカンファレンスルーム	自主学習	17時までに、EBMに基づいた症例レポートの提出。出席用紙（クリクラ予定表）の提出。Webclassの提出。	EBM学習	

その他の変更点

変更なし

脳　神　経　外　科

評価基準

指導教官とマンツーマンの指導体制の中で、脳神経外科領域の代表的疾患を個別に提供し、文献的考察を含めてレポート作成を指導する。評価はレポートを参考に行う。脳神経外科領域の代表的疾患として、脳血管障害（くも膜下出血　脳出血　脳虚血）、良性脳腫瘍（下垂体を除く）、悪性脳腫瘍、下垂体疾患、頭部外傷、水頭症、脊椎・脊髄疾患、てんかん、小児脳神経外科疾患などを座学で提供する。バイパス手術や腰椎穿刺などのハンズオンを提供する。

集合場所・時間

５D病棟カンファレンス室・午前10時

臨床実習のユニット内容（見学型実習用）

第１週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	10：00	５Dカンファレンス室		ガイダンス・指導教官選定		吉村
	16：00	５Dカンファレンス室		術前カンファレンス・抄読会		スタッフ
火	10：00	５D説明室２		講義①脳血管障害（SAH　脳出血）		辻A
	14：00	５D説明室２		講義②良性脳腫瘍（下垂体を除く）		深見
水	10：00	５D説明室２		講義③水頭症		山田
	14：00	５D説明室２		講義④機能外科		新田
木	10：00	５D説明室２		講義⑤脊椎・脊髄		高木
	14：00	５D説明室２		講義⑥下垂体疾患		吉村
金	10：00	５D説明室２		講義⑦頭部外傷		辻B
	15：00	５Dカンファレンス室		術後カンファレンス		スタッフ

第２週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	10：00	５D説明室２		講義⑧脳循環代謝		辻A
	16：00	５Dカンファレンス室		術前カンファレンス・抄読会		スタッフ
火	10：00	脳外科医局		バイパスハンズオン		北村
	14：00	５D説明室２		講義⑨悪性脳腫瘍		深見
水	10：00	脳外科医局		腰椎穿刺ハンズオン		山田
	14：00	５D説明室２		講義⑩てんかん　MVD		新田
木	10：00	５D説明室２		講義⑪小児		高木
	14：00	５D説明室２		講義⑫脳血管障害（虚血）CAS		吉村
金	10：00	５D説明室２		講義⑬急性期血栓回収療法		辻B
	15：00	５Dカンファレンス室		術後カンファレンス		スタッフ

その他の変更点

変更なし

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

評価基準

（1）出席を評価
（2）担当症例のレポートの内容、まとめ討論時の疾患理解を評価

集合場所・時間

初日：9時00分　耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座会議室

臨床実習のユニット内容（見学型実習用）

第1週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	9：00～10：00	医局	ガイダンス	実習案内、担当患者割当、レポート作成の説明	出席	大脇
火	9：00～11：00	外来	外来見学	耳鼻咽喉科疾患（一般、中耳、めまい、アレルギー）の理解	出席	担当
	13：00～14：00	外来	実習	診察実習、聴力検査	出席	堀井・池田
	14：00～15：00	外来	講義	気管カニューレ	出席	松本
	15：00～16：30	病棟	回診・カンファレンス	病棟回診、　カンファレンス、手術症例の発表	出席	清水、大脇、戸嶋
水	9：00～11：00	外来	外来見学	耳鼻咽喉科疾患（一般、音声、嗅覚・味覚）の理解	出席	担当
	11：15～	医局	講義	ESSの進歩と手術動画解説	出席	戸嶋
	14：30～	病棟	講義	中耳の解剖と疾患	出席	大江
	16：00～17：00	外来	講義	頸部エコーと耳鼻科疾患	出席	中村
木	9：00～11：00	外来	外来見学	耳鼻咽喉科疾患（一般、甲状腺疾患、頭頸部腫瘍）の理解	出席	担当
	14：00～15：00	外来	講義	アレルギー性鼻炎	出席	神前
	15：00～16：00	病棟	講義	画像診断	出席	新井
金	9：00～11：00	外来	外来見学	耳鼻咽喉科疾患（一般、鼻副鼻腔・顔面外傷）の理解	出席	担当
	13：00～14：00	病棟	講義	頭頸部腫瘍手術動画解説	出席	大脇

第2週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	9：00～11：00	外来	外来見学	耳鼻咽喉科疾患（一般、難聴・めまい・補聴器）の理解	出席	担当
	14：00～15：00	病棟	講義	手術動画解説	出席	山崎・川北
火	9：00～			レポート作成		
	13：00～14：00	病棟	講義	耳鼻咽喉科感染症	出席	堀井
水	9：00～			レポート作成		
	11：00～12：00	病棟	講義	国試に出そうな疾患	出席	村尾
	16：00～17：00	外来	実習	平衡機能検査	出席	池田
木	9：00～			レポート作成		
金	9：00～			レポート作成		
	14：00～15：00	医局	まとめ	レポートのプレゼンテーション	出席・レポート	戸嶋

その他の変更点

手術を見学できない場合に備え、耳鼻咽喉科領域の各分野ごとに、過去に手術した12症例を用意している。

学生1人につき2症例を選んでもらい、その2症例のレポートを作成してもらう。

各医局員が1症例ずつ手術動画を用意しているので、講義の際などに解説してもらう。

毎朝検温、健康チェックをして入力するが、毎日病院へ入る前に耳鼻咽喉科・頭頸部外科教室秘書室に寄って口頭で体温と健康状態を報告してください。

母子診療科・女性診療科

評価基準

全出席。カンファレレンスにおける症例プレゼンテーション。提出物:①練習用カルテ、②レポート（Web Classで提出)。

集合場所・時間

初日は午前８時に、６A病棟カンファレンスルーム。

臨床実習のユニット内容（見学型実習用）

第１週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	８：00～８：30	産婦人科医局	オリエンテーション	臨床実習のスケジュール説明	講義	笠原
	８：30～10：00	病院２F 第２会議室	全体カンファレンス	カンファレンス参加、症例プレゼンテーション	カンファレンス	全員
	11：00～12：00	スキルズラボ棟２FＳ3	腹腔鏡実習	腹腔鏡実習の体験実習（A班３名）	練習用器械	村上
	13：00～14：00	スキルズラボ棟２FＳ3	腹腔鏡実習	腹腔鏡実習の体験実習（B班３名）	練習用器械	村上
	14：30～15：30	産婦人科医局	生殖講義・カンファレンス	生殖・内分泌分野の知識の整理	講義	花田
火	８：30～12：00		手術画像見学	担当症例の手術画像の見学	見学	交替制
	13：00～15：00		診療録実習	担当症例の診療録記載の練習	練習用カルテ	交替制
水	８：30～12：00		手術画像見学	担当症例の手術画像の見学	見学	交替制
	13：00～15：00		診療録実習	担当症例の診療録記載の練習	練習用カルテ	交替制
木	８：30～12：00		手術画像見学	担当症例の手術画像の見学	見学	交替制
	13：00～15：00		診療録実習	担当症例の診療録記載の練習	練習用カルテ	交替制
金	８：30～17：00		見学型実習	担当症例の診療録記載の練習	練習用カルテ	交替制
	９：00～12：00	病院３F 母子･女性診療科外来	産科外来見学	妊婦健診の見学（１名）	見学	交替制

第２週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	８：30～10：00	病院２F 第２会議室	全体カンファレンス	カンファレンス参加、症例プレゼンテーション	カンファレンス	全員
	13：15～14：00	６A病棟	NICUカンファレンス	周産期分野の学習（他職種）	聴講	桂
	14：00～17：00	産婦人科医局	診療録実習	担当症例の診療録記載の練習	練習用カルテ	交替制
火	８：30～17：00	産婦人科医局		レポート作成		交替制
	９：00～12：00	病院３F 母子･女性診療科外来	産科外来見学	妊婦健診の見学（１名）	見学	交替制
水	８：30～17：00	産婦人科医局		レポート作成		交替制
	９：00～12：00	病院３F 母子･女性診療科外来	産科外来見学	妊婦健診の見学（１名）	見学	交替制
	15：00～16：30	産婦人科医局	産婦人科救急疾患講義	女性救急疾患の知識の整理	講義	笠原
木	８：30～13：00	産婦人科医局		レポート作成		交替制
	９：00～12：00	病院３F 母子･女性診療科外来	産科外来見学	妊婦健診の見学（１名）	見学	交替制
	14：30～16：00	臨床研究棟（産婦人科医局）	産科講義	産科分野の知識の整理	講義	交替制
金	９：00～12：00	産婦人科医局		レポート作成		交替制
	13：30～14：30	医師臨床教育センター	吸引分娩実習	急速遂娩法の学習	練習用器械	交替制
	15：00～16：00	産婦人科医局	諮問	症例プレゼンテーション	発表	交替制

その他の変更点

内容、場所、担当教員は適宜変更される可能性があります。

泌　尿　器　科

評価基準

1．臨床実習の評価は出席が基本となる（出席点）。
2．行動目標に対する評価は大学が定めた評価表を使用して評価を行う。
3．指定したレポート作成を行う。
4．上記1．2．3．から総合的に最終評価とする。

集合場所・時間

毎日、泌尿器科医局に9時20分集合
体温等体調チェック後に9時30分から実習開始

臨床実習のユニット内容（見学型実習用）

第1週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	9：30～12：00	泌尿器科医局	オリエンテーション	泌尿器科学総論と実習の概要を学ぶ	スライド	河内
	14：00～16：00	手術室	手術見学実習	泌尿器科手術の実際と基本的手技についての概念を学ぶ	質問、評価法	担当医
火	9：30～12：30	泌尿器科外来	外来見学実習	外来患者診察、検査、治療について学ぶ	質問、評価法	河内、上仁、永澤
	14：00～17：00	2D病棟カンファレンスルーム	カンファレンス	泌尿器科のあらゆる疾患について、理解を深める	質問、評価法	スタッフ全員
水	9：30～14：00	手術室	手術見学実習	泌尿器科手術の実際と基本的手技についての概念を学ぶ	質問、評価法	担当医
木	9：30～12：30	泌尿器科外来	外来見学実習	外来患者診察、検査、治療について学ぶ	質問、評価法	影山、和田、中川
	14：00～16：00	2D病棟	検査見学実習	各種泌尿器科検査について学ぶ	質問、評価法	担当医
金	9：30～12：30	泌尿器科外来	外来見学実習	外来患者診察、検査、治療について学ぶ	質問、評価法	成田、馬場、窪田
	14：00～16：00	手術室	手術見学実習	泌尿器科手術の実際と基本的手技についての概念を学ぶ	質問、評価法	担当医

第2週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	9：30～12：30	泌尿器科外来	外来見学実習	外来患者診察、検査、治療について学ぶ	質問、評価法	吉田、城、成田
	14：00～16：00	手術室	手術見学実習	泌尿器科手術の実際と基本的手技についての概念を学ぶ	質問、評価法	担当医
火	9：30～12：00	透視検査室	透視下検査	泌尿器科透視下検査処置について学ぶ	質問、評価法	担当医
	14：00～17：00	2D病棟カンファレンスルーム	カンファレンス	泌尿器科のあらゆる疾患について、理解を深める	質問、評価法	スタッフ全員
水	9：30～14：00	手術室	手術見学実習	泌尿器科手術の実際と基本的手技についての概念を学ぶ	質問、評価法	担当医
木	9：30～12：00	泌尿器科医局	レポート作成	課題レポート作成	自習	担当医
	14：00～16：00	病院スキルズラボ	体験学習	ロボットシュミレータ体験	質問、評価法	担当医
金	9：30～12：00	手術室	手術見学実習	泌尿器科手術の実際と基本的手技についての概念を学ぶ	質問、評価法	担当医
	13：30～15：30	泌尿器科医局	レクチャー	実習全般のまとめ	質問、評価法	成田、影山、吉田

その他の変更点

変更なし

眼　　科

評価基準

1）医療人として適切な行動・態度がおこなえているか、評価する。
2）実習中、医療安全および感染対策に留意しているか、確認する。
3）眼科疾患の発病機構、病態に関し、口頭試問を行う。
4）眼科にコンサルテーションが必要な症状、所見、疾患に関し、口頭試問を行う。
5）症例または主要な眼疾患について、眼科検査の説明、結果の解釈に関し、発表する。
6）症例または主要な眼疾患について、眼科疾患の内科的または外科的治療を説明する。
7）臨床実習を通じ、医療情報管理、個人情報保護を遵守しているか、確認する。
8）主要な眼科疾患について、症状、所見、眼科検査および解釈、鑑別診断、治療方法に関し、レポートをまとめ、提出する。

集合場所・時間

第１週の月曜日の午前９時に眼科医局に集合する。
翌日以降に関しては、その際に指示する。

臨床実習のユニット内容（見学型実習用）

第１週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	９：00～９：30	眼科医局	オリエンテーション	実習の概要のガイダンスを行う。	説明	澤田　修
	９：30～12：30	眼科病棟	視力検査 細隙灯検査実習	視力票、細隙灯の使い方、前眼部の所見について理解する。	実習	澤田　修
	14：00～16：00	眼科医局	視野検査	視野検査について理解する。	講義	森　崇正
火	９：00～13：00	眼科外来	外来実習	眼科外来患者の診察を見学し、予想される疾患を考え、診察の計画を立てることができる。診察所見から診断を行う。	外来見学	柿木雅志 森　崇正 担当医師
	14：00～16：00	眼科医局	手術実習	顕微鏡下での眼科手術の模擬体験を行い、マイクロサージュリーを理解する。	実習	南川貴之
水	９：00～13：00	眼科医局	白内障	白内障症例の病態と術式を理解する。	講義	一山悠介
	14：00～16：00	眼科病棟	病棟実習	入院患者の病態を理解する。担当症例の病態と術式を理解する。	病棟見学	担当医師
木	９：00～13：00	手術室	手術見学	眼科手術の手技と理論を述べることができる。	手術見学	南川貴之 担当医師
	14：00～16：00	眼科病棟	病棟実習	入院患者の状態を理解する。担当症例の病態と術式を理解する。	病棟見学	担当医師
金	９：00～13：00	手術室	手術見学	眼科手術の手技と理論を述べることができる。	手術見学	南川貴之 担当医師
	14：00～16：00	眼科外来	斜視検査実習	両眼視およびその障害を理解し、検査を行うことができる。	実習	岩佐真紀

第 2 週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	9：00～11：00	眼科外来	レーザー実習	レーザーの原理を知り、治療への応用を理解する。	実習	澤田智子
	11：00～13：00	眼科外来	視覚障害	視覚障害とロービジョンケアについて理解する。	実習	澤田智子
	14：00～16：00	眼科病棟	病棟実習	入院患者の病態を理解する。担当症例の病態と術式を理解する。	病棟見学	担当医師
火	9：00～13：00	手術室	手術見学	眼科手術の手技と理論を述べることができる。	手術見学	大路正人 澤田　修 担当医師
	14：00～16：00	眼科病棟	眼底検査実習	眼底観察と眼底撮影を体験する。	実習	西信良嗣
水	9：00～13：00	眼科外来	外来実習	眼科外来患者の診察を見学し、予想される疾患を考え、診察の計画を立てることができる。診察所見から診断を行う。	外来見学	澤田　修 岩佐真紀 担当医師
	14：00～16：00	眼科病棟	病棟実習	入院患者の病態を理解する。担当症例の病態と術式を理解する。	病棟見学	担当医師
木	9：00～11：00	眼科医局	網膜硝子体疾患	網膜硝子体疾患に関して、外科的治療を理解する。	講義	柿木雅志
	9：00～16：00	手術室	手術見学	眼科手術の手技と理論を述べることができる。	手術見学	南川貴之 森　崇正 担当医師
金	9：00～12：00	眼科医局	眼科総論	主要な眼疾患の病態、診断、治療を理解する。また、眼科全般に関しての理解を深める。	発表	大路正人
	12：00～13：00	眼科医局	まとめ	実習全般での疑問点を学生に列挙させ、討論する。	討論	大路正人
	14：00～16：00		レポート作成	主要な眼疾患のレポートを作成する。	レポート作成	

その他の変更点

感染状況により、対面またはリモートによる講義になる。

麻酔・ペインクリニック科

評価基準

・臨床実習の学修目標の到達度をみるため、臨床実習の評価が指導教員によって行われる。
・臨床実習は必修課程であり、原則として欠席は認められない。
・臨床実習のレポート提出、臨床実習中の態度も評価の対象となる。

集合場所・時間

・第１週月曜日午前９：30、麻酔学講座医局
・第１週月曜日が休日の場合は、第１週火曜日午前９：00、麻酔学講座医局
・オリエンテーション時に臨床実習の予定表を配布しますので、各自集合場所と時間を確認してください。
・担当教員の業務により、当日、集合時間が変更になることがあります。

臨床実習のユニット内容（見学型実習用）

見学型実習用

第１週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	9：30~11：00	麻酔科会議室	オリエンテーション	麻酔科実習について 術前評価法について	講義	北川
	14：00~15：30	麻酔科会議室	全身麻酔概論	麻酔管理の実際と基本的手技について	講義	清水
火	9：30~10：30	麻酔科会議室	疼痛診療総論	ペインクリニックの理解	講義	福井
	14：00~15：30	麻酔科会議室	シミュレーション実習	気道確保シミュレーション	実習	赤澤・今宿
水	未定	麻酔科会議室	疼痛診療総論	ペインクリニックの理解	見学	福井・岩下
	14：00~15：30	麻酔科会議室	呼吸管理	麻酔管理の実際と基本的手技について	講義	橋本
木	10：00~11：30	麻酔科会議室	グループ討論	麻酔科専門医と進路について	講義	小牧
	14：00~15：30	麻酔科会議室	区域麻酔概論	麻酔管理の実際と基本的手技について	講義	井上
金	10：00~11：30	麻酔科会議室	シミュレーション実習	脊硬麻	実習	葛川
	14：00~15：30	麻酔科会議室	脊麻・硬麻	麻酔管理の実際と基本的手技について	講義	石原

第２週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	10：00~11：30	麻酔科会議室	循環管理	麻酔管理の実際と基本的手技について	講義	小嶋
	14：00~15：30	麻酔科会議室	輸液、輸血	麻酔管理の実際と基本的手技について	講義	福島
火	10：00~11：30	麻酔科会議室	術後鎮痛	麻酔管理の実際と基本的手技について	講義	中西
	14：00~15：30	麻酔科会議室	シミュレーション実習	全身シミュレーション実習	実習	今宿・赤澤
水	10：00~11：30	麻酔科会議室	麻酔中のモニター	麻酔管理の実際と基本的手技について	講義	水野
	未定	麻酔科会議室	疼痛治療総論	ペインクリニックの理解	見学、講義	福井・岩下
木	10：00~11：30	麻酔科会議室	小児麻酔概論	麻酔管理の実際と基本的手技について	講義	河島・岩﨑
	14：00~15：30	麻酔科会議室	シミュレーション実習	CV	実習	湯浅
金	10：00~11：30	麻酔科会議室	シミュレーション実習	気管支鏡	実習	葛川
	13：30~15：00	麻酔科会議室	質疑応答・まとめ	まとめ、症例・検討・その他の質問点を解決する	討論	北川

手術室立入禁止時用

第 1 週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	9：30~11：00	手術棟視聴覚室	オリエンテーション	麻酔科実習について 術前評価法について	講義	北川
	14：00~15：30	手術棟カンファレンス室	全身麻酔概論	麻酔管理の実際と基本的手技について	講義	清水
火	9：30~10：30	手術棟視聴覚室	疼痛診療総論	ペインクリニックの理解	講義	福井
	14：00~15：30	病院 4 階スキルズラボⅡ	シミュレーション実習	気道確保シミュレーション	実習	赤澤・今宿
水	9：00~11：00	ペインクリニック外来	疼痛診療総論	ペインクリニックの理解	見学	福井・岩下
	14：00~15：30	手術棟カンファレンス室	呼吸管理	麻酔管理の実際と基本的手技について	講義	橋本
木	10：00~11：30	手術棟カンファレンス室	グループ討論	麻酔科専門医と進路について	講義	小牧
	14：00~15：30	手術棟カンファレンス室	区域麻酔概論	麻酔管理の実際と基本的手技について	講義	井上
金	9：00~10：30	手術棟 2 階視聴覚室	シミュレーション実習	脊硬麻	実習	葛川
	14：00~15：30	手術棟カンファレンス室	脊麻・硬麻	麻酔管理の実際と基本的手技について	講義	石原

第 2 週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	10：00~11：30	手術棟 2 階カンファレンス室	循環管理	麻酔管理の実際と基本的手技について	講義	小嶋
	14：00~15：30	手術棟 2 階カンファレンス室	輸液、輸血	麻酔管理の実際と基本的手技について	講義	福島
火	10：00~11：30	手術棟 2 階カンファレンス室	術後鎮痛	麻酔管理の実際と基本的手技について	講義	中西
	14：00~15：30	病院 4 階スキルズラボⅡ	シミュレーション実習	全身シミュレーション実習	実習	今宿・赤澤
水	10：00~11：30	手術棟 2 階カンファレンス室	麻酔中のモニター	麻酔管理の実際と基本的手技について	講義	水野
	14：00~15：30	病院 1 階放射線テレビ室	疼痛治療総論	ペインクリニックの理解	見学、講義	福井・岩下
木	10：00~11：30	手術棟 2 階カンファ室	小児麻酔概論	麻酔管理の実際と基本的手技について	講義	河島・岩崎
	14：00~15：30	手術棟 2 階視聴覚室	シミュレーション実習	CV	実習	湯浅
金	10：00~11：30	手術棟 2 階視聴覚室	シミュレーション実習	気管支鏡	実習	葛川
	13：30~15：00	手術棟 2 階視聴覚室	質疑応答・まとめ	まとめ、症例・検討・その他の質問点を解決する	討論	北川

その他の変更点

・大学、手術棟カンファレンス室等での講義・シミュレーターを使用した実習で代替します。

放　射　線　科

評価基準

出席、行動観察によって評価を行う。

集合場所・時間

初日午前９時30分に、臨床研究棟２Ｆの放射線科医局前に集合する。
時間は内容表のとおり。
読影実習は１人ずつ１回以上を担当教官と時間を打ち合わせて行う。

臨床実習のユニット内容（見学型実習用）

第１週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	9：30	MRカンファレンスルーム	頭部画像診断	画像診断の診断学における現状や今後を学ぶ	スライド	渡邉
	13：00	MRカンファレンスルーム	小児画像診断	小児画像診断の基礎を学ぶ	スライド	北原
火	9：00	MRカンファレンスルーム／CT室	心臓画像診断	心臓画像診断の基礎を学ぶ	スライド	永谷
	13：00	MRカンファレンスルーム	核医学画像診断	核医学画像診断の基礎を学ぶ	スライド	瀬古
	14：00	血管造影室	超音波実習	超音波検査を体験する	実習	村上
	講義終了後	総合画像診断室	読影実習	症例の読影を体験する	実習	大谷／佐藤
水	9：00	MRカンファレンスルーム	消化管画像診断	消化管画像診断の基礎を学ぶ	スライド	友澤
	14：00	MRカンファレンスルーム	乳腺画像診断	乳腺画像診断の基礎を学ぶ	スライド	土屋
	講義終了後	総合画像診断室	読影実習	症例の読影を体験する	実習	大谷／佐藤
木	9：00	MRカンファレンスルーム／血管造影室	腹部画像診断	腹部画像診断の基礎を学ぶ	スライド／見学	大田
	13：00	MRカンファレンスルーム／放射線治療棟	放射線腫瘍学	放射線治療の理論、基礎を学ぶ	スライド／見学	河野／津川
	講義終了後	総合画像診断室	読影実習	症例の読影を体験する	実習	大谷／佐藤
金	9：00	MRカンファレンスルーム	胸部画像診断	胸部画像診断の基礎を学ぶ	スライド	園田
	13：00	MRカンファレンスルーム	神経画像診断	神経画像診断の基礎を学ぶ	スライド	井藤

※読影実習は１人ずつ１回以上を担当教官と時間を打ち合わせて行う。

その他の変更点

見学型でも変更はほぼありません。

歯科口腔外科

評価基準

レポートにて評価を行う

集合場所・時間

8時45分　歯科口腔外科医局前集合

臨床実習のユニット内容（見学型実習用）

第1週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	9：00～9：30	歯科口腔外科外来		オリエンテーション・口腔内診察		山本・町田
	9：30～12：00	外来・中央手術室		手術見学・疾患講義	見学・講義	担当教員
	13：30～15：30	医局カンファランスルーム		講義	スライド	町田
火	9：00～12：00	歯科口腔外科外来		外来診療見学・講義	見学	家森
	13：30～15：30	医局カンファランスルーム		講義	スライド	冨岡
水	形成外科					
木						
金	9：00～12：00	外来・中央手術室		手術見学	見学・講義	越沼
	13：30～15：30	医局カンファランスルーム		疾患講義・まとめ		町田

その他の変更点

変更なし

形　成　外　科

評価基準

出席と実習中の態度、口頭での質問またはレポートでの評価を行う。

集合場所・時間

変更無し

臨床実習のユニット内容（見学型実習用）

第１週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
水	9：00~12：00	形成外科学講座医局	手術見学 or 講義	形成外科的手術の理解	手術見学 or 講義	全員
	13：00～15：30	形成外科学講座医局		形成外科疾患の理解		全員
木	9：00~12：00	形成外科学講座医局	発表準備	形成外科疾患の理解	実習・講義	全員
	13：00～15：30	４Ｄ病棟	カンファレンス	まとめ	カンファレンス・発表	全員

その他の変更点

なし。

検査部、病理部・病理診断科、輸血部

評価基準

出席状況と実習中の質疑応答で、理解度を把握する（５段階評価）。

集合場所・時間

水、木、金（外科Ａの２週目または３週目）：検査部カンファレンスルーム、午前８時50分

臨床実習のユニット内容（見学型実習用）

その他の変更点

外科Ａへの編入に伴い、月・火・水・金の４日間から水・木・金の３日間へ日程が変更された。外科Ａの実習期間は４週間（２班合同）のため、２週目と３週目に分けて１班ずつ実習を行う。当科は患者に接する部門ではないため、通常の実習プログラムと見学型実習プログラムに差異はない。

救急・集中治療部／総合診療部

評価基準

＊レポートと救急実習報告書
＊レポート課題を評価に使用しない場合のみ

集合場所・時間

第１週目　月曜日…ICU看護師室　10：00
　　火曜日～木曜日…各カリキュラム集合場所
　　金曜日…それぞれの消防署　８：50　（湖南消防は８：00）
第２週目　土曜日～木曜日（日勤帯実習）……10：00　救急部カンファレンスルーム
　　土・日・月・火・水・木（準深夜帯）…17：00　救急部カンファレンスルーム

臨床実習のユニット内容（見学型実習用）

第１週目

<table>
<tr><th></th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th></tr>
<tr><td>8：20</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>9：15</td><td rowspan="8">家庭医療演習
9：00～12：30

【松村／松井／中村】
（マルチメディアセンター２Ｆ会議室青）</td><td rowspan="9">救急車実習
8：50～16：00</td></tr>
<tr><td>10：00</td><td>オリエンテーション・
救急
10：00～11：00

（ICU看護師室）</td><td>救急医療体制・
病院前救急

10：00～11：00
（救急部カンファレンスルーム）</td><td rowspan="3">BTLS
10：00～12：00

（ICU看護師室）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">11：00</td><td></td><td rowspan="2">BLS（DVD）
11：00～12：00

（ICU看護師室）</td></tr>
<tr><td>PPE装着
11：30～12：00

（救急部カンファレンスルーム）</td></tr>
<tr><td>12：00</td><td></td><td></td><td rowspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td>13：00</td><td rowspan="3">ACLS（１）
13：00～15：00

（ICU看護師室）</td><td rowspan="3">ACLS（２）
13：00～15：00

（４Ａスキルスラボ３）</td><td rowspan="2">JATEC
13：30～15：00

（４Ａスキルスラボ３）</td><td rowspan="3">ACLS（４）
13：30～15：30

（４Ａスキルスラボ３）</td></tr>
<tr><td>14：00</td></tr>
<tr><td>15：00</td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td rowspan="3"></td><td></td></tr>
<tr><td>16：00</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>17：00</td></tr>
</table>

第２週目

	月	火	水	木	金
日　勤	救急ER病院実習 10：00～15：00 （救急部カンファレンスルーム）	救急ER病院実習 10：00～15：00 （救急部カンファレンスルーム）	救急ER病院実習 10：00～15：00 （救急部カンファレンスルーム）	救急ER病院実習 10：00～15：00 （救急部カンファレンスルーム）	救急ER病院実習 10：00～15：00 （救急部カンファレンスルーム）
準深夜	救急ER病院実習 準深夜実習 17：00～翌８：30 （救急部カンファレンスルーム）	救急ER病院実習 準深夜実習 17：00～翌８：30 （救急部カンファレンスルーム）	救急ER病院実習 準深夜実習 17：00～翌８：30 （救急部カンファレンスルーム）	救急ER病院実習 準深夜実習 17：00～翌８：30 （救急部カンファレンスルーム）	救急ER病院実習 準深夜実習 17：00～翌８：30 （救急部カンファレンスルーム）

注意事項

希望者は実習に参加できる。希望しない人は代わりに課題３題のレポートを提出。

・第２週の土、日、月、火、水、木、金の準深夜実習（午後５時から翌朝午前８時30分まで）に１回参加し担当教員から学生当直証明書にサインをもらうこと。なお、夜勤入りあるいは明け日は休み（自宅自習）となる。

・実習中の連絡先：救急集中治療医学講座医局（077-548-2929）、または学生課（077-548-2068）

・診療開始時間に救急カンファレンス室で充電してある学生用院内PHS（8598）を携帯すること。救急担当医の院内PHS番号は（7871）である。

・担当医の証明をもらわないと参加したことにならないので注意。

・日勤と夜勤各１回に１人とする。

・病気扱いのためには診断書が必要

・診断書や証明書なしで休んだ場合、課題３題のうち１題のレポートを提出すること

家庭医療演習

評価基準

家庭医療演習における討論の中で、発言の量はもちろんチームに与えた貢献度などの質も踏まえ、事例の診断・マネジメントへの参加度と、家庭医療の概念についての理解の深さが評価される。具体的には発言回数、発言内容が事例の討論を広く・深く展開した発言（例えば診断に迫る視点、マネジメントでかけている部分への指摘）は高い評価となる。また家庭医に必要な能力について、事例の討論をもとにしっかりと内省し持論が表現されることも重視している。

集合場所・時間

マルチメディアセンター２階会議室青　木　９：00～12：30
（多目的の場合は、事前に連絡します）

臨床実習のユニット内容（見学型実習用）

第１週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
木	９：00～12：30	マルチメディアセンター２階会議室青または多目的	家庭医療演習	家庭医療のコアを学ぶ	討論	松村、松井もしくは中村

その他の変更点

マスクを着用し、３密にならないようソーシャルディスタンスを心がける

診　療　所　実　習

評価基準

本学の基準により診療参加型実習が実施できなかった場合、又は診療所の状況によって実習受入が困難になった場合には、レポート課題を通して診療参加型臨床実習と同様の学修目標の達成度をもって評価します。

集合場所・時間

レポート課題にて対応するため、来学の必要はありません。

臨床実習のユニット内容（見学型実習用）

レポート課題：　以下①～③について、いずれも800字以上でレポートを作成（図表の使用可）。

①保険制度をはじめとした医療提供体制（救急医療や在宅医療を含む）について

②我が国の地域医療構想において診療所が期待される役割について

③保健・医療・福祉・介護の施設間や職種間での連携の必要性とその方法について

その他の変更点

特になし。

腫瘍内科・腫瘍センター

評価基準

・すべての実習ユニットにおいて、出欠を記録し、75％以上の出席を必須とする。
・各ユニットの評価は５段階でおこなう（５：秀、４：優、３：良、２：可、１：不可）。
・欠席のユニットは評価１として扱う。無断欠席は評価０とする。
・すべての実習ユニットにおいて、実習中の双方向の質疑応答の内容や行動観察に基づき、知識（想起、解釈、問題解決）、技能、態度・習慣を総合的に５段階評価する。
・レポート（緩和ケア）においては、課題の理解力、分析力、表現力により、総合的に５段階評価する。
・出欠、すべての実習ユニット、レポートの評価点の平均値を算出し、当診療科・センタークリニカルクラークシップの最終成績評価（５：秀、４：優、３：良、２：可、１：不可、０：全欠席）を決める。
・最終成績評価が２以上を合格とする。

集合場所・時間

月曜日10：00からZOOMにて実習開始

臨床実習のユニット内容（見学型実習用）

第１週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	10：00～11：30	ZOOM	ガイダンス　セミナー	臨床実習について がん薬物療法（作用メカニズム）	講義	村田
	13：30～14：30	ZOOM	セミナー	がん薬物療法（呼吸器など）	講義	寺本
火	９：00～10：00	ZOOM	セミナー	がん薬物療法（乳腺など）	講義	徳田
	11：00～12：00	ZOOM	セミナー	がん薬物療法（免疫療法など）	講義	住本
水	10：30～11：30	ZOOM	セミナー	先進的がん医療を学ぶ・臨床試験	講義	高野
	13：30～14：30	ZOOM	セミナー	癌患者の精神症状緩和	講義	森田
	15：00～16：30	ZOOM	セミナー	がん薬物療法（症例検討）	講義；討論	住本
木	10：00～11：00	ZOOM	セミナー	緩和ケア	ビデオ鑑賞	森田
	11：00～12：00	自己学習	レポート	緩和ケア	レポート	森田
	15：30～16：30	ZOOM	セミナー	がんゲノム医療	講義	寺本
金	10：00～11：30	ZOOM	セミナー	がん薬物療法（症例検討）	講義・討論	村田
	13：00～15：00	自己学習	レポート	緩和ケア	レポート	村田

その他の変更点

変更なし

医療安全管理部

評価基準

医療安全管理部では、患者との接触はありませんので、見学型実習の場合も、例年と同様に実習を行います。評価基準については、平常時と同様とします。

集合場所・時間

第２および３週金曜日９時00分に外科学講座消化器・乳腺・小児・一般外科 医局会議室に集合。
欠席の場合は医療安全管理部まで連絡すること（077-548-2350）。

臨床実習のユニット内容（見学型実習用）

第２週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
金	９：00～10：00	外科学講座消化器・乳腺・小児・一般外科 医局会議室	オリエンテーション	医療安全管理部の業務を理解する。	説明見学	清水
	10：00～12：00	外科学講座消化器・乳腺・小児・一般外科 医局会議室	医療安全管理体制について、事例提示	医療安全管理体制の経緯と現状を理解する。	講義実習	清水
	13：00～14：00	外科学講座消化器・乳腺・小児・一般外科 医局会議室	事故分析	医療事故事例の分析方法を理解する。	実習	萬代
	14：00～15：00	外科学講座消化器・乳腺・小児・一般外科 医局会議室	インフォームドコンセント	インフォームドコンセントを体験、理解する。	討論	萬代

第３週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
金	９：00～10：00	外科学講座消化器・乳腺・小児・一般外科 医局会議室	オリエンテーション	医療安全管理部の業務を理解する。	説明見学	清水
	10：00～12：00	外科学講座消化器・乳腺・小児・一般外科 医局会議室	医療安全管理体制について、事例提示	医療安全管理体制の経緯と現状を理解する。	講義実習	清水
	13：00～14：00	外科学講座消化器・乳腺・小児・一般外科 医局会議室	事故分析	医療事故事例の分析方法を理解する。	実習	萬代
	14：00～15：00	外科学講座消化器・乳腺・小児・一般外科 医局会議室	インフォームドコンセント	インフォームドコンセントを体験、理解する。	討論	萬代

その他の変更点

特にございません。

国立病院機構 東近江総合医療センター
（総合内科学講座・総合外科学講座）

評価基準

①実習態度（医学生としてのマナー、積極性、協調性）
②担当症例のプレゼンテーション
③レポート課題
④出席状況
これらを総合的に判断した上で評価します。

集合場所・時間

集合場所：東近江総合医療センター　南棟２F　きらめきホールB
集合時間：午前８時

臨床実習のユニット内容（見学型実習用）

実習は原則として個人単位で行いますが、講義やシミュレーター実習等は集合型で行います。

第１週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	８：00～９：00	きらめきホールB	朝カンファレンス	入院症例の診断・治療についてディスカッションに参加する	討論	内科系教員
	９：00～10：00	副院長室	質問タイム／オリエンテーション	質疑／当院での実習の心構え	説明	杉本
	10：00～12：00	外来	外来実習	問診から診断に必要な検査計画を立て、鑑別診断をつける	見学	担当教員
	13：00～16：00	外来・病棟等	病棟回診、検査、講義	チーム医療を学ぶ、検査処置・手技の獲得、講義	見学、聴講	担当教員
火	８：00～９：00	きらめきホールB	朝カンファレンス	入院症例の診断・治療についてディスカッションに参加する	討論	内科系教員
	９：00～10：00	きらめきホールB／スキルスラボ	質問タイム／シミュレーター実習	質疑／心電図の基礎実習	体験学習	前野
	10：00～12：00	外来	外来実習	問診から診断に必要な検査計画を立て、鑑別診断をつける	見学	担当教員
	13：00～16：00	外来・病棟等	病棟回診、検査、講義	チーム医療を学ぶ、検査処置・手技の獲得	見学	担当教員
水	８：00～９：00	きらめきホールB	朝カンファレンス	入院症例の診断・治療についてディスカッションに参加する	討論	内科系教員
	９：00～10：00	スキルスラボ	シミュレーター実習	シミュレーターを用いたエコー、腹腔鏡手術などの手技獲得	体験学習	外科系教員
	10：00～12：00	外来	外来実習	問診から診断に必要な検査計画を立て、鑑別診断をつける	見学	担当教員
	13：00～16：00	外来・病棟等	病棟回診、検査、講義	チーム医療を学ぶ、検査処置・手技の獲得、講義	見学、聴講	担当教員
木	８：00～９：00	きらめきホールB	朝カンファレンス	入院症例の診断・治療についてディスカッションに参加する	討論	内科系教員
	９：00～10：00	きらめきホールB／スキルスラボ	質問タイム／シミュレーター実習	質疑／呼吸音の聴診トレーニング	体験学習	和田
	10：00～12：00	外来	外来実習	問診から診断に必要な検査計画を立て、鑑別診断をつける	見学	担当教員
	13：00～16：00	オペ室	手術見学	整形外科手術見学	見学	担当教員
金	８：00～９：00	きらめきホール	朝カンファレンス	入院症例の診断・治療についてディスカッションに参加する	討論	内科系教員
	９：00～10：00	きらめきホールB	質問タイム／講義	質疑／症例発表について	講義	伊藤
	10：00～12：00	外来	外来実習	問診から診断に必要な検査計画を立て、鑑別診断をつける	見学	担当教員
	13：00～16：00	外来・病棟等	病棟回診、検査、講義	チーム医療を学ぶ、検査処置・手技の獲得、講義	見学、聴講	担当教員

第２週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	８：00～９：00	きらめきホールB	朝カンファレンス	入院症例の診断・治療についてディスカッションに参加する	討論	内科系教員
	９：00～10：00	きらめきホールB	質問タイム／講義	質疑／心電図	講義	大西
	10：00～12：00	外来	外来実習	問診から診断に必要な検査計画を立て、鑑別診断をつける	見学	担当教員
	13：00～16：00	外来・病棟等	病棟回診、検査、講義	チーム医療を学ぶ、検査処置・手技の獲得、講義	見学、聴講	担当教員
火	８：00～９：00	きらめきホールB	朝カンファレンス	入院症例の診断・治療についてディスカッションに参加する	討論	内科系教員
	９：00～10：00	きらめきホールB	質問タイム／講義	質疑／腹部CT	講義	神田
	10：00～12：00	外来	外来実習	問診から診断に必要な検査計画を立て、鑑別診断をつける	見学	担当教員
	13：00～16：00	外来・病棟等	病棟回診、検査、講義	チーム医療を学ぶ、検査処置・手技の獲得	見学	担当教員
水	８：00～９：00	きらめきホールB	朝カンファレンス	入院症例の診断・治療についてディスカッションに参加する	討論	内科系教員
	９：00～10：00	スキルスラボ	手技実習	外科的処置の手技獲得	体験学習	外科系教員
	10：00～12：00	外来	外来実習	問診から診断に必要な検査計画を立て、鑑別診断をつける	見学	担当教員
	13：00～16：00	外来・病棟等	病棟回診、検査、講義	チーム医療を学ぶ、検査処置・手技の獲得、講義	見学、聴講	担当教員
木	８：00～９：00	きらめきホールB	朝カンファレンス	入院症例の診断・治療についてディスカッションに参加する	討論	内科系教員
	９：00～10：00	きらめきホールB／スキルスラボ	質問タイム／救急実習	質疑／救急対応	講義／体験学習	和田／北村
	10：00～12：00	外来	外来実習	問診から診断に必要な検査計画を立て、鑑別診断をつける	見学	担当教員
	13：00～16：00	外来・病棟等	病棟回診、検査、講義	チーム医療を学ぶ、検査処置・手技の獲得、講義	見学、聴講	担当教員
金	８：00～９：00	きらめきホールB	朝カンファレンス	入院症例の診断・治療についてディスカッションに参加する	討論	内科系教員
	９：00～10：00	スキルスラボ	質問タイム／シミュレーター実習	質疑／心音の聴診トレーニング	講義／体験実習	田中
	10：00～12：00	外来	外来実習	問診から診断に必要な検査計画を立て、鑑別診断をつける	見学	担当教員
	13：00～14：00	スキルスラボ	総括	実習の振り返りと自己評価	討論	目片
	14：00～16：00	外来・病棟等	病棟回診、検査、講義	チーム医療を学ぶ、検査処置・手技の獲得、講義	見学、聴講	担当教員

第３週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	８：00～９：00	きらめきホールB	朝カンファレンス	入院症例の診断・治療についてディスカッションに参加する	討論	内科系教員
	９：00～10：00	副院長室	質問タイム／講義	質疑／地域医療	説明	杉本
	10：00～12：00	外来	外来実習	問診から診断に必要な検査計画を立て、鑑別診断をつける	見学	担当教員
	13：00～16：00	外来・病棟等	病棟回診、検査、講義	チーム医療を学ぶ、検査処置・手技の獲得、講義	見学、聴講	担当教員
火	８：00～９：00	きらめきホールB	朝カンファレンス	入院症例の診断・治療についてディスカッションに参加する	討論	内科系教員
	９：00～10：00	きらめきホールB	質問タイム／講義	質疑／高血糖緊急症	講義	前野
	10：00～12：00	外来	外来実習	問診から診断に必要な検査計画を立て、鑑別診断をつける	見学	担当教員
	13：00～16：00	外来・病棟等	病棟回診、検査、講義	チーム医療を学ぶ、検査処置・手技の獲得	見学	担当教員
水	８：00～９：00	きらめきホールB	朝カンファレンス	入院症例の診断・治療についてディスカッションに参加する	討論	内科系教員
	９：00～10：00	スキルスラボ	シミュレーター実習	シミュレーターを用いたエコー、腹腔鏡手術などの手技獲得	体験学習	外科系教員
	10：00～12：00	外来	外来実習	問診から診断に必要な検査計画を立て、鑑別診断をつける	見学	担当教員
	13：00～16：00	外来・病棟等	病棟回診、検査、講義	チーム医療を学ぶ、検査処置・手技の獲得、講義	見学、聴講	担当教員
木	８：00～９：00	きらめきホールB	朝カンファレンス	入院症例の診断・治療についてディスカッションに参加する	討論	内科系教員
	９：00～10：00	スキルスラボ	質問タイム／シミュレーター実習	質疑／肺機能の実習	体験学習	和田
	10：00～12：00	外来	外来実習	問診から診断に必要な検査計画を立て、鑑別診断をつける	見学	担当教員
	13：00～16：00	外来・病棟等	病棟回診、検査、講義	チーム医療を学ぶ、検査処置・手技の獲得、講義	見学、聴講	担当教員
金	８：00～９：00	きらめきホールB	朝カンファレンス	入院症例の診断・治療についてディスカッションに参加する	討論	内科系教員
	９：00～10：00	スキルスラボ	質問タイム／講義	質疑／心電図	講義	田中
	10：00～12：00	外来	外来実習	問診から診断に必要な検査計画を立て、鑑別診断をつける	見学	担当教員
	13：00～16：00	外来・病棟等	病棟回診、検査、講義	チーム医療を学ぶ、検査処置・手技の獲得、講義	見学、聴講	担当教員

第４週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	８：00～９：00	きらめきホールB	朝カンファレンス	入院症例の診断・治療についてディスカッションに参加する	討論	内科系教員
	９：00～10：00	きらめきホールB	質問タイム／講義	質疑／循環器疾患	講義	大西
	10：00～12：00	外来	外来実習	問診から診断に必要な検査計画を立て、鑑別診断をつける	見学	担当教員
	13：00～16：00	外来・病棟等	病棟回診、検査、講義	チーム医療を学ぶ、検査処置・手技の獲得、講義	見学、聴講	担当教員
火	８：00～９：00	きらめきホールB	朝カンファレンス	入院症例の診断・治療についてディスカッションに参加する	討論	内科系教員
	９：00～10：00	きらめきホールB／スキルスラボ	質問タイム／シミュレーター実習	質疑／内視鏡シミュレーター	講義	神田
	10：00～12：00	外来	外来実習	問診から診断に必要な検査計画を立て、鑑別診断をつける	見学	担当教員
	13：00～16：00	外来・病棟等	病棟回診、検査、講義	チーム医療を学ぶ、検査処置・手技の獲得	見学	担当教員
水	８：00～９：00	きらめきホールB	朝カンファレンス	入院症例の診断・治療についてディスカッションに参加する	討論	内科系教員
	９：00～10：00	スキルスラボ	手技実習	外科的処置の手技獲得	体験学習	外科系教員
	10：00～12：00	外来	外来実習	問診から診断に必要な検査計画を立て、鑑別診断をつける	見学	担当教員
	13：00～16：00	外来・病棟等	病棟回診、検査、講義	チーム医療を学ぶ、検査処置・手技の獲得、講義	見学、聴講	担当教員
木	８：00～９：00	きらめきホールB	朝カンファレンス	入院症例の診断・治療についてディスカッションに参加する	討論	内科系教員
	９：00～10：00	きらめきホールB／スキルスラボ	質問タイム／救急実習	質疑／救急対応	体験学習	和田／北村
	10：00～12：00	外来	外来実習	問診から診断に必要な検査計画を立て、鑑別診断をつける	見学	担当教員
	13：00～16：00	外来・病棟等	病棟回診、検査、講義	チーム医療を学ぶ、検査処置・手技の獲得、講義	見学、聴講	担当教員
金	８：00～９：00	きらめきホールB	朝カンファレンス／発表	カンファレンス／担当症例のプレゼンテーション	討論／発表	内科系教員
	９：00～10：00	きらめきホールB	質問タイム／講義	質疑／プレゼンテーション総括	講義	伊藤
	10：00～12：00	外来	外来実習	問診から診断に必要な検査計画を立て、鑑別診断をつける	見学	担当教員
	13：00～15：00	外来・病棟等	病棟回診、検査、講義	チーム医療を学ぶ、検査処置・手技の獲得、講義	見学、聴講	担当教員
	15：00～16：00	副院長室	総括	実習の振り返りと自己評価	討論	杉本

その他

カンファレンス

Ａ：循環器カンファレンス　（毎週月曜16：00～17：00）
Ｂ：消化器内科カンファレンス　（毎週水曜17：00～18：00）
Ｃ：総合内科カンファレンス　（毎週火曜15：30～17：00）
糖尿病カンファレンス　（３・４週目木曜13：00～15：00）

地域医療機能推進機構（JCHO）滋賀病院

評価基準

実習初日に自分が目標と知る医師像と個別の学習目標を設定し、提出していただきます。その後は実習日誌に実習内容を毎日記載してもらい、最後に達成度を自己評価してもらいます。

また、専門科ごとに担当教員が①出席率、②目標の難易度、③目標の達成度、④実習への見学態度をもとに、総合的に学生を評価します。医師以外のスタッフによる360度評価も実施します。逆に、学生によるJCHO滋賀病院の臨床実習の評価もしていただきます。

集合場所・時間

（初　　日）　8時20分　JCHO滋賀病院　健康管理センター3階 総務企画課前
（初日以外）　8時20分　JCHO滋賀病院　健康管理センター3階 会議室

臨床実習のユニット内容（見学型実習用）

第1週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	8：20～8：50	会議室	自己紹介、症例検討	患者の外観を把握する、初期診療の方法を学ぶ	症例提示、討論	全員
	9：00～9：30	院長室	オリエンテーション	学外研修病院での心構えを学ぶ	説明	来見、有村
	9：30～12：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
	13：00～16：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
火	8：20～8：50	会議室	症例検討	患者の外観を把握する、初期診療の方法を学ぶ	症例提示、討論	全員
	9：00～12：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
	13：00～16：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
水	8：20～8：50	会議室	症例検討	患者の外観を把握する、初期診療の方法を学ぶ	症例提示、討論	全員
	9：00～12：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
	13：00～16：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
木	8：20～8：50	会議室	症例検討	患者の外観を把握する、初期診療の方法を学ぶ	症例提示、討論	全員
	9：00～12：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
	13：00～16：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
金	8：20～8：50	会議室	症例検討	患者の外観を把握する、初期診療の方法を学ぶ	症例提示、討論	全員
	9：00～12：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
	13：00～16：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員

第2週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	8：20～8：50	会議室	症例検討	患者の外観を把握する、初期診療の方法を学ぶ	症例提示、討論	全員
	9：00～12：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
	13：00～16：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
火	8：20～8：50	会議室	症例検討	患者の外観を把握する、初期診療の方法を学ぶ	症例提示、討論	全員
	9：00～12：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
	13：00～16：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
水	8：20～8：50	会議室	症例検討	患者の外観を把握する、初期診療の方法を学ぶ	症例提示、討論	全員
	9：00～12：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
	13：00～16：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
木	8：20～8：50	会議室	症例検討	患者の外観を把握する、初期診療の方法を学ぶ	症例提示、討論	全員
	9：00～12：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
	13：00～16：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
金	8：20～8：50	会議室	症例検討	患者の外観を把握する、初期診療の方法を学ぶ	症例提示、討論	全員
	9：00～12：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
	13：00～15：30	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
	15：30～16：00	院長室	前半の評価	実習前半の自己評価と後半の抱負を述べる	討論	来見、有村 中島、磯野

第 3 週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	8：20～8：50	会議室	症例検討	患者の外観を把握する、初期診療の方法を学ぶ	症例提示、討論	全員
	9：00～12：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
	13：00～16：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
火	8：20～8：50	会議室	症例検討	患者の外観を把握する、初期診療の方法を学ぶ	症例提示、討論	全員
	9：00～12：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
	13：00～16：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
水	8：20～8：50	会議室	症例検討	患者の外観を把握する、初期診療の方法を学ぶ	症例提示、討論	全員
	9：00～12：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
	13：00～16：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
木	8：20～8：50	会議室	症例検討	患者の外観を把握する、初期診療の方法を学ぶ	症例提示、討論	全員
	9：00～12：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
	13：00～16：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
金	8：20～8：50	会議室	症例検討	患者の外観を把握する、初期診療の方法を学ぶ	症例提示、討論	全員
	9：00～12：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
	13：00～16：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員

第 4 週目

曜日	時間	場所	ユニット	目的・内容	方法	教員名
月	8：20～8：50	会議室	症例検討	患者の外観を把握する、初期診療の方法を学ぶ	症例提示、討論	全員
	9：00～12：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
	13：00～16：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
火	8：20～8：50	会議室	症例検討	患者の外観を把握する、初期診療の方法を学ぶ	症例提示、討論	全員
	9：00～12：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
	13：00～16：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
水	8：20～8：50	会議室	症例検討	患者の外観を把握する、初期診療の方法を学ぶ	症例提示、討論	全員
	9：00～12：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
	13：00～16：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
木	8：20～8：50	会議室	症例検討	患者の外観を把握する、初期診療の方法を学ぶ	症例提示、討論	全員
	9：00～12：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
	13：00～16：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
金	8：20～8：50	会議室	症例検討	患者の外観を把握する、初期診療の方法を学ぶ	症例提示、討論	全員
	9：00～12：00	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
	13：00～15：30	ルーム1～3	コース1～3	各コースにおける医療の実践に参加する	診療参加	担当教員
	15：30～16：00	院長室	後半の評価	実習後半の自己評価を述べる	討論	来見、有村 中島、磯野

その他の変更点

患者への直接の問診、診察等の医療行為や病棟ならびに検査室への出入りが制限される場合があります。

地方独立行政法人 公立甲賀病院

評価基準

特に変更なし

集合場所・時間

変更なし

臨床実習のユニット内容（見学型実習用）

患者さんに直接接する部分で問診や診察はなし、指導医の診察見学のみ

その他の変更点

実習の流れは原則変更なし

Ⅶ　臨床実習Ⅲ部
学外臨床実習／臨床実習後OSCE

学外臨床実習

これまで医学教育は伝統的な知識伝授型の講義と傍観者見学型という言葉で表される臨床実習から成り立っていました。しかし、近年医学自体が大きな発展を遂げ、医療技術も極めて多様化した結果、卒業前に医学生が理解し経験することを求められる内容が増大しました。また一方、社会の急速な発展とも相まって人々の医療に対する考え方に大きな変化がおこりました。すなわち、これまで病気の診断や治療に関してすべてを医者にまかせていた人々が、自分の身に起こっている変調の理由を自分なりに理解し、また提示された治療法などについても説明を受けて理解した上で主体的に選択したいと考えるようになりました。このような歴史的な変遷をふまえて、いま医学教育には人々の期待に応えることの出来る医師を養成すべく大きな変革が求められております。

平成13年３月に医学・歯学教育の在り方に関する調査研究協力者会議から医学教育モデル・コア・カリキュラムが提出されました。その中で臨床実習について次のように述べられています。「臨床実習は、学生が臨床現場を見学するだけでは不十分であり、効果的に学習するためには、実際の診療に携わることが不可欠である。指導医と研修医などによって構成される診療チームの一員として学生が実習する形態を診療参加型実習（クリニカルクラークシップ）と呼び、今まで広く行われてきた見学型臨床実習や模擬診療型臨床実習と区別される。学生はチームの一員として患者の診療に参加し、診断・治療計画の策定、カルテへの記載、医療スタッフへの情報の伝達などを行う。個々の学生の態度・技能・知識の到達度に合わせてチーム内での役割を与え、能力が向上すればより進んだ役割へと移行させるべきである。これらの診療参加型実習においては、単に診療手技を学生に行わせることが主な目的ではなく、患者や医療チームの職員とのコミュニケーションを保って医療の現場に溶け込むように自覚させることが最も重要である。また、医科大学・医学部附属病院ばかりでなく、他の医療機関における実習を含めることによって、多様な患者を経験する機会を増やすなど実践的な実習とすることが望ましい。」このモデル・コア・カリキュラムが提示される前から、本学におきましては医学教育、特に臨床実習には相当の改変が必要との認識に立って議論を重ね、近隣の医療機関の絶大な御協力の下に、平成11年度より学外臨床実習を実施して参りました。

学外臨床実習を受けようとする学生は第４学年時における医療系大学間共用試験実施評価機構による全国医科大学および大学医学部共通の学科試験（CBT）と客観的臨床能力試験（臨床実習前OSCE）に合格し、臨床実習を受ける資格があることが認定されています。臨床実習は４学年から第６学年にわたって合計65週間行われます。すなわち、１週間のオリエンテーションの後、本学医学部附属病院の循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、血液内科、糖尿病内分泌内科、腎臓内科、脳神経内科、小児科、精神科、皮膚科、消化器外科、乳腺・小児・一般外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、母子診療科、女性診療科、泌尿器科、眼科、麻酔科、ペインクリニック科、放射線科、歯科口腔外科、形成外科、救急・集中治療部、総合診療部、検査部、薬剤部、腫瘍内科・腫瘍センター、緩和医療実習、家庭医療演習、診療所実習、リハビリテーション科・部、医療安全管理部、栄養治療部、医師臨床教育センター、48週間でローテーション（うち４週間は、内科系の実習を本学地域医療教育研究拠点（国立病院機構（NHO）東近江総合医療センター･地域医療機能推進機構（JCHO）滋賀病院・公立甲賀病院）において参加する）し、その後、本学医学部附属病院における前後期３週間ずつの臨床実習（アドバンス）と学外臨床実習協力病院・診療所における前後期４週間ずつの学外臨床実習を行います。そして最後に臨床実習後OSCE（Post-CC OSCE）を行います。既に全国の大学における臨床実習の平均週数は50週を越えていると報告されています。

これまで述べましたような、本学を取りまく情況に鑑みまして、学外臨床実習が行われることは社会や時代の要請であり極めて当然とも申せますが、これは実に多くの滋賀県下の病院や診療所の関係者・先輩医師が、この試みに賛同し、労苦を惜しまず御協力いただいて初めて実現可能なものであることを改めて肝に銘じ、良く理解して、実習の実を挙げるべくたゆまず努力いたしたいと考える次第です。

滋賀医科大学
クリニカルクラークシップワーキング

滋賀医科大学 学外臨床実習要綱

○学外臨床実習の目的

滋賀医科大学医学部医学科第６学年の学生に、「臨床実習協力病院（施設）」における学外臨床実習の機会を通じ、指導医等のもとで地域の第一線の医療・介護・保健・福祉等の実際にふれ、多様な経験を重ねることによって卒前教育を充実させることを目的とする。

○臨床実習協力病院（施設）

この学外臨床実習の趣旨に賛同する滋賀県下および近接区域の医療機関、保健・福祉施設等は、滋賀医科大学との間で協定書（別紙１）をかわし、臨床実習協力病院（施設）となる。臨床実習協力病院（施設）は指導医（者）および事務担当者を定め、また指導医（者）の中から実習指導責任者１名を定める（臨床実習協力病院の一覧は別紙２のとおり）。

外国施設での臨床実習を希望する場合は、第５学年の12月末日までに別紙３の①～④の手続きを完了させてください。手続きに必要な様式はWeb Classに掲載しています。

○学外臨床実習協議会

臨床実習協力病院（施設）における実習期間、配属先や配属人数の調整、実習内容の調整、受け入施設の調査、苦情の調停などのため、学外臨床実習協議会をおく。この協議会は、本学のクリニカルクラークシップワーキング、協力病院（施設）からの委員若干名で構成する。

○実習スケジュール等の資料の作成、病院の選択

臨床実習協力病院（施設）毎に受け入れ可能な診療科名、期間、人数および指導医（者）の氏名、資格（専門医の有無等）、実習内容、特色等の資料を作成する。各協力病院（施設）の所在地、交通機関、宿舎の有無、院内における給食の有無等の資料を収集する。学生はこれらの臨床実習協力病院（施設）の資料に基づき、希望する系を選択・登録する。学生課は指導、調整等を行う。

○学外臨床実習への参加資格

この学外臨床実習に参加する学生は、「共用試験（CBT、臨床実習前OSCE）」に合格し、「スチューデントドクター」の称号を得た上で、クリニカルクラークシップWGにおいて滋賀医科大学医学部附属病院における55週間の臨床実習を修了したと認めた者とする。

○実習内容

①　実習期間

５月から６月の８週間（前期４週間・後期４週間）とする。

②　実習施設（実習科目）の選択

原則として、Ⅰ内科系、Ⅱ外科系、Ⅲその他の系の３つの系から２つの系を選び、４週間を一単位として２つの系において実習する。

③　実習の形態と目標

診療チームの一員としての参加型実習を基本とする。その内容は、指導医等の指示のもとでの診察や採血、注射、諸検査、手術等への参加を原則とし、学生のために特別に組まれた講義や実習は必要としない。すなわち、可能な範囲の仕事を分担し、チーム医療に参画するなかで、地域医療の実際を学ぶことを目標とする。

④　**施設への配属及び人数配分**

各施設への学生の配属は、学生課が調整する。一施設への配属は、可及的少人数とする。

⑤　**実習施設での指導**

実習施設ではすべて指導医（者）の直接指示により行動するものとする。

⑥　**当直実習等**

受入側が必要と判断し、宿泊施設（当直室等）がある場合、当直実習を行うことができる。

⑦　**実習時間**

実習時間は原則として、月曜日から金曜日まで、８時30分から17時00分とするが、施設の状況によって変更することができる。

⑧　**食費、交通費等**

各学生の自弁とする。

⑨　**実習経費等**

学生に対しては、一切の金銭授受は行わない。また、大学側から各施設には学外実習経費が支払われる。

⑩　**欠席の取扱い**

P.８.９参照。

○学外臨床実習の学修目標

ねらいと学修目標の詳細については、ｐ３に示すものに加え、地域社会で求められる保健・医療・福祉・介護等の活動を通して地域医療と地域包括ケアシステムを一体的に構築することの必要性・重要性を学ぶことを学修目標とする。

○学外臨床実習の成績評価

指導医は、学生課に下記の評価項目について、学生個別の実習評価を報告する。最終評価は、滋賀医科大学医学・看護学教育センター学部教育部門が行う。これに不合格のものは、卒業試験を受けることはできない。

【指導医の学生に対する評価項目】

１．出欠状況：学外臨床実習は必修の課程であり、欠席は特別の理由がない限り認めない。

２．実習態度：下記の６項目について評価する。

（１）実習に対する積極性（欠席日数・遅刻の有無等）

（２）診療チームにおける協調性（医師、メディカルスタッフ等との対応）

（３）患者さんに接する態度（態度・言葉づかい・思いやり等）

（４）基本的な知識の量（指導医との日常の情報交換）

（５）診療技術（本学が定める医行為水準Ｉ程度）

（６）服装・清潔度

３．レポート：指導医から与えられた課題について評価する。

４．個人に関する評価（自由記入）

○学生に対するアンケート調査

実習を終了した学生に対しては、アンケート調査を行い、次年度以降の実習の参考とする。

（2021年12月20日改訂）

（別紙１）

滋賀医科大学学外臨床実習協定書（見本）

１．目　　的

この協定は、滋賀医科大学（以下「大学」という。）が貴〇〇病院（以下「病院」という。）の協力により、指導医等のもとで地域の第一線の医療・介護・保健・福祉等の実践を体験することにより、地域医療の現状を理解するとともに、卒前教育の充実・向上を図ることを目的とする。

この協定の実施について、診療に関する責任は病院側が、教育に関する責任は大学側が負うものとする。

２．協力内容

（１）大学は大学教育の一環として学生の臨床実習の指導について、病院に協力を依頼し、病院はこれを承諾する。

（２）前項の協力を依頼する期間は、当該学年における臨床実習終了後で、８週間を超えない期間とし、その詳細は「滋賀医科大学実習協力病院協議会」で協議を行うものとする。

３．協議会の設置

臨床実習受入承諾病院及び滋賀医科大学からなる「滋賀医科大学実習協力病院協議会」を設置し、実習内容等の詳細については協議会で決定する。

なお、協議会の運営方法等については別途定める。

４．実施方法等

（１）病院における実習学生数、実習期間、実習内容及び実習方法については協議会で確認し、決定する。

（２）病院における学生の実習成績評価は、病院からの成績報告書に基づき大学が行う。評価基準については協議会で決定する。

（３）病院における指導は、指導医を中心とした体制を取り、成績報告は実習指導責任者が行う。

５．管理運営

（１）大学は実習指導を受ける学生に対し病院に関する諸規程を遵守させ、病院業務の遂行に支障を生じないようにする。

（２）病院は、患者に対して実習協力病院の立場にあることの理解を求めるよう努力する。

（３）臨床実習に要する経費は、大学の負担とし、その算定方法、支払い方法及び経理の方法については、大学が協議会において承認を受け、病院との個別折衝を行う。

６．協定の期間及び解消

協定の期間については、期限を定めないものとし、両者の一方がこれを解消しようとするときは、６ケ月前までに相手方に通告するものとする。

7．事故対策

学生が臨床実習実施中に引き起こした事故については、大学がその責を負う。

また、その対策として実習に参加する全ての学生に「学研災付帯学生生活総合保険」への加入を義務づける。

なお、事故が発生した場合には、別に定める「事故発生時の連絡体制」により、病院から大学へ連絡を行うものとする。

8．秘密の保持及び個人情報の保護

（1）実習生は、実習期間中において知り得た秘密事項については、実習期間中及び実習期間終了後を問わず、その一切を漏らしてはならない。

（2）実習生は、実習期間中において知り得た個人情報を、正当な理由なく第三者に開示、提供または遺漏してはならない。

9．その他

この協定に基づき実施する臨床実習についての必要な実施細目及び定めのないものについては、「滋賀医科大学実習協力病院協議会」に諮るほか、個別事項については大学と病院が別途協議して定めるものとする。

なお、学生の選択結果により、年度によっては臨床実習協力病院において臨床実習を実施しない場合がある。

本協定の成立を証すため、本書二通を作成し、当事者が各一通を保有する。

令和　　年　　月　　日

滋賀県○○市
○　○　病　院
病院長　○　○　○　○

滋賀県大津市瀬田月輪町
滋賀医科大学
学　長　○　○　○　○

（別紙２）

学外臨床実習における臨床実習協力病院（施設）一覧

2018年度実績

	病院名	〒	住所
1	大津市民病院	〒520-0804	大津市本宮二丁目9-9
2	地域医療機能推進機構滋賀病院	〒520-0846	大津市富士見台16-1
3	琵琶湖養育院病院	〒520-2144	大津市大萱七丁目7-2
4	琵琶湖大橋病院	〒520-0232	大津市真野五丁目1-29
5	大津赤十字病院	〒520-8511	大津市長等一丁目1-35
6	大津赤十字志賀病院	〒520-0580	大津市和邇中298
7	大津ファミリークリニック	〒520-0033	大津市大門通11-11
8	小川診療所	〒520-3107	湖南市石部東二丁目5-38
9	はえうち診療所	〒520-2153	大津市一里山四丁目25-21
10	誠光会淡海医療センター（旧：草津総合病院）	〒525-8585	草津市矢橋町1660
11	近江草津徳洲会病院	〒525-0054	草津市東矢倉三丁目34-52
12	済生会滋賀県病院	〒520-3046	栗東市大橋二丁目4-1
13	滋賀県立総合病院	〒524-8524	守山市守山五丁目4-30
14	守山市民病院	〒524-0022	守山市守山四丁目14-1
15	野洲病院	〒520-2331	野洲市小篠原1094
16	生田病院	〒520-3242	湖南市菩提寺104-13
17	甲西リハビリ病院	〒520-3223	湖南市夏見1168
18	国立病院機構紫香楽病院	〒529-1803	甲賀市信楽町牧997
19	公立甲賀病院	〒528-0074	甲賀市水口町松尾1256
20	甲南病院	〒520-3321	甲賀市甲南町葛木958
21	甲賀市立信楽中央病院	〒529-1851	甲賀市信楽町長野473
22	イチロー内科クリニック	〒523-0898	近江八幡市鷹飼町南三丁目1-16
23	ヴォーリズ記念病院	〒523-8523	近江八幡市北之庄町492
24	東近江総合医療センター	〒527-8505	東近江市五智町255
25	近江八幡市立総合医療センター	〒523-0082	近江八幡市土田町1379
26	日野記念病院	〒529-1642	滋賀県蒲生郡日野町上野田200-1
27	弓削メディカルクリニック	〒520-2501	滋賀県蒲生郡竜王町弓削1825
28	東近江市立能登川病院	〒521-1223	東近江市猪子町191
29	湖東記念病院	〒527-0134	東近江市平松町2-1
30	豊郷病院	〒529-1168	滋賀県犬上郡豊郷町大字八目12
31	彦根市立病院	〒522-8539	彦根市八坂町1882
32	彦根中央病院	〒522-0054	彦根市西今町421
33	田口診療所	〒521-1114	彦根市彦富町905-3
34	友仁山崎病院	〒522-0044	彦根市竹ケ鼻町80
35	浅井東診療所	〒526-0203	長浜市野瀬町828
36	長浜赤十字病院	〒526-8585	長浜市宮前町14-7
37	市立長浜病院	〒526-8580	長浜市大戌亥町313
38	長浜市立湖北病院	〒529-0493	長浜市木之本町黒田1221
39	地域包括ケアセンターいぶき	〒521-0314	米原市春照58-1
40	高島市民病院	〒520-1121	高島市勝野1667
41	マキノ病院	〒520-1822	高島市マキノ町新保1097
42	宇治徳洲会病院	〒611-0041	京都府宇治市槇島町石橋145
43	京都岡本記念病院	〒613-0034	京都府久世郡久御山町佐山西ノ口58番地
44	京都桂病院	〒615-8256	京都市西京区山田平尾町17
45	洛和会音羽病院	〒607-8062	京都市山科区音羽珍事町2

Form0　　学籍番号 ＿＿＿＿＿＿　氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

海外臨床実習チェックリスト

行き先：国・地域（　　）病院名（　　）

①	すべての書類(Form)を揃えましたか？ 【A,B,Cは各自で準備し、Form2に添付】 ※すべての書類(Form)は 「滋賀医大HP→教育・学生支援→教育→履修要項・講義概要→臨床実習→臨床実習Ⅲ部(学外臨床実習)(医学科第6学年)」 からダウンロードできます。 準備出来次第、直近の学部教育部門会議の審議にかけます。遅くとも１月末日までに書類を揃えてください。そこまでに書類が揃わなければ海外での臨床実習は認められません。	□ Form 1 大学以外の教育実習施設等における学習申請書 □ Form 2 外国施設での臨床実習申請添書 □ A 安全情報 □ B 受入許可書 □ C 実習プログラム内容（320時間以上） □ Form 3 誓約書 □ Form 4 TOEFLスコア提出用シート（必須ではない） □ Form 5 1 海外渡航について（ﾁｪｯｸｼｰﾄ）（第６学年次担任のサイン） □ 2 付帯海学手続き申込書（渡航１ヶ月前までに） □ Form 6 滋賀医科大学所定の評価表への記入可否
②	保健管理センターに報告しましたか？	□ （保健管理センター）
③	医学・看護学教育センター教員との面談はしましたか？	印　（医学・看護学教育センター）
④	学部教育部門会議で①を承認	年　月　日（学生課記入）　記入者

帰国後

⑤	保健管理センターに報告	□ （保健管理センター）
	医学・看護学教育センターとの面談はしましたか？	印　（医学・看護学教育センター）

⑥	学外臨床実習反省会（パワーポイントを使用、質疑応答含めて５分程度）	□ 発表　年　月　日（学生記入）

後日

⑦	評価表(Form6), 単位認定申請書(Form7)と報告書(Form8)の提出	年　月　日（学生課記入）　記入者
⑧	学部教育部門会議で承認	年　月　日（学生課記入）　記入者

（別紙３）

臨床実習後OSCE（Post-CC OSCE）

医学系、歯学系に共通するこの試験の目的は、学生は自分が卒業レベルの臨床能力を修得しているかを知ることであり、医師及び歯科医師育成機関である大学としては、自大学の学生に卒業を許容できる臨床能力を修得させることができたかを評価することであり、臨床研修指導医としては、卒業後に臨床研修を開始できるだけの能力を有する医師や歯科医師が育成されているかを評価することであり、社会・国民の視点からは、安全・安心な医療を提供できる医師及び歯科医師となっているかを評価することです。

本来、これらの評価は、臨床実習の現場におけるworkplace-based assessmentで実施することが望まれますが、全国の医学生や歯学生の臨床能力を同じ基準で評価するためにOSCEを主体とした方法が選択されています。医学系におけるOSCEは、ある症候を有する模擬患者に医療面接と身体診察とを行い、そこで得られた情報から、病態を解析して、鑑別診断や検査計画や治療計画を立案して指導医に報告するという、いわば日常の診療業務の一端をシミュレートした課題を３課題行います。もちろん、３課題では不十分ですから、各大学で考えた大学独自課題も３課題程度併用することが推奨されています。このOSCEのもう一つの特徴は、評価者です。大学で実施する試験の評価者として、自大学に所属する医師の教員のみが評価したのでは公平性に欠けますから、他大学の教員が実施大学に赴いて、そこの大学の学生の臨床能力を評価しますし、さらに、臨床研修病院の指導医も実施大学に赴いて学生の評価を行います。これは、実施大学にとっては、自大学の教育をも評価されることになりますから、臨床実習のさらなる改善が期待できるでしょう。

なお、臨床実習後OSCEの概要に関する資料は、WebClass（医学科 > 臨床実習 > 第44期生臨床実習）に掲載していますのでご確認ください。

（共用試験ガイドブック 第19版（令和３年度）p.19を一部抜粋して作成

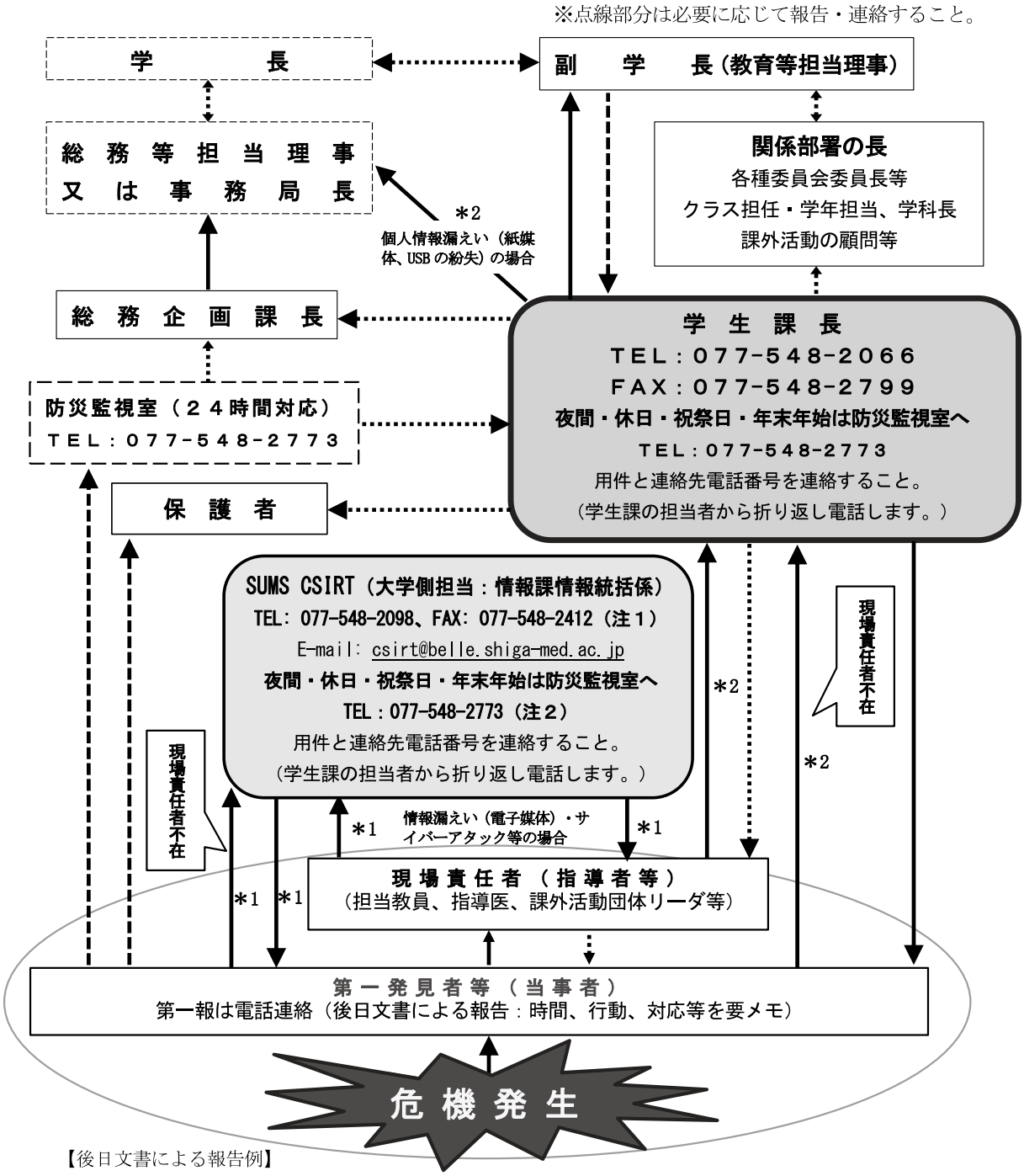
≪参考≫

共用試験ガイドブック第19版
（令和３年度版）

臨床研修開始時に必要とされる
技能と態度に関する
学修・評価項目（第１．２版）

Ⅷ　事故発生時の連絡

災害・事件・事故等の危機管理体制（学生用）



【後日文書による報告例】

・臨床／臨地実習時等の事故報告（インシデント・アクシデントリポートの作成）

・交通違反・事件・事故など（事故（違反）届）

【注釈】

（注１）報告後のフローは情報セキュリティインシデント対応実施手順（SUMS CSIRT）に則る。

（注２）報告後のフローは滋賀医科大学危機管理マニュアルに則る。

・情報漏えい（電子媒体、USB・SD カード等の外部記録媒体の紛失等）・サイバーアタック等の場合は「＊１」のとおり報告・連絡すること。

・個人情報漏えい（紙媒体）の場合は「＊2」のとおり報告・連絡すること。

（2019.7）

血液・体液に曝露した際の処置（附属病院内用）

附属病院内での臨床実習中において血液・体液に曝露した際は、すみやかに指導教員および学生課へ報告してください。その処置については、原則として指導教員がその責任において、感染制御部が定めている「D－２　血液・体液曝露（針刺し）対応マニュアル」に記載された手順に従って、職員に準じた対策を取りますので、その指示に従ってください。

なお、学外施設での臨床実習中において血液・体液に曝露した際は、すみやかに指導教員および学生課へ報告するとともに、各施設で定めている事故対策マニュアルに従ってください。

また、処置後、できるだけすみやかに「インシデント･アクシデント　リポート（学生用）」を作成し、学生課へ提出してください。

発生　（学生）針刺し・切創、皮膚・粘膜への汚染

↓

1　（学生）ただちに流水と石鹸で十分に洗浄
（学生）すみやかに指導教員および学生課へ報告

↓

2　（教員）「D－２　血液･体液曝露（針刺し）対応マニュアル」に従って、指導学生へ必要な処置を取る

↓

3　（学生）「インシデント・アクシデント　リポート（学生用）」を作成し、指導教員から学生課へ提出

※「D－２　血液・体液曝露（針刺し）対応マニュアル」は、感染制御部・医療安全管理部のウェブサイトからダウンロード可能です。また、各診療科・部等に最新版が備え付けられています。
感染制御部・医療安全管理部ウェブサイト
http://ulysses.shiga-med.ac.jp/hqsafety/

年　　月　　日

滋賀医科大学長　殿

インシデント・アクシデント　リポート（学生用）

報告者：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　学籍番号：＿＿＿＿＿＿＿＿　学年：＿＿＿＿

所　属：□医学科　　□看護学科　　□その他

連絡先：本人（ＴＥＬ　　ＦＡＸ　　）

家族（ＴＥＬ　　ＦＡＸ　　）

事故の種類	**□授業中の事故** □学内　□大学附属病院　□学外実習等（　　） **□通学途上の事故** □交通事故　□転倒・転落　□その他（　　） **□その他（　　）**			
発生日時	**年　月　日（　）午前・午後　時　分頃**			
発生場所				
被害者 □報告者本人 □患者 □その他	ﾌﾘｶﾞﾅ		年齢	歳
	氏名	男・女		
発生時の状況 被害内容 および その程度				
処置等				
被害者および家族への説明	□説明せず　□＿＿＿＿＿＿＿頃に説明する予定　□説明の予定はない □説明した（内容：　　）			
学生の保護者に対する連絡	□連絡済（日時：　月　日　：　頃　誰から誰に　　） □まだ連絡していない			
補償制度等	大学団体加入（□学生教育研究災害傷害保険　□付帯学生生活総合保険） 個人的に加入（□加入している　□加入していない）			
発生要因	□意識の散漫　□知識経験不足　□本人の不注意　□慣れ □事前教育不足　□状況把握不足　□指導者の不注意 □その他（　　）			
責任者のコメント 防止策等	責任者氏名（自署）　　所属等			

（注）１．事故が発生した場合の第一報は、電話で行うこと。

勤務時間内：学　生　課　TEL　077－548－2068･2069･2065　FAX　077－548－2799

勤務時間外：防災監視室　TEL　077－548－2773　連絡先の電話番号を伝えること。

（※折り返し学生課の担当者から電話します。

２．本届けは、現場責任者を経由して、学生課に提出すること。

３．次の場合は、報告者本人から、直接、学生課に提出すること。

①　急を要する場合で、責任者が不在の場合

②　指導等の責任者が存在しないケースの場合